

島根原子力発電所 2 号炉 高経年化技術評価  
(共通事項)

補足説明資料

平成 30 年 9 月 26 日  
中国電力株式会社

## 目次

1. はじめに	1
2. 高経年化技術評価に係る実施体制および実施手順	2
2.1 高経年化技術評価の概要	2
2.2 高経年化技術評価の実施体制および実施手順	3
2.3 保全管理活動	29
添付 計算機プログラム（解析コード）の概要	37
別紙 1. 日常劣化管理事象（△）のすべての対象機器を事象毎に分類し，劣化事象を考慮した劣化傾向監視等，劣化管理の考え方，検査方式，検査間隔，検査方法および検査実績	
別紙 2. 日常劣化管理事象以外の事象（▲）のすべての対象機器を事象毎に分類し，すべての機器についてこれまでの運転経験，使用条件，材料試験データおよび進展傾向が極めて小さいと判断した理由	
別紙 3. 中央制御室空調換気系ダクトで発生した腐食について	
別紙 4. トラブル情報等の最新知見の反映プロセスについて	

## 1. はじめに

本資料は、島根原子力発電所2号炉の高経年化技術評価の共通事項の補足として、高経年化技術評価に係る実施体制および実施手順、運転を前提とした評価ならびに冷温停止を前提とした評価について取りまとめたものである。

島根原子力発電所2号炉においては、「核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律」第43条の3の22第1項および「実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則」第82条第1項に従い、運転を前提とした高経年化技術評価を実施すると共に長期保守管理方針を策定し、平成30年2月7日に「島根原子力発電所原子炉施設保安規定」の変更認可として申請した。

## 2. 高経年化技術評価に係る実施体制および実施手順

### 2.1 高経年化技術評価の概要

島根原子力発電所2号炉の高経年化技術評価は、島根原子力発電所2号炉を構成する安全上重要な機器および構造物に対して、使用に伴って発生する経年劣化事象を考慮した設備の健全性を確認した。

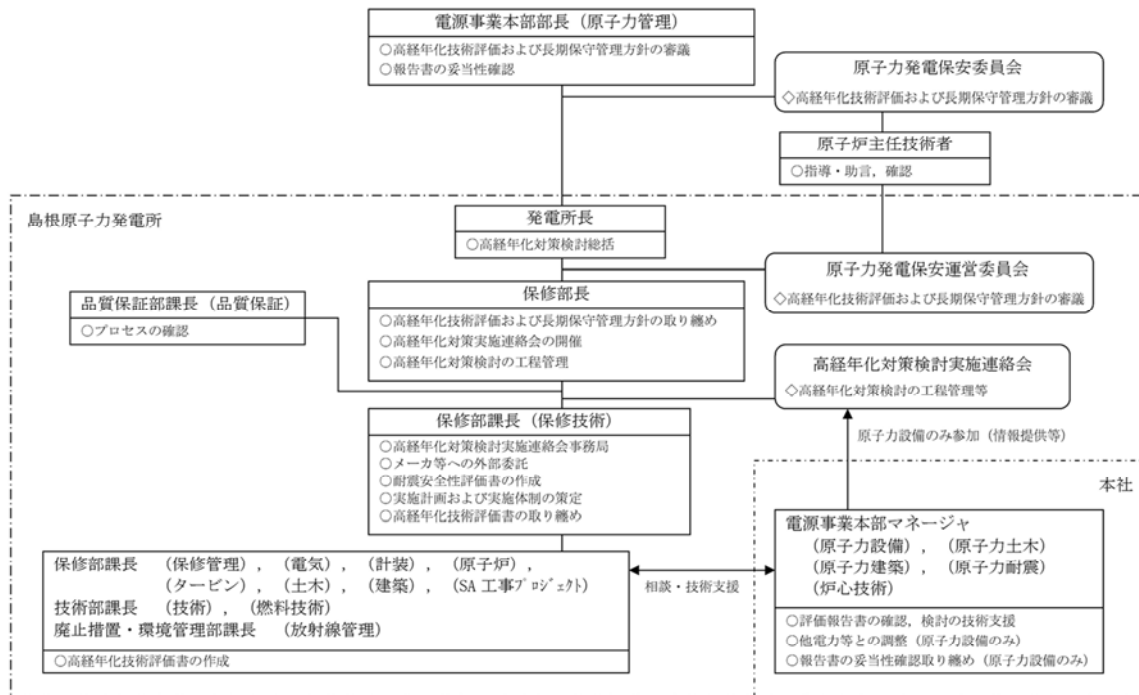
評価実施においては、国内外におけるトラブル知見等の最新知見および運転経験、新規制基準への対応により追加した設備、条件等を踏まえ、評価対象設備、評価条件、内容の見直しを行っている。

## 2.2 高経年化技術評価の実施体制および実施手順

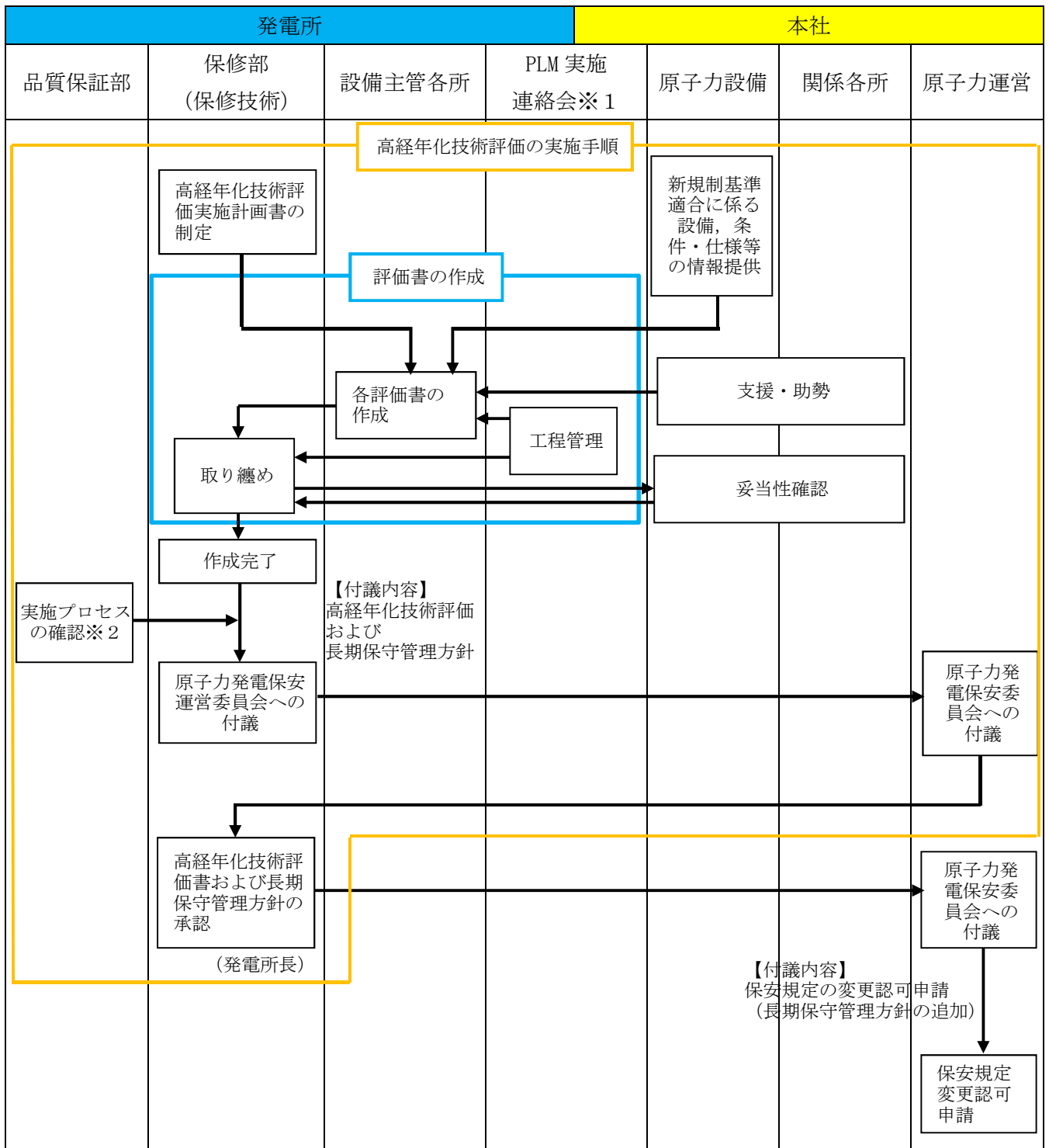
高経年化技術評価については、社内手順書の「島根原子力発電所 高経年化対策実施手順書」にて明確にして実施しており、実施体制は以下のとおりであり、次ページに高経年化技術評価全体の業務フローを示す。

運転を断続的に行うことを前提とした高経年化技術評価（以下、「断続運転評価」という。）は次々ページのフローにて実施しており、具体的な説明については（1）項以降に記載する。

冷温停止状態が維持されることを前提とした高経年化技術評価（以下、「冷温停止評価」という。）については、（7）項で記載する。



高経年化対策実施体制図

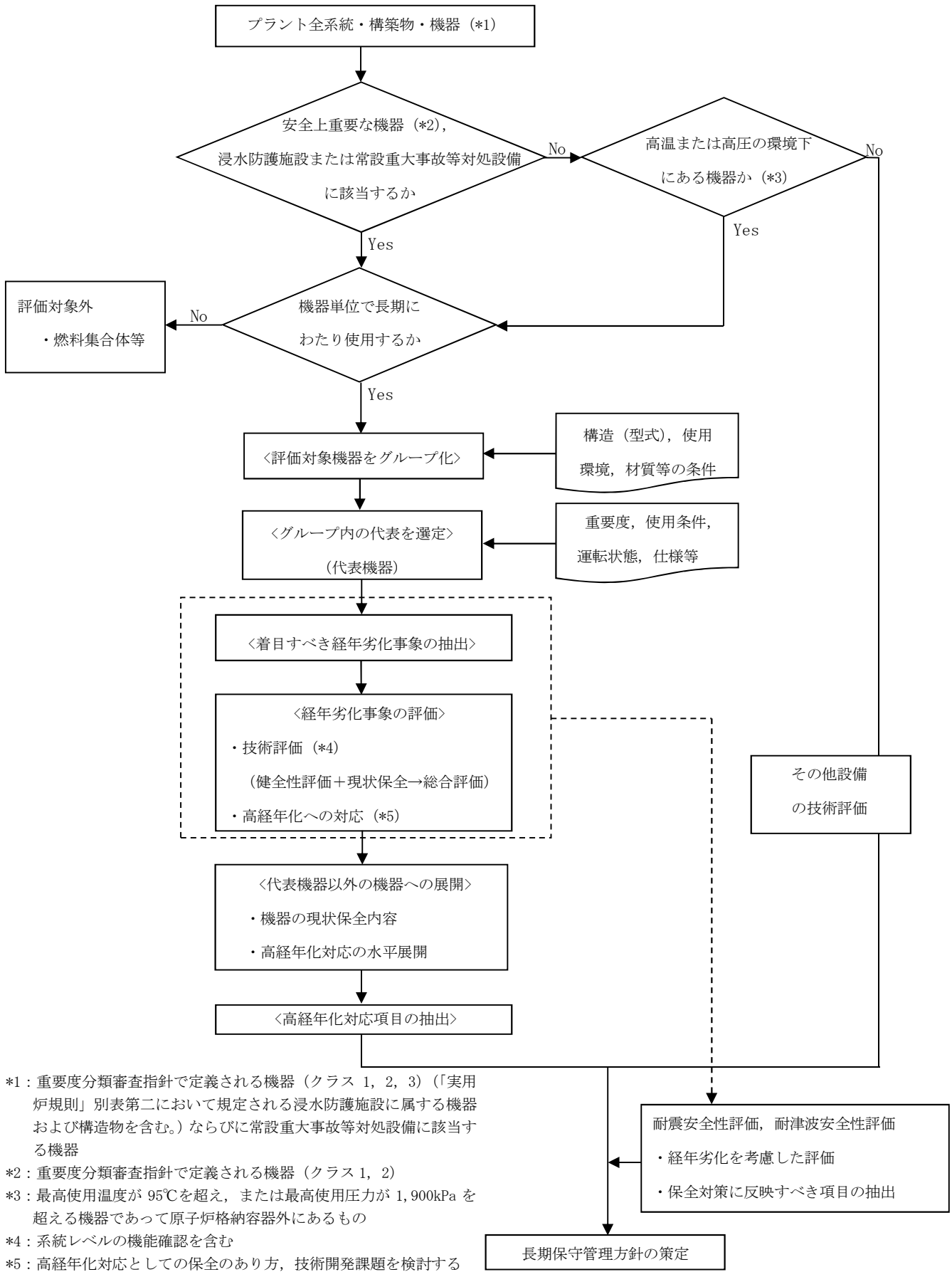


※ 1 高経年化対策検討実施連絡会

※ 2 確認項目

「実施に係る工程管理」から「長期保守管理方針の策定」までの手順について確認する。  
実施の途中段階において随時確認することも可能。

### 高経年化技術評価全体業務フロー



- \*1: 重要度分類審査指針で定義される機器 (クラス 1, 2, 3) (「実用炉規則」別表第二において規定される浸水防護施設に属する機器および構築物を含む。) ならびに常設重大事故等対処設備に該当する機器
- \*2: 重要度分類審査指針で定義される機器 (クラス 1, 2)
- \*3: 最高使用温度が 95℃を超え, または最高使用圧力が 1,900kPa を超える機器であって原子炉格納容器外にあるもの
- \*4: 系統レベルの機能確認を含む
- \*5: 高経年化対応としての保全のあり方, 技術開発課題を検討する

断続運転評価フロー

## (1) 技術評価対象機器の抽出

### 1) 機器・構造物の抽出方法

重要度分類指針<sup>※1</sup>において定義されるクラス 1, 2 および 3 の機能を有する機器・構造物（「実用炉規則」別表第二において規定される浸水防護施設に属する機器および構造物を含む。）ならびに常設重大事故等対処設備<sup>※2</sup>に属する機器および構造物とし、配管計装線図（P&ID）、インターロックブロック線図、展開接続図、工事計画認可申請書関係書類<sup>※3</sup>を基に抽出する。

なお、機器単位で長期にわたり使用しないもの（「高経年化対策実施基準<sup>※4</sup>2008 版」6.3.1 で除外対象としているもの）は、機器ごと評価対象から除外した。具体的には、使用により機器単位で取り替える燃料集合体等が該当する。

※1：「発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針（平成 2 年 8 月 30 日原子力安全委員会決定）」

※2：「実用発電用原子炉及びその附属施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則（平成 25 年原子力規制委員会規則第 5 号）」第 43 条第 2 項に規定される常設重大事故等対処設備。

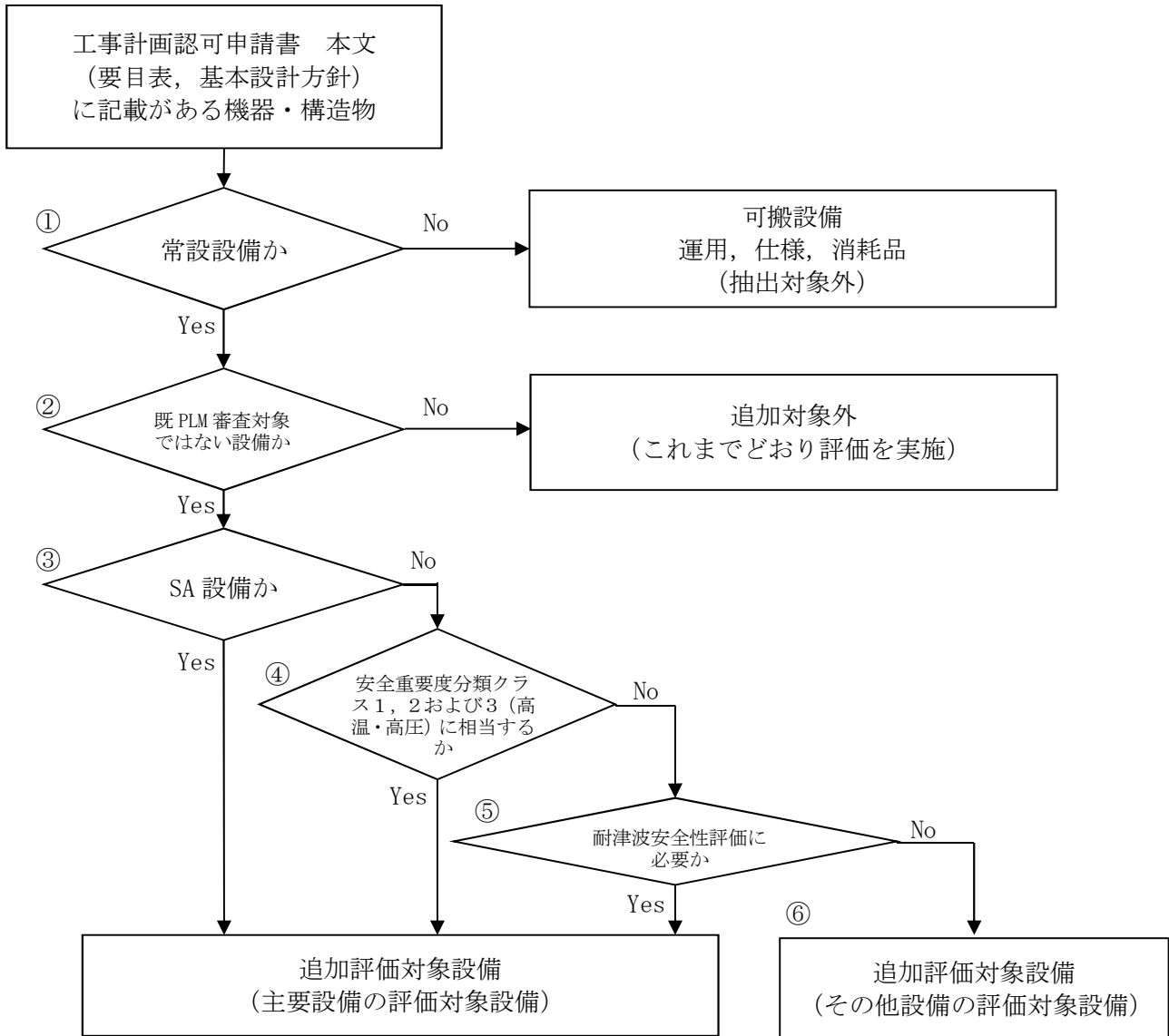
※3：保安規定変更認可申請時は平成 25 年 12 月 25 日付の工事計画認可申請書関係書類を基に抽出した。

※4：日本原子力学会標準「原子力発電所の高経年化対策実施基準」

### 2) 新規制基準適合性審査として新たに評価が必要な機器・構造物の抽出手法

新規制基準適合性審査として新たに評価が必要な設備の抽出として、工事計画認可申請を踏まえ、新たに高経年化技術評価に追加する必要がある設備については、工事計画認可申請書本文（要目表、基本設計方針）に記載の全ての設備の中から、次ページのフローにて抽出する。なお、本フローにより抽出されない設備についても、展開接続図を用い抽出する。





追加評価対象設備抽出フロー

【抽出手順】

- ① 常設設備を追加評価の対象とする。可搬設備については、劣化や不具合等が認められた場合、取替等による保全を行うものであるため、長期の使用を考慮した高経年化技術評価の対象外とする。また、評価対象設備の抽出であるため、設備でない記載（運用、仕様、消耗品）は対象外とする。
- ② 既審査対象ではない設備を追加設備の対象とする。  
上記①、②で抽出された設備を追加評価の対象設備とし、以下に基づき主要設備とその他設備の評価対象設備に分類する。
- ③ 重大事故等対処設備（SA 設備）は追加評価対象設備とする。
- ④ ③以外の設備のうち、重要度分類指針における安全重要度クラス 1, 2 および 3（高温、高圧）に相当すると考えられる設備は、主要設備の評価書対象設備とする。
- ⑤ ④以外の設備のうち、耐津波安全性評価に必要な設備は追加評価対象設備とする。
- ⑥ ⑤以外の設備は、その他設備の評価対象設備とする。

## (2) 機器のグループ化・代表機器の選定

- 1) 抽出した機器を 15 機種<sup>※1</sup>に分類（カテゴリ化）し、機種ごとに評価。
- 2) 評価対象機器について合理的に評価するため、構造（型式等）、使用環境（内部流体等）、材料等により、「高経年化対策実施基準 2008 版」附属書 A（規定）の「経年劣化メカニズムまとめ表」に基づき、対象機器を分類しグループ化した。なお、最新知見として「高経年化対策実施基準 2015 版」附属書 A（規定）の「経年劣化メカニズムまとめ表」も反映している。
- 3) グループ化した対象機器から重要度、使用条件、仕様等により各グループの代表機器（以下、「代表機器」という。）を選定し、代表機器で評価した結果をグループ内の全機器に水平展開するという手法で全ての機器について評価を実施した。ただし、代表機器の評価結果をそのまま水平展開できない経年劣化事象については個別に評価を実施した。

※1：15 機種とはポンプ、熱交換器、ポンプモータ、容器、配管、弁、炉内構造物、ケーブル、送受電設備・発電設備、タービン設備、コンクリート構造物および鉄骨構造物、計測制御設備、空調設備、機械設備、電源設備の 15 機種である。

なお、15 機種のうち送受電設備・発電設備については、主要設備の評価対象機器に抽出されなかった。

## (3) 高経年化対策上着目すべき経年劣化事象の抽出

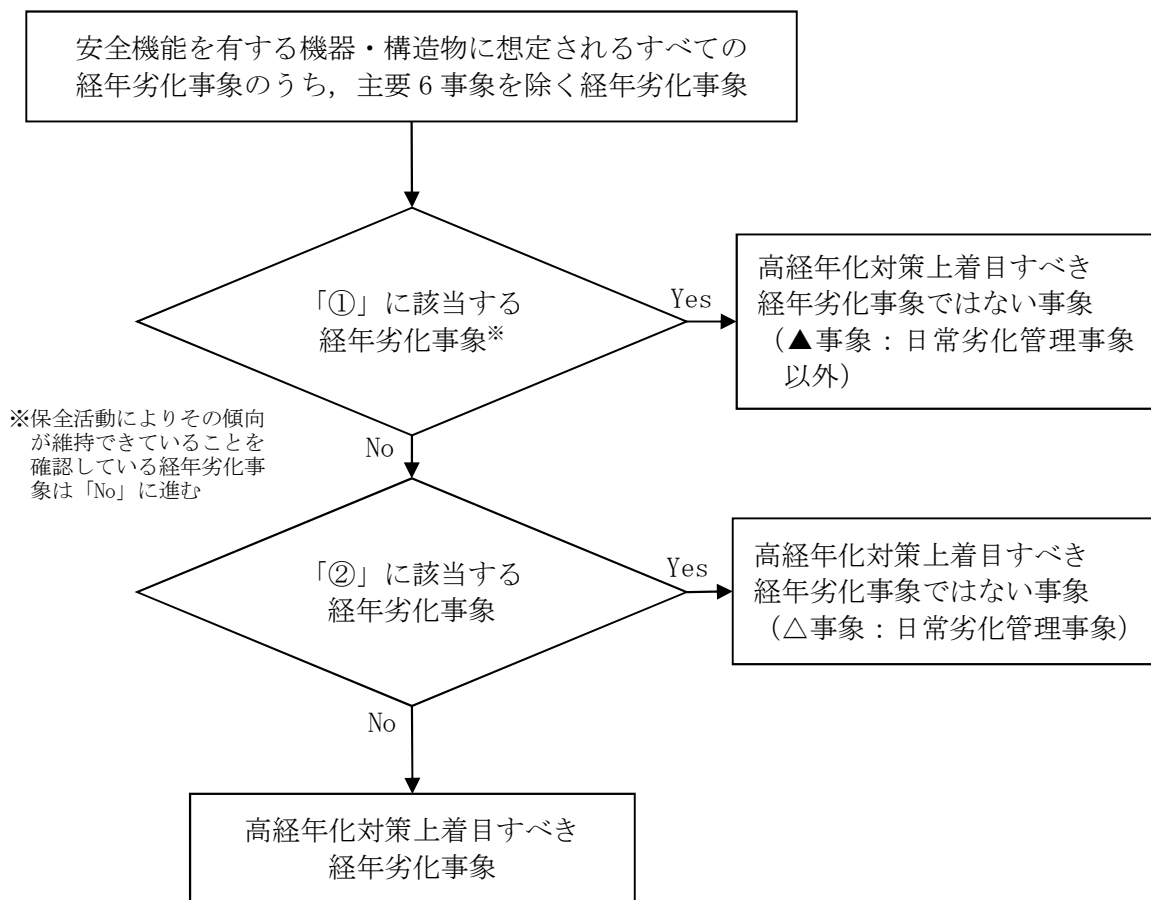
- 1) 選定された評価対象機器の使用条件（型式、材料、環境条件等）を考慮し、「高経年化対策実施基準 2008 版」附属書 A（規定）の「経年劣化メカニズムまとめ表」に基づき、経年劣化事象と部位の組み合わせを抽出した。なお、最新知見として「高経年化対策実施基準 2015 版」附属書 A（規定）の「経年劣化メカニズムまとめ表」も反映している。
- 2) 主要 6 事象<sup>※1</sup>については、原則、高経年化対策上着目すべき経年劣化事象（○事象）とし、それ以外の経年劣化事象のうち、下記①、②のいずれかに該当する場合は、高経年化対策上着目すべき経年劣化事象ではない事象として整理した。具体的な整理のフローは次ページのとおり。

①現在までの運転経験や使用条件から得られた材料試験データとの比較等により、今後も経年劣化の進展が考えられない、または進展傾向が極めて小さいと考えられる経年劣化事象（▲事象：日常劣化管理事象以外）

②想定した劣化傾向と実際の劣化傾向の乖離が考えがたい経年劣化事象であって、想定した劣化傾向等に基づき適切な保全活動を行っているもの<sup>※2</sup>（△事象：日常劣化管理事象）

※1：原子力規制委員会の「高経年化対策実施ガイド」に示された、低サイクル疲労、中性子照射脆化、照射誘起型応力腐食割れ、2 相ステンレス鋼の熱時効、電気・計装品の絶縁低下、コンクリートの強度低下および遮へい能力低下をいう。

※2：①に該当する経年劣化事象であるものの、保全活動によりその傾向が維持できていることを確認しているものを含む。



高経年化対策上着目すべき経年劣化事象ではない事象の分類フロー

- ①現在までの運転経験や使用条件から得られた材料試験データとの比較等により、今後も経年劣化の進展が考えられない、または進展傾向が極めて小さいと考えられる経年劣化事象。
- ②想定した劣化傾向と実際の劣化傾向の乖離が考えがたい経年劣化事象であって、想定した劣化傾向等に基づき適切な保全活動を行っているもの(①に該当する経年劣化事象であるものの、保全活動によりその傾向が維持できていることを確認しているものを含む)。

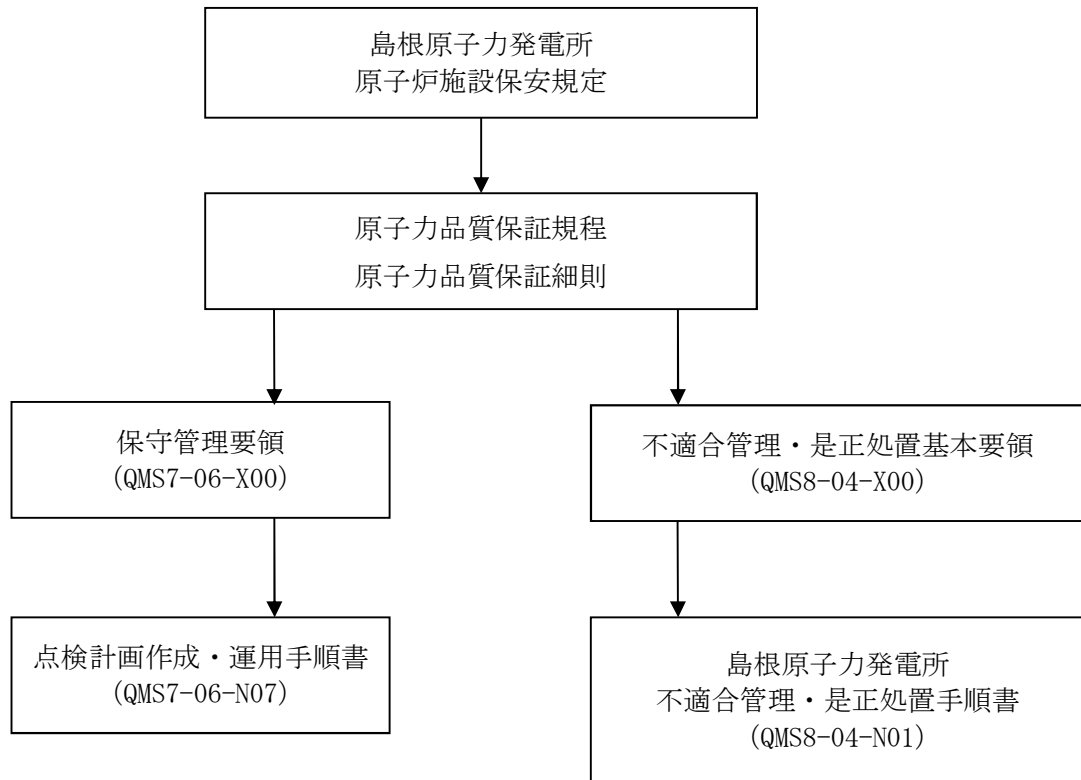
### 3) 日常劣化管理事象の保全管理に係る社内文書および実施体制について

原子力発電所の保全では、系統・機器・構造物の経年劣化が徐々に進行して最終的に故障に至ることのないよう、定期的な検査や点検等により経年劣化の兆候を早期に検知し、必要な処置を行い、事故・故障を未然に防止している。

当社は、運転監視、巡視点検、定期的な検査および点検により設備の健全性を確認し、経年劣化等の兆候が認められた場合には詳細な調査および評価を行い、補修、取替等の保全を実施している。特に長期の使用によって発生する経年劣化事象については、点検により経年的な変化の傾向を把握し、故障に至る前に計画的な保全を実施している。

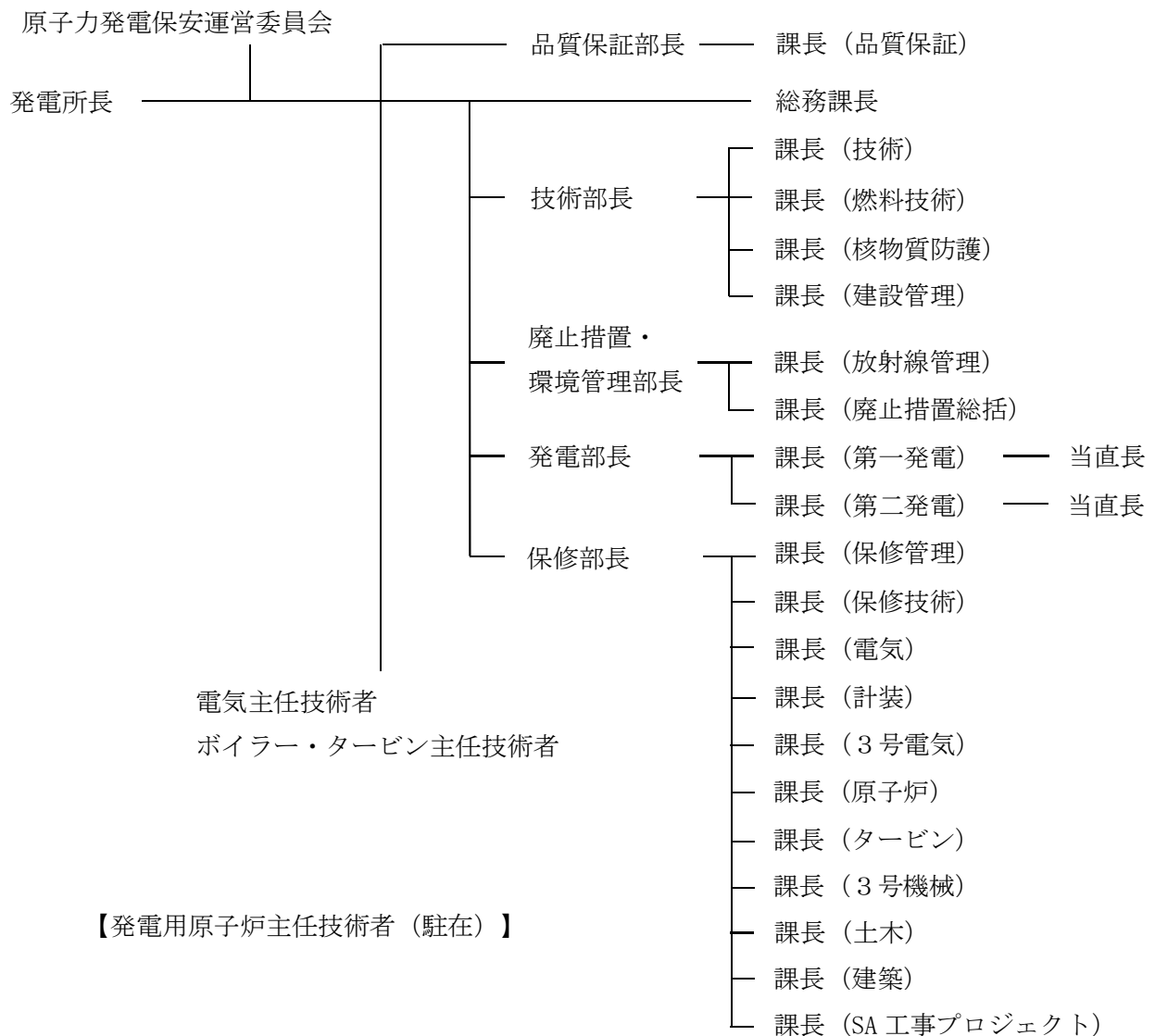
具体的には、国が技術的な妥当性を評価し、「実用炉規則」第81条第1項に掲げる保守管理に係る要求事項を満たすものとなった「原子力発電所の保守管理規程（JEAC4209-2007）」に基づき、保安規定（第106条保守管理計画）を定めている。

また、保安規定に従い、保守管理を含む保安活動に必要な手順を所定の手続きに従って作成される品質マネジメントシステム（以下、「QMS」という。）文書として定めており、保守管理に関する社内文書としては次ページの体系図に示すとおり策定している。また、次々ページの体制図に従い保守管理を実施している。



保守管理に関する社内文書類体系図

- ・原子力品質保証規程，原子力品質保証細則  
当社の QMS について定めている。
- ・保守管理要領（QMS7-06-X00）  
島根原子力発電所を構成する構築物，系統および機器の信頼性を確保するために，その供用期間中および起動試験期間中に実施する保守管理に関する基本的事項について定めている。
- ・不適合管理・是正処置基本要領（QMS8-04-X00）  
業務・原子炉施設に対する要求事項に適合しない状況が放置されることを防ぐため不適合に関する管理方法について定めるとともに，不適合の再発防止に関する管理方法を定めている。
- ・点検計画作成・運用手順書（QMS7-06-N07）  
「保守管理要領」に基づき，点検計画の策定および変更に関する手順について定めている。
- ・島根原子力発電所 不適合管理・是正処置手順書（QMS8-04-N01）  
「不適合管理・是正処置基本要領」に基づき，不適合管理・是正処置の具体的な管理手順を定めている。



保安管理体制図

「島根原子力発電所 原子炉施設保安規定」第5条（保安に関する職務）より抜粋

- ・課長（品質保証）は、発電所における品質保証活動の総括および定期事業者検査の総括に関する業務を行う。
- ・課長（燃料技術）は、原子炉の安全管理および燃料の管理に関する業務を行う。
- ・当直長は業務を所管している課長（第一発電）または課長（第二発電）のもとで原子炉施設の運転操作等に関する当直業務を行う。
- ・課長（保守管理）は、原子炉施設の改造工事および保守に関する業務のうち計画・管理に係る業務ならびに初期消火活動のための体制の整備に関する業務を行う。
- ・課長（保守技術）は、原子炉施設の改造工事および保守に関する業務のうち高経年化対策に係る業務および保全計画に関する業務を行う。
- ・課長（電気）は、2号炉原子炉施設のうち電気設備の改造工事および保守に関する業務を行う。
- ・課長（計装）は、2号炉原子炉施設のうち計測制御設備の改造工事および保守に関する業務を行う。
- ・課長（原子炉）は、2号炉原子炉施設のうち原子炉、放射性廃棄物処理設備および空調換気設備の改造工事および保守に関する業務を行う。

- 課長（タービン）は、2号炉原子炉施設のうちタービンおよび弁・配管設備の改造工事および保守に関する業務を行う。
- 課長（土木）は、原子炉施設のうち土木関係設備の改造工事および保守に関する業務を行う。
- 課長（建築）は、原子炉施設のうち建築関係設備の改造工事および保守に関する業務を行う。
- 課長（SA工事プロジェクト）は、重大事故等対策工事に関する業務を行う。

#### (4) 経年劣化事象に対する技術評価

抽出した高経年化対策上着目すべき経年劣化事象に対する技術評価を以下の手順および下図のとおり実施する。評価期間は60年使用を仮定する。

##### 1) 健全性評価

傾向管理データによる評価、最新の技術的知見に基づいた評価および解析等の定量評価を用いて評価をする。

##### 2) 現状保全

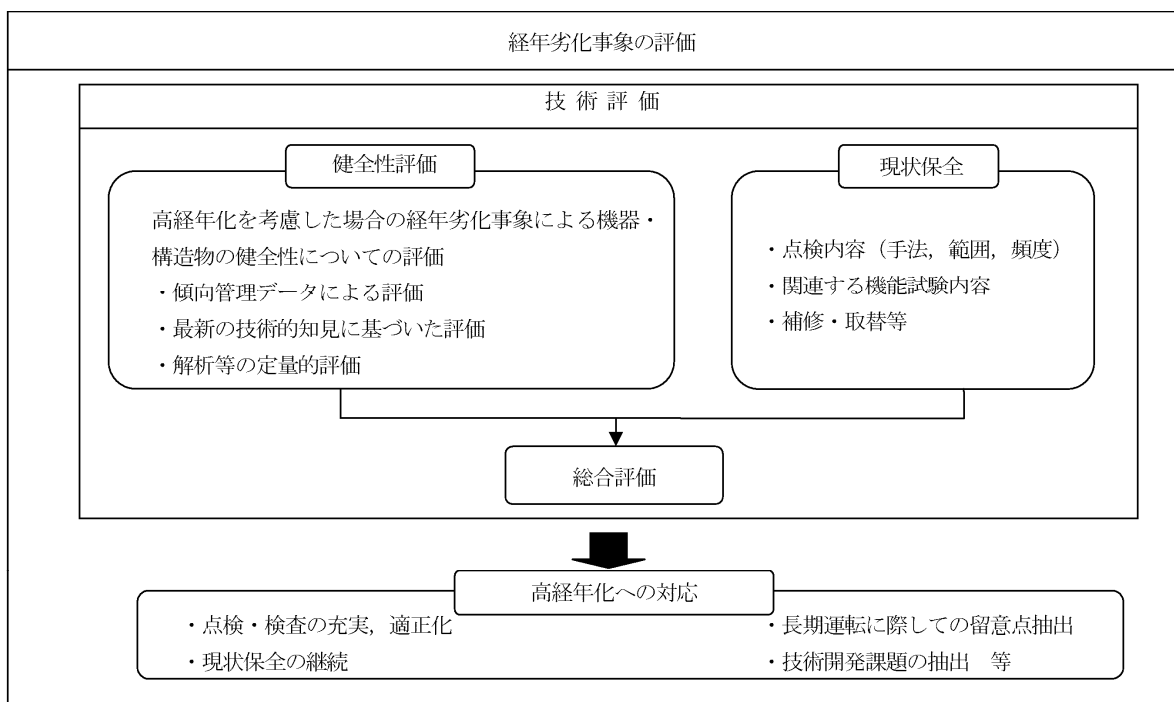
評価対象部位に実施している現状保全（点検内容、関連する機能試験内容、補修・取替等）について整理する。

##### 3) 総合評価

上記1)、2)をあわせて現状保全の妥当性等を総合的に評価する。具体的には、健全性評価結果と整合の取れた点検等が、現状の発電所における保全活動で実施されているか、また、点検手法は当該の経年劣化事象の検知が可能か等を評価する。

##### 4) 高経年化への対応

高経年化対策の観点から充実すべき点検・検査項目、現状保全を継続すべき項目、充実すべき技術開発課題等を抽出する。





(5) 耐震安全性評価

耐震安全性評価は、以下の項目を含めて作成する。

項目	
対象機器のグループ化 <sup>※1</sup> および代表機器の選定 <sup>※2</sup>	
耐震安全性評価上考慮する必要がある経年劣化事象の抽出結果 <sup>※3</sup>	
技術評価における検討結果の整理	
第1段階	「△事象」を抽出, 「▲事象」は評価対象外
第2段階	「△事象」のうち, 対象機器の振動応答特性上または構造・強度上の影響
	「有意」を抽出 「軽微もしくは無視」は評価対象外
その他の評価対象外 (例)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 耐震性と関連しない経年劣化事象 (例: 絶縁特性低下)</li> <li>・ 目視点検等の実施⇒事象発生抑制が可能なもの。</li> </ul>	
耐震安全性評価上考慮する必要がある経年劣化事象に対する耐震安全性評価 (抽出した経年劣化事象毎について実施。評価に際しては, 「原子力発電所耐震設計技術指針 (JEAG4601-1987)」等に基づき実施)	
評価対象機器への展開	
動的機能維持評価結果 (動的機能の維持が要求される対象機器)	
高経年化対応項目の抽出結果	
追加保全策の策定	

※1: 技術評価で実施したグループ化, 代表機器の選定結果を用いる。

※2: グループ内の対象機器に代表機器より耐震重要度分類が上位のものがある場合, 最上位のもの1つを代表機器に加える。

※3: 着目すべき経年劣化事象以外は, 2段階により抽出を行う。

(6) 耐津波安全性評価

耐津波安全性評価は、以下の項目を含めて作成する。

項目		
対象機器のグループ化 <sup>※1</sup> および代表機器の選定 <sup>※2</sup>		
耐津波安全性評価上考慮する必要がある経年劣化事象の抽出結果 <sup>※3</sup>		
第1段階	「△事象」を抽出, 「▲事象」は評価対象外	
第2段階	「△事象」のうち, 対象機器の強度や	「有意」を抽出
	止水性への影響を及ぼす経年劣化事象 の耐津波安全性評価上の影響	「軽微もしくは無視」は評価対象外
耐津波安全性評価上考慮する必要がある経年劣化事象に対する耐津波安全性評価		
評価対象機器への展開		
高経年化対応項目の抽出結果		
追加保全策の策定		

※1：浸水防護施設に属する機器等の津波防護施設，浸水防止設備，津波監視設備等の区分で分類しグループ化を行う。

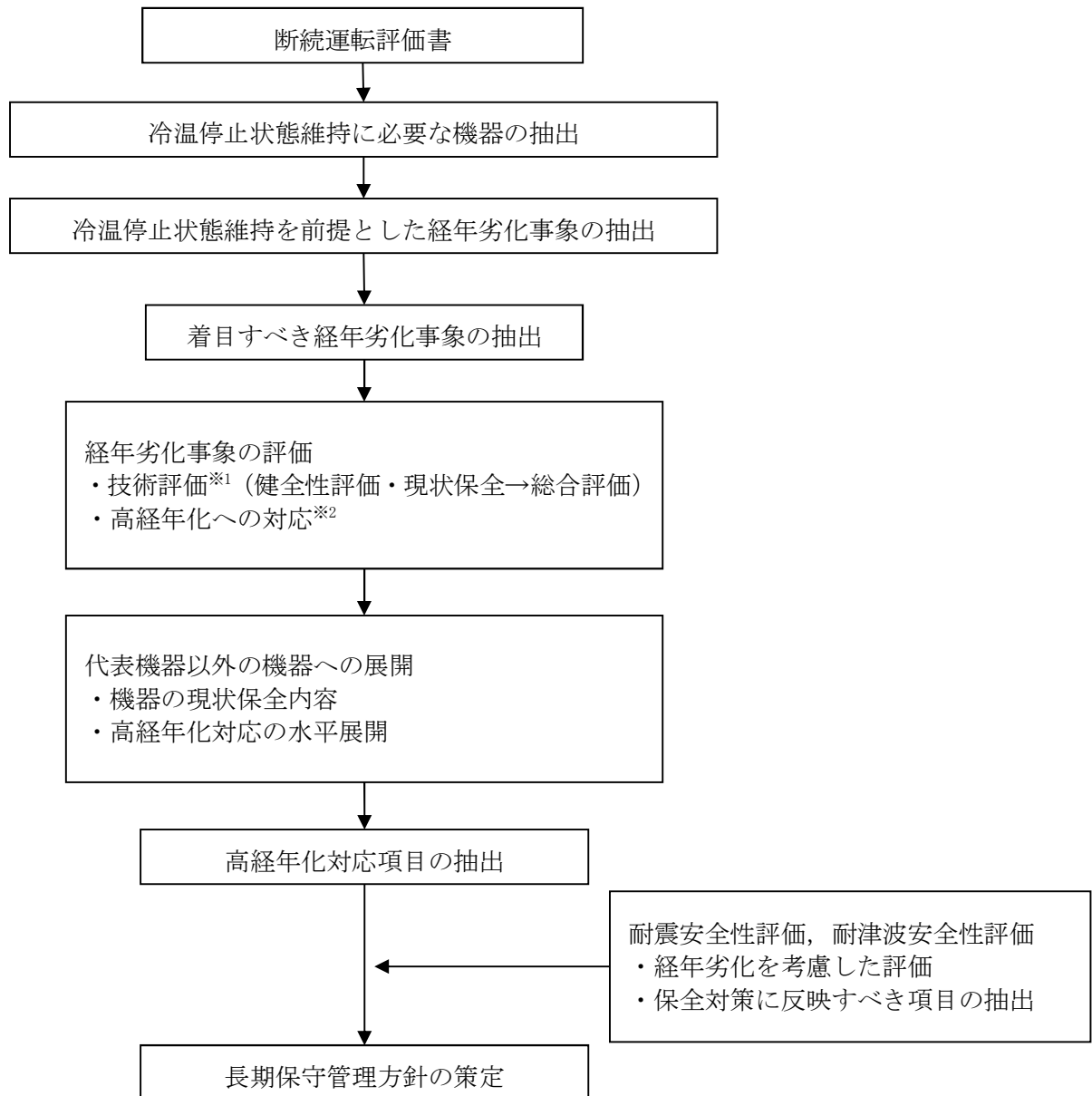
※2：施設状況，構造，経年劣化事象の発生の可能性によりグループの代表機器を選定する。

※3：着目すべき経年劣化事象以外は，2段階により抽出を行う。

(7) 冷温停止を前提とした評価

下図に冷温停止を前提とした技術評価フローを示す。

なお、冷温停止評価においては、断続運転評価の知見を活用し、冷温停止で特に評価が必要となる事象を抽出し、それらの条件を加味した評価を実施した。



※1：系統レベルの機能確認を含む。

※2：高経年化対応としての保全のあり方，技術開発課題を検討する。

高経年化技術評価フロー（冷温停止評価）

## (8) 運転経験および最新知見の反映

これまでの高経年化技術評価を参考にすると共に、スクリーニング未実施の島根原子力発電所1号炉の40年目の高経年化技術評価実施以降～2016年3月の国内外の運転経験、最新知見について、これまで実施した先行プラントの技術評価書を参考にし、高経年化技術評価への影響を整理し、技術評価への反映要否を判断した。なお、スクリーニング対象期間以降の最新知見、運転経験については、審査の状況等も踏まえ、適宜反映する。

### 1) 運転経験

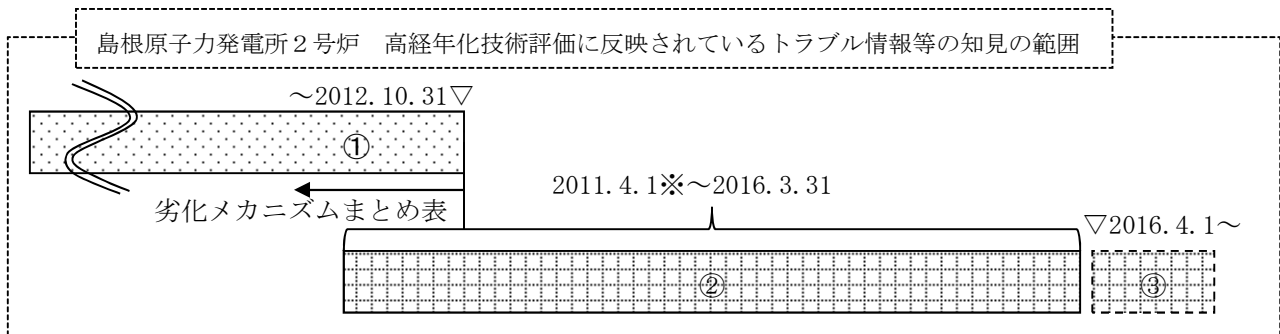
国内運転経験として、原子力安全推進協会が運営している原子力発電情報公開ライブラリー（以下、「NUCIA 情報」という。）において公開されている「トラブル情報」「保全品質情報」「その他情報」を、海外運転経験として、NRC(米国原子力規制委員会；Nuclear Regulatory Commission)のBulletin, Generic Letter, Information Notice およびRegulatory Issue Summaryを対象としてスクリーニングを実施。

期間中の情報において、新たに高経年化技術評価書に反映すべき運転経験を抽出する。

### 2) 最新知見

スクリーニング対象期間中に発行された原子力規制委員会文書および日本機械学会、日本電気協会、日本原子力学会の規格・基準類ならびに原子力規制委員会のホームページに公開されている試験研究の情報等を検討し、高経年化技術評価を実施する上で、新たに反映が必要な知見を抽出する。

なお、島根原子力発電所2号炉の高経年化技術評価に反映されているトラブル情報等については以下のとおりである。



- ※2011. 4. 1 より前は島根原子力発電所1号炉40年目高経年化技術評価時に調査したトラブル情報等
- ①～2012. 10. 31のトラブル情報等（関西電力美浜2号炉40年目高経年化技術評価時までの知見）  
劣化メカニズムまとめ表に整理されており、このまとめ表を活用
  - ②2011. 4. 1～2016. 3. 31のトラブル情報等  
島根原子力発電所2号炉高経年化技術評価のためにスクリーニングを実施
  - ③2016. 4. 1以降の最新知見、運転経験については、社内検討結果を踏まえ適宜反映していく。

トラブル情報等による知見については、島根原子力発電所2号炉のスクリーニング対象期間中のものはスクリーニング結果から評価に反映が必要かどうかを判断した結果、経年劣化に起因する案件は799件抽出されたが、高経年化対策実施基準2008版（2015版を含む）の経年劣化メカニズム

まとめ表にて取り込まれている事象であり，新たに反映すべき運転経験は0件であった。スクリーニング対象期間以降に新たに反映すべき運転経験が1件確認されたため以下に示す。

- ・島根原子力発電所2号機中央制御室空調換気系ダクトの腐食事象について

NUCIA 登録（更新）状況：平成30年2月5日「最終」報告

上記の事象については，対策品への取替および保全の追加を評価書に反映した。事象の概要については別紙3に示す。

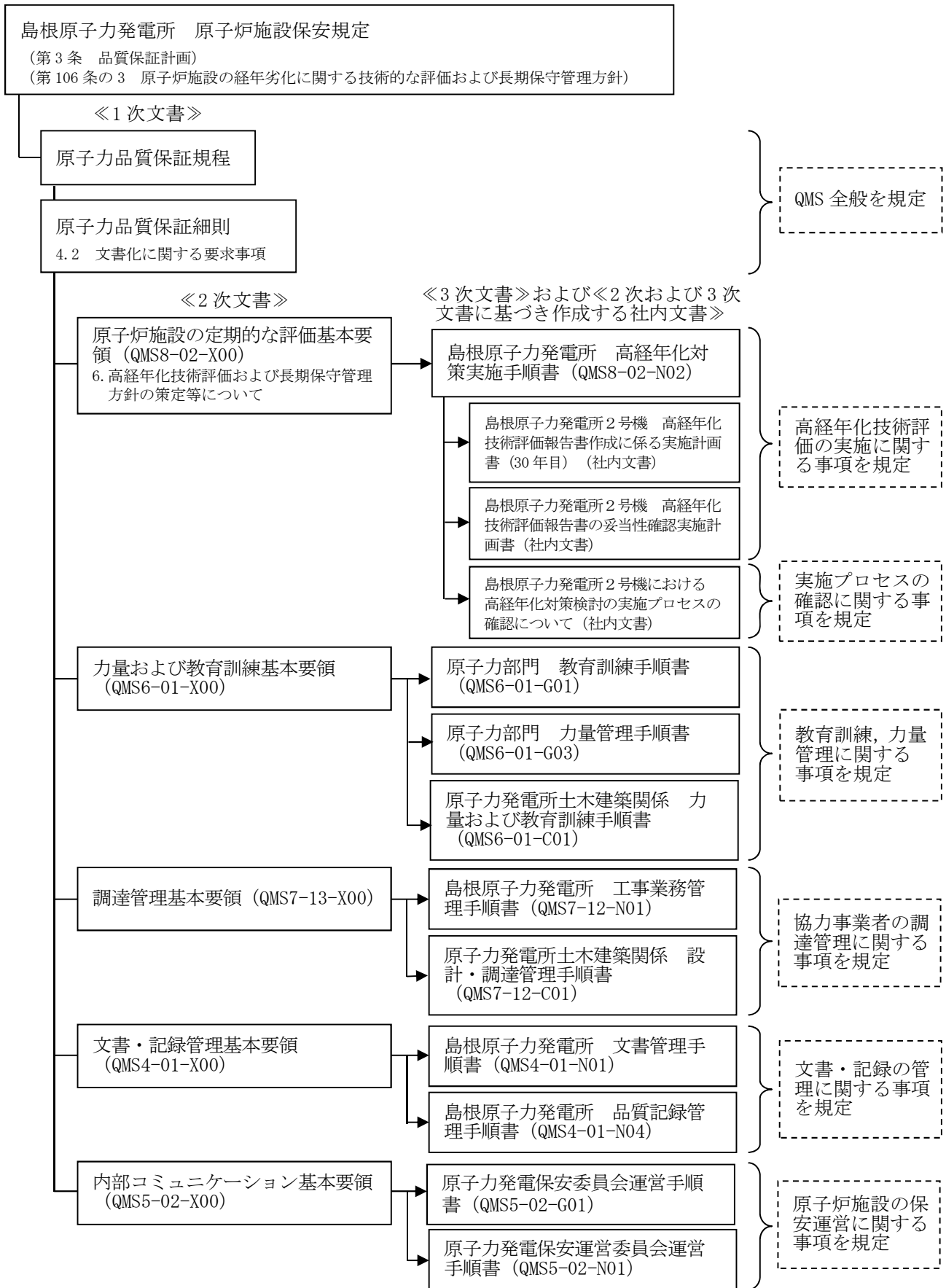
なお，今回のスクリーニング対象期間において NUCIA 情報が「最終」報告となっていない事例が47件あり，未完結事例となっている。この未完結事例については，適時更新情報を確認していくが，以下の1件については，今後，高経年化技術評価への反映要否の検討が必要な事例として整理しており，必要に応じて高経年化技術評価書の見直しを行う。

- ・島根原子力発電所2号機アクセスホールカバーのひびの発生について

NUCIA 登録（更新）状況：現時点（平成30年5月16日時点）「中間」報告

(9) 高経年化技術評価における文書および記録の管理

高経年化技術評価に関する主な QMS に係る文書体系および各文書の主な役割は以下のとおり。  
また、実施手順書および実施計画書について、目的、規定事項等を示す。



高経年化技術評価に関する主な QMS 文書体系図

1) 発電所の保安活動全般を規定する主な文書類

①原子力品質保証規程（1次文書）

「日本電気協会原子力発電所における安全のための品質保証規程（JEAC4111-2009）」を適用規格とし、QMSを確立し、実施し、評価確認し、継続的に改善することを目的とした品質マニュアル。

②原子力品質保証細則（1次文書）

原子力品質保証規程で確立したQMS（安全文化を醸成するための活動を含む。）の細部事項を定めているもの。

2) 高経年化技術評価の実施に関する事項を規定する主な文書類

①原子炉施設の定期的な評価基本要領（2次文書）

高経年化対策等の定期的な評価およびその確実な実施を定めているもの。

②島根原子力発電所 高経年化対策実施手順書（3次文書）

高経年化技術評価の実施にあたり、原子炉施設の経年劣化に関する技術的な評価の実施体制および手順の具体的事項を定めているもの。

③島根原子力発電所2号機 高経年化技術評価報告書作成に係る実施計画書（社内文書）

「島根原子力発電所 高経年化対策実施手順書」に基づき、高経年化技術評価報告書について、その作成手順、体制および工程等を定めた実施計画を策定し社内決定しているもの。

④島根原子力発電所2号機 高経年化技術評価報告書の妥当性確認実施計画書（社内文書）

「島根原子力発電所 高経年化対策実施手順書」に基づき、島根原子力発電所2号炉の高経年化対策の評価方法および評価結果の妥当性について、客観性をもたせるため電源事業本部部长（原子力管理）による確認を受ける手続き等を定めたもの。

3) 実施プロセスの確認に関する事項を規定する主な文書類

①島根原子力発電所2号機における高経年化対策検討の実施プロセスの確認について（社内文書）

「島根原子力発電所 高経年化対策実施手順書」に基づき、島根原子力発電所2号炉の高経年化技術評価の実施プロセスの妥当性について、課長（品質保証）による確認範囲および方法を定めたもの。



4) 教育訓練，力量管理に関する事項を規定する主な文書類

①力量および教育訓練基本要領（2次文書）

原子力安全に関連する業務に従事する要員の力量の明確化および必要な教育訓練に係る共通事項を定めているもの。

②原子力部門 教育訓練手順書（3次文書）

原子力部門の原子力安全に関連する業務に従事する要員の力量の習得に必要な教育訓練，保安教育ならびに，これ以外の原子力発電所の安全・安定運転のために必要な知識・技能の習得とその維持向上を図るための技術訓練等を実施するに当たり必要な事項を明確にしているもの。

③原子力部門 力量管理手順書（3次文書）

原子力部門の原子力安全に関連する業務に従事する要員の力量の習得に必要な教育訓練他の力量の認定に必要な基準を定めるとともに，力量認定の具体的な評価方法と手順を明確にしているもの。

④原子力発電所土木建築関係 力量および教育訓練手順書（3次文書）

土木建築関係の原子力安全に関連する業務に従事する要員の力量の明確化および必要な教育・訓練に係る事項について定めているもの。

5) 調達管理に関する事項を規定する主な文書類

①調達管理基本要領（2次文書）

調達製品に関する要求事項の明確化，供給者の評価，調達製品および役務の管理方法を定めているもの。

②島根原子力発電所 工事業務管理手順書（3次文書）

原子炉施設の保安全管理業務および建設管理業務に適用される調達管理の具体的手順を定めているもの。

③原子力発電所土木建築関係 設計・調達管理手順書（3次文書）

土木建築部門が行う島根原子力発電所の保守管理業務および建設管理業務に適用される調達管理の具体的手順を定めているもの。

6) 文書・記録の管理に関する事項を規定する主な文書類

①文書・記録管理基本要領（2次文書）

QMS で必要とされる文書および品質記録の管理方法について定めているもの。

②島根原子力発電所 文書管理手順書（3次文書）

QMS で必要とされる文書の管理方法について定めているもの。

③島根原子力発電所 品質記録管理手順書（3次文書）

QMS で必要とされる品質記録の管理方法について定めているもの。

7) 原子炉施設の保安運営に関する事項を規定する主な文書類

①内部コミュニケーション基本要領（2次文書）

原子力発電保安委員会，原子力発電保安運営委員会等，組織の情報交換・情報共有の場や仕組みについて定めているもの。

②原子力発電保安委員会運営手順書（3次文書）

原子力発電保安委員会の具体的な運営方法を定めているもの。

③原子力発電保安運営委員会運営手順書（3次文書）

島根原子力発電所原子力発電保安運営委員会の具体的な運営方法を定めているもの。

8) 島根原子力発電所 高経年化対策実施手順書

①目的

「原子炉施設の定期的な評価基本要領」に基づき，島根原子力発電所 原子炉施設保安規定に定めた発電用原子炉施設の定期的な評価を適切に実施することを目的とし，発電用原子炉施設の定期的な評価の実施体制および手順の具体的事項を定めたもの。

②適用範囲

「実用炉規則」

・第82条に基づく発電用原子炉施設の経年劣化に関する技術的な評価について適用する。

③主な規定事項

・実施体制

高経年化技術評価の実施体制および役務を定めている。

・最新知見，運転経験

原子力発電所の経年劣化に関する最新知見，運転経験の調査・分析を定めている。

・対象機器，対象期間および評価期間

高経年化技術評価書作成にあたって，対象機器の抽出方法および高経年化技術評価の期間を定めている。

・技術評価の手順

i) 対象機器のグループ化および代表機器の選定

「高経年化対策実施基準 2008 版」附属書 A（規定）の「経年劣化メカニズムまとめ表」に基づき，対象機器を構造，使用環境（内部流体，設置場所等），材料等により分類し，グループ化を行う。なお，最新知見として「高経年化対策実施基準 2015 版」附属書 A（規定）の「経年劣化メカニズムまとめ表」も反映している。

グループ化した対象機器から重要度，運転状態，使用条件（使用温度，使用圧力等）等経年劣化事象の発生の可能性により各グループの代表機器を選定する。

ii) 技術評価の実施

具体的な技術評価手順（経年劣化事象の抽出，技術評価，高経年化対応項目の抽出，耐震安全性評価，耐津波安全性評価等）の実施手法について定めている。

・保守管理に関する方針の策定

技術評価の結果から抽出された保守管理の項目に対して、実施時期を分類し、保守管理に関する方針の策定、充実すべき技術開発課題を抽出することを定めている。

- ・高経年化技術評価書の作成  
章立て、章の構成例、記載内容等を記載。
- ・妥当性確認  
高経年化技術評価書の妥当性確認の実施を定めている。
- ・実施プロセス確認  
高経年化技術評価の実施プロセス確認の実施を定めている。

#### 9) 島根原子力発電所 2 号機 高経年化技術評価報告書作成に係る実施計画書 (30 年目)

##### ①目的

高経年化技術評価を実施するにあたり、実施手順・実施体制、実施スケジュール等の計画を定め、計画的な業務の実施を図るもの。

##### ②規定事項

- ・実施体制、実施手順  
実施体制について、設備を管理する課の所属員のうち力量が管理以上のものを纏め者として、中級以上の力量を有するものまたは該当設備の担当者を評価担当者として割り当てて実施するものと定めている。  
実施手順について、高経年化対策実施手順書に基づいて実施するものと定めている。
- ・スケジュール  
高経年化技術評価書作成について、申請の目標時期を定め、申請に至るまでの詳細なスケジュールを定めている。

##### ③計画書の制定および改定

高経年化技術評価実施に係る全体調整等の業務を行う 保守部課長（保守技術）が計画書案を作成・起案し、 保守部長の確認を経て発電所長が承認する。

## (10) 力量管理および協力事業者の管理

### 1) 力量管理について

#### ①目的

課長（技術，燃料技術，放射線管理，保修管理，電気，計装，原子炉，タービン，SA 工事プロジェクト）（以下、「設備主管課長」という。）は，所属員のうち力量が管理以上のものを纏め者として，中級以上の力量を有するものまたは該当設備の担当者を評価担当者として指名する。

保修部長は，実施体制を管理し，纏め者または担当者に変更が生じた場合は適宜体制の見直しを行う。

#### ②力量の明確化

原子力安全に関連する業務に従事する要員の必要な力量基準を「原子力部門 力量管理手順書」および「原子力発電所土木建築関係 力量および教育訓練手順書」にて明確にしている。

#### ③力量の評価・認定

設備主管課長は，原子力安全に関連する業務に従事する所属員に対して，必要な力量が付加されていることを，力量基準に従い評価・認定する。

### 2) 協力事業者の管理について

契約・委託に係る社内規程に基づき，高経年化技術評価に係る委託を行った以下の協力事業者（日立 GE ニュークリア・エナジー株式会社，日本ガイシ株式会社）の管理を実施。

#### ①協力事業者の評価

協力事業者が当社の要求事項に対して必要な技術力・ノウハウ等を有していることについて評価する。

#### ②調達文書の作成

協力事業者が行うべき業務の要求事項を明確にした調達分書（仕様書等を含む）を作成し，協力事業者へ提示する。

#### ③品質保証体制等の確認

協力事業者に対しては，品質保証計画書により，品質保証体制等に問題の無いことを確認する。

#### ④調達製品の検証

調達要求事項に従って，協力事業者から文書等を提出させ，仕様書を満足していることを審査する。必要に応じ，契約内容に基づいて，業務委託の履行状況を把握するものとしている。

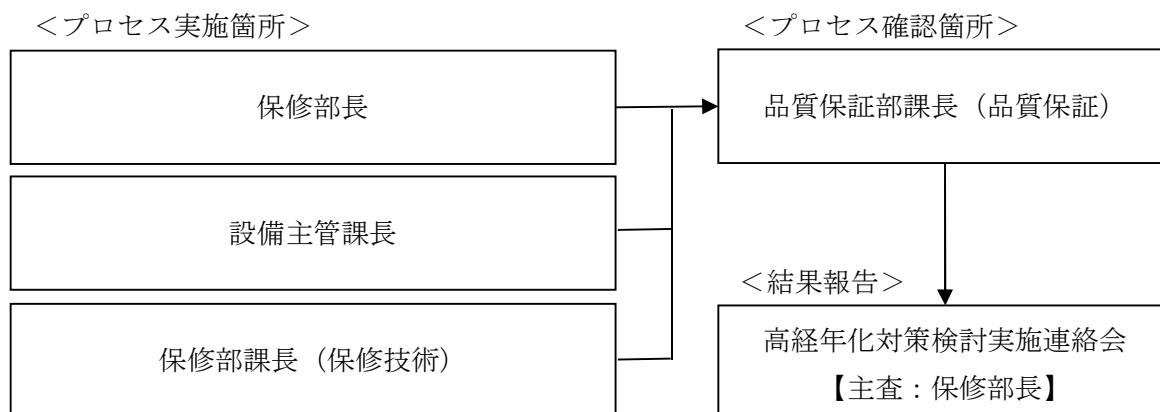
## (11) 高経年化技術評価の実施プロセス確認

### 1) 目的

島根原子力発電所2号炉の高経年化技術評価に関する実施プロセス確認として、島根原子力発電所2号炉の高経年化技術評価および長期保守管理方針の策定に関するプロセスについて、「島根原子力発電所 高経年化対策実施手順書」に基づき実施されていることを確認する。

### 2) 体制

実施プロセス確認に係る体制は以下のとおり。



実施プロセス確認体制図

### 3) 実施プロセス確認の実施方法

#### ①確認方法の作成

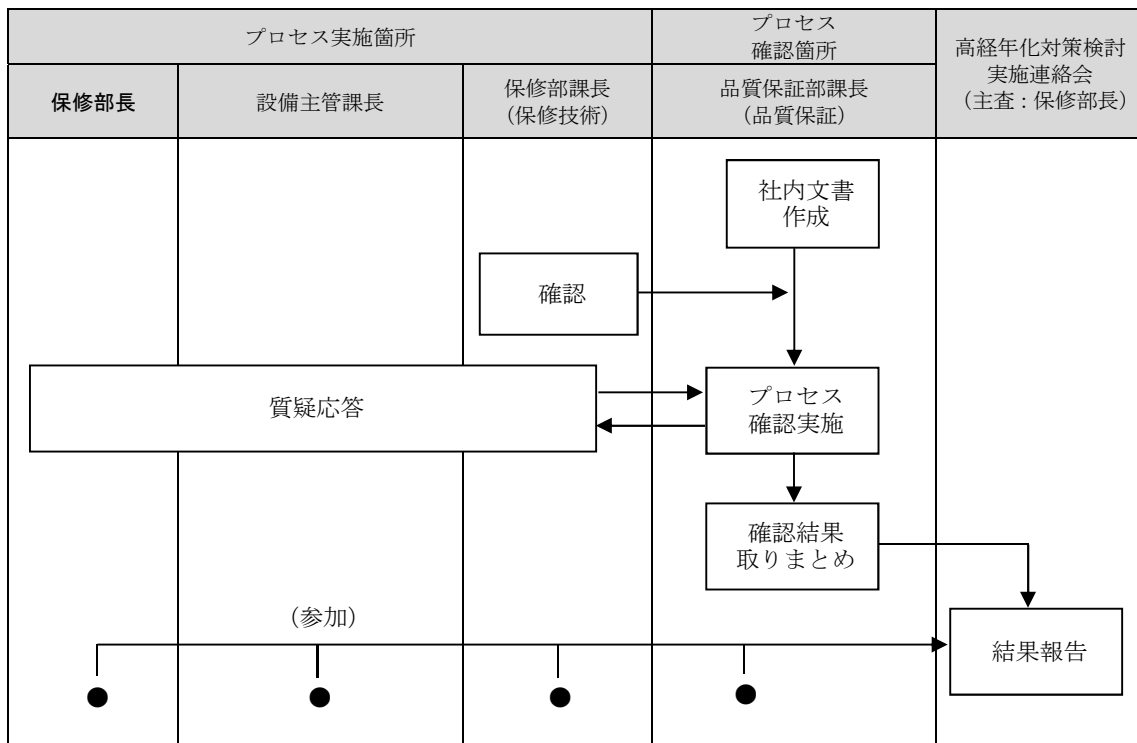
品質保証部課長（品質保証）は島根原子力発電所2号炉の高経年化技術評価および長期保守管理方針の作成に関するプロセスの確認方法を定めた社内文書を作成する。保修部課長（保修技術）は実施プロセス確認にあたって確認するプロセスに不足が無いことを確認する。

#### ②プロセス確認と確認結果のまとめ

実施プロセスの確認方法を定めた社内文書「島根原子力発電所2号機における高経年化対策検討の実施プロセスの確認について」に基づき、品質保証部課長（品質保証）は、確認資料およびプロセス実施箇所との質疑応答により実施プロセスを確認する。

品質保証部課長（品質保証）は、上記の実施内容を基に確認結果を取りまとめ、高経年化対策検討実施連絡会（主査：保修部長）に報告する。

実施プロセス確認に係る業務フローを以下に示す。



実施プロセス確認業務フロー

4) 実施プロセス確認結果

品質保証部課長（品質保証）は、島根原子力発電所2号炉の高経年化技術評価および長期保守管理方針の策定に関するプロセスは、「島根原子力発電所 高経年化対策実施手順書」に基づき、実施されていることを確認した。

## 2.3 保安全管理活動

### (1) 劣化事象に関する保安全管理の実施状況および保全の有効性評価の実施状況

劣化事象に関する保安全管理の実施状況については、別紙1に示す。

保全の有効性評価については、定期的な評価のインプット情報の一つである「トラブル等の運転経験」を用い、島根原子力発電所で経験したトラブル（不適合）を基に保全の有効性評価が実施されていることを確認し、これにより島根原子力発電所の保全活動は、継続的な改善につながる活動を行っている。

#### 1) トラブル情報<sup>※1</sup>（不適合情報）の抽出

経年劣化に関する保全が有効でなかったため生じたと考えられる「トラブル情報」を抽出する。

抽出結果：島根原子力発電所2号機中央制御室空調換気系ダクトの腐食事象について

上記のトラブル情報についての原因および再発防止策については別紙3に示す。

※1：NUCIA（原子力施設情報公開ライブラリ）にて法令に基づき国への報告が必要となる情報として区分される情報。

### (2) 日常劣化管理に関する劣化傾向の把握

日常劣化管理事象について、劣化の傾向を把握するため、機器の分解点検等における点検手入れ前データの取得および機器の運転状態における各パラメータについて、状態監視技術を適用または巡視点検を実施することにより、劣化傾向の把握を行い、保全の有効性評価へのインプット情報としている。

また、点検手入れ前のデータの取得に関する社内文書を定め運用している。

#### 1) 点検手入れ前のデータの取得

【QMS 規程：点検手入れ前状態データ採取・評価手引書（QMS7-06-N11）】

【保全の有効性評価結果の記録】

劣化を回復させる作業を伴う点検を実施する機器、設定値等のずれを調整する機器および同一機種に取り替える機器について点検手入れ前状態データを採取している。

- ・機械設備関係：ポンプ、弁、機械設備（ディーゼル機関等）
- ・電源設備関係：ポンプモータ（電動機）等

至近の点検手入れ前のデータの取得状況および保全の有効性評価の実施状況の例を次ページに示す。

点検手入れ前状態記録(1)

島根原子力発電所第2号機 第17回定検			請負会社: 中電プラント株式会社			
機器番号	P225-1A		機器名称	A-ほう酸水注入ポンプ		
データ採取日(状態コード付け日)	H24.2.29		データ採取者			
前回データ採取日(状態コード付け日)	-		データ採取者	-		
状態コード(該当にレ点チェック)		状態コード判断理由		データ評価者		
C1	C2	C3	フランジに摩耗及び判定基準を超過する指示模様を確認した為			
	レ					
<p>【状態コード説明】 部品の状態でもっと悪いものを考慮して選択すること。</p> <p>C1: 想定より悪い 前回点検から今回点検までの間に劣化または劣化の進展により機器が機能喪失していたまたはその可能性が考えられる場合 過去に経験したことのない、経年劣化が見られた場合 計測器の測定結果が要求精度を超える場合。</p> <p>C2: 想定通り 前回点検時同様に補修を実施する必要がある劣化または劣化の進展は見られたが、その劣化が機器の機能喪失として顕在化する前に補修により回復させることができる場合 計測器の測定結果が要求精度内である場合。</p> <p>C3: 想定より良い 前回点検時から劣化または劣化の進展が見られない場合 前回点検時同様劣化または劣化の進展は見られるが(点検速報が作成される劣化があっても)、その劣化を補修する必要はなく、継続監視する場合(なお、工程上余裕があり、念のために補修する場合は“想定より良い”とする) 計測器の測定結果が要求精度の0~0.25倍の範囲内である場合。</p>						
点検部位	確認方法 <sup>※1</sup>	劣化形態 <sup>※2</sup> (前回からの進展の有無)	部品の状態 <sup>※3</sup>			備考 (工事記録No.)
			適合	注意	不適合	
1. 分解前 (該当に○を記載)						
機器外表面	外観目視	-	○			SLC-1
2. 分解時(部品単位で外観検査を行う) (該当に○を記載)						
主要構成部品	外観目視	-		○		SLC-1
3. 分解時(寸法測定、非破壊検査等を行う)						
詳細は工事報告書参照	工事報告書No.					
	工事報告書名称	S2-17 原子炉設備ポンプ点検工事 工事報告書				
不具合事項 (有/無)	不具合があった場合、下記に概要を記載し、点検速報、点検記録を添付し、部品の状態(適合、注意、不適合)を記載する。 フランジ外径の摩耗及びUPT検査指示模様有り【点検速報:710E9-MF006参照】					
4. 消耗部品 <sup>※4</sup> 添付の取替部品管理シートを参照						
5. その他気付き事項 状態コードC1, C2の場合、下記に状況を記載すること。						
記載方法						
<p>※1 確認方法: 外観目視、寸法測定、非破壊検査、絶縁抵抗測定等を記載。非破壊検査についてはPT, ET等まで記載。</p> <p>※2 劣化形態: 滲えい跡、傷、腐食、変色等があった場合は該当事象を記載(前回からの事象の進展の有無も記載すること)。異常のない場合は「-」を記載。</p> <p>※3 部品の状態: 以下のいずれかの該当する場合に「○」を記載する。複数該当の場合は悪い方を選択する。詳細は、点検手入れ前データ評価基準(参考)を参照。</p> <p>適合: 特に異常が見られない場合、または前回点検時同様、劣化または劣化の進展が見られるが補修は必要なく継続監視する場合(なお、工程上余裕があり、念のため補修をする場合は“適合”とする)</p> <p>不適合: 前回点検時から今回点検時までの劣化または劣化の進展により対象部品が機能喪失していた場合</p> <p>注意: 前回点検時同様、補修が必要な劣化または劣化の進展が見られた場合</p> <p>※4 消耗部品は全て記載し、可能な限り本様式に沿って状況を記録する。状況の判断に際しては、点検手入れ前データ評価基準(参考)を参照。ただし、点検作業による損傷により判断不可能なものは取付状態での滲えい跡、潤滑油への水の混入等により確認する。どうしても部品状態を確認できないものは確認方法の記載欄へ「/」を記載する。</p>						

点検手入れ前のデータ取得状況(例)



承認		確認		保管期間		設備廃棄後 5 年	
所長		保守部長		保守部（保守技術）（作成）			
				課長		副長	
				担当			

第2号機 第16回保全サイクル  
 保全の有効性評価結果について

H23年12月5日承認

H23年12月5日作成

保守管理要領に基づき、保全の有効性評価を実施した。評価結果は以下のとおりである。

評価期間：22年3月18日～23年9月26日

インプット情報		評価	備考
項目	分類		
保全活動管理指標の監視結果	1.プラントレベル	プラントレベルの指標において、カウントされたものはなく全て目標値内であったことから、現状の保全は有効に機能していることを確認した。	
	2.系統レベル	保安規定第73条（予防保全を目的とした点検・保守を実施する場合）による非待機時間をカウントしたが、全て目標値内であり、現状の保全は有効に機能していることを確認した。	
保全データの推移及び経年劣化の長期的な傾向監視の実績	3.点検手入れ前後データ	点検手入れ前後データについて確認・評価し、劣化の進展が見られず想定より状態が良い機器について点検計画の見直しを別紙-1のとおり行った。また、劣化兆候が見られた機器について点検計画の見直しおよび補修、取替及び改造計画への反映を別紙-1のとおり行った。 それ以外については、現状の保全により問題なく、保全計画へ反映すべき事項はない。	
	4.状態監視データ、運転データ	状態監視データの推移について確認・評価した結果、注意値に達した機器について精密診断を行い、点検実施時期の見直しを別紙-1のとおり行った。また、それ以外の機器は、注意値以下で安定しており、劣化兆候は見られていないため、保全計画へ反映すべき事項はない。 作業依頼票を確認した結果、劣化または劣化の兆候の可能性のあるものについて補修、取替及び改造計画への反映を別紙-1のとおり行った。 なお、17回定検時の点検、補修等の結果を踏まえて必要により点検計画の見直しを検討する。	
	5.経年劣化の長期的な傾向監視の実績	当該号機では、長期保守管理方針を定めていないため、保全計画へ反映すべき事項はない。	
	6.不適合管理レベルに満たない不適合データ	工事報告書の特記事項、改善要望事項を確認した結果、機器の機能・性能に影響を与える恐れがある事象について点検計画の見直しを別紙-1のとおり行った。また、それ以外の機器の機能・性能に影響のない事象については、予防保全の観点から補修、取替及び改造計画への反映を別紙-1のとおり行った。	
トラブルなどの運転経験	7.当該プラントのトラブル及び不適合（是正処置決定分）	不適合情報（是正処置決定分）を確認・評価し、点検計画の見直しおよび補修及び改造計画への反映を別紙-1のとおり行った。	
高経年化技術評価及び定期安全レビュー	8.当該プラントの高経年化技術評価及び定期安全レビュー	当該号機では、前サイクルに高経年化技術評価および定期安全レビューは実施していないため、保全計画へ反映すべき事項はない。	

保全の有効性評価の実施状況（例）

## 2) 状態監視技術

状態監視技術に関する社内文書を定め運用している。

【QMS 規程：設備診断手順書（QMS7-06-N17）】

【診断報告書】

設備の状態を定量的および定性的に把握するために、以下の状態監視技術を導入・運用している。

- ・設備診断技術（振動診断）

状態監視技術を適用した劣化傾向の把握状況について、設備診断技術（振動診断）の振動診断報告書の例を次ページに示す。

課長	課長代理	副長	担当

プラント名：島根原子力発電所 2 号機

評価年月日：平成 30 年 5 月 17 日

評価者：[REDACTED]

測定機器番号：R-118

校正年月日（有効年数）：平成29年 7月 3日（3年）

## 振動診断報告書

設備名称 設備番号	評価結果	評価内容（原因，対策内容等）	備考
A-復水昇圧ポンプ補助油ポンプ P203-7A	注意	加速度，ベアリング加速度に×，△，クレストファクタ値に△が出ており，数値が増加している項目もあるため，今後注意して監視する必要がある。	
B-復水昇圧ポンプ補助油ポンプ P203-7B	注意	加速度に×，△，ベアリング加速度，クレストファクタ値に△が出ており，数値が増加している項目もあるため，今後注意して監視する必要がある。	
C-復水昇圧ポンプ補助油ポンプ P203-7C	注意	加速度，ベアリング加速度に×，△，クレストファクタ値に△が出ており，数値が増加している項目もあるため，今後注意して監視する必要がある。	
A-電動機駆動原子炉給水ポンプ 補助油ポンプ P204-6A	注意	加速度に×，△，ベアリング加速度，クレストファクタ値に△が出ており，数値が増加している項目もあるため，今後注意して監視する必要がある。	
B-電動機駆動原子炉給水ポンプ 補助油ポンプ P204-6B	良	異常なし。	
A1-RFP-T主油ポンプ P204-3A-1	良	異常なし。	
B1-RFP-T主油ポンプ P204-3B-1	良	異常なし。	
(A-2) RFP-Tガス抽出機 D204-1A-2	良	異常なし。	
(B-2) RFP-Tガス抽出機 D204-1B-2	良	異常なし。	

振動診断報告書（例）（1/3）

<機器仕様>

機器番号(Tag No.) : P204-6A  
 機器名称 : A-電動機駆動原子炉給水ポンプ補助油ポンプ  
 測定日 : 2018/4/16 15:35  
 総合判定 :            ✓

<振動状態>

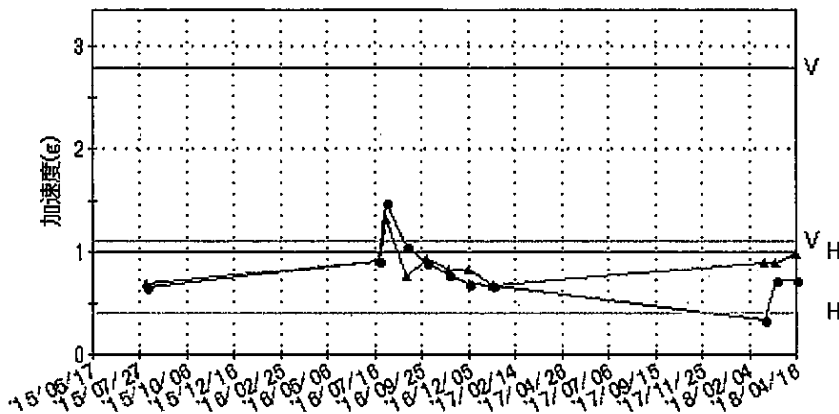
位置	方向	変位(μmp-p)			速度(mm/s)			加速度(g)			BrOA(g)			BrCF		
		状態	傾向	測定値	状態	傾向	測定値	状態	傾向	測定値	状態	傾向	測定値	状態	傾向	測定値
1	V	○	→	1.00	○	→	0.50	○	→	0.48	○	→	0.14		→	3.80
	H															
	A	○	↑	2.00	○	→	0.60	○	→	0.58	○	→	0.20		→	3.60
2	V	○	↑	2.00	○	→	0.30	○	↑	0.50	○	↑	0.13		→	4.10
	H	○	→	2.00	○	→	0.40	○	→	0.48	○	→	0.14		→	3.60
	A															
3	V	○	↓	1.00	○	→	0.30	○	→	0.73	△	→	0.41	△	→	6.20
	H	○	→	3.00	○	→	0.30	△	→	0.98	△	→	0.56	△	→	7.40
	A															
4	V	○	→	2.00	○	↑	0.40	△	→	1.23	△	→	0.55	△	→	5.00
	H	○	↑	2.00	○	↑	0.30	■	→	0.93	○	→	0.20		↑	7.60
	A	○	↓	1.00	○	↑	0.50	△	→	0.79	△	→	0.43	△	↓	5.80

振動診断報告書 (例) (2/3)

機器番号(Tag No.) : P204-6A  
 機器名称 : A-電動機駆動原子炉給水ポンプ補助油ポンプ  
 測定日 : 2018/04/16 15:35:07  
 位置 : 3  
 方向 : V, H, A

加速度

A-電動機駆動原子炉給水ポンプ補助油ポンプ 位置:3 方向: ●=V ▲=H ×=A



振動診断報告書 (例) (3/3)

3) 巡視点検（パラメータ確認等を含む）

設備の状態を適切に監視・確認するための巡視点検を実施している。

【QMS 規程：2号機巡視点検要領書（QMS7-02-N28）

    保修部門巡視点検手順書（QMS7-06-N18）

    2号機定期試験要領書（QMS7-02-N38）】

【記録等】

異常・不具合につながる兆候の確認を発電部門，保修部門のそれぞれの観点で巡視点検を実施している。また，主要なパラメータについて定期試験時にパラメータ採取を行い，設備の異常兆候の早期発見・トラブルの未然防止に努めている。

運転パラメータの監視として，パラメータ採取を行っている定期試験結果の例を次ページに示す。

保管期間	施設の解体・廃棄後5年
------	-------------

原子炉主任 技術者	発 電 部			
	部 長	課 長	当直長	当直副長

(保安規定第9条  
に基づく確認)

2号機定期試験

結 果: 良

R-206-(2) 低圧注水系

ポンプ手動起動試験記録 (A系) (保安規定第39条関連)

試験責任者: \_\_\_\_\_

中央担当者: \_\_\_\_\_

現場担当者: \_\_\_\_\_

試験日時: 平成24年1月6日9時50分~10時27分

仮設測定機器	管理番号	使用目的
ストップウォッチ	H-02	空転時間測定

R-206-(2) A-LPCI (1/2)

確 認 項 目		判定基準	結果/測定値	備 考
計 算	A-RHRポンプ出口流量 ①×0.9917	1,160 m <sup>3</sup> /h 以上	1175 m <sup>3</sup> /h	【保安規定】
	A-RHRポンプ全揚程 (②-③)/0.00980665+④+⑤	86 m以上	103 m	【保安規定】
現 場	A-RHRポンプ運転状態	振動・異音・異臭が ないこと	良	
系 統 の 満 水 状 態	A-RHRポンプ出口圧力 (PY222-4A)	正圧 であること	良	【保安規定】
	A-RHRポンプ入口圧力 (PI222-1A)			
	警報「A-RHRポンプ出口圧力」 (2-903)	警報が消灯 していること		

定期試験結果 (例)

添付

計算機プログラム（解析コード）の概要

1. はじめに
2. 解析コードの概要
  - 2.1 ASHSD2-B
  - 2.2 DORT
  - 2.3 HISAP
  - 2.4 MSC NASTRAN Ver. 2005
  - 2.5 MSC NASTRAN Ver. 2006r1
  - 2.6 SAP-IV
  - 2.7 TACF



## 1. はじめに

本資料は、解析コードについて説明するものである。

## 2. 解析コードの概要

### 2.1 ASHSD2-B

対象：応力解析

項目 \ コード名	ASHSD2-B
開発機関	米国カリフォルニア大学およびバブコック日立（株）
開発時期	1979 年
使用したバージョン	Ver. 0
使用目的	応力解析
コードの概要	<p>本計算機コードは、有限要素法により、軸対称構造物の軸対象および非軸対称荷重に対する応力を計算する汎用プログラムである。</p> <p>荷重条件としては、内圧、差圧、軸力等の軸対称荷重のほか、水平力、曲げモーメント等非軸対称荷重を扱うことができる。</p>
検証（Verification） および 妥当性確認（Validation）	<p><b>【検証（Verification）および妥当性確認（Validation）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内圧を受ける厚肉円筒の弾性解析と、理論解との比較を行い、解析解が理論解と一致することを確認している。</li> <li>・本解析コードは、これまで多くの既工事計画認可申請で使用実績を有しており、妥当性は十分確認されている。</li> </ul>

## 2.2 DORT

対象：線量率解析，発熱量解析

項目 \ コード名	DORT
開発機関	米国オークリッジ国立研究所（(財) 高度情報科学研究機構）
開発時期	1988 年
使用したバージョン	DOORS3. 2a バージョン
使用目的	線量率解析，発熱量解析
計算機コードの概要	<p>本計算機コードは，米国オークリッジ国立研究所で開発された，二次元多群輸送方程式を離散座標 Sn 法で解く計算プログラムである。本計算機コードの計算形状は，二次元形状（平板（X-Y 体系），円柱（R-Z 体系，R-θ 体系））であり，中性子およびガンマ線の輸送問題を解くことができる。本計算機コードでは，計算形状内での中性子束及びガンマ線束が計算され，これらに定格負荷相当年数やカーマ係数を乗じることにより中性子照射量，ガンマ線発熱量を算出することができる。</p>
検証 (Verification) 及び 妥当性確認 (Validation)	<p><b>【検証 (Verification)】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計算機機能が適正であることは，後述する妥当性確認の中で確認している。</li> <li>・本計算機コードの運用環境について，開発機関から提示された要件を満足していることを確認している。</li> <li>・本計算機コードは，中性子束およびガンマ線束計算を実施するコードであり，計算に必要な主な条件は線源条件，幾何形状条件である。これら計算条件が与えられれば中性子束及びガンマ線束は計算可能であり，本計算機コードは中性子照射量解析等に適用可能である。</li> </ul> <p><b>【妥当性確認 (Validation)】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二次元輸送計算コード DORT と JENDL-3.3 の組み合わせによる計算値については，JNDC (Japanese Nuclear Data Committee) においてベンチマーク実験との比較検証が実施されており，鉄，クロム，ナトリウム等の透過放射線測定において，計算値が実験値と良く再現することが報告されている*。</li> <li>・中性子照射量解析等は，上記妥当性確認内容と合致している。</li> </ul>

注記 \* : Yamano N. et al., Integral Test of JENDL-3.3 with Shielding Benchmarks, J. Nucl. Sci. Technol., Supplement 2, p. 841-846 (Aug. 2002)

## 2.3 HISAP

対象：応力解析

項目 \ コード名	HISAP (汎用構造解析コード「SAP」のカスタマイズ)
開発機関	米国カリフォルニア大学
開発時期	1976年
使用したバージョン	SAP-V
使用目的	応力解析
コードの概要	<p>計算機コード「HISAP」は、メインプログラムである汎用構造解析コード「SAP」、配管応力評価プログラム及びそれらのインターフェースプログラムから成る計算機コードである。汎用構造解析コード「SAP」は、任意の3次元形状に対し、有限要素法により静的解析および動的解析を行い、反力、モーメント、応力、固有振動数、刺激係数等を算出するプログラムである。</p>
検証 (Verification) および 妥当性確認 (Validation)	<p><b>【検証 (Verification) および妥当性確認 (Validation)】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>汎用構造解析コード「SAP」の検証として、汎用構造解析コード (NASTRAN) を用いて、代表的な配管検討用モデルに対する解析結果の比較を行うことによって、解析結果の妥当性を確認した。</li> <li>インターフェースプログラムの検証として、プログラムによるデータ変換処理前後の材質、質量、断面性能等の解析条件入力及び、反力、モーメント、固有振動数等の解析結果出力の確認を行い、入力および出力データの変換処理が正しく行われていることを確認した。</li> <li>配管応力評価プログラムの検証として、解析結果出力を用いた適用規格に基づく応力計算を手計算にて行い、配管応力評価プログラム計算結果帳票出力と比較を行うことによって、配管応力評価プログラムの妥当性を確認した。</li> </ul>

2.4 MSC NASTRAN Ver. 2005

対象：構造解析

項目	コード名 MSC NASTRAN
開発機関	MSC Software Corporation
開発時期	1971年（一般商業用リリース）
使用したバージョン	Ver. 2005
使用目的	構造解析
コードの概要	<p>（汎用3次元構造解析コード）</p> <p>航空宇宙、機械、建築、土木などの様々な分野の構造解析に適用可能な3次元有限要素解析コードである。</p> <p>静的解析（線形、非線形）、動的解析（線形、非線形）、固有値解析、伝熱解析、線形座屈解析等が可能である。</p>
検証（Verification） および 妥当性確認（Validation）	<p><b>【検証（Verification）】</b></p> <p>本解析コードの検証の内容は、以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・構造力学分野における一般的知見により解を求めることが出来る体系について、本解析コードを用いた解析結果と理論モデルによる理論解の比較を行い、解析解が理論解と一致することを確認している。</li> <li>・本解析コードの運用環境について、開発機関から提示された要件を満足していることを確認している。</li> </ul> <p><b>【妥当性確認（Validation）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本解析コードは、航空宇宙、自動車、造船、機械、土木および建築などの様々な分野における使用実績を有しており、妥当性は十分に確認されている。</li> <li>・検証の体系と今回の工事認可申請で使用する体系が同等であることから、検証結果を持って、解析機能の妥当性も確認できる。</li> <li>・今回の工事認可申請における用途および適用範囲が上述の妥当性確認の範囲内であることを確認している。</li> </ul>

2.5 MSC NASTRAN Ver.2006r1

対象：固有値解析，応力解析

項目	コード名 MSC NASTRAN
開発機関	MSC Software Corporation
開発時期	1971年（一般商業用リリース）
使用したバージョン	Ver. 2006r1
使用目的	固有値解析，応力解析
コードの概要	<p>（汎用3次元構造解析コード）</p> <p>航空宇宙，機械，建築，土木などの様々な分野の構造解析に適用可能な3次元有限要素解析コードである。</p> <p>静的解析（線形，非線形），動的解析（線形，非線形），固有値解析，伝熱解析，線形座屈解析等が可能である。</p>
検証（Verification） および 妥当性確認（Validation）	<p><b>【検証（Verification）】</b></p> <p>本解析コードの検証の内容は，以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・構造力学分野における一般的知見により解を求めることが出来る体系について，本解析コードを用いた解析結果と理論モデルによる理論解の比較を行い，解析解が理論解と一致することを確認している。</li> <li>・本解析コードの運用環境について，開発機関から提示された要件を満足していることを確認している。</li> </ul> <p><b>【妥当性確認（Validation）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本解析コードは，航空宇宙，自動車，造船，機械，土木および建築などの様々な分野における使用実績を有しており，妥当性は十分に確認されている。</li> <li>・検証の体系と今回の工事認可申請で使用する体系が同等であることから，検証結果を持って，解析機能の妥当性も確認できる。</li> <li>・今回の工事認可申請における用途および適用範囲が上述の妥当性確認の範囲内であることを確認している。</li> </ul>

## 2.6 SAP-IV

対象：固有値解析，応力解析

項目 \ コード名	SAP-IV
開発機関	米国カリフォルニア大学
開発時期	1973 年
使用したバージョン	導入時バージョン
使用目的	固有値解析，応力解析
コードの概要	<p>任意形状の三次元系の静的解析および動的解析を，有限要素法を用いて行うもので，蒸気タービンの基礎の自重，運転時荷重および地震力による応力計算等に用いる。</p> <p>なお，本計算機コードは，機械工学，土木工学，航空工学等の分野において，多くの実績を有している。</p>
検証 (Verification) および 妥当性確認 (Validation)	<p><b>【検証 (Verification) および妥当性確認 (Validation)】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理論解による検証が実施されていることを確認した。</li> <li>・片持ちばりによる固定端の発生応力，はりによる固有振動数を SAP-IV による解析結果と理論値とを比較して検討し，SAP-IV による解析結果が妥当であることを確認した。</li> <li>・本耐震評価における構造に対し使用する要素，解析については，既工事計画で使用された実績がある。</li> </ul>

## 2.7 TACF

対象：温度分布計算

項目 \ コード名	TACF
開発機関	バブコック日立（株）
開発時期	1982 年
使用したバージョン	Ver. 0
使用目的	温度分布計算
コードの概要	<p>本計算機コードは、有限要素法により、軸対称構造物の定常および非定常温度分布を計算するプログラムである。</p> <p>温度分布計算は、領域を小さなメッシュに分割し、各メッシュについての熱平衡方程式をたて、定常問題は弛緩法により、非定常問題は微小時間でステップ毎の温度分布を順次求める方法によっている。</p> <p>境界条件としては、強制対流熱伝達のほか、自然対流熱伝達、輻射熱伝達等の非線型熱伝達も扱うことができる。</p>
検証 (Verification) および 妥当性確認 (Validation)	<p><b>【検証 (Verification) および妥当性確認 (Validation)】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平板の一次元熱伝導の温度分布解析を行い、解析解が理論解と一致することを確認している。</li> <li>・本解析コードは、これまで多くの既工事計画で使用実績を有しており、妥当性は十分確認されている。</li> </ul>



タイトル	日常劣化事象（△）のすべての対象機器を事象毎に分類し，劣化事象を考慮した劣化傾向監視等，劣化管理の考え方，検査方式，検査間隔，検査方法および検査実績
説明	<p>日常劣化事象（△）のすべての対象機器を事象毎に分類し，劣化事象を考慮した劣化傾向監視等，劣化管理の考え方，検査方式，検査間隔，検査方法および検査実績について，添付表のとおり整理した。</p> <p>添付 1 - 1 島根原子力発電所 2 号炉 日常劣化管理に対する保全概要 添付 1 - 2 島根原子力発電所 2 号炉 日常劣化事象 一覧表</p>

## 島根原子力発電所 2号炉 日常劣化管理に対する保全概要

No	事象		保全の方針	機器 (例)	耐震安全上考慮する経年劣化事象整理のうち、評価対象から除外 (一) とする理由
1	腐食	全面腐食	1-①窒素環境 1) 原子炉格納容器内機器 原子炉格納容器内機器の開放点検時、目視確認等を行い、異常の有無を確認する。 2) 原子炉格納容器外 (弁/配管) 弁は分解点検時に、配管は弁等の分解点検時に配管内面を目視確認し、異常の有無を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原子炉圧力容器</li> <li>・原子炉格納容器本体</li> <li>・機械ペネトレーション</li> <li>・窒素ガス制御系配管・弁</li> <li>・可燃性ガス濃度制御系配管・弁</li> </ul>	<設備の設置環境が窒素雰囲気環境下、もしくは機器の内包する流体が窒素であり、腐食の想定が不要> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原子炉圧力容器 (スタッドボルト等)</li> <li>・原子炉格納容器内機器</li> <li>・窒素ガス制御系配管・弁</li> <li>・可燃性ガス濃度制御系配管・弁</li> </ul>
			1-②大気環境 1) 設備全般について巡視により、塗装の状態を確認する。巡視以外は、以下に従い点検を実施する。 2) 配管の場合 定期的を目視確認を行い、健全性確認する。 3) 配管以外の場合 機器の外観、分解点検時、目視確認を行い、塗装の状態を確認する。 塗装が不要な部品 (例: 耐食性材料、表面防錆処理等) を使用している場合は、目視確認を行い、発錆の有無を確認する。	ポンプ 熱交換器 ポンプモータ 容器 配管 弁 ケーブル タービン設備 計測制御設備 空調設備 機械設備 電源設備 <p style="text-align: right;">全般</p>	<塗装, メッキ等の防食処理により腐食を防止> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ポンプのベース</li> <li>・熱交換器の支持脚</li> <li>・ポンプモータのフレーム, エンドブラケット</li> </ul> <耐食性の高い材料 (アルミニウム合金) を選定し設計> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中央制御室空気調和装置 (冷却フィン)</li> </ul>
			1-③埋設環境 (直接目視が困難または不可) 1) 直接目視が困難な部位 容器からアクセスが可能な場合は、内面の肉厚測定を行い、間接的に外面側の異常の有無を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原子炉格納容器本体</li> </ul>	<非破壊検査の結果により直接目視が困難な埋設環境部位の健全性が確認できるもの> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原子炉格納容器 (サンドクッション部)</li> </ul>

No	事象	保全の方針	機器 (例)	耐震安全上考慮する経年劣化事象整理のうち、評価対象から除外 (一) とする理由
1	腐食 全面腐食	1-④潤滑油環境 1) 容器, 回転機器 (軸受箱内部) 等 容器は開放点検時, 回転機器 (軸受箱内部) 等は分解点検時に内面の目視点検を行い, 異常の有無を確認する。	ポンプ タービン設備 全般 ・高圧ポンプモータ ・中央制御室冷凍機潤滑油ポンプ差圧計測装置 ・非常用ディーゼル機関付属設備 ・ガスタービン設備	<機器の内部が潤滑油環境にあり, 塗装が施工されていない部位でも, 部位表面に油膜が形成され, 直接大気に接しない> ・ポンプ, タービン軸受 ・潤滑油ユニット内部 ・クランク軸, 増速機歯車
		1-⑤流体: 蒸気系, 純水系, 海水系等 1) 弁および配管 弁は分解点検時, 配管は弁の分解点検時に配管内面を目視確認し, 異常の有無を確認する。なお, 海水系弁・配管等内面にライニングが施工されている場合は, ライニングの健全性を確認する。 2) 弁および配管以外 定期的に目視確認, 漏えい確認または肉厚測定等を行い健全性を確認する。	ポンプモータ 配管 弁 タービン設備 空調設備 機械設備 電源設備 全般 ・原子炉補機海水ポンプ ・ほう酸水注入ポンプ ・U字管式熱交換器 ・原子炉圧力容器	<塗装, メッキ等の防食処理により腐食を防止> ・ポンプのケーシング ・熱交換器の水室 ・ポンプータの固定子コア, 回転子コア等 <耐食性の高い材料 (アルミニウム合金) を選定し設計> ・水圧制御ユニットアキュムレータ <腐食性の内部流体ではない機器> ・グラント蒸気復水器 ・銅配管
		1-⑥流体: 防錆剤入り純水 定期的に目視確認または漏えい確認を行い, 健全性を確認する。	空調設備 機械設備 全般 ・原子炉補機冷却水ポンプ ・U字管式熱交換器 ・高圧ポンプモータ ・原子炉補機冷却水系配管, 弁	<防錆剤入り純水> ・原子炉補機冷却水系弁・配管 (左記冷却水の供給先機器を含む) ・非常用ディーゼル機関付属設備 (冷却水系設備) ・所内ボイラ設備 (給水系)

No	事象	保全の方針	機器 (例)	耐震安全上考慮する経年劣化事象整理のうち、評価対象から除外 (一) とする理由
1	腐食 ・エロージョン (キャビテーション含む) ・流れ加速型腐食 ・隙間腐食 (異種金属接触腐食含む) および孔食	1-⑦配管の場合 社内規定「配管肉厚管理手引書」に基づき、超音波探傷測定および放射線透過試験等により、減肉管理している。 (液滴衝撃エロージョン (LDI) 管理範囲) (流れ加速型腐食 (FAC) 管理範囲)	<ul style="list-style-type: none"> <li>炭素鋼配管</li> <li>低合金鋼配管</li> </ul>	<p>&lt;LDI&gt; ◎除外 (一) はなし &lt;FAC&gt; ◎流れ加速型腐食に対し耐食性の良い低合金鋼を使用している ・タービンヒータドレン系配管</p>
		1-⑧配管以外の場合 機器の分解点検時に目視確認または漏えい確認により内面の腐食 (LDI, FAC, 隙間腐食等) の有無を確認する。 給水加熱器伝熱管 (外面) は、渦流探傷試験を行い、異常の有無を確認する。	熱交換器 弁 タービン設備 全般 <ul style="list-style-type: none"> <li>ターボポンプ</li> <li>原子炉再循環ポンプ</li> <li>その他容器</li> <li>冷凍機</li> <li>制御棒駆動機構</li> <li>非常用ディーゼル機関</li> <li>気体廃棄物処理系設備</li> <li>液体廃棄物処理系設備</li> </ul>	<p>&lt;キャビテーションを生じない設計&gt; ・原子炉補機海水ポンプ ・非常用ディーゼル機関 冷却水ポンプ &lt;流れ加速型腐食に対し耐食性の良い低合金鋼を使用している&gt; ・給水加熱器 ・グラント蒸気発生器, 復水器 &lt;運転時間が短い&gt; ・原子炉隔離時冷却ポンプ駆動用タービン &lt;コーティング等の防食処理により腐食を防止&gt; ・原子炉補機海水ストレーナ &lt;流速低減措置&gt; ・給水加熱器 &lt;防錆剤の添加&gt; ・液体廃棄物処理系設備</p>

No	事象	保全の方針	機器 (例)	耐震安全上考慮する経年劣化事象整理のうち、評価対象から除外 (一) とする理由
2	摩耗 (素線切れを含む)	2-①連続※して摺動状態となる部位 機器の分解点検時、摺動部 (軸、軸受等) について、目視確認、寸法測定または浸透探傷試験を行い健全性を確認する。 ※：定期試験対象機器は含まない。	ポンプ ポンプモータ 空調設備 全般 ・ 常用タービン設備 ・ 燃料取替機 ・ 原子炉天井クレーン ・ 計装用圧縮空気系設備 ・ 気体廃棄物処理系設備 ・ 所内ボイラ設備 ・ MGセット	<潤滑剤 (グリース含む) による摩耗の低減> ・ 高圧タービン、低圧タービンの車軸 <隙間管理により接触を防止> ・ 高圧タービン、低圧タービンのラビリンスパッキン <Vベルトの張力管理> ・ 計装用圧縮空気設備 ・ 気体廃棄物処理系設備
		2-②連続して摺動状態とならない部位 機器の分解点検時、摺動部 (構成部品) について、目視確認、寸法測定または浸透探傷試験を行い健全性を確認する。	ポンプ ポンプモータ 弁 全般 ・ 原子炉圧力容器 ・ 原子炉格納容器 ・ 常用タービン設備 (弁) ・ 非常用タービン設備 ・ ダンパ ・ 制御棒、制御棒駆動機構 ・ 非常用ディーゼル機関 ・ 高圧、低圧閉鎖配電盤 ・ 非常用ディーゼル発電機	<間欠運転機器または機器の状態が変化せず、摺動が少ない。または潤滑剤による摩耗の低減> ・ 原子炉圧力容器のスタビライザ摺動部 ・ 原子炉格納容器のスタビライザ <対となる部位 (消耗品) が摩耗する設計> ・ 弁 ・ ディーゼル発電設備 <金属同士が直接金属接触しない> ・ 非常用ディーゼル機関 ・ 計装用圧縮空気系設備 <硬化処理による摩耗の低減または耐摩耗性に優れた材料を使用> ・ 仕切弁 ・ 制御棒駆動機構
		2-③流体振動等により摺動が想定される部位 熱交換器の開放点検時、過流探傷試験を行い、健全性を確認する。 その他の機器については目視確認を行い、健全性を確認する。	熱交換器 全般 ・ 配管サポート ・ ジェットポンプ ・ 非常用ディーゼル機関 ・ 計装用圧縮空気系設備 ・ 気体廃棄物処理系設備 ・ 液体廃棄物処理系設備	<流体による振動を抑制する設計> ・ 原子炉補機冷却系熱交換器 ・ 原子炉浄化再生熱交換器

No	事象		保全の方針	機器 (例)	耐震安全上考慮する経年劣化事象整理のうち、評価対象から除外 (一) とする理由
3	割れ	疲労割れ (高サイクル含む)	3-①耐圧バウンダリ部 定期的に見視確認、浸透探傷試験または系統の漏えい試験により健全性を確認する。 なお、熱交換器伝熱管については、管支持板／伝熱管について想定するが、1. 摩耗の項を参照のこと	熱交換器 配管 弁 炉内構造物 全般 ・ほう酸水注入ポンプ ・機械ペネトレーション ・タービン設備 (配管) ・所内ボイラ設備	<流体振動等を考慮した設計> ・原子炉補機冷却水熱交換器の伝熱管 ・原子炉再循環系配管 <疲労の蓄積時間が短い> ・弁のベローズ ・タービン設備のエキスパンションジョイント <熱変動による応力を緩和する設計> ・タービン設備の車室 ・所内ボイラ設備の連絡管
		3-②エネルギー伝達部 定期的に見視確認または浸透探傷試験により割れ等の異常の有無を確認する。	ポンプ ポンプモータ 弁 タービン設備 空調設備 機械設備 全般 ・原子炉圧力容器 ・配管サポート ・電動弁用駆動部 ・動力用変圧器 ・非常用ディーゼル発電機 ・MGセット	<振動等による疲労を考慮した設計> ・高圧、低圧タービンの翼、車軸 <疲労の蓄積時間が短い> ・原子炉圧力容器のスタビライザ <応力が疲労限以下となる設計> ・非常用ディーゼル機関のピストン <梁モデルによる評価> ・モータの回転子棒・回転子エンドリング <応力集中しにくい形状の設計> ・主軸等R加工部	
		割れ 高サイクル 熱疲労	3-③高低温配管合流部等 定期的に見視確認、浸透探傷試験または漏えい試験を行い、健全性を確認する。	・原子炉再循環ポンプ ・原子炉再循環系配管	<トラブルの水平展開で、設計の見直しを行っている> ・原子炉再循環ポンプのケーシングカバー ・原子炉再循環系配管
		割れ 疲労 腐食	3-④翼、車軸 定期的に見視確認を行い、健全性を確認する。	・高圧、低圧タービン ・原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービン	<腐食疲労を生じる乾湿交番域が無い> ・高圧、低圧タービンの翼、車軸

No	事象	保全の方針	機器 (例)	耐震安全上考慮する経年劣化事象整理のうち、評価対象から除外 (一) とする理由
3	割 れ  応力腐食割れ	<p>3-⑤応力腐食割れ (粒界型応力腐食割れ (IGSCC) 及び貫流型応力腐食割れ (TGSCC) 除く) 超音波探傷検査, 浸透探傷検査および必要に応じて目視点検を実施し, 健全性を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高圧, 低圧タービン</li> <li>・原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービン</li> </ul>	除外 (一) なし
		<p>3-⑥粒界型応力腐食割れ (IGSCC) SCC については予防保全対策を講じてきているが, SCC の 3 要素である材料, 環境, 応力の重畳する部位 (ステンレス鋼等, 溶接熱影響部) について, 社団法人 日本電気協会「軽水炉原子力発電所用機器の供用期間中検査 (JEAC4205)」に基づき, クラス 1~3 機器区分毎に点検計画 (供用期間中検査 (以下, 「ISI」という)) を定め, 定期的に超音波探傷試験, 浸透探傷試験, 目視確認, 漏えい試験を適切に組合せて, 異常の有無を確認する。定期事業者検査として実施し, 施設定期検査にて検査を受ける。 その他上記以外では, 点検計画に基づき, 定期的目視確認, 漏えい確認, 超音波探傷試験, 浸透探傷試験を適切に組み合わせて行い, 健全性を確認する。</p>	<p>炉内構造物 全般</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ターボポンプ</li> <li>・U字管式熱交換器</li> <li>・原子炉圧力容器</li> <li>・その他容器</li> <li>・ステンレス鋼配管, 弁</li> <li>・制御棒, 制御棒駆動機構</li> <li>・気体廃棄物処理系設備</li> <li>・液体廃棄物処理系設備</li> </ul>	<p>&lt;SCC の 3 要素の一つである環境温度について, 通常運転中の実温度が 100 °C未滿, または 100°C以上となる時間が短い&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原子炉建物機器ドレンサンプタンクの胴</li> <li>・制御棒駆動機構</li> <li>・液体廃棄物処理系設備の濃縮器の胴</li> <li>・原子炉浄化補助ポンプのケーシング</li> </ul> <p>&lt;SCC の 3 要素の一つである応力について, 残留応力が小さい, または IHSI, WJP 等により応力を緩和している&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原子炉浄化再生熱交換器の伝熱管</li> <li>・タービンラプチャーディスクのベース</li> <li>・原子炉再循環系配管</li> <li>・シュラウド</li> </ul> <p>&lt;SCC の 3 要素の一つである環境について, 接液しない, または腐食環境を改善&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主蒸気系配管</li> <li>・原子炉再循環系配管</li> </ul> <p>&lt;ISI 点検範囲&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・炉内構造物</li> </ul>

No	事象		保全の方針	機器 (例)	耐震安全上考慮する経年劣化事象整理のうち、評価対象から除外 (一) とする理由
3	割 れ	応力腐食割れ	3-⑦貫粒型応力腐食割れ (TGSCC) 1) 屋内設置機器 定期的に見視確認または漏えい試験を行い、健全性を確認する。	・ステンレス鋼配管, 弁 (計 装配管, 弁を含む)	< 施工時の塩分管理および屋内空調環境 > ・原子炉再循環系配管, 弁
			2) 屋外設置機器 定期的に見視確認または漏えい試験を行い、健全性を確認する。		< 塗装等による塩分付着防止 > ・原子炉補機海水系配管, 弁
4	熱時効		4-①ステンレス鋼鋳鋼で 250 °C 以上の部位 機器の分解点検時に, 対象部位に対し見視確認, 浸透探傷検査等を行うことにより有意な欠陥の発生の有無を確認する。	弁 炉内構造物 全般 ・原子炉再循環ポンプ	< 不安定破壊を起こすき裂の発生が想定されない > ・弁の弁体
5	中性子照射による 靱性低下		5-①中性子累積照射量の高い炉内構造物等 中性子照射による靱性低下については, 直接点検することはできないが, 不安定破壊を起こさないように, 「維持規格」「き裂の解釈」に基づき, 又は日本原子力技術協会「BWR 炉内構造物点検評価ガイドライン」を参考にし て計画的に水中テレビカメラによる見視点検を実施し, 有意な欠陥の有無を確認する。 なお, 制御棒については, 核的寿命に対して保守的に定めた運用基準に基づき取替を実施する。	炉内構造物 全般 ・制御棒	除外 (一) なし
6	導通不良 (切替不良を含む)		6-①定期的に機器の見視確認または動作確認により導通不良がないことを確認する。	計測制御設備 電源設備 全般 ・電気ペネトレーション ・燃料取替機 ・原子炉建物天井クレーン	日常劣化管理事象 (△) のうち, 耐震安全性に影響を与えないことが自明な経年劣化事象
	断線		6-②定期的に見視確認または抵抗測定を実施することにより, 健全性を確認する。(必要に応じ補修又は取替を行う)	・ほう酸水貯蔵タンク ・フィルタユニット ・可燃性ガス濃度制御系設備	< 断線に係わる腐食が発生しない > ・ほう酸水貯蔵タンクの電気ヒータ ・非常用ガス処理系前置ガス処理装置の加熱用ヒータ



No	事象	保全の方針	機器 (例)	耐震安全上考慮する経年劣化事象整理のうち、評価対象から除外 (一) とする理由
7	特性変化 (出力不良, 変成不良を含む)	7-①定期的に特性試験または出力電圧測定を実施することにより, 健全性が保たれていることを確認する。(必要に応じ取替を行う)	電源設備 全般 ・計測装置 ・可燃性ガス濃度制御系設備 ・燃料取替機 ・原子炉建物天井クレーン	日常劣化管理事象 (△) のうち, 耐震安全性に影響を与えないことが自明な経年劣化事象
8	絶縁特性低下	8-①定期的に絶縁抵抗測定, 性能確認を実施し, 有意な絶縁特性低下のないことを確認する。(必要に応じて取替を行う)	・ほう酸水貯蔵タンク ・タービン制御設備 ・フィルタユニット ・可燃性ガス濃度制御系設備	日常劣化管理事象 (△) のうち, 耐震安全性に影響を与えないことが自明な経年劣化事象
9	強度低下			
	アルカリ骨材反応	9-①定期的に目視点検を実施することにより, コンクリート表面のひび割れの有無を確認する。	・コンクリート構造物	<アルカリ骨材反応※に関する試験の結果, 「無害」判定となったため> ※日本コンクリート協会「アルカリ骨材反応を生じたコンクリート構造物のコア試料による膨張率の測定方法 (案)」等 ・制御室建物
	腐食	9-②定期的に目視点検を実施することにより, 腐食に影響を及ぼす塗膜の劣化の有無を確認する (必要に応じて補修塗装)。	・鉄骨構造物	除外 (一) なし
摩耗	9-③定期的に目視点検を実施することにより, 摩耗の有無を確認する (必要に応じて補修塗装)。	・鉄骨構造物	除外 (一) なし	
10	耐火物の減肉, 割れ	10-①定期的な開放点検時の目視確認により適切に割れ又は減肉の管理が可能。(必要に応じて耐火物の張替えや補修を実施)	・固体廃棄物処理系設備	除外 (一) なし

No	事象	保全の方針	機器 (例)	耐震安全上考慮する経年劣化事象整理のうち、評価対象から除外 (一) とする理由	
11	その他	変形 (変形に伴う割れを含む)	11-①高圧タービン車室 (水平合わせ面) 定期的に目視確認, 水平継手面の隙間計測および当り状況を確認し, 必要に応じ溶接補修を実施する。	・高圧タービン	除外 (一) なし
		11-②電槽 (蓄電池) 定期的に目視確認を行い, 健全性を確認する。	・直流電源設備	<内圧上昇しない設計> ・115 V系蓄電池	
		11-③ばね (へたり) 定期的に目視確認, 寸法測定または動作確認等を行い, 健全性を確認する。	弁 機械設備 全般 ・配管サポート ・タービン設備 (弁) ・高圧, 低圧閉鎖配電盤	<へたりが生じない応力, 温度での使用> ・スプリングハンガ ・主蒸気隔離弁 ・高圧, 低圧閉鎖配電盤	
	その他	異物付着	11-④伝熱管に流体: 海水が接液する部位 定期的な開放点検時に, 目視確認, 渦流探傷試験による減肉確認を行い, 必要に応じ清掃等を行い, 異物付着の有無を確認する。	・原子炉補機海水熱交換器	除外 (一) なし
		11-⑤伝熱管に流体: 海水が接液しない部位 定期的に目視確認, 浸透探傷試験および系統パラメータの確認を行い, 健全性を確認する。	・U字管式熱交換器 ・炭素鋼配管 ・低合金鋼配管 ・非常用ディーゼル機関	<内部流体の不純物管理> ・原子炉浄化再生熱交換器 ・非常用ディーゼル機関本体の空気冷却器伝熱管 ・給水系配管のオリフィス	
		11-⑥その他 (カーボン付着) 定期的に目視点検を行うことにより有意なカーボンの付着の有無を確認する。	・非常用ディーゼル機関	<運転時間が短い> ・非常用ディーゼル機関のピストン	

No	事象		保全の方針	機器 (例)	耐震安全上考慮する経年劣化事象整理のうち、評価対象から除外 (-) とする理由
11	そ の 他	固着 固渋	11-⑦固着 1) 弁体の固着 分解点検時に目視点検を行うことにより、付着生成物がなく、弁体の固着の有無を確認する。	・ 逆止弁	< 流体および材質から腐食生成物の発生がしにくい > ・ 原子炉隔離時冷却系真空ポンプ出口逆止弁
			2) ダンパ (軸) の固着 定期的な注油, 各部の目視点検, 動作試験を実施することで, 健全性を維持している。	・ ダンパ	除外 (-) なし
			3) 操作機構の固着 定期的な目視確認, 清掃, グリースの再塗布および開閉試験を行い, 健全性を確認する。	・ 高圧, 低圧閉鎖配電盤	< 屋内空調環境および定期的な清掃, グリース再塗布 > ・ 高圧, 低圧閉鎖配電盤
		真空度低下	11-⑧固渋 定期的な動作確認を行い, 固渋の有無を確認する。(必要に応じて取替を行う)	電源設備 全般 ・ 燃料取替機 ・ 原子炉建物天井クレーン	< 耐熱, 耐揮発性に優れたグリース使用 > ・ 原子炉保護系MGセットの配線用遮断器 ・ 燃料取替機の配線用遮断器
			11-⑨点検時に真空度の確認を行い, 真空度の低下のないことを確認する。(必要に応じ取替を行う)	・ 高圧閉鎖配電盤	< 真空度低下が生じない回数での使用 > ・ 高圧閉鎖配電盤の真空バルブ
		閉塞	11-⑩定期的な清掃及び目視確認により, ストレーナ流路の減少につながる異物のないことを確認する。	・ 原子炉格納容器本体	除外 (-) なし

No	事象		保全の方針	機器 (例)	耐震安全上考慮する経年劣化事象整理のうち、評価対象から除外 (一) とする理由
11	その他	性能低下	11-⑪ 1)粘性体の劣化 定期的に見視確認により汚れ、変色を確認し、健全性を確認する。	・配管サポート	<運転時間が短い> ・非常用ディーゼル機関の調速装置
			2)フィルタ性能の劣化 定期的によろ素除去性能検査を実施し、機能が維持されていることを確認する。(必要に応じ取替を行う)	・フィルタ	
			3)シール材の劣化 定期的に見視確認、漏えい確認等を行い、健全性を確認する。(必要に応じ取替を行う)	・ダクト, ダンパ ・液体廃棄物処理系設備	
			4)制御能力低下 定期的に停止余裕の確認を行い、十分な制御能力を有していることを確認する。	・制御棒	
			5)水素反応機能低下 定期的に見視確認および機能確認を行い、健全性を確認する。(必要に応じ取替を行う)	・水素再結合器	
			6)調整能力低下 定期的に作動確認、性能確認を行い、健全性を確認する。	・非常用ディーゼル機関	
			7)蒸発, 比重低下 定期的に液位測定および比重測定を行い健全性を確認する。	・直流電源設備	
		汚損	11-⑫ 定期的に見視確認を行い、健全性を確認する。(必要に応じ補修または取替を行う)	・低圧閉鎖配電盤	<開閉回数が少ない> ・低圧閉鎖配電盤

No	事象		保全の方針	機器 (例)	耐震安全上考慮する経年劣化事象整理のうち、評価対象から除外 (一) とする理由
11	その他	はく離	11-⑬ 1) 軸受 定期的に見視確認、浸透探傷試験を実施し、健全性を確認する。(必要に応じ補修または取替を行う)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ターボポンプ</li> <li>電動弁用駆動部</li> <li>冷凍機</li> <li>高圧、低圧タービン</li> <li>非常用タービン設備</li> </ul>	除外 (一) なし
			2) 電磁ブレーキ 定期的に見視確認を実施し、健全性を確認する。		<高湿度環境で使用しない> ・電動弁用駆動部の電磁ブレーキ
		クリープ	11-⑭ 定期的に見視確認または浸透探傷試験を実施し、健全性を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>排ガス再結合器</li> <li>非常用ディーゼル機関</li> <li>所内ボイラ設備</li> </ul>	<運転時間が短いまたは運転温度が低い> ・排ガス再結合器の胴 ・所内ボイラ設備の汽水胴 <クリープが問題となる応力が発生しない> ・非常用ディーゼル機関のノズル
		照射下スウェリング	11-⑮ 計画的に水中カメラによる見視確認を実施し、有意な欠陥が無いことを確認する。	炉内構造物 全般 ・制御棒	<BWR 温度、照射量で発生しない> ・炉心シュラウド
		照射下クリープ	11-⑯ 計画的に水中カメラによる見視確認を実施し、有意な欠陥が無いことを確認する。	炉内構造物 全般 ・制御棒	<クリープが問題となる応力が発生しない> ・炉心シュラウド

評価書		対象機器	部位	経年劣化事象	保全の方針	劣化傾向 監視	劣化管理の考え方	検査(保全) 方式	検査周期	検査方法 (保全タスク)	実績	部品取替履歴	耐震影響
分類													
ポンプ	ターボポンプ	①原子炉補機海水ポンプ	デリベリ、揚水管	腐食(全面腐食)	1-⑤	可	目視確認を行い、ライニングの健全性を確認する。	①TBM	①26M	①分解点検②	①第17回定検(N15M8-00092)	①無	-
ポンプ	ターボポンプ	①復水ポンプ ②高圧炉心スプレイポンプ ③原子炉隔離時冷却ポンプ ④原子炉浄化循環ポンプ ⑤タービン駆動原子炉給水ポンプ ⑥原子炉補機冷却水ポンプ ⑦残留熱除去ポンプ	基礎ボルト	腐食(全面腐食)	1-②	可	機器の点検時に目視点検を行い、塗装の健全性を確認する	①TBM ②TBM ③TBM ④TBM ⑤TBM ⑥TBM ⑦TBM	①3C ②7C ③6C ④2C ⑤2C ⑥4C ⑦7C	①外観点検① ②外観点検 ③外観点検 ④外観点検 ⑤外観点検① ⑥外観点検 ⑦外観点検	①第17回定検(N15M8-00047) ②第11回定検(710E8-MF731) ③第17回定検(M50-PE-0360) ④第16回定検(710E8-MF095) ⑤第17回定検(N15M8-00219) ⑥第17回定検(N14M6-00025) ⑦第17回定検(N13M8-00170)	①無 ②無 ③無 ④無 ⑤無 ⑥無 ⑦無	◎
ポンプ	ターボポンプ	共通(代表確認) ①原子炉補機海水ポンプ ②復水ポンプ ③高圧炉心スプレイポンプ ④原子炉隔離時冷却ポンプ ⑤原子炉浄化循環ポンプ ⑥タービン駆動原子炉給水ポンプ ⑦原子炉補機冷却水ポンプ ⑧残留熱除去ポンプ ⑨原子炉建物機器ドレンサンポンプ	軸継手	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM ④TBM ⑤TBM ⑥TBM ⑦TBM ⑧TBM ⑨TBM	①26M ②26M ③91M ④478M ⑤26M ⑥26M ⑦52M ⑧91M ⑨78M	①分解点検② ②分解点検② ③分解点検 ④分解点検 ⑤分解点検 ⑥分解点検① ⑦分解点検 ⑧分解点検 ⑨分解点検	①第17回定検(N15M8-00092) ②第17回定検(N15M8-00047) ③第11回定検(710E8-MF731) ④第17回定検(M50-PE-0360) ⑤第16回定検(710E8-MF095) ⑥第16回定検(710E8-MG802) ⑦第17回定検(N14M6-00025) ⑧第17回定検(N13M8-00170) ⑨平成27年度(N16M8-00116)	①無 ②無 ③無 ④無 ⑤無 ⑥無 ⑦無 ⑧無 ⑨無	■
ポンプ	ターボポンプ	①復水ポンプ ②高圧炉心スプレイポンプ ③原子炉隔離時冷却ポンプ ④タービン駆動原子炉給水ポンプ ⑤残留熱除去ポンプ ⑥原子炉建物機器ドレンサンポンプ	ケーシング等接液部	腐食(全面腐食)	1-⑤	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM ④TBM ⑤TBM ⑥TBM	①39M ②91M ③78M ④26M ⑤91M ⑥78M	①分解点検① ②分解点検 ③分解点検 ④分解点検① ⑤分解点検 ⑥分解点検	①第17回定検(N15M8-00047) ②第11回定検(710E8-MF731) ③第17回定検(M50-PE-0360) ④第16回定検(710E8-MG802) ⑤第17回定検(N13M8-00170) ⑥平成27年度(N16M8-00116)	①無 ②無 ③無 ④無 ⑤無 ⑥無	■
ポンプ	ターボポンプ	①復水ポンプ ②高圧炉心スプレイポンプ ③原子炉隔離時冷却ポンプ ④原子炉浄化循環ポンプ ⑤タービン駆動原子炉給水ポンプ ⑥原子炉補機冷却水ポンプ ⑦残留熱除去ポンプ	取付ボルト	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM ④TBM ⑤TBM ⑥TBM ⑦TBM	①26M ②7C ③6C ④2C ⑤26M ⑥4C ⑦7C	①分解点検② ②外観点検 ③外観点検 ④外観点検 ⑤分解点検① ⑥外観点検 ⑦外観点検	①第17回定検(N15M8-00047) ②第11回定検(710E8-MF731) ③第17回定検(M50-PE-0360) ④第16回定検(710E8-MF095) ⑤第16回定検(710E8-MG802) ⑥第17回定検(N14M6-00025) ⑦第17回定検(N13M8-00170)	①無 ②無 ③無 ④無 ⑤無 ⑥無 ⑦無	■
ポンプ	ターボポンプ	共通(代表確認) ①原子炉補機海水ポンプ ②復水ポンプ ③高圧炉心スプレイポンプ ④原子炉隔離時冷却ポンプ ⑤原子炉浄化循環ポンプ ⑥タービン駆動原子炉給水ポンプ ⑦原子炉補機冷却水ポンプ ⑧残留熱除去ポンプ ⑨原子炉建物機器ドレンサンポンプ	ベース	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM ④TBM ⑤TBM ⑥TBM ⑦TBM ⑧TBM ⑨TBM	①26M ②3C ③91M ④6C ⑤26M ⑥1C ⑦52M ⑧91M ⑨78M	①分解点検② ②外観点検① ③分解点検 ④【定】外観検査 ⑤分解点検 ⑥外観点検② ⑦分解点検 ⑧分解点検 ⑨分解点検	①第17回定検(N15M8-00092) ②第17回定検(N15M8-00047) ③第11回定検(710E8-MF731) ④第17回定検(M50-PE-0360) ⑤第16回定検(710E8-MF095) ⑥第17回定検(N15M8-00219) ⑦第17回定検(N14M6-00025) ⑧第17回定検(N13M8-00170) ⑨平成27年度(N16M8-00116)	①無 ②無 ③無 ④無 ⑤無 ⑥無 ⑦無 ⑧無 ⑨無	-

別添1-14

**【凡例】**  
 TBM : 時間基準保全      C : サイクル  
 CBM : 状態基準保全      Y : 年  
 BDM : 故障後保全        M : 月  
 巡視 : 巡視点検時保全

評価書		対象機器	部位	経年劣化事象	保全の方針	劣化傾向 監視	劣化管理の考え方	検査(保全) 方式	検査周期	検査方法 (保全タスク)	実績	部品取替履歴	耐震影響
分類													
ポンプ	ターボポンプ	①原子炉隔離時冷却ポンプ ②原子炉浄化循環ポンプ ③タービン駆動原子炉給水ポンプ ④原子炉補機冷却水ポンプ	軸受箱	腐食(全面腐食)	1-② 1-④	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM ④TBM	①78M ②26M ③26M ④52M	①分解点検 ②分解点検 ③分解点検① ④分解点検	①第17回定検(M50-PE-0360) ②第16回定検(710E8-MF095) ③第16回定検(710E8-MG802) ④第17回定検(N14M6-00025)	①無 ②無 ③無 ④無	-
ポンプ	ターボポンプ	①原子炉補機冷却水ポンプ	ケーシング	腐食(全面腐食)	1-⑥	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①52M	①分解点検	①第17回定検(N14M6-00025)	①無	-
ポンプ	ターボポンプ	①原子炉建物機器ドレンサンプポンプ	取付ボルト(ベース)	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①6C	①外観点検	①平成27年度(N16M8-00116)	①無	■
ポンプ	往復ポンプ	①ほう酸水注入ポンプ	基礎ボルト	腐食(全面腐食)	1-②	可	機器の点検時に目視点検を行い、塗装の健全性を確認する。	①TBM	①6C	①外観点検	①第12回定検(710E9-MF594)	①無	◎
ポンプ	往復ポンプ	①ほう酸水注入ポンプ	クランク軸ケーシング、減速機ケーシング	腐食(全面腐食)	1-② 1-④	可	目視確認を行い、健全性を確認する。外面については塗装の健全性を確認する。	①TBM	①78M	①分解点検	①第12回定検(710E9-MF594)	①無	-
ポンプ	往復ポンプ	①ほう酸水注入ポンプ 潤滑油ユニット(油ポンプ)	潤滑油ユニット(油ポンプ)	腐食(全面腐食)	1-② 1-④	可	目視確認を行い、健全性を確認する。外面については塗装の健全性を確認する。	①TBM	①78M	①分解点検	①第12回定検(710E9-MF594)	①無	-
ポンプ	往復ポンプ	①ほう酸水注入ポンプ	ブランジャ、ケーシング、リフト抑え接液部	腐食(全面腐食)	1-⑤	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①78M	①分解点検	①第12回定検(710E9-MF594)	①無	-
ポンプ	往復ポンプ	①ほう酸水注入ポンプ	取付ボルト	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①6C	①分解点検	①第12回定検(710E9-MF594)	①無	■
ポンプ	往復ポンプ	①ほう酸水注入ポンプ	ベース	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、塗装の健全性を確認する。	①TBM	①78M	①分解点検	①第12回定検(710E9-MF594)	①無	-
ポンプ	往復ポンプ	①ほう酸水注入ポンプ 潤滑ユニット(油ポンプ)	モータの固定子コアおよび回転子コア	腐食(全面腐食)	1-⑤	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①104M	①分解点検	①第10回定検(410E8-ED416)	①無	-
ポンプ	往復ポンプ	①ほう酸水注入ポンプ 潤滑ユニット(油ポンプ)	モータのフレーム、エンドブラケットおよび端子箱	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、塗装の状態を確認する。	①TBM	①1C	①外観点検	①第17回定検(710E8-ED567)	①無	-
ポンプ	往復ポンプ	①ほう酸水注入ポンプ 潤滑ユニット(油ポンプ)	モータの取付ボルト	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、塗装の状態を確認する。	①TBM	①6C	①外観点検	①第12回定検(710E9-MF594)	①無	-
ポンプ	PLRポンプ	①原子炉再循環ポンプ	取付ボルト	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①78M	①分解点検①-1	①第17回定検(D40-21-K303)	①無	■
熱交換器	直管式熱交換器	①原子炉補機冷却系熱交換器	水室	腐食(全面腐食)	1-⑤	可	ライニングの目視確認およびピンホールテストによる点検により健全性を確認する。	①TBM	①26M	①開放点検	①第17回定検(N14M8-00087)	①無	-
熱交換器	直管式熱交換器	①原子炉補機冷却系熱交換器	管板	腐食(全面腐食)	1-⑤	可	定期的に管板の目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①26M	①開放点検	①第17回定検(N14M8-00087)	①無	-
熱交換器	直管式熱交換器	①原子炉補機冷却系熱交換器	フランジボルト	腐食(全面腐食)	1-②	可	定期的に目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①2C	①外観点検	①第17回定検(N14M8-00087)	①無	■
熱交換器	直管式熱交換器	①原子炉補機冷却系熱交換器	基礎ボルト	腐食(全面腐食)	1-②	可	機器の点検時に目視点検を行い、塗装の健全性を確認する。	①TBM	①2C	①外観点検	①第17回定検(N14M8-00087)	①無	◎
熱交換器	直管式熱交換器	①原子炉補機冷却系熱交換器	支持脚	腐食(全面腐食)	1-②	可	定期的に目視確認を行い、塗装の状態を確認する。	①TBM	①2C	①外観点検	①第17回定検(N14M8-00087)	①無	-
熱交換器	直管式熱交換器	①原子炉補機冷却系熱交換器	支持脚(スライド部)	腐食(全面腐食)	1-②	可	大気接触部については塗装により腐食を防止しており、目視確認により健全性を確認する。	①TBM	①2C	①外観点検	①第17回定検(N14M8-00087)	①無	■

評価書		対象機器	部位	経年劣化事象	保全の方針	劣化傾向 監視	劣化管理の考え方	検査(保全) 方式	検査周期	検査方法 (保全タスク)	実績	部品取替履歴	耐震影響
分類													
熱交換器	U字管式熱交換器	①第1~2給水加熱器	取付ボルト	腐食(全面腐食)	1-②	可	定期的に目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①3C	①外観点検	①第17回定検(N15M8-00048)	①無	-
熱交換器	U字管式熱交換器	①第1~2給水加熱器	支持脚	腐食(全面腐食)	1-②	可	定期的に目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①3C	①外観点検	①第17回定検(N15M8-00048)	①無	-
熱交換器	U字管式熱交換器	①原子炉浄化再生熱交換器 ②残留熱除去熱交換器 ③グランド蒸気発生器 ④第3~6給水加熱器 ⑤排ガス予熱器 ⑥排ガス復水器	基礎ボルト	腐食(全面腐食)	1-②	可	機器の点検時に目視点検を行い、塗装の健全性を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM ④TBM ⑤TBM ⑥TBM	①7C ②7C ③6C ④2C ⑤10C ⑥10C	①外観点検 ②外観点検 ③外観点検 ④外観点検 ⑤外観点検① ⑥外観点検①	①第16回定検(N2116-RT-016-1) ②第17回定検(N21-TG-0109) ③第17回定検(N15M8-00053) ④第17回定検(N15M8-00048) ⑤第17回定検(N15M8-00055) ⑥第17回定検(N15M8-00055)	①無 ②無 ③無 ④無 ⑤無 ⑥無	◎
熱交換器	U字管式熱交換器	①原子炉浄化再生熱交換器 ②残留熱除去熱交換器 ③グランド蒸気発生器 ④第3~6給水加熱器 ⑤排ガス予熱器 ⑥排ガス復水器	支持脚	腐食(全面腐食)	1-②	可	定期的に目視確認を行い、塗装の状態を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM ④TBM ⑤TBM ⑥TBM	①7C ②7C ③6C ④2C ⑤10C ⑥10C	①外観点検 ②外観点検 ③外観点検 ④外観点検 ⑤外観点検① ⑥外観点検①	①第16回定検(N2116-RT-016-1) ②第17回定検(N21-TG-0109) ③第17回定検(N15M8-00053) ④第17回定検(N15M8-00048) ⑤第17回定検(N15M8-00055) ⑥第17回定検(N15M8-00055)	①無 ②無 ③無 ④無 ⑤無 ⑥無	■
熱交換器	U字管式熱交換器	共通(代表確認) ①原子炉浄化再生熱交換器 ②残留熱除去熱交換器 ③グランド蒸気発生器 ④給水加熱器 ⑤排ガス予熱器 ⑥排ガス復水器	支持脚(スライド部)	腐食(全面腐食)	1-②	可	大気接触部については塗装により腐食を防止しており、目視確認により健全性を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM ④TBM ⑤TBM ⑥TBM	①7C ②7C ③6C ④2C ⑤10C ⑥10C	①外観点検 ②外観点検 ③外観点検 ④外観点検 ⑤外観点検① ⑥外観点検①	①第16回定検(N2116-RT-016-1) ②第17回定検(N21-TG-0109) ③第17回定検(N15M8-00053) ④第17回定検(N15M8-00048) ⑤第17回定検(N15M8-00055) ⑥第17回定検(N15M8-00055)	①無 ②無 ③無 ④無 ⑤無 ⑥無	■
熱交換器	U字管式熱交換器	共通(代表確認) ①原子炉浄化再生熱交換器 ②残留熱除去熱交換器 ③グランド蒸気発生器 ④給水加熱器 ⑤排ガス予熱器 ⑥排ガス復水器	フランジボルト	腐食(全面腐食)	1-②	可	定期的に目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM ④TBM ⑤TBM ⑥TBM	①91M ②91M ③78M ④26M ⑤1C ⑥1C	①開放点検 ②開放点検 ③開放点検-1 ④開放点検③ ⑤外観点検② ⑥外観点検②	①第16回定検(N2116-RT-016-1) ②第17回定検(N21-TG-0109) ③第17回定検(N15M8-00053) ④第17回定検(N15M8-00048) ⑤第17回定検(N15M8-00055) ⑥第17回定検(N15M8-00055)	①無 ②無 ③有 ④無 ⑤無 ⑥無	■
熱交換器	U字管式熱交換器	①残留熱除去熱交換器	水室	腐食(全面腐食)	1-⑤	可	定期的に目視確認および漏えい確認を実施し、健全性を確認する。	①TBM	①91M	①開放点検	①第17回定検(N21-TG-0109)	①無	■
熱交換器	U字管式熱交換器	①給水加熱器 ②排ガス復水器	水室	腐食(全面腐食)	1-⑤ 1-⑥	可	定期的に目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM ②TBM	①26M ②130M	①開放点検③ ②開放点検	①(a)第17回定検(N15M8-00048) ②第12回定検(ENT-NS2-04-MT-267)	①無 ②無	■
熱交換器	U字管式熱交換器	①グランド蒸気発生器	胴、管支持板	腐食(全面腐食)	1-⑤	可	定期的に目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①78M	①開放点検-1	①第17回定検(N15M8-00053)	①無	■
熱交換器	U字管式熱交換器	①グランド蒸気復水器	管板、水室	腐食(全面腐食)	1-⑤	可	定期的に目視確認を実施し健全性を確認する。	①TBM	①78M	①開放点検-1	①第16回定検(710E8-MG532)	①無	-
ポンプモータ	高圧ポンプモータ	①原子炉補機海水ポンプモータ ②原子炉補機冷却水ポンプモータ	固定子コアおよび回転子コア	腐食(全面腐食)	1-⑤	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM ②TBM	①52M ②52M	①分解点検②-1 ②分解点検-1	①第17回定検(N16E8-00010) ②第17回定検(N15E8-00005)	①無 ②無	-
ポンプモータ	高圧ポンプモータ	①原子炉補機海水ポンプモータ ②原子炉補機冷却水ポンプモータ	フレーム、エンドブラケットおよび端子箱	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、塗装の状態を確認する。	①TBM ②TBM	①52M ②52M	①分解点検②-1 ②分解点検-1	①第17回定検(N16E8-00010) ②第17回定検(N15E8-00005)	①無 ②無	-



評価書		対象機器	部位	経年劣化事象	保全の方針	劣化傾向 監視	劣化管理の考え方	検査(保全) 方式	検査周期	検査方法 (保全タスク)	実績	部品取替履歴	耐震影響
分類													
ポンプモータ	高圧ポンプモータ	①原子炉補機海水ポンプモータ ②原子炉補機冷却水ポンプモータ	取付ボルト	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、塗装の状態を確認する。	①TBM ②TBM	①52M ②52M	①分解点検②-1 ②分解点検-1	①第17回定検(N16E8-00010) ②第17回定検(N15E8-00005)	①無 ②無	-
ポンプモータ	高圧ポンプモータ	①残留熱除去ポンプモータ	伝熱管	腐食(全面腐食)	1-④ 1-⑥	可	目視確認、漏えい確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①91M	①分解点検-1	①第17回定検(N14E8-00002)	①無	-
ポンプモータ	低圧ポンプモータ	①高圧炉心スプレイ補機海水ポンプモータ ②ほう酸水注入ポンプモータ	固定子コアおよび回転子コア	腐食(全面腐食)	1-⑤	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM ②TBM	①39M ②104M	①分解点検 ②分解点検	①第15回定検(710E8-ED720) ②第10回定検(410E8-ED416)	①無 ②無	-
ポンプモータ	低圧ポンプモータ	①高圧炉心スプレイ補機海水ポンプモータ ②ほう酸水注入ポンプモータ	フレーム、エンドブラケットおよび端子箱	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、塗装の状態を確認する。	①TBM ②TBM	①1C ②1C	①外観点検 ②外観点検	①第17回定検(710E8-ED567) ②第17回定検(710E8-ED567)	①無 ②無	-
ポンプモータ	低圧ポンプモータ	①ほう酸水注入ポンプモータ	取付ボルト	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、塗装の状態を確認する。	①TBM	①1C	①外観点検	①第17回定検(710E8-ED567)	①無	-
容器	その他容器	①排ガス脱湿塔 ②排ガス再結合器 ③復水貯蔵タンク ④原子炉浄化サージタンク ⑤原子炉補機冷却系サージタンク ⑥ほう酸水貯蔵タンク ⑦活性炭式希ガスホルドアップ塔 ⑧第1ペントフィルタスクラバ容器 ⑨復水ろ過脱塩器 ⑩原子炉浄化ろ過脱塩器 ⑪原子炉補機海水ストレーナ	基礎ボルト	腐食(全面腐食)	1-②	可	機器の点検時に目視点検を行い、塗装の健全性を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM ④TBM ⑤TBM ⑥TBM ⑦TBM ⑧TBM ⑨TBM ⑩TBM ⑪TBM	①4C ②10C ③2C ④10C ⑤10C ⑥10C ⑦10C ⑧新設機器 ⑨4C ⑩5C ⑪13M	①外観点検 ②外観点検① ③外観点検 ④外観点検 ⑤外観点検 ⑥外観点検 ⑦外観点検 ⑧外観点検① ⑨外観点検① ⑩開放点検	①第14回定検(710E8-MH854) ②第17回定検(N15M8-00055) ③第17回定検(N15M8-00176) ④第15回定検(710E8-MF128) ⑤第14回定検(710E8-MF260) ⑥第14回定検(710E8-MF260) ⑦第10回定検(410E8-MH381) ⑧新設機器 ⑨第17回点検(N15M8-00050) ⑩第16回定検(710E8-MF902) ⑪第17回定検(N15M8-00092)	①無 ②無 ③無 ④無 ⑤無 ⑥無 ⑦無 ⑧無 ⑨無 ⑩無 ⑪無	◎
容器	その他容器	①原子炉補機海水ストレーナ	ボディ、ボンネット、カバー、支持脚、フランジボルト	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①13M	①開放点検	①第17回定検(N15M8-00092)	①無	-
容器	その他容器	①排ガス脱湿塔 ②復水貯蔵タンク ③原子炉補機冷却系サージタンク ④水圧制御ユニット窒素容器 ⑤活性炭式希ガスホルドアップ塔 ⑥第1ペントフィルタスクラバ容器	①鏡板、胴、フランジカバー ②胴、屋根、底板、マンホール蓋 ③胴、鏡板、マンホール蓋 ④胴 ⑤鏡板、胴、フランジカバー ⑥鏡板、胴、マンホール平板、多孔板、分配管(外面)	腐食(全面腐食)	1-② 1-⑤	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM ④TBM ⑤TBM ⑥TBM	①52M ②26M ③130M ④130M ⑤130M ⑥新設機器	①開放点検 ②開放点検 ③開放点検 ④開放点検 ⑤開放点検 ⑥外観点検	①第14回定検(710E8-MH854) ②第17回定検(N15M8-00176) ③第14回定検(710E8-MF260) ④第17回定検(D40-21-K299) ⑤第10回定検(410E8-MH381) ⑥新設機器	①無 ②無 ③無 ④無 ⑤無 ⑥無	-
容器	その他容器	①ほう酸水貯蔵タンク	上板、胴、底板、スパーージャ、マンホール蓋	腐食(全面腐食)	1-⑤	可	目視確認および肉厚測定を行い健全性を確認する。	①TBM	①130M	①開放点検	①第14回定検(710E8-MF260)	①無	-

評価書		対象機器	部位	経年劣化事象	保全の方針	劣化傾向 監視	劣化管理の考え方	検査(保全) 方式	検査周期	検査方法 (保全タスク)	実績	部品取替履歴	耐震影響
分類													
容器	その他容器	①復水器過脱塩器	胴(ライニング施工部)、フランジ、カバーフランジ	腐食(全面腐食)	1-② 1-⑤	可	目視確認を行い、健全性を確認する。ライニング施工部については、ピンホールテストによる点検を行い、健全性を確認する。	①TBM	①52M	①開放点検	①第17回点検(N15M8-00050)	①無	-
容器	その他容器	①排ガス脱湿塔 ②排ガス再結合器 ③湿分離器 ④復水器貯蔵タンク ⑤原子炉補機冷却系サージタンク ⑥活性炭式希ガスホールドアップ塔 ⑦復水器過脱塩器 ⑧原子炉浄化ろ過脱塩器	①②⑥～⑧フランジボルト ③～⑤マンホール蓋取付ボルト	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM ④TBM ⑤TBM ⑥TBM ⑦TBM ⑧TBM	①52M ②1C ③26M ④26M ⑤1C ⑥130M ⑦1C ⑧65M	①開放点検 ②外観点検② ③開放点検 ④開放点検 ⑤外観点検 ⑥開放点検 ⑦外観点検② ⑧開放点検	①第14回定検(710E8-MH854) ②第17回点検(N15M8-00055) ③第17回点検(N15M8-00053) ④第17回定検(N15M8-00176) ⑤第17回定検(N15M8-00176) ⑥第10回定検(410E8-MH381) ⑦第17回点検(N15M8-00050) ⑧第16回定検(710E8-MF902)	①無 ②無 ③無 ④無 ⑤無 ⑥無 ⑦無 ⑧無	■
容器	その他容器	①排ガス脱湿塔 ②排ガス再結合器 ③湿分離器 ④原子炉浄化サージタンク ⑤原子炉補機冷却系サージタンク ⑥主蒸気内側隔離弁用アクムレータ ⑦活性炭式希ガスホールドアップ塔 ⑧復水器過脱塩器	①②④～⑥支持脚 ③ハンガ ⑦⑧スカート	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、塗装の健全性を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM ④TBM ⑤TBM ⑥TBM ⑦TBM ⑧TBM	①4C ②10C ③10C ④1C ⑤1C ⑥10C ⑦10C ⑧4C	①外観点検 ②外観点検① ③外観点検 ④外観点検 ⑤外観点検 ⑥外観点検 ⑦外観点検 ⑧外観点検①	①第14回定検(710E8-MH854) ②第17回定検(N15M8-00055) ③第17回定検(N15M8-00053) ④第16回定検(710E8-MF862) ⑤第17回定検(N15M8-00176) ⑥第14回定検(D40-21-K126) ⑦第10回定検(410E8-MH381) ⑧第17回定検(N15M8-00050)	①無 ②無 ③無 ④無 ⑤無 ⑥無 ⑦無 ⑧無	-
容器	その他容器	①湿分離器	埋込金物	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、塗装の健全性を確認する。	①TBM	①10C	①外観点検	①第17回点検(N15M8-00053)	①無	-
容器	その他容器	①水圧制御ユニットアクムレータ	ピストン	腐食(全面腐食)	1-⑤	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①130M	①開放点検	①第17回定検(D40-21-K299)	①無	-
容器	その他容器	①復水器過脱塩器	胴(ライニング未施工部)、鏡板	腐食(全面腐食)	1-⑤	可	目視確認および肉厚測定を行い健全性を確認する。	①(a)TBM ①(b)TBM	①(a)52M ①(b)5Y	①(a)開放点検 ①(b)特性試験(肉厚測定)	①(a)第17回定検(中間報告書)(N15M8-00050) ①(b)平成29年度(2号機復水器フィルタ・デミ鏡板肉厚測定)	①(a)無 ①(b)無	■
容器	原子炉圧力容器	①原子炉圧力容器	給水ノズル 炉心スプレインズル 低圧注水ノズル 上蓋スプレインズル 計測ノズル ペントノズル ドレンノズル 予備ノズル	腐食(全面腐食)	1-⑤	可	定期検査時に漏えい検査を行い、健全性を確認する。	①TBM	①1C	①【定】漏えい検査	①第16回定検(S2-16-II-1-2)	①無	■

評価書		対象機器	部位	経年劣化事象	保全の方針	劣化傾向 監視	劣化管理の考え方	検査(保全) 方式	検査周期	検査方法 (保全タスク)	実績	部品取替履歴	耐震影響
分類													
容器	原子炉圧力容器	①原子炉圧力容器	上鏡 主フランジ(上蓋フランジ)	腐食(全面腐食)	1-⑤	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①13M	①開放点検	①第16回定検(BHK-NS2(10)-003)	①無	■
容器	原子炉圧力容器	①原子炉圧力容器	ドライヤホールダウ ンブラケット	腐食(全面腐食)	1-⑤	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①ISI計画に基づ く	①VT-3	①第12回定検(S2-1-1)	①無	-
容器	原子炉圧力容器	①原子炉圧力容器	スタッドボルト	腐食(全面腐食)	1-①	可	原子炉開放時に目視確認 を行い、有意な腐食がない ことを確認する。	①TBM	①13M	①開放点検	①第16回定検(BHK-NS2(10)-003)	①無	-
容器	原子炉圧力容器	①原子炉圧力容器	ハウジングサポート	腐食(全面腐食)	1-①	可	目視確認を行い、有意な 腐食がないことを確認す る。	①TBM	①91M	①分解点検	①第16回定検(D40-21-K255)	①無	-
容器	原子炉圧力容器	①原子炉圧力容器	スタビライザ、スタビ ライザブラケット、支持ス カート	腐食(全面腐食)	1-①	可	目視確認を行い、有意な 腐食がないことを確認す る。	①-	①-	①-	①平成28年度、平成29年度	①無	-
容器	原子炉圧力容器	①原子炉圧力容器	基礎ボルト	腐食(全面腐食)	1-①	可	機器の点検時に目視点検 を行い、塗装の健全性を 確認する。	①TBM	①ISI計画に基づ く	①VT-3	①第13回定検(S2-13-II-1-1)	①無	-
容器	原子炉格納容器	①原子炉格納容器本体	基礎ボルト	腐食(全面腐食)	1-②	可	機器の点検時に目視点検 を行い、塗装の健全性を 確認する。	①TBM	①1C	①外観点検②-2	①第17回定検(D40-21-K300)	①無	◎
容器	原子炉格納容器	①原子炉格納容器本体	上鏡 円筒胴 球形胴 ベント管	腐食(全面腐食)	1-① 1-②	可	目視確認を行い、有意な 腐食がないことを確認す る。	①TBM	①1C	①開放点検(上鏡) ②外観点検②-1	①第17回定検(D40-21-K300)	①無	-
容器	原子炉格納容器	①原子炉格納容器本体	サンドクッション部	腐食(全面腐食)	1-③	可	肉厚測定を行い、有意な 腐食がないことを確認す る。	①-	①-	①肉厚測定	①平成27年度(ドライウェルスフレイ配管点 検工事報告書)	①無	-
容器	原子炉格納容器	①原子炉格納容器本体	主フランジボルト	腐食(全面腐食)	1-②	可	開放点検時における目視 確認を行い、健全性を確 認する。	①TBM	①1C	①外観点検②-3	①第16回定検(D40-21-K252)	①無	■
容器	原子炉格納容器	①原子炉格納容器本体	スタビライザ シャラグ サポート	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、有意な 腐食がないことを確認す る。	①TBM	①1C	①外観点検②-2	①第17回定検(D40-21-K300)	①無	-
容器	原子炉格納容器	①原子炉格納容器本体	ドライウェル・スフレイ ヘッド サブプレッション・チェン パ・スフレイヘッド ベントヘッド ダウンカム	腐食(全面腐食)	1-①	可	目視確認を行い、有意な 腐食がないことを確認す る。	①TBM	①1C	①外観点検②-2(ドライウェル スフレイヘッド) ①外観点検②-1(サブプレッ ションチェンパ・スフレイヘッド、ベントヘッ ド、ダウンカム)	①第17回定検(D40-21-K300)	①無	-
容器	原子炉格納容器	①原子炉格納容器本体	トラス部	腐食(全面腐食)	1-① 1-⑤	可	目視確認を行い、有意な 腐食がないことを確認す る。	①TBM	①1C	①外観点検②-1	①第17回定検(D40-21-K300)	①無	-
容器	原子炉格納容器	①原子炉格納容器本体	真空破壊弁	腐食(全面腐食)	1-①	可	目視確認を行い、有意な 腐食がないことを確認す る。	①TBM	①1C	①外観点検	①第17回定検(AUR-15-0012)	①無	-
容器	機械ベネ	①配管貫通部	管台	腐食(全面腐食)	1-① 1-②	可	原子炉開放時に目視確認 を行い、有意な腐食がない ことを確認する。	①TBM	①1C	①【定】漏えい検査	①第16回定検(S2-16-I-4)	①無	-
容器	機械ベネ	①機器搬入口	胴体 鏡板	腐食(全面腐食)	1-①	可	原子炉開放時に目視確認 を行い、有意な腐食がない ことを確認する。	①TBM	①1C	①外観点検	①第16回定検(710E8-MF470)	①無	-
容器	機械ベネ	①機器搬入口	スイングボルト	腐食(全面腐食)	1-②	可	原子炉開放時に目視確認 を行い、有意な腐食がない ことを確認する。	①TBM	①1C	①外観点検	①第16回定検(710E8-MF470)	①無	■
容器	機械ベネ	①所員用エアロック	胴体 扉	腐食(全面腐食)	1-①	可	原子炉開放時に目視確認 を行い、有意な腐食がない ことを確認する。	①TBM	①1C	①外観点検	①第16回定検(710E8-MF470)	①無	-

評価書		対象機器	部位	経年劣化事象	保全の方針	劣化傾向 監視	劣化管理の考え方	検査(保全) 方式	検査周期	検査方法 (保全タスク)	実績	部品取替履歴	耐震影響
分類													
容器	機械ベネ	①制御棒駆動機構搬出ハッチ	胴体 鏡板	腐食(全面腐食)	1-①	可	原子炉開放時に目視確認 を行い、有意な腐食がな いことを確認する。	①TBM	①1C	①外観点検	①第16回定検(710E8-MF470)	①無	-
容器	機械ベネ	①制御棒駆動機構搬出ハッチ	取付ボルト	腐食(全面腐食)	1-②	可	原子炉開放時に目視確認 を行い、有意な腐食がな いことを確認する。	①TBM	①1C	①外観点検	①第16回定検(710E8-MF470)	①無	■
容器	電気ベネ	①モジュール型核計装用電気ベネトレー ション ②モジュール型高圧動力用電気ベネトレー ション	アダプタ	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い健全性を 確認する。	①TBM ②TBM	①1C ②1C	①外観点検 ②外観点検	①第16回定検(710E8-MF470) ②第16回定検(710E8-MF470)	①無 ②無	-
配管	ステンレス鋼配管	①ほう酸水注入系配管	配管	腐食(全面腐食)	1-⑤	可	機器の点検時に取合い部 の目視確認を行い、健全 性を確認する。	①TBM	①130M	①分解点検	①第14回定検(710E8-MF320)	①無	-
配管	ステンレス鋼配管	①原子炉再循環系配管 ②ほう酸水注入系配管	フランジボルト・ナット	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、健全性 を確認する。	①TBM ②TBM	①ISI計画に基づ く ②130M	①VT-1(目視検査) ②分解点検	①第13回定検(S2-13-II-1-1) ②第11回定検(710E8-MF781)	①無 ②無	■
配管	炭素鋼配管	①主蒸気系配管 ②原子炉補機冷却系配管 ③原子炉補機海水系配管 ④窒素ガス制御系配管	フランジボルト・ナット	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、健全性 を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM ④TBM	①13M ②78M ③78M ④78M	①分解点検② ②分解点検 ③分解点検 ④分解点検	①第16回定検(AUR-15-0005) ②第17回定検(N15M8-00086) ③第16回定検(710E8-MF582) ④第15回定検(PVH-S-08-202)	①無	■
配管	炭素鋼配管	①原子炉補機冷却系配管	配管	腐食(全面腐食)	1-⑥	可	機器の点検時に取合い部 の目視確認を行い、健全 性を確認する。	①TBM	①78M	①分解点検	①第17回定検(N15M8-00086)	①無	-
配管	炭素鋼配管	①窒素ガス制御系配管	配管	腐食(全面腐食)	1-①	可	機器の点検時に取合い部 の目視確認を行い、健全 性を確認する。	①TBM	①78M	①分解点検	①第15回定検(PVH-S-08-202)	①無	-
配管	炭素鋼配管	①原子炉補機海水系配管	配管	腐食(全面腐食)	1-⑤	可	機器の点検時に取合い部 の目視確認を行い、健全 性を確認する。	①TBM	①78M	①分解点検	①第16回定検(AUR-15-005)	①無	-
配管	炭素鋼配管	①原子炉補機海水系配管	配管	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、塗装の 健全性を確認する。	①TBM	①10C	①外観点検	①第15回定検(08311020-3)	①無	-
配管	炭素鋼配管	①取水管	配管	腐食(全面腐食)	1-⑤	可	目視確認を行い、塗装の 健全性を確認する。	①TBM	①1C	①外観点検	①第17回定検	①無	-
配管	炭素鋼配管	①残留熱除去系配管 ②原子炉隔離時冷却系配管	配管	腐食(全面腐食)	1-⑤	可	機器の点検時に取合い部 の目視確認を行い、健全 性を確認する。	①(純水)TBM ①(蒸気)TBM ②(純水)TBM ②(蒸気)TBM	①(純水)78M ①(蒸気)78M ②(純水)130M ②(蒸気)78M	①(純水)分解点検 ①(蒸気)分解点検 ②(純水)分解点検 ②(蒸気)分解点検	①(純水)第15回定検(710E8-MF631) ①(蒸気)第15回定検(D40-21-K141) ②(純水)第15回定検(PVD-21-0181) ②(蒸気)第15回定検(710E8-MF631)	①(純水)無 ①(蒸気:新設)第15回定検 (D40-21-K141) ②(純水)無 ②(蒸気)無	■
配管	低合金鋼配管	①タービンランド蒸気系配管	フランジボルト・ナット	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、健全性 を確認する。	①TBM	①78M	①分解点検	①第16回定検(710E8-MG798)	①無	■
配管	銅配管	①水素ガス冷却系配管	配管	腐食(全面腐食)	1-⑤	可	機器点検時に取合い部 の目視確認を行い、健全性 を確認する。	①TBM	①26M	①分解点検	①第15回定検(710E8-ED601)	①無	-

評価書		対象機器	部位	経年劣化事象	保全の方針	劣化傾向 監視	劣化管理の考え方	検査(保全) 方式	検査周期	検査方法 (保全タスク)	実績	部品取替履歴	耐震影響
分類													
配管	配管サポート	共通(代表確認) ①右記で実績のあるサポート型式	基礎ボルト	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、塗装の健全性を確認する。	①TBM	①ISI計画に基づく	①VT-3	①第16回定検(N2116-RT-003-1)	①無	◎
配管	配管サポート	共通(代表確認) ①右記で実績のあるサポート型式 ②右記で実績のあるサポート型式	ベースプレート、埋込金物	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、塗装の健全性を確認する。	①TBM ②TBM	①ISI計画に基づく ②10C	①VT-3 ②外観点検	①第16回定検(N2116-RT-003-1) ②第16回定検(710E8-MG443)	①無 ②無	-
配管	配管サポート	①アンカ ②レストレイント ③Uボルト ④ハンガ ⑤オイルスナック ⑥メカニカスナック ⑦ばね式防振器 ⑧粘性ダンバ	サポート各部位	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、塗装の健全性を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM ④TBM ⑤TBM ⑥TBM ⑦TBM ⑧TBM	①ISI計画に基づく ②ISI計画に基づく	①VT-3 ②VT-3 ③外観点検 ④外観点検 ⑤外観点検 ⑥外観点検 ⑦外観点検 ⑧外観点検	①第16回定検(710E8-MG443) ②第16回定検(710E8-MG443) ③第17回定検(710E8-MT546) ④第15回定検(710E8-MG125) ⑤第16回定検(N2116-RT-003-1) ⑥第16回定検(710E8-MF839) ⑦第15回定検(710E8-MG125) ⑧新規設定	①無 ②無 ③無 ④無 ⑤無 ⑥無 ⑦無 ⑧無	-
弁	仕切弁	①蒸気内側隔離弁 ②原子炉給水元弁 ③主蒸気ドレン内側隔離弁	弁箱、弁ふた	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、塗装の健全性を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM	①78M ②130M ③78M	①分解点検 ②分解点検 ③分解点検	①第14回定検(PVH-S-07-201) ②第15回定検(PVH-S-08-203) ③第13回定検(ENT-NS2-06-MR-018)	①無 ②無 ③無	-
弁	仕切弁	①蒸気内側隔離弁 ②可燃性ガス濃度制御系出口隔離弁 ③原子炉給水元弁 ④原子炉補機冷却系常用補機冷却水入口切替弁 ⑤排ガス再結合器出口弁 ⑥原子炉再循環ポンプ出口弁 ⑦ほう酸水注入ポンプ入口弁 ⑧主蒸気ドレン内側隔離弁	ジョイントボルトナット	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認により、健全性を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM ④TBM ⑤TBM ⑥TBM ⑦TBM ⑧TBM	①78M ②78M ③130M ④78M ⑤78M ⑥130M ⑦130M ⑧78M	①分解点検 ②分解点検 ③分解点検 ④分解点検 ⑤分解点検 ⑥分解点検 ⑦分解点検 ⑧分解点検	①第14回定検(PVH-S-07-201) ②第15回定検(710E8-MF631) ③第15回定検(PVH-S-08-203) ④第17回定検(N15M8-00086) ⑤第16回定検(PVH-S-10-218) ⑥第16回定検(PVH-S-10-208) ⑦第16回定検(710E8-MF582) ⑧第13回定検(ENT-NS2-06-MR-018)	①無 ②無 ③無 ④無 ⑤無 ⑥無 ⑦無 ⑧無	■
弁	仕切弁	共通(代表確認) ①蒸気内側隔離弁 ②可燃性ガス濃度制御系出口隔離弁 ③原子炉給水元弁 ④原子炉補機冷却系常用補機冷却水入口切替弁 ⑤排ガス再結合器出口弁 ⑥原子炉再循環ポンプ出口弁 ⑦ほう酸水注入ポンプ入口弁 ⑧主蒸気ドレン内側隔離弁	ヨーク	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、塗装の健全性を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM ④TBM ⑤TBM ⑥TBM ⑦TBM ⑧TBM	①78M ②78M ③130M ④78M ⑤78M ⑥130M ⑦130M ⑧78M	①分解点検 ②分解点検 ③分解点検 ④分解点検 ⑤分解点検 ⑥分解点検 ⑦分解点検 ⑧分解点検	①第14回定検(PVH-S-07-201) ②第15回定検(710E8-MF631) ③第15回定検(PVH-S-08-203) ④第17回定検(N15M8-00086) ⑤第16回定検(PVH-S-10-218) ⑥第16回定検(PVH-S-10-208) ⑦第16回定検(710E8-MF582) ⑧第13回定検(ENT-NS2-06-MR-018)	①無 ②無 ③無 ④無 ⑤無 ⑥無 ⑦無 ⑧無	-
弁	仕切弁	①可燃性ガス濃度制御系出口隔離弁 ②原子炉補機冷却系常用補機冷却水入口切替弁	弁箱、弁ふた、弁体、弁座	腐食(全面腐食)	①: 1-① 1-② ②: 1-② 1-⑥	可	目視確認を行い、健全性を確認する。 弁箱、弁ふたの外面については、目視確認を行い、塗装の健全性を確認する。	①TBM ②TBM	①78M ②78M	①分解点検 ②分解点検	①第15回定検(710E8-MF631) ②第17回定検(N15M8-00086)	①第15回定検(710E8-MF631) ②無	■
弁	仕切弁	①ほう酸水注入ポンプ入口弁	弁箱、弁ふた、弁体、弁座、弁棒	腐食(全面腐食)	1-⑤	可	目視確認を行い、健全性を確認している。	①TBM	①130M	①分解点検	①第16回定検(710E8-MF582)	①第16回定検(710E8-MF582)	-

評価書		対象機器	部位	経年劣化事象	保全の方針	劣化傾向 監視	劣化管理の考え方	検査(保全) 方式	検査周期	検査方法 (保全タスク)	実績	部品取替履歴	耐震影響
分類													
弁	仕切弁	①タービン排気隔離弁 ②残留熱除去系炉水入口内側隔離弁 ③原子炉給水ポンプ駆動用タービン試運転用弁	弁箱、弁ふた、弁体、弁座	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、健全性を確認する。 弁箱、弁ふたの外面上については、目視確認を行い、塗装の健全性を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM	①78M ②78M ③78M	①分解点検 ②分解点検 ③分解点検	①第15回定検(710E8-MF631) ②第17回定検(PVH-S-12-206) ③第15回定検(710E8-MG878)	①無 ②無 ③第15回定検(710E8-MG878)	■
弁	玉形弁	①原子炉圧力容器連続ベント弁 ②胴体圧力調節弁バイパス弁 ③蒸気第1ドレン弁	弁箱、弁ふた	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、塗装の健全性を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM	①78M ②78M ③130M	①分解点検 ②分解点検 ③分解点検	①第15回定検(PVH-S-08-208) ②第14回定検(PVH-S-07-209) ③第16回定検(PVH-S0-206)	①無 ②無 ③無	-
弁	玉形弁	①原子炉圧力容器連続ベント弁 ②N2補給隔離弁 ③残留熱除去ポンプ炉水戻り弁 ④残留熱除去系熱交換冷却水出口弁 ⑤主蒸気系計装弁 ⑥逃がし弁N2供給弁 ⑦原子炉浄化系入口弁 ⑧ほう酸水貯蔵タンク出口弁 ⑨胴体圧力調節弁バイパス弁 ⑩蒸気第1ドレン弁	ジョイントボルト・ナット	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認により、健全性を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM ④TBM ⑤TBM ⑥TBM ⑦TBM ⑧TBM ⑨TBM ⑩TBM	①78M ②78M ③78M ④78M ⑤130M ⑥78M ⑦78M ⑧130M ⑨78M ⑩130M	①分解点検 ②分解点検 ③分解点検 ④分解点検 ⑤分解点検 ⑥分解点検 ⑦分解点検 ⑧分解点検 ⑨分解点検 ⑩分解点検	①第15回定検(PVH-S-08-208) ②第13回定検(C-51342-R-本R) ③第15回定検(710E8-MF631) ④第15回定検(710E8-MF631) ⑤第14回定検(710E8-MF320) ⑥第12回定検(ENT-NS1-04-MR99) ⑦第16回定検(PVH-S-10-204) ⑧第14回定検(710E8-MF320) ⑨第14回定検(PVH-S-07-209) ⑩第16回定検(PVH-S0-206)	①無 ②無 ③無 ④無 ⑤無 ⑥無 ⑦第16回定検(PVH-S-10-204) ⑧無 ⑨無 ⑩無	■
弁	玉形弁	①原子炉圧力容器連続ベント弁 ②N2補給隔離弁 ③残留熱除去ポンプ炉水戻り弁 ④残留熱除去系熱交換冷却水出口弁 ⑤主蒸気系計装弁 ⑥逃がし弁N2供給弁 ⑦原子炉浄化系入口弁 ⑧ほう酸水貯蔵タンク出口弁 ⑨胴体圧力調節弁バイパス弁 ⑩蒸気第1ドレン弁	ヨーク	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、塗装の健全性を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM ④TBM ⑤TBM ⑥TBM ⑦TBM ⑧TBM ⑨TBM ⑩TBM	①78M ②78M ③78M ④78M ⑤130M ⑥78M ⑦78M ⑧130M ⑨78M ⑩130M	①分解点検 ②分解点検 ③分解点検 ④分解点検 ⑤分解点検 ⑥分解点検 ⑦分解点検 ⑧分解点検 ⑨分解点検 ⑩分解点検	①第15回定検(PVH-S-08-208) ②第13回定検(C-51342-R-本R) ③第15回定検(710E8-MF631) ④第15回定検(710E8-MF631) ⑤第14回定検(710E8-MF320) ⑥第12回定検(ENT-NS1-04-MR99) ⑦第16回定検(PVH-S-10-204) ⑧第14回定検(710E8-MF320) ⑨第14回定検(PVH-S-07-209) ⑩第16回定検(PVH-S0-206)	①無 ②無 ③無 ④無 ⑤無 ⑥無 ⑦無 ⑧無 ⑨無 ⑩無	-
弁	玉形弁	①N2補給隔離弁 ②残留熱除去系熱交換冷却水出口弁	弁箱、弁ふた、弁体、弁座	腐食(全面腐食)	①: 1-① 1-② ②: 1-② 1-⑥	可	目視確認を行い、健全性を確認する。 弁箱、弁ふたの外面上については、目視確認を行い、塗装の健全性を確認する。	①TBM ②TBM	①78M ②78M	①分解点検 ②分解点検	①第13回定検(C-51342-R-本R) ②第15回定検(710E8-MF631)	①無 ②無	■
弁	玉形弁	①残留熱除去ポンプ炉水戻り弁	弁箱、弁ふた、弁体、弁座	腐食(全面腐食)	1-② 1-⑤	可	目視確認を行い、健全性を確認する。 弁箱、弁ふたの外面上については、目視確認を行い、塗装の健全性を確認する。	①TBM	①78M	①分解点検	①第15回定検(710E8-MF631)	①第15回定検(710E8-MF631)	■

評価書		対象機器	部位	経年劣化事象	保全の方針	劣化傾向 監視	劣化管理の考え方	検査(保全) 方式	検査周期	検査方法 (保全タスク)	実績	部品取替履歴	耐震影響
分類													
弁	玉形弁	①ほう酸水貯蔵タンク出口弁	弁箱, 弁ふた, 弁体, 弁座, 弁棒	腐食(全面腐食)	1-⑤	可	目視確認により, 健全性を確認する。	①TBM	①130M	①分解点検	①第14回定検(710E8-MF320)	①無	-
弁	逆止弁	①原子炉隔離時冷却系タービン排気逆止弁 ②原子炉隔離時冷却系真空ポンプ出口逆止弁 ③原子炉給水内側隔離逆止弁 ④原子炉補機冷却系常用補機冷却水出口A/B切替逆止弁 ⑤原子炉隔離時冷却ポンプCST水入口逆止弁 ⑥ほう酸水注入ポンプ出口逆止弁 ⑦原子炉補機海水ポンプ出口逆止弁 ⑧第4抽気逆止弁	ジョイントボルト・ナット	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い, 健全性を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM ④TBM ⑤TBM ⑥TBM ⑦TBM ⑧TBM	①78M ②130M ③78M ④78M ⑤78M ⑥130M ⑦13M ⑧78M	①分解点検 ②分解点検 ③分解点検 ④分解点検 ⑤分解点検 ⑥分解点検 ⑦分解点検 ⑧分解点検	①第16回定検(PVH-S-10-221) ②第9回定検(410E9-MF234) ③第15回定検(PVH-S-08-201) ④第17回定検(N15M8-00086) ⑤第11回定検(710E8-MF781) ⑥第11回定検(710E8-MF781) ⑦第17回定検(N16M8-00214) ⑧第14回定検(PVH-S-07-210)	①無 ②無 ③第15回定検(PVH-S-08-201) ④無 ⑤無 ⑥無 ⑦無 ⑧第14回定検(PVH-S-07-210)	■
弁	逆止弁	①原子炉隔離時冷却系タービン排気逆止弁	弁箱, 弁ふた, 弁体, 弁座, アーム	腐食(全面腐食)	1-② 1-⑤	可	目視確認を行い, 健全性を確認する。 弁箱, 弁ふたの外面については, 目視確認を行い, 塗装の健全性を確認する。	①TBM	①78M	①分解点検	①第16回定検(PVH-S-10-221)	①無	■
弁	逆止弁	①原子炉隔離時冷却系真空ポンプ出口逆止弁	弁箱, 弁ふた, 弁座	腐食(全面腐食)	1-② 1-⑤	可	目視確認を行い, 健全性を確認する。 弁箱, 弁ふたの外面については, 目視確認を行い, 塗装の健全性を確認する。	①TBM	①130M	①分解点検	①第9回定検(410E9-MF234)	①無	■
弁	逆止弁	①原子炉給水内側隔離逆止弁 ②第4抽気逆止弁	弁箱, 弁ふた	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い, 塗装の健全性を確認する。	①TBM ②TBM	①78M ②78M	①分解点検 ②分解点検	①第15回定検(PVH-S-08-201) ②第14回定検(PVH-S-07-210)	①無 ②第14回定検(PVH-S-07-210)	■
弁	逆止弁	①原子炉補機冷却系常用補機冷却水出口A/B切替逆止弁	弁箱, 弁ふた, 弁体, 弁座, アーム	腐食(全面腐食)	1-② 1-⑥	可	目視確認を行い, 健全性を確認する。 弁箱, 弁ふたの外面については, 目視確認を行い, 塗装の健全性を確認する。	①TBM	①78M	①分解点検	①第17回定検(N15M8-00086)	①無	■
弁	逆止弁	①ほう酸水注入ポンプ出口逆止弁	弁箱, 弁ふた, 弁体, 弁座	腐食(全面腐食)	1-⑤	可	目視確認を行い, 健全性を確認する。	①TBM	①130M	①分解点検	①第11回定検(710E8-MF781)	①無	■
弁	逆止弁	①炉水戻り試験可能逆止弁	弁箱, 弁ふた, 弁体, 弁座, アーム	腐食(全面腐食)	1-② 1-⑤	可	目視確認を行い, 健全性を確認する。 弁箱, 弁ふたの外面については, 目視確認を行い, 塗装の健全性を確認する。	①TBM	①78M	①分解点検	①第15回定検(PVH-S-08-202)	①無	■
弁	ハタフライ弁	①原子炉補機冷却系熱交換水入口弁	弁箱, 弁座	腐食(全面腐食)	1-⑤	可	目視確認を行い, ライニングの健全性を確認する。	①TBM	①-1 78M ①-2 6C	①-1 分解点検 ①-2 開放点検	①第16回点検(710E8-MF582)	①無	-
弁	ハタフライ弁	①原子炉補機冷却系熱交換水出口弁	弁箱, 弁座, 弁体	腐食(全面腐食)	1-⑤	可	目視確認を行い, ライニングの健全性を確認する。	①TBM	① 78M	① 分解点検	①第16回点検(710E8-MF194)	①第16回点検(710E8-MF194)	-

評価書		対象機器	部位	経年劣化事象	保全の方針	劣化傾向 監視	劣化管理の考え方	検査(保全) 方式	検査周期	検査方法 (保全タスク)	実績	部品取替履歴	耐震影響
分類													
弁	バタフライ弁	①N2ドライウェル入口隔離弁	弁箱, 底ふた, 弁体	腐食(全面腐食)	1-① 1-②	可	目視確認を行い、健全性を確認する。 弁箱、底ふたの外面については、目視確認を行い、塗装の健全性を確認する。	①TBM	①78M	①分解点検	①第14回定検(PVH-S-07-202)	①第14回定検(PVH-S-07-202)	-
弁	バタフライ弁	①N2ドライウェル入口隔離弁 ②原子炉補機冷却系熱交換水入口弁 ③原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービン排気弁	ジョイントボルト・ナット	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM	①78M ②-1 78M ②-2 6C ③78M	①分解点検 ②-1 分解点検 ②-2 開放点検 ③分解点検	①第14回定検(PVH-S-07-202) ②第16回定検(710E8-MF582) ③第16回定検(710E8-MG811)	①無 ②無 ③第16回定検(710E8-MG811)	■
弁	バタフライ弁	①原子炉補機冷却系熱交換水入口弁	弁箱	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、塗装の健全性を確認する。	①TBM	①-1 78M ①-2 6C	①-1 分解点検 ①-2 開放点検	①第16回定検(710E8-MF582)	①無	-
弁	バタフライ弁	①原子炉補機冷却系熱交換水入口弁	底ふた	腐食(全面腐食)	1-⑤	可	目視確認を行い、健全性を確認する。 底ふたの外面については、目視確認を行い、塗装の健全性を確認する。	①TBM	①-1 78M ①-2 6C	①-1 分解点検 ①-2 開放点検	①第16回定検(710E8-MF582)	①無	■
弁	バタフライ弁	①原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービン排気弁	弁箱, 底ふた	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、塗装の健全性を確認する。	①TBM	①78M	①分解点検	①第16回定検(710E8-MG811)	①無	-
弁	バタフライ弁	①原子炉補機海水系ポンプ出口弁	弁箱, 底ふた, ジョイントボルト・ナット	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、塗装の健全性を確認する。	①TBM	①78M	①分解点検	①第17回定検(710E8-MR803)	①第17回定検(710E8-MR803)	-
弁	安全弁	①グランド蒸気発生器加熱蒸気安全弁 ②高圧炉心スプレイポンプ入口逃し弁	弁箱	腐食(全面腐食)	1-② 1-⑤	可	目視確認を行い、健全性を確認する。 弁箱の外面については、目視確認を行い、塗装の健全性を確認する。	①TBM ②TBM	①78M ②130M	①分解点検 ②分解点検	①第16回定検(710E8-MG798) ②第16回定検(710E8-MF582)	①第16回定検(710E8-MG798) ②無	-
弁	安全弁	①ヒータ水室逃し弁	弁箱, 弁体, ノズルシート	腐食(全面腐食)	1-② 1-⑤	可	目視確認を行い、健全性を確認する。 弁箱の外面については、目視確認を行い、塗装の健全性を確認する。	①TBM	①78M	①分解点検	①第12回定検(710E8-MG478)	①無	-
弁	安全弁	①グランド蒸気発生器加熱蒸気安全弁 ②可燃性ガス濃度制御系出口安全弁 ③高圧炉心スプレイポンプ入口逃し弁	ジョイントボルト・ナット	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM	①78M ②78M ③130M	①分解点検 ②分解点検 ③分解点検	①第16回定検(710E8-MG798) ②第17回定検(N15M8-00086) ③第16回定検(710E8-MF582)	①無 ②無 ③無	■
弁	安全弁	①可燃性ガス濃度制御系出口安全弁	弁箱, ノズルシート	腐食(全面腐食)	1-① 1-②	可	目視確認を行い、健全性を確認する。 弁箱の外面については、目視確認を行い、塗装の健全性を確認する。	①TBM	①78M	①分解点検	①第17回定検(N15M8-00086)	①無	-
弁	安全弁	①ほう酸水注入ポンプ出口安全弁	弁箱, 弁体, ノズルシート	腐食(全面腐食)	1-⑤	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①130M	①分解点検	①第11回定検(710E8-MF781)	①無	■



評価書		対象機器	部位	経年劣化事象	保全の方針	劣化傾向 監視	劣化管理の考え方	検査(保全) 方式	検査周期	検査方法 (保全タスク)	実績	部品取替履歴	耐震影響
分類													
弁	ホ-ル弁	①復水フィルタ逆洗空気入口弁	弁箱, 弁ふた	腐食(全面腐食)	1-② 1-⑤	可	目視確認を行い、健全性を確認する。 弁箱, 弁ふたの外面については、目視確認を行い、塗装の健全性を確認する。	①TBM	①78M	①分解点検	①第17回定検(C-570329-R)	①無	■
弁	ホ-ル弁	①復水フィルタ逆洗空気入口弁 ②復水フィルタブリーコート出口弁 ③移動形出力領域計装ホ-ル弁 ④ろ過脱塩器入口弁	ジョイントボルトナット	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認により、健全性を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM ④TBM	①78M ②78M ③26M ④78M	①分解点検 ②分解点検 ③分解点検 ④分解点検	①第17回定検(C-570329-R) ②第17回定検(C-570329-R) ③第17回定検(D40-21-D102) ④第16回定検(C-550422-R)	①無 ②無 ③無 ④無	■
弁	ホ-ル弁	①復水フィルタ逆洗空気入口弁 ②復水フィルタブリーコート出口弁 ③ろ過脱塩器入口弁	ヨーク	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、塗装の健全性を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM	①78M ②78M ③78M	①分解点検 ②分解点検 ③分解点検	①第17回定検(C-570329-R) ②第17回定検(C-570329-R) ③第16回定検(C-550422-R)	①無 ②無 ③無	-
弁	ホ-ル弁	①復水フィルタブリーコート出口弁	弁箱, 弁ふた	腐食(全面腐食)	1-② 1-⑤	可	目視確認を行い、健全性を確認する。 弁箱, 弁ふたの外面については、目視確認を行い、塗装の健全性を確認する。	①TBM	①78M	①分解点検	①第17回定検(C-570329-R)	①無	-
弁	主蒸気隔離弁	①主蒸気隔離弁	弁箱, 弁ふた	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、塗装の健全性を確認する。	①TBM	①26M	①分解点検②	①第17回定検(AUR-15-0011)	①無	-
弁	主蒸気隔離弁	①主蒸気隔離弁	ジョイントボルトナット	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認により、健全性を確認する。	①TBM	①26M	①分解点検②	①第17回定検(AUR-15-0011)	①無	■
弁	主蒸気隔離弁	①主蒸気隔離弁	ヨークロッド	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、メッキの状態を確認する。	①TBM	①26M	①分解点検②	①第17回定検(AUR-15-0011)	①無	-
弁	主蒸気逃がし安全弁	①主蒸気逃がし安全弁	弁箱, 弁体, ノズルシート	腐食(全面腐食)	1-② 1-⑤	可	目視確認を行い、健全性を確認する。 弁箱の外面については、目視確認を行い、塗装の健全性を確認する。	①TBM	①13M	①分解点検②	①第17回定検(AUR-15-0010)	①無	■
弁	主蒸気逃がし安全弁	①主蒸気逃がし安全弁	ジョイントボルト・ナット	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①13M	①分解点検②	①第17回定検(AUR-15-0010)	①無	■
弁	制御弁	①グランド蒸気圧力調節弁 ②グランド蒸気発生器胴体圧力調節弁 ③第4ヒータ高水位調節弁	弁箱, 弁ふた	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、塗装の健全性を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM	①13M ②13M ③13M	①分解点検② ②分解点検② ③分解点検③	①第16回定検(C-550432-R) ②第16回定検(C-550432-R) ③第16回定検(C-550432-R)	①無 ②無 ③無	■
弁	制御弁	①グランド蒸気圧力調節弁 ②炉頂部冷却水流量調節弁 ③中央制御室冷凍機出口圧力調節弁 ④窒素ガス供給装置出口減圧弁 ⑤原子炉隔離時冷却系冷却水減圧弁 ⑥グランド蒸気発生器胴体圧力調節弁 ⑦第4ヒータ高水位調節弁	ジョイントボルト・ナット	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認により、健全性を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM ④TBM ⑤TBM ⑥TBM ⑦TBM	①13M ②39M ③39M ④130M ⑤130M ⑥13M ⑦13M	①分解点検② ②分解点検② ③分解点検② ④分解点検 ⑤分解点検 ⑥分解点検② ⑦分解点検③	①第16回定検(C-550432-R) ②第14回定検(C-52576-R) ③第16回定検(C-550432-R) ④第17回定検(N15M8-00086) ⑤第13回定検(710E8-MF509) ⑥第16回定検(C-550432-R) ⑦第16回定検(C-550432-R)	①無 ②無 ③無 ④無 ⑤無 ⑥無 ⑦無	■

評価書		対象機器	部位	経年劣化事象	保全の方針	劣化傾向 監視	劣化管理の考え方	検査(保全) 方式	検査周期	検査方法 (保全タスク)	実績	部品取替履歴	耐震影響
分類													
弁	制御弁	共通(代表確認) ①グランド蒸気圧力調節弁 ②炉頂部冷却水流量調節弁 ③中央制御室冷凍機出口圧力調節弁 ④グランド蒸気発生器胴体圧力調節弁 ⑤第4ヒータ高水位調節弁	ヨーク	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、塗装の健全性を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM ④TBM ⑤TBM	①1C ②1C ③1C ④1C ⑤1C	①外観点検 ②外観点検 ③外観点検 ④外観点検 ⑤外観点検	①第16回定検(C-550432-R) ②第16回定検(C-550432-R) ③第16回定検(C-550432-R) ④第16回定検(C-550432-R) ⑤第16回定検(C-550432-R)	①無 ②無 ③無 ④無 ⑤無	-
弁	制御弁	①炉頂部冷却水流量調節弁	弁箱, 弁ふた	腐食(全面腐食)	1-② 1-⑤	可	目視確認を行い、健全性を確認する。 弁箱, 弁ふたの外面については、目視確認を行い、塗装の健全性を確認する。	①TBM	①39M	①分解点検②	①第16回定検(C-550432-R)	①無	-
弁	制御弁	①中央制御室冷凍機出口圧力調節弁	弁箱, 弁ふた	腐食(全面腐食)	1-② 1-⑥	可	目視確認を行い、健全性を確認する。 弁箱, 弁ふたの外面については、目視確認を行い、塗装の健全性を確認する。	①TBM	①39M	①分解点検②	①第16回定検(C-550432-R)	①無	-
弁	制御弁	①水素ガス制御装置圧力調整弁	弁箱, 弁ふた, 弁座, ダイヤフラム押え	腐食(全面腐食)	1-② 1-⑤	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①26M	①分解点検	①第17回定検(CH1120056)	①無	-
弁	制御弁	①液体窒素蒸発装置温度調節弁	弁箱, 弁ふた	腐食(全面腐食)	1-② 1-⑤	可	目視確認を行い、健全性を確認する。 弁箱, 弁ふたの外面については、目視確認を行い、塗装の健全性を確認する。	①TBM	①52M	①分解点検②	①第14回定検(C-52576-R)	①無	-
弁	ラプチャーディスク	①格納容器フィルタベント系ラプチャーディスク	ホルダー	腐食(全面腐食)	1-② 1-⑤	可	目視確認を行い、健全性を確認する。 外面については、目視確認を行い、メッキの健全性を確認する。	①TBM	①新設機器	①外観点検	①新設機器	①無	-
弁	ラプチャーディスク	①格納容器フィルタベント系ラプチャーディスク ②タービンラプチャーディスク	ジョイントボルト・ナット, 六角ボルト	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM ②TBM	①新設機器 ②39M	①外観点検 ②開放点検	①新設機器 ②第15回定検(D40-21-K162)	①無 ②無	■

評価書		対象機器	部位	経年劣化事象	保全の方針	劣化傾向 監視	劣化管理の考え方	検査(保全) 方式	検査周期	検査方法 (保全タスク)	実績	部品取替履歴	耐震影響
分類													
弁	ドレントラップ弁	共通(代表確認) ①原子炉隔離時冷却系入口管ドレンポット 出口ドレントラップ	本体、ふた	腐食(全面腐食)	1-② 1-⑤	可	目視確認を行い、健全性を確認する。 外面については、目視確認を行い、塗装の健全性を確認する。	①TBM	①52M	①分解点検	①第17回定検(N15M8-00176)	①無	■
弁	ドレントラップ弁	共通(代表確認) ①原子炉隔離時冷却系入口管ドレンポット 出口ドレントラップ	ジョイントボルト・ナット	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①52M	①分解点検	①第17回定検(N15M8-00176)	①無	■
弁	電動弁用駆動部	①残留熱除去系炉水入口内側隔離弁用駆動部 ②原子炉補機冷却系熱交海水出口弁用駆動部 ③原子炉隔離時冷却系タービン気隔離弁用駆動部 ④原子炉補機海水ポンプ出口弁用駆動部	取付ボルト	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM ④TBM	①78M ②78M ③78M ④78M	①分解点検 ②分解点検 ③分解点検 ④分解点検	①平成25年度(AUR5-0039) ②平成26年度(710E8-MF194) ③第15回定検(710E8-MF631) ④平成27年度(710E8-MR803)	①無 ②無 ③無 ④無	■
弁	電動弁用駆動部	①残留熱除去系炉水入口内側隔離弁用駆動部 ②原子炉補機冷却系熱交海水出口弁用駆動部 ③原子炉隔離時冷却系タービン気隔離弁用駆動部 ④原子炉補機海水ポンプ出口弁用駆動部	モータのフレームおよびエンドブラケット	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、塗装の状態を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM ④TBM	①130M ②130M ③130M ④130M	①分解点検① ②分解点検 ③定期取替 ④分解点検	①第11回定検(PVH-S-03-206) ②第12回定検(ENT-NS2-04-EE-R053) ③第14回定検(710E8-ED163) ④第17回定検(710E8-ED627)	①無 ②無 ③第14回定検(710E8-ED163) ④無	-

評価書		対象機器	部位	経年劣化事象	保全の方針	劣化傾向 監視	劣化管理の考え方	検査(保全) 方式	検査周期	検査方法 (保全タスク)	実績	部品取替履歴	耐震影響
分類													
弁	電動弁用駆動部	①残留熱除去系炉水入口内側隔離弁用駆動部 ②原子炉補機冷却系熱交換海水出口弁用駆動部 ③原子炉隔離時冷却系タービン気隔離弁用駆動部 ④原子炉補機海水ポンプ出口弁用駆動部	モータの固定子コアおよび回転子コア	腐食(全面腐食)	1-⑤	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM ④TBM	①130M ②130M ③130M ④130M	①分解点検① ②分解点検 ③定期取替 ④分解点検	①第11回定検(PVH-S-03-206) ②第12回定検(ENT-NS2-04-EE-R053) ③第14回定検(710E8-ED163) ④第17回定検(710E8-ED627)	①無 ②無 ③第14回定検(710E8-ED163) ④無	-
弁	空気作動弁用駆動部	①中央制御室冷凍機出口圧力調節弁用駆動部 ②炉水戻り試験可能逆止弁用駆動部 ③原子炉給水外側隔離逆止弁用駆動部	ケース、シリンダ、シリンダキャップ	腐食(全面腐食)	1-② 1-⑤	可	目視確認を行い、健全性を確認する。 外面については、目視確認を行い、塗装の健全性を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM	①52M ②78M ③78M	①分解点検① ②分解点検 ③分解点検	①第17回定検(C-610180-R) ②第15回定検(PVH-S-08-202) ③第12回定検(ENT-NS2-04-MR-252)	①無 ②無 ③無	-
弁	空気作動弁用駆動部	①中央制御室冷凍機出口圧力調節弁用駆動部	ケースボルト・ナット	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①52M	①分解点検①	①第17回定検(C-610180-R)	①無	■
弁	空気作動弁用駆動部	①中央制御室冷凍機出口圧力調節弁用駆動部	ダイヤフラム受け	腐食(全面腐食)	1-⑤	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①52M	①分解点検①	①第17回定検(C-610180-R)	①無	-
弁	空気作動弁用駆動部	①中央制御室冷凍機出口圧力調節弁用駆動部 ②炉水戻り試験可能逆止弁用駆動部 ③原子炉給水外側隔離逆止弁用駆動部	取付ボルト・ナット	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM	①52M ②78M ③78M	①分解点検① ②分解点検 ③分解点検	①第17回定検(C-610180-R) ②第15回定検(PVH-S-08-202) ③第12回定検(ENT-NS2-04-MR-252)	①無 ②無 ③無	■
弁	空気作動弁用駆動部	①炉水戻り試験可能逆止弁用駆動部 ②原子炉給水外側隔離逆止弁用駆動部	ピストンロッド	腐食(全面腐食)	1-⑤	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM ②TBM	①78M ②78M	①分解点検 ②分解点検	①第15回定検(PVH-S-08-202) ②第15回定検(PVH-S-08-202)	①無 ②無	-
弁	空気作動弁用駆動部	①炉水サンプリング内側隔離弁	ピストン	腐食(全面腐食)	1-⑤	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①78M	①分解点検	①第13回定検(PVH-S-06-202)	①無	-

評価書		対象機器	部位	経年劣化事象	保全の方針	劣化傾向 監視	劣化管理の考え方	検査(保全) 方式	検査周期	検査方法 (保全タスク)	実績	部品取替履歴	耐震影響
分類													
ケーブル	ケーブルトレイ, 電線管	①ケーブルトレイ ②電線管	ケーブルトレイ 電線管 サポート ベースプレート トレイ取付ボルト ナット ユニバーチャネル ハイブクランプ	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認または巡視時の 目視確認を行い、健全性 を確認する。	①TBM ②その他	①10C ②無	①【定】外観検査 ②巡視点検(当直)	①第17回定検(S2-17-III-80-2) ②無	①無 ②無	-
ケーブル	ケーブルトレイ, 電線管	①ケーブルトレイ ②電線管	埋込金物	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認または巡視時の 目視確認を行い、健全性 を確認する。	①TBM ②その他	①10C ②無	①【定】外観検査 ②巡視点検(当直)	①第17回定検(S2-17-III-80-2) ②無	①無 ②無	-
ケーブル	ケーブルトレイ, 電線管	①ケーブルトレイ ②電線管	基礎ボルト	腐食(全面腐食)	1-②	可	機器の点検時に目視点検 を行い、塗装の健全性を 確認する。	①TBM ②その他	①10C ②無	①【定】外観検査 ②巡視点検(当直)	①第17回定検(S2-17-III-80-2) ②無	①無 ②無	◎
ケーブル	ケーブル接続部	①端子台接続	端子板 端子台ビス 接続端子	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、健全性 を確認する。	①TBM	①130M	①分解点検	①第17回定検(710E8-ED627)	①第17回定検(710E8-ED627)	-
ケーブル	ケーブル接続部	①電動弁コネクタ接続	オスコンタクト メスコンタクト レセプタクルシエル プラグシエル	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、健全性 を確認する。	①TBM	①130M	①分解点検	①第17回定検(710E8-ED627)	①無	-
ケーブル	ケーブル接続部	①同軸コネクタ接続	レセプタクルボディ ナット コレット バックナット レセプタクルアダプタ ソケットコンタクト プラグボディ ピンコンタクト クリンブカーラー コネクタナット	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、健全性 を確認する。	①TBM	①1C	①外観点検	①第16回定検(D40-21-D113)	①無	-
タービン	高圧タービン	①高圧タービン	基礎ボルト	腐食(全面腐食)	1-②	可	機器の点検時に目視点検 を行い、塗装の健全性を 確認する。	①TBM	①2C	①外観点検②	①第16回定検(710E8-MG610)	①無	◎
タービン	高圧タービン	①高圧タービン	ケーシングボルト, 油 切り, カップリングボ ルト, 軸受台, 軸受ボ ルト, ベースプレート, 車 室外面および隔板締 付ボルト	腐食(全面腐食)	1-② 1-④ 1-⑤	可	定期的に目視確認を行 い、健全性を確認す る。	①TBM	①26M	①開放点検②-1	①第16回定検(710E8-MG610)	①隔板締付ボルト: 第17回定検 (D40-21-K427タービン取替工 事)	■
タービン	高圧タービン	①高圧タービン	軸受台(大気接触部)	腐食(全面腐食)	1-②	可	定期的に目視確認を行 い、塗装の状態を確認 する。	①TBM	①26M	①開放点検②-1	①第16回定検(710E8-MG610)	①無	-
タービン	高圧タービン	①高圧タービン	軸受台とベースプレ ートのスライド部	腐食(全面腐食)	1-④	可	外観点検により、健全性 を確認する。	①TBM	①1C	①外観点検④	①第17回定検(N15M8-00184)	①無	-
タービン	低圧タービン	①低圧タービン	基礎ボルト	腐食(全面腐食)	1-②	可	機器の点検時に目視点検 を行い、塗装の健全性を 確認する。	①TBM	①2C	①外観点検②	①第17回定検(N15M8-00184)	①無	◎
タービン	低圧タービン	①低圧タービン	外部車室外面, 外部 ケーシングボルト, 軸 受ボルト, カップリン グボルト, 油切り, 軸 受台, ベースプレート, 内 部ケーシングボルトお よび隔板締付ボルト	腐食(全面腐食)	1-② 1-④ 1-⑤	可	定期的に目視確認を行 い、健全性を確認す る。	①TBM	①26M	①開放点検①-1	①第17回定検(N15M8-00184)	①外部車室外面, 外部ケー シングボルト, 軸受ボルト, カッ プリングボルト, 油切り, 軸受台, ベースプレート: 無 内部ケーシングボルトおよび隔 板締付ボルト: 第17回定検 (D40-21-K427)	■

評価書		対象機器	部位	経年劣化事象	保全の方針	劣化傾向 監視	劣化管理の考え方	検査(保全) 方式	検査周期	検査方法 (保全タスク)	実績	部品取替履歴	耐震影響
分類													
タービン	低圧タービン	①低圧タービン	軸受台および外部車室外面(大気接触部)	腐食(全面腐食)	1-②	可	定期的に目視確認を行い、塗装の状態を確認する。	①TBM	①26M	①開放点検①-1	①第17回定検(N15M8-00184)	①無	-
タービン	低圧タービン	①低圧タービン	軸受台とベースプレートのスライド部	腐食(全面腐食)	1-④	可	外観点検により、健全性を確認する。	①TBM	①1C	①外観点検④	①第17回定検(N15M8-00184)	①無	-
タービン	原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービン	①原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービン	基礎ボルト	腐食(全面腐食)	1-②	可	機器の点検時に目視点検を行い、塗装の健全性を確認する。	①TBM	①2C	①外観点検①	①第17回定検(N15M8-00219)	①無	◎
タービン	原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービン	①原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービン	ケーシングボルト、油切り、軸受ボルト、車室外面および隔板固定キーボルト	腐食(全面腐食)	1-② 1-④ 1-⑤	可	定期的な目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①26M	①分解点検-1	①第16回定検(710E8-MG802)	①無	■
タービン	原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービン	①原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービン	軸受台、ベースプレート(大気接触部)	腐食(全面腐食)	1-②	可	定期的に目視確認を行い、塗装の状態を確認する。	①TBM	①1C	①外観点検③-1	①第17回定検(N15M8-00219)	①無	■
タービン	主要配管(タービン)	①リード管 ②クロスアラウンド管 ③クロスアラウンド管安全弁出口管	配管	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM	①26M ②26M ③52M ④78M	①開放点検 ②開放点検 ③分解点検	①第16回定検(710E8-MG610) ②第16回定検(N15M8-00053) ③第17回定検(N15M8-00053) ④第15回定検(710E8-MG252) ⑤第13回定検(710E8-MG356)	①無 ②無 ③無	-
タービン	主要配管(タービン)	①リード管 ②クロスアラウンド管 ③クロスアラウンド管安全弁出口管	フランジボルト、ナット	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM	①26M ②26M ③52M ④78M	①開放点検 ②開放点検 ③分解点検	①第16回定検(710E8-MG610) ②第17回定検(N15M8-00053) ③第15回定検(710E8-MG252) ④第13回定検(710E8-MG356)	①無 ②無 ③無	■
タービン	主要弁(タービン)	①主蒸気止め弁 ②蒸気加減弁 ③組合せ中間弁 ④タービンバイパス弁 ⑤クロスアラウンド管安全弁 ⑥原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービン高圧蒸気止め弁 ⑦原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービン高圧蒸気加減弁 ⑧原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービン低圧蒸気止め弁 ⑨原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービン低圧蒸気加減弁	弁ふたボルト・ナットおよび弁体ボルト	腐食(全面腐食)	1-②	可	定期的に目視確認を行い健全性を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM ④TBM ⑤TBM ⑥TBM ⑦TBM ⑧TBM ⑨TBM	①26M ②26M ③26M ④26M ⑤78M ⑥13M ⑦13M ⑧13M ⑨13M	①開放点検 ②開放点検 ③開放点検 ④分解点検 ⑤分解点検 ⑥分解点検② ⑦分解点検② ⑧分解点検② ⑨分解点検②	①第17回定検(N15M8-00301) ②第17回定検(N15M8-00301) ③第17回定検(N15M8-00301) ④第17回定検(N15M8-00301) ⑤第13回定検(710E8-MG356) ⑥第17回定検(N15M8-00219) ⑦第17回定検(N15M8-00219) ⑧第17回定検(N15M8-00219) ⑨第17回定検(N15M8-00219)	①無 ②無 ③無 ④無 ⑤無 ⑥無 ⑦無 ⑧無 ⑨無	■
タービン	主要弁(タービン)	①主蒸気止め弁 ②蒸気加減弁 ③組合せ中間弁 ④タービンバイパス弁 ⑤原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービン高圧蒸気止め弁 ⑥原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービン低圧蒸気止め弁	ヨークおよび支持鋼材	腐食(全面腐食)	1-②	可	定期的に目視確認を行い、塗装の状態を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM ④TBM ⑤TBM ⑥TBM	①1C ②1C ③1C ④1C ⑤1C ⑥1C	①外観点検②-1 ②外観点検②-1 ③外観点検②-1 ④外観点検②-1 ⑤外観点検-1 ⑥外観点検-1	①第16回定検(710E8-MG582) ②第16回定検(710E8-MG582) ③第16回定検(710E8-MG582) ④第16回定検(710E8-MG582) ⑤第16回定検(710E8-MG802) ⑥第16回定検(710E8-MG802)	①無 ②無 ③無 ④無 ⑤無 ⑥無	-
タービン	主要弁(タービン)	①主蒸気止め弁 ②タービンバイパス弁	埋込金物	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、塗装の状態を確認する。	①TBM ②TBM	①1C ②1C	①外観点検②-1 ②外観点検②-1	①第16回定検(710E8-MG582) ②第16回定検(710E8-MG582)	①無 ②無	-
タービン	主要弁(タービン)	①クロスアラウンド管安全弁	弁箱、弁体、弁座およびガイド	腐食(全面腐食)	1-② 1-⑤	可	定期的に目視確認または塗装の状態を確認(弁箱の外面)を行い、健全性を確認する。	①TBM	①78M	①分解点検	①第13回定検(710E8-MG356)	①無	■

評価書		対象機器	部位	経年劣化事象	保全の方針	劣化傾向 監視	劣化管理の考え方	検査(保全) 方式	検査周期	検査方法 (保全タスク)	実績	部品取替履歴	耐震影響
分類													
タービン	タービン制御装置	①主タービンEHC装置 ①-1 主タービンEHC装置	基礎ボルト	腐食(全面腐食)	1-②	可	機器の点検時に目視点検を行い、塗装の健全性を確認する。	①TBM	①26M	①-1 開放点検	①-1 第17回定検(5KR-21-0058-17)	①-1 無	◎
タービン	タービン制御装置	①主タービンEHC装置 ①-1 制御油ポンプ ①-2 サーボ弁・シャットオフ弁	ケーシング、軸継手	腐食(全面腐食)	1-② 1-④	可	分解点検を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM ①-2 TBM	①-1 26M ①-2 13M(サーボ弁) 52M(シャットオフ弁)	①-1 分解点検 ①-2 分解点検	①-1 第17回定検(QK-12-S863,5KR-21-0058-17) ①-2 サーボ弁 第17回定検(QK-12-S538) シャットオフ弁 第16回定検(QK-10-S1175)	①-1 無 ①-2 無	-
タービン	タービン制御装置	①主タービンEHC装置 ①-1 弁 ①-2 ラインフィルタ ①-3 タービンバイパス弁アキュムレータ ①-4 EHC用アキュムレータ	弁、ラインフィルタおよびアキュムレータ	腐食(全面腐食)	1-② 1-④	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM ①-2 TBM ①-3 TBM ①-4 TBM	①-1 1C ①-2 13M ①-3 52M ①-4 52M	①-1 外観点検 ①-2 開放点検 ①-3 開放点検 ①-4 開放点検	①-1 第17回定検(5KR-21-0058-17) ①-2 第17回定検(5KR-21-0058-17) ①-3 第14回定検(QK-07-S1147) ①-4 第15回定検(QK-08-S1881)	①-1 無 ①-2 無 ①-3 第16回定検(5KR-21-0039-16) ①-4 第17回定検(5KR-21-0057-17)	-
タービン	タービン制御装置	①主タービンEHC装置 ①-1 制御油ポンプ	取付ボルト	腐食(全面腐食)	1-②	可	定期的に目視確認を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM	①-1 26M	①-1 分解点検	①-1 第17回定検(5KR-21-0058-17)	①-1 無	-
タービン	タービン制御装置	①主タービンEHC装置 ①-1 ポンプモータ(低圧、交流、全閉)	固定子コアおよび回転子コア	腐食(全面腐食)	1-⑤	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM	①-1 52M	①-1 分解点検	①-1 第14回定検(710E8-ED059)	①-1 無	-
タービン	タービン制御装置	①主タービンEHC装置 ①-1 ポンプモータ(低圧、交流、全閉)	フレーム、エンドブラケットおよび端子箱	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、塗装の状態を確認する。	①-1 TBM	①-1 1C	①-1 外観点検	①-1 第17回定検(710E8-ED567)	①-1 無	-
タービン	タービン制御装置	①主タービンEHC装置 ①-1 ポンプモータ(低圧、交流、全閉)	取付ボルト	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、塗装の状態を確認する。	①-1 TBM	①-1 1C	①-1 外観点検	①-1 第17回定検(710E8-ED567)	①-1 無	-
タービン	タービン潤滑油装置	①主タービン潤滑油装置 ①-1 主油ポンプ	ケーシング	腐食(全面腐食)	1-② 1-④	可	内面については、定期的な目視確認を行い、健全性を確認する。外面については、定期的な目視確認を行い、塗装の状態を確認する。	①-1 TBM	①-1 26M	①-1 分解点検-1	①-1 第16回定検(710E8-MG628)	①-1 無	-
タービン	タービン潤滑油装置	①主タービン潤滑油装置 ①-1 主油ポンプ	主軸および歯車	腐食(全面腐食)	1-④	可	定期的な目視確認を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM	①-1 26M	①-1 分解点検-1	①-1 第16回定検(710E8-MG628)	①-1 無	-
タービン	タービン潤滑油装置	①主タービン潤滑油装置 ①-1 主油ポンプ	ケーシングボルトおよび取付ボルト	腐食(全面腐食)	1-②	可	定期的な目視確認を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM	①-1 26M	①-1 分解点検-1	①-1 第16回定検(710E8-MG628)	①-1 無	-
タービン	タービン潤滑油装置	①主タービン潤滑油装置	油配管	腐食(全面腐食)	1-② 1-④	可	定期的な目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①1C	①外観点検④	①第17回定検(N15M8-00184)	①無	-
タービン	非常用系タービン設備	①原子炉隔離時冷却ポンプ駆動用蒸気タービンおよび付属装置	基礎ボルト	腐食(全面腐食)	1-②	可	機器の点検時に目視点検を行い、塗装の健全性を確認する。	①TBM	①6C	①外観点検①	①第12回定検(5HR-21-0045-12)	①無	◎
タービン	非常用系タービン設備	①原子炉隔離時冷却ポンプ駆動用蒸気タービンおよび付属装置 ①-1 原子炉隔離時冷却ポンプ駆動用蒸気タービン	主軸、円板、翼およびケーシング	腐食(全面腐食)	1-⑤	可	定期的な目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①78M	①分解点検①	①第12回定検(5HR-21-0045-12)	①無	-
タービン	非常用系タービン設備	①原子炉隔離時冷却ポンプ駆動用蒸気タービンおよび付属装置 ①-1 主塞止弁 ①-2 蒸気加減弁	弁箱および弁ふた	腐食(全面腐食)	1-② 1-⑤	可	定期的な目視確認を行い、塗装の状態を確認する。	①-1 TBM ①-2 TBM	①-1 78M ①-2 78M	①-1 分解点検 ①-2 分解点検	①-1 第12回定検(5HR-21-0045-12) ②-2 第12回定検(5HR-21-0045-12)	①-1 無 ①-2 無	■

評価書		対象機器	部位	経年劣化事象	保全の方針	劣化傾向 監視	劣化管理の考え方	検査(保全) 方式	検査周期	検査方法 (保全タスク)	実績	部品取替履歴	耐震影響
分類													
タービン	非常用系タービン設備	①原子炉隔離時冷却ポンプ駆動用蒸気タービンおよび付属装置 ①-1 原子炉隔離時冷却ポンプ駆動用蒸気タービン ①-2 主塞止弁 ①-3 蒸気加減弁 ①-4 ハロメトリック復水器 ①-5 真空タンク ①-6 真空ポンプ ①-7 復水ポンプ ①-8 セパレータ ①-9 制御油ポンプ ①-10 油ポンプ ①-11 油冷却器 ①-12 油タンク ①-13 オイルフィルタ	ケーシングボルト、フランジボルト、取付ボルトおよび弁ふたボルト	腐食(全面腐食)	1-②	可	定期的に見視確認を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM ①-2 TBM ①-3 TBM ①-4 TBM ①-5 TBM ①-6 TBM ①-7 TBM ①-8 TBM ①-9 TBM ①-10 TBM ①-11 TBM ①-12 TBM ①-13 TBM	①-1 6C ①-2 78M ①-3 78M ①-4 6C ①-5 6C ①-6 6C ①-7 6C ①-8 6C ①-9 13M ①-10 78M ①-11 6C ①-12 6C ①-13 6C	①-1 外観点検① ①-2 分解点検 ①-3 分解点検 ①-4 外観点検 ①-5 外観点検① ①-6 外観点検 ①-7 外観点検 ①-8 外観点検 ①-9 分解点検② ①-10 分解点検 ①-11 外観点検 ①-12 外観点検 ①-13 外観点検①	①-1 第12回定検(5HR-21-0045-12) ①-2 第12回定検(5HR-21-0045-12) ①-3 第12回定検(5HR-21-0045-12) ①-4 第14回定検(S2-14-II-32-1) ①-5 第12回定検(5HR-21-0045-12) ①-6 第14回定検(S2-14-II-32-1) ①-7 第14回定検(S2-14-II-32-1) ①-8 第14回定検(S2-14-II-32-1) ①-9 第17回定検(N21-TG-22) ①-10 第12回定検(5HR-21-0045-12) ①-11 第16回定検(S2-16-II-32-1) ①-12 第16回定検(S2-16-II-32-1) ①-13 第12回定検(5HR-21-0045-12)	①-1 無 ①-2 無 ①-3 無 ①-4 無 ①-5 無 ①-6 無 ①-7 無 ①-8 無 ①-9 無 ①-10 無 ①-11 無 ①-12 無 ①-13 無	■
タービン	非常用系タービン設備	①原子炉隔離時冷却ポンプ駆動用蒸気タービンおよび付属装置 ①-1 主塞止弁	弁体	腐食(全面腐食)	1-⑤	可	定期的に見視確認を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM	①-1 78M	①-1 分解点検	①-1 第12回定検(5HR-21-0045-12)	①-1 無	■
タービン	非常用系タービン設備	①原子炉隔離時冷却ポンプ駆動用蒸気タービンおよび付属装置 ①-1 主塞止弁 ①-2 蒸気加減弁	レバーおよびヨーク	腐食(全面腐食)	1-②	可	定期的に見視確認を行い、塗装の状態を確認する。	①-1 TBM ①-2 TBM	①-1 78M ①-2 78M	①-1 分解点検 ①-2 分解点検	①-1 第12回定検(5HR-21-0045-12) ②-2 第12回定検(5HR-21-0045-12)	①-1 無 ①-2 無	-
タービン	非常用系タービン設備	①原子炉隔離時冷却ポンプ駆動用蒸気タービンおよび付属装置 ①-1 ハロメトリック復水器 ①-2 真空タンク ①-3 真空ポンプ ①-4 復水ポンプ ①-5 セパレータ ①-6 油冷却器 ①-7 復水系配管・弁 ①-8 グランド蒸気系配管・弁	ポンプ、タンク、配管および弁等	腐食(全面腐食)	1-⑤	可	定期的に見視確認を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM ①-2 TBM ①-3 TBM ①-4 TBM ①-5 TBM ①-6 TBM ①-7 TBM ①-8 TBM	①-1 78M ①-2 78M ①-3 78M ①-4 78M ①-5 78M ①-6 78M ①-7 78M ①-8 78M	①-1 開放点検 ①-2 開放点検 ①-3 分解点検 ①-4 分解点検 ①-5 開放点検 ①-6 開放点検 ①-7 開放点検 ①-8 開放点検	①-1 第14回定検(5KR-21-0026-14) ①-2 第12回定検(5HR-21-0045-12) ①-3 第14回定検(5KR-21-0026-14) ①-4 第14回定検(5KR-21-0026-14) ①-5 第14回定検(5KR-21-0026-14) ①-6 第16回定検(N2116-RT-012-9) ①-7 第16回定検(N2116-RT-012-9) ①-8 第16回定検(N2116-RT-012-9)	①-1 無 ①-2 無 ①-3 無 ①-4 無 ①-5 無 ①-6 無 ①-7 無 ①-8 無	■
タービン	非常用系タービン設備	①原子炉隔離時冷却ポンプ駆動用蒸気タービンおよび付属装置 ①-1 制御油ポンプ ①-2 油ポンプ ①-3 油冷却器 ①-4 油タンク ①-5 オイルフィルタ ①-6 油系配管・弁	ポンプ、タンク、配管および弁等	腐食(全面腐食)	1-② 1-④	可	定期的に見視確認を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM ①-2 TBM ①-3 TBM ①-4 TBM ①-5 TBM ①-6 TBM	①-1 13M ①-2 78M ①-3 78M ①-4 78M ①-5 13M ①-6 13M	①-1 分解点検② ①-2 分解点検 ①-3 開放点検 ①-4 開放点検 ①-5 開放点検② ①-6 分解点検②	①-1 第17回定検(N21-TG-22) ①-2 第12回定検(5HR-21-0045-12) ①-3 第16回定検(N2116-RT-012-9) ①-4 第16回定検(N2116-RT-012-8) ①-5 第16回定検(N2116-RT-012-7) ①-6 第17回定検(N2117-RT-012-2)	①-1 無 ①-2 無 ①-3 無 ①-4 無 ①-5 無 ①-6 無	■
タービン	非常用系タービン設備	①原子炉隔離時冷却ポンプ駆動用蒸気タービンおよび付属装置 ①-1 原子炉隔離時冷却ポンプ駆動用蒸気タービン ①-2 ハロメトリック復水器	ベースプレートおよび支持鋼材	腐食(全面腐食)	1-②	可	定期的に見視確認を行い、塗装の状態を確認する。	①-1 TBM ①-2 TBM	①-1 6C ①-2 6C	①-1 【定】外観検査 ①-2 外観点検	①-1 第12回定検(S2-87-1) ①-2 第14回定検(5KR-21-0026-14)	①-1 無 ①-2 無	-
タービン	非常用系タービン設備	①原子炉隔離時冷却ポンプ駆動用蒸気タービンおよび付属装置 ①-1 主塞止弁	電動弁用駆動部のフレームおよびエンドブラケット	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、塗装の状態を確認する。	①-1 TBM	①-1 130M	①-1 定期取替	①-1 第11回定検(710E8-ED136)	①-1 第11回定検	-
タービン	非常用系タービン設備	①原子炉隔離時冷却ポンプ駆動用蒸気タービンおよび付属装置 ①-1 主塞止弁	電動弁用駆動部の固定子コアおよび回転子コア	腐食(全面腐食)	1-⑤	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM	①-1 130M	①-1 定期取替	①-1 第11回定検(710E8-ED136)	①-1 第11回定検	-
タービン	非常用系タービン設備	①原子炉隔離時冷却ポンプ駆動用蒸気タービンおよび付属装置 ①-1 主塞止弁	電動弁用駆動部の取付ボルト	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM	①-1 78M	①-1 分解点検	①-1 第12回定検(5HR-21-0045-12)	①-1 無	-



評価書		対象機器	部位	経年劣化事象	保全の方針	劣化傾向 監視	劣化管理の考え方	検査(保全) 方式	検査周期	検査方法 (保全タスク)	実績	部品取替履歴	耐震影響
分類													
タービン	非常用系タービン設備	①原子炉隔離時冷却ポンプ駆動用蒸気タービンおよび付属装置 ①-1 真空ポンプモータ ①-2 復水ポンプモータ	ポンプモータ(低圧、直流、全閉)のフレーム、エンドブラケットおよび回転子コア	腐食(全面腐食)	1-⑤	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM ①-2 TBM	①-1 104M ①-2 104M	①-1 分解点検 ①-2 分解点検	①-1 第15回定検(710E8-ED720) ①-2 第15回定検(710E8-ED720)	①-1 無 ①-2 無	-
タービン	非常用系タービン設備	①原子炉隔離時冷却ポンプ駆動用蒸気タービンおよび付属装置 ①-1 真空ポンプモータ ①-2 復水ポンプモータ	ポンプモータ(低圧、直流、全閉)のフレーム、エンドブラケットおよび端子箱	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、塗装の状態を確認する。	①-1 TBM ①-2 TBM	①-1 1C ①-2 1C	①-1 外観点検 ①-2 外観点検	①-1 第17回定検(710E8-ED567) ①-2 第17回定検(710E8-ED567)	①-1 無 ①-2 無	-
タービン	非常用系タービン設備	①原子炉隔離時冷却ポンプ駆動用蒸気タービンおよび付属装置 ①-1 真空ポンプモータ ①-2 復水ポンプモータ	ポンプモータ(低圧、直流、全閉)の取付ボルト	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、塗装の状態を確認する。	①-1 TBM ①-2 TBM	①-1 1C ①-2 1C	①-1 外観点検 ①-2 外観点検	①-1 第17回定検(710E8-ED567) ①-2 第17回定検(710E8-ED567)	①-1 無 ①-2 無	-
計測制御	計測装置	①中央制御室冷凍機潤滑油ポンプ差圧計測装置	計装配管、継手および計装弁	腐食(全面腐食)	1-② 1-④	可	定期的に目視確認を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM ①-2 TBM	①-1 13M ①-2 10C	①-1 特性試験(校正・調整) ①-2 耐震健全性検査(計器ラック他)	①-1 第16回定検(C-550430-R) ①-2 無	①-1 無 ①-2 無	-
計測制御	計測装置	①換気系放射線計測装置 ②水素濃度計測装置 ③酸素濃度計測装置	サンプルポンプモータ(低圧、交流、全閉)のフレームおよびエンドブラケット	腐食(全面腐食)	1-②	可	定期的に目視確認を行い、塗装の状態を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM	①13M ②1C ③1C	①分解点検 ②機能・性能試験 ③機能・性能試験	①第17回定検(RNM40287Y) ②第17回定検(OM-NS2-17-TH024) ③第17回定検(OM-NS2-17-TH024)	①無 ②無 ③無	-
計測制御	計測装置	①原子炉圧力計測装置 ②ほう酸水注入ポンプ潤滑油圧力計測装置 ③中央制御室冷凍機潤滑油ポンプ差圧計測装置 ④蒸気加減弁急速閉用油圧計測装置 ⑤主蒸気流量計測装置 ⑥原子炉水位計測装置 ⑦換気系放射線計測装置 ⑧水素濃度計測装置 ⑨酸素濃度計測装置	計装配管サポート部	腐食(全面腐食)	1-②	可	定期的に目視確認を行い、塗装の状態を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM ④TBM ⑤TBM ⑥TBM ⑦TBM ⑧TBM ⑨TBM	①1C, 13M ②13M ③10C ④1C ⑤1C ⑥1C ⑦1C ⑧1C ⑨1C	⑧外観点検 ⑨外観点検 ③特性試験(校正・調整) ④外観点検 ⑤外観点検 ⑥外観点検 ⑦漏えい試験 ⑧外観点検 ⑨外観点検	①第16回定検(710E8-KE383), (710E8-KE314) ②第16回定検(710E8-KE466) ③第16回定検(C-550430-R) ④第16回定検(710E8-KE383) ⑤第16回定検(710E8-KE383) ⑥第16回定検(710E8-KE314) ⑦第17回定検(RNM40287Y) ⑧第17回定検(OM-NS2-17-TH024) ⑨第17回定検(OM-NS2-17-TH024)	①無 ②無 ③無 ④無 ⑤無 ⑥無 ⑦無 ⑧無 ⑨無	-
計測制御	計測装置	①原子炉圧力計測装置 ②原子炉隔離時冷却系排気ラプチャーディスタク間圧力計測装置 ③中央制御室冷凍機潤滑油ポンプ差圧計測装置 ④蒸気加減弁急速閉用油圧計測装置 ⑤燃料プール温度計測装置 ⑥主蒸気流量計測装置 ⑦原子炉水位計測装置 ⑧スクラム排出水容器水位計測装置 ⑨換気系放射線計測装置 ⑩水素濃度計測装置 ⑪酸素濃度計測装置 ⑫低圧原子炉代替注水流量計測装置 ⑬燃料プール水位計測装置 ⑭原子炉建物水素濃度計測装置	計器架台	腐食(全面腐食)	1-②	可	定期的に目視確認を行い、塗装の状態を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM ④TBM ⑤TBM ⑥TBM ⑦TBM ⑧TBM ⑨TBM ⑩TBM ⑪TBM ⑫TBM ⑬TBM ⑭TBM	①10C ②10C ③10C ④1C ⑤1C ⑥10C ⑦10C ⑧1C ⑨1C ⑩10C ⑪10C ⑫新設機器 ⑬新設機器 ⑭新設機器	①【定】外観検査 ②【定】外観検査 ③耐震健全性検査(計器ラック他) ④外観点検 ⑤特性試験(漏通試験) ⑥【定】外観検査 ⑦【定】外観検査 ⑧外観点検 ⑨漏えい試験 ⑩【定】外観検査 ⑪【定】外観検査 ⑫外観点検 ⑬外観点検 ⑭外観点検	①第16回定検(710E8-KE314) ② 第13回定検(定事検: S2-13-III-80-3) ③- ④第16回定検(710E8-KE383) ⑤新設機器 ⑥第16回定検(定事検: S2-16-III-80-3) ⑦第16回定検(定事検: S2-16-III-80-3) ⑧第16回定検(710E8-KE383) ⑨第17回定検(RNM40287Y) ⑩無 ⑪無 ⑫新設機器 ⑬新設機器 ⑭新設機器	①無 ②無 ③無 ④無 ⑤無 ⑥無 ⑦無 ⑧無 ⑨無 ⑩無 ⑪無 ⑫無 ⑬無 ⑭無	-
計測制御	計測装置	①原子炉隔離時冷却系排気ラプチャーディスタク間圧力計測装置 ②主蒸気管放射線計測装置 ③地震加速度計測装置	筐体	腐食(全面腐食)	1-②	可	定期的に目視確認を行い、塗装の状態を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM	①13M ②13M ③1C	①特性試験(校正・調整) ②特性試験(校正・調整) ③外観点検	①第16回定検(714E8-KE466) ②第17回定検(OM-NS2-17-TH026) ③第16回定検(710E8-KE383)	①無 ②無 ③無	-

評価書		対象機器	部位	経年劣化事象	保全の方針	劣化傾向 監視	劣化管理の考え方	検査(保全) 方式	検査周期	検査方法 (保全タスク)	実績	部品取替履歴	耐震影響
分類													
計測制御	計測装置	①原子炉圧力計測装置 ②原子炉補機海水ポンプ出口圧力計測装置 ③中央制御室冷凍機潤滑油ポンプ差圧計測装置 ④主蒸気流量計測装置 ⑤原子炉水位計測装置 ⑥主蒸気管放射線計測装置 ⑦原子炉棟排気高レンジ放射線計測装置 ⑧主蒸気隔離弁位置計測装置 ⑨低圧原子炉代替注水流量計測装置 ⑩燃料プール水位計測装置 ⑪原子炉建物水素濃度計測装置	取付ボルト	腐食(全面腐食)	1-②	可	定期的に目視確認を行い、塗装等の状態を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM ④TBM ⑤TBM ⑥TBM ⑦TBM ⑧TBM ⑨TBM ⑩TBM ⑪TBM	①1C ②10C ③10C ④10C ⑤10C ⑥13M ⑦13M ⑧26M ⑨新設機器 ⑩新設機器 ⑪新設機器	①外観検査 ②【定】外観検査 ③耐震健全性検査(計器ラック他) ④【定】外観検査 ⑤【定】外観検査 ⑥特性試験(校正・調整) ⑦特性試験(校正・調整) ⑧特性試験(絶縁抵抗測定) 特性試験(抵抗測定) 特性試験(導通試験) ⑨外観点検 ⑩外観点検	①第16回定事検(S2-16-Ⅲ-80-2) ②無 ③無 ④第16回定事検(S2-16-Ⅲ-80-2) ⑤第16回定事検(S2-16-Ⅲ-80-2) ⑥第17回定検(OM-NS2-17-TH026) ⑦第17回定検(OM-NS2-H27-KH005) ⑧第17回定検(AUR-15-0011) ⑨新設機器 ⑩新設機器 ⑪新設機器	①無 ②無 ③無 ④無 ⑤無 ⑥無 ⑦無 ⑧無 ⑨無 ⑩無 ⑪無	-
計測制御	計測装置	①原子炉圧力計測装置 ②原子炉隔離時冷却系排気ラプチャーディスク開圧力計測装置 ③中央制御室冷凍機潤滑油ポンプ差圧計測装置 ④蒸気加減弁急速閉用油圧計測装置 ⑤主蒸気管周囲温度計測装置 ⑥主蒸気流量計測装置 ⑦原子炉水位計測装置 ⑧トラス水位計測装置 ⑨主蒸気管放射線計測装置 ⑩原子炉棟排気高レンジ放射線計測装置 ⑪換気系放射線計測装置 ⑫水素濃度計測装置 ⑬酸素濃度計測装置 ⑭地震加速度計測装置 ⑮低圧原子炉代替注水流量計測装置 ⑯燃料プール水位計測装置 ⑰原子炉建物水素濃度計測装置	基礎ボルト	腐食(全面腐食)	1-②	可	機器の点検時に目視点検を行い、塗装の健全性を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM ④TBM ⑤TBM ⑥TBM ⑦TBM ⑧TBM ⑨TBM ⑩TBM ⑪TBM ⑫TBM ⑬TBM ⑭TBM ⑮TBM ⑯TBM ⑰TBM	①1C ②1C ③13M ④1C ⑤1C ⑥1C ⑦1C ⑧13M ⑨13M ⑩13M ⑪1C ⑫13M ⑬13M ⑭1C ⑮新設機器 ⑯新設機器 ⑰新設機器	①外観検査 ②外観検査 ③特性試験(校正・調整) ④外観点検 ⑤外観点検 ⑥外観点検 ⑦外観検査 ⑧特性試験(校正・調整) ⑨特性試験(校正・調整) ⑩特性試験(校正・調整) ⑪漏えい試験 ⑫特性試験(校正・調整) ⑬特性試験(校正・調整) ⑭外観点検 ⑮外観点検 ⑯外観点検	①第16回定検(710E8-KE383) ②第16回定検(710E8-KE466) ③第16回定検(C-550430-R) ④第16回定検(710E8-KE383) ⑤第16回定検(710E8-KE383) ⑥第16回定検(710E8-KE383) ⑦第16回定検(710E8-KE383) ⑧第16回定検(710E8-KE314) ⑨第17回定検(OM-NS2-17-TH026) ⑩第17回定検(OM-NS2-H27-KH005) ⑪第17回定検(RNM40287Y) ⑫第17回定検(OM-NS2-17-TH024) ⑬第17回定検(OM-NS2-17-TH024) ⑭第16回定検(710E8-KE383) ⑮新設機器 ⑯新設機器 ⑰新設機器	①無 ②無 ③無 ④無 ⑤無 ⑥無 ⑦無 ⑧無 ⑨無 ⑩無 ⑪無 ⑫無 ⑬無 ⑭無 ⑮無 ⑯無 ⑰無	◎
計測制御	補助継電器盤	共通(代表確認) ①原子炉保護継電器盤	筐体	腐食(全面腐食)	1-②	可	定期的に目視確認を行い、塗装の状態を確認する。	①TBM	①1C	①外観点検①	①第16回定検(710E8-ED826)	①無	-
計測制御	補助継電器盤	共通(代表確認) ①原子炉保護継電器盤	取付ボルト	腐食(全面腐食)	1-②	可	定期的に目視確認を行い、塗装等の状態を確認する。	①TBM	①10C	①【定】外観検査	①第14回定検(定事検成績書_S2-14-Ⅲ-80-4)	①無	-
計測制御	補助継電器盤	①スクラムソレノイドヒューズ盤	埋込金物	腐食(全面腐食)	1-②	可	定期的に目視確認を行い、塗装の状態を確認する。	①TBM	①3C	①外観点検①	①第15回定検(710E8-ED726)	①無	-
計測制御	補助継電器盤	①ドライウェル水位計/ベドスタル水位計用継電器盤	基礎ボルト	腐食(全面腐食)	1-②	可	機器の点検時に目視点検を行い、塗装の健全性を確認する。	①TBM	①10C	①【定】外観検査	①新設機器	①無	◎
計測制御	操作制御盤	共通(代表確認) ①原子炉制御盤	筐体	腐食(全面腐食)	1-②	可	定期的に目視確認を行い、塗装の状態を確認する。	①TBM	①1C	①外観点検①	①第16回定検(710E8-ED826)	①無	-
計測制御	操作制御盤	①原子炉制御盤	取付ボルト	腐食(全面腐食)	1-②	可	定期的に目視確認を行い、塗装等の状態を確認する。	①TBM	①1C	①外観点検①	①第16回定検(710E8-ED826)	①無	-
計測制御	操作制御盤	①起動領域モニタ/中間領域モニタ前置増幅器盤	埋込金物	腐食(全面腐食)	1-②	可	定期的に目視確認を行い、塗装の状態を確認する。	①TBM	①1C	①外観点検	①第17回定検(OM-NS2-17-TH018)	①無	-
計測制御	操作制御盤	①原子炉隔離時冷却タービン制御盤	基礎ボルト	腐食(全面腐食)	1-②	可	機器の点検時に目視点検を行い、塗装の健全性を確認する。	①TBM	①1C	①外観点検	①第17回定検(OM-NS2-17-TH028)	①無	◎

評価書		対象機器	部位	経年劣化事象	保全の方針	劣化傾向 監視	劣化管理の考え方	検査(保全) 方式	検査周期	検査方法 (保全タスク)	実績	部品取替履歴	耐震影響
分類													
空調設備	ファン	①中央制御室送風機	ファンモータの固定子コアおよび回転子コア	腐食(全面腐食)	1-⑤	可	定期的に目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①78M	①分解点検	①第17回定検(N16E8-0005)	①第17回定検(N16E8-0005)	-
空調設備	ファン	①中央制御室送風機	ファンモータのフレーム、エンドブラケットおよび端子箱	腐食(全面腐食)	1-②	可	定期的に目視確認を行い、塗装の状態を確認する。	①TBM	①1C	①外観点検	①第17回定検(N16E8-0005)	①第17回定検(N16E8-0005)	-
空調設備	ファン	①中央制御室送風機	ファンモータの取付ボルト	腐食(全面腐食)	1-②	可	定期的に目視確認を行い、塗装の状態を確認する。	①TBM	①1C	①外観点検	①第17回定検(N16E8-0005)	①第17回定検(N16E8-0005)	-
空調設備	ファン	①中央制御室送風機	基礎ボルト	腐食(全面腐食)	1-②	可	機器の点検時に目視点検を行い、塗装の健全性を確認する。	①TBM	①6C	①外観点検①	①第16回定検(710E8-MH330)	①無	◎
空調設備	ファン	①中央制御室送風機	ファン主軸	腐食(全面腐食)	1-⑤	可	定期的に目視確認を行い、塗装の状態を確認する。	①TBM	①78M	①分解点検	①第16回定検(710E8-MH330)	①無	-
空調設備	ファン	①中央制御室送風機	羽根車、軸継手、ケーシングおよびベース	腐食(全面腐食)	1-② 1-⑤	可	定期的に目視確認を行い、塗装の状態を確認する。	①TBM	①78M	①分解点検	①第16回定検(710E8-MH330)	①無	-
空調設備	ファン	①非常用ガス処理系排風機	ファンモータの固定子コア、回転子コア	腐食(全面腐食)	1-⑤	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①104M	①分解点検	①第16回定検(710E8-ED597)	①第16回定検(710E8-ED597)	-
空調設備	ファン	①非常用ガス処理系排風機	ファンモータのフレーム、エンドブラケット、端子箱	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、塗装の状態を確認する。	①TBM	①1C	①外観点検	①第16回定検(710E8-ED597)	①第16回定検(710E8-ED597)	-
空調設備	ファン	①非常用ガス処理系排風機	ファンモータの取付ボルト	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、塗装の状態を確認する。	①TBM	①1C	①外観点検	①第16回定検(710E8-ED597)	①第16回定検(710E8-ED597)	-
空調設備	空調機	①原子炉補機冷却水ポンプ熱交換器室冷却機	羽根車、ユニットケーシング、ファンケーシングおよびベース	腐食(全面腐食)	1-② 1-⑤	可	定期的に目視確認を行い、塗装の状態を確認する。	①TBM	①52M	①分解点検	①第17回定検(710E8-MH083)	①無	-

評価書		対象機器	部位	経年劣化事象	保全の方針	劣化傾向 監視	劣化管理の考え方	検査(保全) 方式	検査周期	検査方法 (保全タスク)	実績	部品取替履歴	耐震影響
分類													
空調設備	空調機	①原子炉補機冷却水ポンプ熱交換器室冷却機	冷却水冷却コイル・フィン	腐食(全面腐食)	1-② 1-⑥	可	定期的に目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①52M	①分解点検	①第17回定検(710E8-MH083)	①無	-
空調設備	空調機	①原子炉補機冷却水ポンプ熱交換器室冷却機	基礎ボルト	腐食(全面腐食)	1-②	可	機器の点検時に目視点検を行い、塗装の健全性を確認する。	①TBM	①52M	①分解点検	①第17回定検(710E8-MH083)	①無	◎
空調設備	空調機	①原子炉補機冷却水ポンプ熱交換器室冷却機	ファンモータの固定子コア、回転子コア	腐食(全面腐食)	1-⑤	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①78M	①分解点検	①第17回定検(710E8-ED541)	①第17回定検(710E8-ED541)	-
空調設備	空調機	①原子炉補機冷却水ポンプ熱交換器室冷却機	ファンモータのフレーム、エンドブラケット、端子箱	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、塗装の状態を確認する。	①TBM	①1C	①外観点検	①第17回定検(710E8-ED541)	①第17回定検(710E8-ED541)	-
空調設備	空調機	①原子炉補機冷却水ポンプ熱交換器室冷却機	ファンモータの取付ボルト	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、塗装の状態を確認する。	①TBM	①1C	①外観点検	①第17回定検(710E8-ED541)	①第17回定検(710E8-ED541)	-
空調設備	冷凍機	①中央制御室冷凍機 ①-1 中央制御室冷凍機	圧縮機ケーシング	腐食(全面腐食)	1-② 1-⑤	可	定期的に目視確認を行い、塗装の状態を確認する。	①-1 TBM	①-1 52M	①-1 分解点検	①-1 第17回定検(N15M8-00104)	①-1 第16回定検	-
空調設備	冷凍機	①中央制御室冷凍機 ①-1 中央制御室冷凍機	凝縮器の伝熱管	腐食(全面腐食)	1-⑤ 1-⑥	可	定期的に目視確認および漏えい確認を行う。	①-1 TBM	①-1 52M	①-1 分解点検	①-1 第17回定検(N15M8-00104)	①-1 無	-
空調設備	冷凍機	①中央制御室冷凍機 ①-1 中央制御室冷凍機	蒸発器の伝熱管	腐食(全面腐食)	1-⑤ 1-⑥	可	定期的に目視確認および漏えい確認を行う。	①-1 TBM	①-1 52M	①-1 分解点検	①-1 第17回定検(N15M8-00104)	①-1 無	-
空調設備	冷凍機	①中央制御室冷凍機 ①-1 中央制御室冷凍機	凝縮器の胴および水室	腐食(全面腐食)	1-② 1-⑤ 1-⑥	可	定期的に目視確認を行い、塗装の状態を確認する。	①-1 TBM	①-1 52M	①-1 分解点検	①-1 第17回定検(N15M8-00104)	①-1 無	-
空調設備	冷凍機	①中央制御室冷凍機 ①-1 中央制御室冷凍機	蒸発器の胴および水室	腐食(全面腐食)	1-② 1-⑤ 1-⑥	可	定期的に目視確認を行い、塗装の状態を確認する。	①-1 TBM	①-1 52M	①-1 分解点検	①-1 第17回定検(N15M8-00104)	①-1 無	-
空調設備	冷凍機	①中央制御室冷凍機 ①-1 中央制御室冷凍機	弁(フロン)および配管(フロン)	腐食(全面腐食)	1-② 1-⑤	可	定期的に目視確認を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM	①-1 52M	①-1 分解点検	①-1 第17回定検(N15M8-00104)	①-1 無	-
空調設備	冷凍機	①中央制御室冷凍機 ①-1 中央制御室冷凍機	油タンク等	腐食(全面腐食)	1-② 1-④	可	定期的に目視確認を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM	①-1 52M	①-1 分解点検	①-1 第17回定検(N15M8-00104)	①-1 無	-
空調設備	冷凍機	①中央制御室冷凍機 ①-1 冷水循環ポンプ	ケーシング	腐食(全面腐食)	1-② 1-⑥	可	定期的に目視確認を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM	①-1 65M	①-1 分解点検	①-1 第17回定検(710E8-MH135)	①-1 無	-
空調設備	冷凍機	①中央制御室冷凍機 ①-1 中央制御室冷凍機 ①-2 冷水循環ポンプ	ベース	腐食(全面腐食)	1-②	可	定期的に目視確認を行い、塗装の状態を確認する。	①-1 TBM ①-2 TBM	①-1 52M ①-2 65M	①-1 分解点検 ①-2 分解点検	①-1 第17回定検(N15M8-00104) ①-2 第17回定検(710E8-MH135)	①-1 無 ①-2 無	-
空調設備	冷凍機	①中央制御室冷凍機 ①-1 中央制御室冷凍機 ①-2 冷水循環ポンプ	基礎ボルト	腐食(全面腐食)	1-②	可	機器の点検時に目視点検を行い、塗装の健全性を確認する。	①-1 TBM ①-2 TBM	①-1 52M ①-2 65M	①-1 分解点検 ①-2 分解点検	①-1 第17回定検(N15M8-00104) ①-2 第17回定検(710E8-MH135)	①-1 無 ①-2 無	◎
空調設備	冷凍機	①中央制御室冷凍機 ①-1 圧縮機	高圧モータの固定子コア、回転子コア	腐食(全面腐食)	1-⑤	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM	①-1 52M	①-1 分解点検	①-1 第17回定検(N15M8-00104)	①-1 無	-
空調設備	冷凍機	①中央制御室冷凍機 ①-1 圧縮機	高圧モータのフレーム、エンドブラケット、端子箱	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、塗装の状態を確認する。	①-1 TBM	①-1 52M	①-1 分解点検	①-1 第17回定検(N15M8-00104)	①-1 無	-

評価書		対象機器	部位	経年劣化事象	保全の方針	劣化傾向 監視	劣化管理の考え方	検査(保全) 方式	検査周期	検査方法 (保全タスク)	実績	部品取替履歴	耐震影響
分類													
空調設備	冷凍機	①中央制御室冷凍機 ①-1 圧縮機	高圧モータの取付ボルト	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、塗装の状態を確認する。	①-TBM	①-1 52M	①-1 分解点検	①-1 第17回定検(N15M8-00104)	①-1 無	-
空調設備	冷凍機	①中央制御室冷凍機 ①-1 冷水循環ポンプ	モータの固定子コア、回転子コア	腐食(全面腐食)	1-⑤	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①65M	①分解点検	①第14回定検(710E8-ED059)	①第14回定検(710E8-ED059)	-
空調設備	冷凍機	①中央制御室冷凍機 ①-1 冷水循環ポンプ	モータのフレーム、エンドブラケット、端子箱	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、塗装の状態を確認する。	①TBM	①1C	①外観点検	①第17回定検(710E8-ED0567)	①無	-
空調設備	冷凍機	①中央制御室冷凍機 ①-1 冷水循環ポンプ	モータの取付ボルト	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、塗装の状態を確認する。	①TBM	①1C	①外観点検	①第17回定検(710E8-ED0567)	①無	-
空調設備	フィルタ・ユニット	①中央制御室空調装置	ケーシング	腐食(全面腐食)	1-② 1-⑤	可	目視確認を行い、メッキの健全性を確認している。	①TBM	①1C	①外観点検②	①第16回定検(710E8-MH333)	①無	-
空調設備	フィルタ・ユニット	①中央制御室空調装置	冷却コイル・フィン	腐食(全面腐食)	1-② 1-⑥	可	目視確認を行い、健全性を確認している。	①TBM	①1C	①外観点検②	①第16回定検(710E8-MH333)	①無	-
空調設備	フィルタ・ユニット	共通(代表確認) ①非常用ガス処理系前置ガス処理装置 ②中央制御室空調装置	支持鋼材、取付ボルト、ベース	腐食(全面腐食)	1-② 1-⑤	可	目視確認を行い、塗装の健全性を確認する。	①TBM ②TBM	①2C ②1C	①外観点検① ②外観点検②	①第17回定検(710E8-NH266) ②第16回定検(710E8-MH333)	①無 ②無	-
空調設備	フィルタ・ユニット	共通(代表確認) ①非常用ガス処理系前置ガス処理装置 ②中央制御室空調装置	基礎ボルト	腐食(全面腐食)	1-②	可	機器の点検時に目視点検を行い、塗装の健全性を確認する。	①TBM ②TBM	①2C ②6C	①外観点検① ②外観点検①	①第17回定検(710E8-NH266) ②第16回定検(710E8-MH333)	①無 ②無	◎
空調設備	ダクト	①中央制御室空調換気系ダクト(角ダクト炭素鋼)	ダクト本体(外気接触部)	腐食(全面腐食)	1-⑤	可	ダクト内面からの点検により、塗装またはメッキの健全性を確認する。	①TBM	①1C	①内面点検	①なし(新規設定のため)	①第17回定検	■
空調設備	ダクト	共通(代表確認) ①原子炉棟空調換気系ダクト(丸ダクト炭素鋼) ②中央制御室空調換気系ダクト(丸ダクト炭素鋼) ③中央制御室空調換気系ダクト(角ダクト炭素鋼) ④中央制御室空調換気系ダクト(角ダクト炭素鋼)	ダクト本体	腐食(全面腐食)	1-⑤	可	目視確認を行い、塗装またはメッキの健全性を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM ④TBM	①10C ②6C ③6C ④6C	①外観点検 ②外観点検 ③外観点検 ④外観点検	①第17回定検(710E8-MH121) ②なし(新規設定のため) ③なし(新規設定のため) ④なし(新規設定のため)	①無 ②第17回定検 ③第17回定検 ④第17回定検	-

評価書		対象機器	部位	経年劣化事象	保全の方針	劣化傾向 監視	劣化管理の考え方	検査(保全) 方式	検査周期	検査方法 (保全タスク)	実績	部品取替履歴	耐震影響
分類													
空調設備	ダクト	共通(代表確認) ①原子炉棟空調換気系ダクト(丸ダクト 炭素鋼) ②中央制御室空調換気系ダクト(丸ダクト炭素鋼) ③中央制御室空調換気系ダクト(角ダクト炭素鋼) ④中央制御室空調換気系ダクト(角ダクト炭素鋼)	フランジ、ボルト・ナット	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、塗装またはメッキの健全性を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM ④TBM	①10C ②6C ③6C ④6C	①外観点検 ②外観点検 ③外観点検 ④外観点検	①第17回定検(710E8-MH121) ②なし(新規設定のため) ③なし(新規設定のため) ④なし(新規設定のため)	①無 ②第17回定検 ③第17回定検 ④第17回定検	-
空調設備	ダクト	①中央制御室空調換気系ダクト(角ダクト炭素鋼) ②中央制御室空調換気系ダクト(角ダクト炭素鋼)	補強材	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、塗装の健全性を確認する。	①TBM ②TBM	①6C ②6C	①外観点検① ②外観点検②	①なし(新規設定のため) ②なし(新規設定のため)	①第17回定検 ②第17回定検	-
空調設備	ダクト	共通(代表確認) ①原子炉棟空調換気系ダクト(丸ダクト 炭素鋼) ②中央制御室空調換気系ダクト(丸ダクト炭素鋼) ③中央制御室空調換気系ダクト(角ダクト炭素鋼) ④中央制御室空調換気系ダクト(角ダクト炭素鋼)	支持鋼材	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、塗装の健全性を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM ④TBM	①10C ②6C ③6C ④6C	①外観点検 ②外観点検 ③外観点検 ④外観点検	①第17回定検(710E8-MH121) ②なし(新規設定のため) ③なし(新規設定のため) ④なし(新規設定のため)	①無 ②第17回定検 ③第17回定検 ④第17回定検	-
空調設備	ダクト	共通(代表確認) ①原子炉棟空調換気系ダクト(丸ダクト 炭素鋼) ②中央制御室空調換気系ダクト(丸ダクト炭素鋼) ③中央制御室空調換気系ダクト(角ダクト炭素鋼) ④中央制御室空調換気系ダクト(角ダクト炭素鋼)	埋込金物	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、塗装の健全性を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM ④TBM	①10C ②6C ③6C ④6C	①外観点検 ②外観点検 ③外観点検 ④外観点検	①第17回定検(710E8-MH121) ②なし(新規設定のため) ③なし(新規設定のため) ④なし(新規設定のため)	①無 ②第17回定検 ③第17回定検 ④第17回定検	-
空調設備	ダクト	共通(代表確認) ①原子炉棟空調換気系ダクト(丸ダクト 炭素鋼) ②中央制御室空調換気系ダクト(丸ダクト炭素鋼) ③中央制御室空調換気系ダクト(角ダクト炭素鋼) ④中央制御室空調換気系ダクト(角ダクト炭素鋼)	基礎ボルト	腐食(全面腐食)	1-②	可	機器の点検時に目視点検を行い、塗装の健全性を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM ④TBM	①10C ②6C ③6C ④6C	①外観点検 ②外観点検 ③外観点検 ④外観点検	①第17回定検(710E8-MH121) ②なし(新規設定のため) ③なし(新規設定のため) ④なし(新規設定のため)	①無 ②第17回定検 ③第17回定検 ④第17回定検	◎
空調設備	ダンバおよび弁	①制御室再循環風量調整ダンバ ②中央制御室送風機出口逆流防止ダンバ ③中央制御室空調和装置入口ダンバ	ケーシング、ボルト・ナット、羽根、軸、羽根連結金具、作動部取付ボルト、リンケージ、ウエイト、開閉器、ハンドル軸	腐食(全面腐食)	1-② 1-⑤	可	目視確認を行い、塗装又はメッキの健全性を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM	①3C ②3C ③3C	①外観点検 ②外観点検 ③外観点検	①第17回定検(N16M8-00188) ②第17回定検(N16M8-00188) ③第17回定検(N16M8-00188)	①無 ②無 ③無	-
空調設備	ダンバおよび弁	①制御室再循環風量調整ダンバ ②原子炉建物給気隔離弁	空気作動部	腐食(全面腐食)	1-② 1-⑤	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM ②TBM	①130M ②78M	①分解点検 ②分解点検	①第10回定検(C-45239RW-AR) ②第17回定検(710E8-MH189)	①無 ②無	-
空調設備	ダンバおよび弁	①原子炉建物給気隔離弁	弁箱、弁体	腐食(全面腐食)	1-② 1-⑤	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①78M	①分解点検	①第17回定検(710E8-MH189)	①無	-

評価書			部位	経年劣化事象	保全の方針	劣化傾向 監視	劣化管理の考え方	検査(保全) 方式	検査周期	検査方法 (保全タスク)	実績	部品取替履歴	耐震影響
分類	対象機器												
空調設備	ダンバおよび弁	①原子炉建物給気隔離弁	ボルト・ナット、作動部 取付ボルト、支持脚、 取付ボルト	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、塗装ま たはメッキの健全性を確 認する。	①TBM	①78M	①分解点検	①第17回定検(710E8-MH189)	①無	-
機械設備	制御棒駆動機構	①制御棒駆動機構	取付ボルト	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、健全性 を確認する。	①TBM	①91M	①分解点検	①第17回定検(D40-21-K285)	①有	■
機械設備	非常用ディーゼル機関	①非常用ディーゼル機関	基礎ボルト	腐食(全面腐食)	1-②	可	機器の点検時に目視点検 を行い、塗装の健全性を 確認する。	①TBM	①8C	①外観点検	①第15回定検(710E8-MR773)	①無	◎
機械設備	非常用ディーゼル機関	①非常用ディーゼル機関	①-1ピストン(頂部)、 排気弁、過給機ケーシ ング(排気ガス側)、シ リンダヘッド(排気ガス 側)、シリンダライナ (排気ガス側)、過給機 ノズル ①-2 排気管(内側)	腐食(全面腐食)	1-⑤	可	目視確認を行い、健全性 を確認する。	①-1 TBM ①-2 -	①-1 104M ①-2 -	①-1 外観点検 ①-2 -	①-1 第17回定検(N15M8-00182) ①-2 平成27年度(N16M8-00044)	①-1 無 ①-2 無	-
機械設備	非常用ディーゼル機関	①非常用ディーゼル機関	①はずみ車、カップリ ングボルト、給気管(外 側)、排気管(外側)、 クランクケース給・排気 管サポート、シリンダ ヘッドボルト	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、塗装の 健全性を確認する。	①TBM	①1C,104M	①外観点検	①第17回定検(N15M8-00182)	①無	-
機械設備	非常用ディーゼル機関	①非常用ディーゼル機関	過給機ケーシング(冷 却水側)、シリンダヘッ ド(冷却水側)、シリン ダライナ(冷却水側)、 シリンダジャケット(冷 却水側)	腐食(全面腐食)	1-⑥	可	目視確認を行い、健全性 を確認する。	①TBM	①104M	①外観点検	①第17回定検(N15M8-00182)	①無	-
機械設備	非常用ディーゼル機関	①非常用ディーゼル機関	空気冷却器水室	腐食(全面腐食)	1-⑥	可	目視確認を行い、健全性 を確認する。	①TBM	①78M	①開放点検	①第17回定検(N13K8-00049)	①無	-
機械設備	非常用ディーゼル機関	①非常用ディーゼル機関	空気冷却器伝熱管	腐食(全面腐食)	1-⑥	可	目視確認を行い、健全性 を確認する。	①TBM	①78M	①開放点検	①第17回定検(N13K8-00049)	①無	-
機械設備	非常用ディーゼル機関	①非常用ディーゼル機関	埋込金物	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、塗装の 健全性を確認する。	①TBM	①1C	①外観点検	①第17回定検(N15M8-00182)	①無	-
機械設備	非常用ディーゼル機関	①非常用ディーゼル機関付属設備 ①-1 燃料地下タンク	胴板等	腐食(全面腐食)	1-②	可	今後、定期的に消防法で 定められたタンクの漏えい 点検を行い、タンクの気密 性を確認するとともに漏え い検知管内に油分が付着 していないことを確認す る。	①-1 TBM	①-1 1C	①-1 外観点検	①-1 第17回定検(N15M8-00182)	①-1 無	-
機械設備	非常用ディーゼル機関	①非常用ディーゼル機関付属設備 ①-1 燃料移送ポンプ ①-2 燃料油系配管・弁	左記機器の外表面	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、健全性 を確認する。	①-1 TBM ①-2 TBM	①-1 6C ①-2 -	①-1 外観点検 ①-2 外観点検	①-1 平成22年度(710E8-MR828) ①-2 -	①-1 無 ①-2 -	-
機械設備	非常用ディーゼル機関	①非常用ディーゼル機関付属設備 ①-1 空気だめ ①-2 空気圧縮機 ①-3 潤滑油系 ①-4 冷却水系 ①-5 燃料油系 ①-6 潤滑油サブタンク ①-7 燃料移送ポンプ ①-8 燃料ダイタンク	基礎ボルト	腐食(全面腐食)	1-②	可	機器の点検時に目視点検 を行い、塗装の健全性を 確認する。	①-1 TBM ①-2 TBM ①-3 TBM ①-4 無 ①-5 TBM ①-6 TBM ①-7 TBM ①-8 TBM	①-1 1C ①-2 5C ①-3 2C,6C,10C ①-4 2C,6C,10C ①-5 2C,6C,10C ①-6 10C ①-7 6C ①-8 10C	①-1 外観点検 ①-2 外観点検 ①-3 外観点検 ①-4 外観点検 ①-5 外観点検 ①-6 外観点検 ①-7 外観点検 ①-8 外観点検	①-1 第17回定検(N15M8-00182) ①-2 第15回定検(710E8-MR773) ①-3 第17回定検(N15M8- 00182,710E8-MR912) ①-4 第17回定検(N15M8- 00182,710E8-MR912) ①-5 第17回定検(N15M8-00182, N13K8-00049) ①-6 第16回定検(710E8-MR741) ①-7 第16回定検(710E8-MR741) ①-8 第17回定検(N13K8-00049)	①-1 無 ①-2 無 ①-3 無 ①-4 無 ①-5 無 ①-6 無 ①-7 平成27年度(N15M8- 00221) ①-8 無	◎

評価書		対象機器	部位	経年劣化事象	保全の方針	劣化傾向 監視	劣化管理の考え方	検査(保全) 方式	検査周期	検査方法 (保全タスク)	実績	部品取替履歴	耐震影響
分類													
機械設備	非常用ディーゼル機関	①非常用ディーゼル機関付属設備 ①-1 空気だめ	空気だめ	腐食(全面腐食)	1-② 1-⑤	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM	①-1 13M.1C	①-1 開放点検、外観点検	①-1 第17回定検(N15M8-00182)	①-1 無	-
機械設備	非常用ディーゼル機関	①非常用ディーゼル機関付属設備 ①-1 空気だめ ①-2 潤滑油冷却器 ①-3 潤滑油フィルタ ①-4 シリンダ油フィルタ ①-5 一次水冷却器 ①-6 燃料フィルタ ①-7 燃料デイトンク	スカート、支持脚	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM ①-2 TBM ①-3 TBM ①-4 TBM ①-5 TBM ①-6 TBM ①-7 TBM	①-1 1C ①-2 6C ①-3 2C ①-4 2C ①-5 6C ①-6 2C ①-7 10C	①-1 外観点検 ①-2 外観点検 ①-3 外観点検 ①-4 外観点検 ①-5 外観点検 ①-6 外観点検 ①-7 外観点検	①-1 第17回定検(N15M8-00182) ①-2 第17回定検(710E8-MR912) ①-3 第17回定検(N15M8-00182) ①-4 第17回定検(N15M8-00182) ①-5 第17回定検(710E8-MR912) ①-6 第17回定検(N15M8-00182) ①-7 第17回定検(N15M8-00182)	①-1 無 ①-2 無 ①-3 無 ①-4 無 ①-5 無 ①-6 無 ①-7 無	-
機械設備	非常用ディーゼル機関	①非常用ディーゼル機関付属設備 ①-1 空気だめ ①-2 空気圧縮機 ①-3 潤滑油ポンプ(機付) ①-4 潤滑油冷却器 ①-5 潤滑油サブタンク ①-6 シリンダ油タンク ①-7 潤滑油フィルタ ①-8 シリンダ油フィルタ ①-9 潤滑油系弁 ①-10 冷却水ポンプ(機付) ①-11 一次水冷却器 ①-12 一次水膨張タンク ①-13 一次水空気抜タンク ①-14 燃料移送ポンプ ①-15 燃料供給ポンプ(機付) ①-16 燃料フィルタ ①-17 燃料デイトンク ①-18 燃料油系弁	取付ボルト	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM ①-2 TBM ①-3 TBM ①-4 TBM ①-5 TBM ①-6 TBM ①-7 TBM ①-8 TBM ①-9 TBM ①-10 TBM ①-11 TBM ①-12 TBM ①-13 TBM ①-14 TBM ①-15 TBM ①-16 TBM ①-17 TBM ①-18 TBM	①-1 1C ①-2 5C ①-3 78M ①-4 6C ①-5 10C ①-6 10C ①-7 2C ①-8 2C ①-9 130M、10C ①-10 78M ①-11 8C ①-12 2C ①-13 10C ①-14 6C ①-15 78M ①-16 2C ①-17 10C ①-18 無	①-1 外観点検 ①-2 外観点検 ①-3 外観点検 ①-4 外観点検 ①-5 外観点検 ①-6 外観点検 ①-7 外観点検 ①-8 外観点検 ①-9 分解点検 ①-10 外観点検 ①-11 外観点検 ①-12 外観点検 ①-13 外観点検 ①-14 外観点検 ①-15 外観点検 ①-16 外観点検 ①-17 外観点検 ①-18 分解点検	①-1 第17回定検(N15M8-00182) ①-2 第15回定検(710E8-MR773) ①-3 第15回定検(710E8-MR773) ①-4 第17回定検(710E8-MR912) ①-5 第16回定検(710E8-MR741) ①-6 第16回定検(710E8-MR741) ①-7 第17回定検(N15M8-00182) ①-8 第17回定検(N15M8-00182) ①-9 - ①-10 第15回定検(710E8-MR773) ①-11 第17回定検(710E8-MR912) ①-12 第17回定検(N15M8-00182) ①-13 第16回定検(710E8-MR741) ①-14 平成22年度(710E8-MR528) ①-15 第15回定検(710E8-MR773) ①-16 第17回定検(N15M8-00182) ①-17 第17回定検(N13K6-00049) ①-18 -	①-1 無 ①-2 無 ①-3 無 ①-4 無 ①-5 無 ①-6 無 ①-7 無 ①-8 無 ①-9 - ①-10 無 ①-11 無 ①-12 無 ①-13 無 ①-14 無 ①-15 無 ①-16 無 ①-17 無 ①-18 -	-
機械設備	非常用ディーゼル機関	①非常用ディーゼル機関付属設備 ①-1 空気だめ安全弁	空気だめ安全弁	腐食(全面腐食)	1-② 1-⑤	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM	①-1 1C	①-1 外観点検	①-1 第17回定検(N15M8-00182)	①-1 無	-
機械設備	非常用ディーゼル機関	①非常用ディーゼル機関付属設備 ①-1 空気圧縮機	空気圧縮機	腐食(全面腐食)	1-② 1-⑤	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM	①-1 65M	①-1 外観点検	①-1 第15回定検(710E8-MR773)	①-1 無	■
機械設備	非常用ディーゼル機関	①非常用ディーゼル機関付属設備 ①-1 潤滑油ポンプ(機付) ①-2 潤滑油冷却器(胴側) ①-3 潤滑油サブタンク ①-4 シリンダ油タンク ①-5 潤滑油フィルタ ①-6 シリンダ油フィルタ ①-7 燃料供給ポンプ(機付) ①-8 燃料フィルタ ①-9 燃料デイトンク ①-10 潤滑油系配管・弁 ①-11 燃料油系配管・弁(屋内)	潤滑油系、燃料油系機器	腐食(全面腐食)	1-② 1-④	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM ①-2 TBM ①-3 TBM ①-4 TBM ①-5 TBM ①-6 TBM ①-7 TBM ①-8 TBM ①-9 TBM ①-10 TBM ①-11 TBM	①-1 78M ①-2 6C ①-3 10C ①-4 10C ①-5 2C ①-6 2C ①-7 78M ①-8 2C ①-9 10C ①-10 130M、10C ①-11 130M、10C	①-1 分解点検 ①-2 外観点検 ①-3 外観点検 ①-4 外観点検 ①-5 外観点検 ①-6 外観点検 ①-7 分解点検 ①-8 外観点検 ①-9 外観点検 ①-10 分解点検 ①-11 分解点検	①-1 第16回定検(710E8-MR741) ①-2 第17回定検(710E8-MR912) ①-3 第17回(N15M8-00182) ①-4 第17回(N15M8-00182) ①-5 第17回定検(N158-00182) ①-6 第17回定検(N158-00182) ①-7 第16回定検(710E8-MR741) ①-8 第17回定検(N15M8-00182) ①-9 第17回定検(N15M8-00182) ①-10 - ①-11 -	①-1 無 ①-2 無 ①-3 無 ①-4 無 ①-5 無 ①-6 無 ①-7 無 ①-8 無 ①-9 無 ①-10 - ①-11 -	-

別添1-40



評価書		対象機器	部位	経年劣化事象	保全の方針	劣化傾向 監視	劣化管理の考え方	検査(保全) 方式	検査周期	検査方法 (保全タスク)	実績	部品取替履歴	耐震影響
分類													
機械設備	非常用ディーゼル機関	①非常用ディーゼル機関付属設備 ①-1 潤滑油冷却器 ①-2 一次水冷却器	伝熱管、水室	腐食(全面腐食)	1-② 1-⑥	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM ①-2 TBM	①-1 6C ①-2 6C	①-1 外観点検 ①-2 外観点検	①-1 第17回定検(710E8-MR912) ①-2 第17回定検(710E8-MR912)	①-1 無 ①-2 無	-
機械設備	非常用ディーゼル機関	①非常用ディーゼル機関付属設備 ①-1 冷却水ポンプ(機付) ①-2 一次水冷却器(胴側) ①-3 一次水膨張タンク ①-4 一次水空気抜タンク ①-5 冷却水系配管 ①-6 一次水冷却器	冷却水系機器	腐食(全面腐食)	1-② 1-⑥	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM ①-2 TBM ①-3 TBM ①-4 TBM ①-5 TBM ①-6 TBM	①-1 78M ①-2 6C ①-3 2C ①-4 10C ①-5 1C ①-6 6C	①-1 分解点検 ①-2 外観点検 ①-3 外観点検 ①-4 外観点検 ①-5 漏えい試験 ①-6 外観点検	①-1 第16回定検(710E8-MR741) ①-2 第17回定検(710E8-MR912) ①-3 第17回定検(N15M8-00182) ①-4 第17回定検(710E8-MR912) ①-5 第17回定検(N13K8-00049) ①-6 第17回定検(710E8-MR912)	①-1 無 ①-2 無 ①-3 無 ①-4 無 ①-5 無 ①-6 無	-
機械設備	非常用ディーゼル機関	①非常用ディーゼル機関付属設備 ①-1 冷却水ポンプ(機付)	ケーシングリング	腐食(全面腐食)	1-⑥	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM	①-1 78M	①-1 分解点検	①-1 第16回定検(710E8-MR741)	①-1 無	-
機械設備	非常用ディーゼル機関	①非常用ディーゼル機関付属設備 ①-1 始動空気系 ①-2 潤滑油系 ①-3 冷却水系 ①-4 燃料油系	サポート取付ボルト・ナット、ベース	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM ①-2 TBM ①-3 TBM ①-4 TBM	①-1 1C ①-2 1C ①-3 1C ①-4 1C	①-1 外観点検 ①-2 外観点検 ①-3 外観点検 ①-4 外観点検	①-1 第17回定検(N15M8-00182) ①-2 第17回定検(N15M8-00182) ①-3 第17回定検(N15M8-00182) ①-4 第17回定検(N15M8-00182)	①-1 無 ①-2 無 ①-3 無 ①-4 無	-
機械設備	非常用ディーゼル機関	①非常用ディーゼル機関付属設備 ①-1 始動空気系 ①-2 潤滑油系 ①-3 冷却水系 ①-4 燃料油系	埋込金物	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、塗装の健全性を確認する。	①-1 TBM ①-2 TBM ①-3 TBM ①-4 TBM	①-1 1C ①-2 1C ①-3 1C ①-4 1C	①-1 外観点検 ①-2 外観点検 ①-3 外観点検 ①-4 外観点検	①-1 第17回定検(N15M8-00182) ①-2 第17回定検(N15M8-00182) ①-3 第17回定検(N15M8-00182) ①-4 第17回定検(N15M8-00182)	①-1 無 ①-2 無 ①-3 無 ①-4 無	-
機械設備	非常用ディーゼル機関	①非常用ディーゼル機関付属設備 ①-1 始動空気系 ①-2 潤滑油系 ①-3 冷却水系 ①-4 燃料油系	レストレイント	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM ①-2 TBM ①-3 TBM ①-4 TBM	①-1 1C ①-2 1C ①-3 1C ①-4 1C	①-1 漏えい試験 ①-2 漏えい試験 ①-3 漏えい試験 ①-4 漏えい試験	①-1 第17回定検(N15M8-00182) ①-2 第17回定検(N15M8-00182) ①-3 第17回定検(N15M8-00182) ①-4 第17回定検(N15M8-00182)	①-1 無 ①-2 無 ①-3 無 ①-4 無	-
機械設備	非常用ディーゼル機関	①非常用ディーゼル機関付属設備 ①-1 燃料移送ポンプ モータ	固定子コアおよび回転子コア	腐食(全面腐食)	1-⑤	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM	①-1 104M	①-1 分解点検	①-1 第17回定検(710E8-ED567)	①-1 無	-
機械設備	非常用ディーゼル機関	①非常用ディーゼル機関付属設備 ①-1 燃料移送ポンプ モータ	フレーム、エンドブラケットおよび端子箱	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、塗装の状態を確認する。	①-1 TBM	①-1 1C	①-1 外観点検	①-1 第17回定検(710E8-ED567)	①-1 無	-
機械設備	非常用ディーゼル機関	①非常用ディーゼル機関付属設備 ①-1 燃料移送ポンプ モータ	取付ボルト	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、塗装の状態を確認する。	①-1 TBM	①-1 1C	①-1 外観点検	①-1 第17回定検(710E8-ED567)	①-1 無	-
機械設備	可燃性ガス濃度制御系設備	①可燃性ガス濃度制御系設備	基礎ボルト	腐食(全面腐食)	1-②	可	機器の点検時に目視点検を行い、塗装の健全性を確認する。	① TBM	① 1C	①外観点検	①第17回定検(N2117-RT-015-1)	①無	◎
機械設備	可燃性ガス濃度制御系設備	①可燃性ガス濃度制御系設備	プロワ、羽根車、プロワキャン、フランジボルト	腐食(全面腐食)	1-② 1-⑤	可	目視確認を行い、塗装の健全性を確認する。	①TBM	①65M	①分解点検	①第15回定検(710E8-MF159)	①無	-
機械設備	可燃性ガス濃度制御系設備	①可燃性ガス濃度制御系設備	弁	腐食(全面腐食)	1-⑤	可	分解点検を実施し健全性を確認する。	①TBM	①130M	①分解点検	①無	①無	-
機械設備	可燃性ガス濃度制御系設備	①可燃性ガス濃度制御系設備	サイリスタスイッチ盤の筐体	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①2C	①外観点検	①第16回定検(N2116-RK-205-1)	①第16回定検(N2116-RK-205-1)	-
機械設備	可燃性ガス濃度制御系設備	①可燃性ガス濃度制御系設備	取付ボルト、ベース	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	① 1C	①外観点検	①第17回定検(N2117-RT-015-1)	①無	-
機械設備	可燃性ガス濃度制御系設備	①可燃性ガス濃度制御系設備	埋込金物	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、塗装の健全性を確認する。	①TBM	①10C	①【定】外観検査	①-	①無	-

評価書		対象機器	部位	経年劣化事象	保全の方針	劣化傾向 監視	劣化管理の考え方	検査(保全) 方式	検査周期	検査方法 (保全タスク)	実績	部品取替履歴	耐震影響
分類													
機械設備	可燃性ガス濃度制御系設備	①可燃性ガス濃度制御系設備 ブロウ用電動機	モータの固定子コアおよび回転子コア	腐食(全面腐食)	1-⑤	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①65M	①分解点検	①第15回定検(710E8-ED720)	①無	-
機械設備	可燃性ガス濃度制御系設備	①可燃性ガス濃度制御系設備 ブロウ用電動機	モータのフレーム、エンドブラケットおよび端子箱	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、塗装の状態を確認する。	①TBM	①1C	①外観点検	①第17回定検(710E8-ED0567)	①無	-
機械設備	可燃性ガス濃度制御系設備	①可燃性ガス濃度制御系設備 ブロウ用電動機	モータの取付ボルト	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、塗装の状態を確認する。	①TBM	①1C	①外観点検	①第17回定検(710E8-ED0567)	①無	-
機械設備	可燃性ガス濃度制御系設備	①可燃性ガス濃度制御系設備 電動弁駆動部	モータのフレーム、エンドブラケットおよび端子箱	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、塗装の状態を確認する。	①TBM	①130M	①分解点検	①13回定検(710E8-ED532)	①無	-
機械設備	可燃性ガス濃度制御系設備	①可燃性ガス濃度制御系設備 電動弁駆動部	モータの取付ボルト	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、塗装の状態を確認する。	①TBM	①130M	①分解点検	①13回定検(710E8-ED532)	①無	■
機械設備	可燃性ガス濃度制御系設備	①可燃性ガス濃度制御系設備 電動弁駆動部	モータの固定子コアおよび回転子コア	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①130M	①分解点検	①13回定検(710E8-ED532)	①無	-
機械設備	燃料取替機	①燃料取替機	レール取付ボルト(トロリ)、車輪(ブリッジ走行用、トロリ横行用)、車軸(ブリッジ走行用、トロリ横行用)およびレール(ブリッジ走行用、トロリ横行用)	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①1C	①外観点検	①第17回定検(D40-21-K273)	①無	■
機械設備	燃料取替機	①燃料取替機	ブレーキプレート	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①1C	①外観点検	①第17回定検(D40-21-K277)	①無	■
機械設備	燃料取替機	①燃料取替機	減速機ケーシング、軸継手、トロリフレーム、ブリッジフレーム、転倒防止装置	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、塗装の健全性を確認する。	①TBM	①1C	①外観点検	①第17回定検(D40-21-K273)	①無	-
機械設備	燃料取替機	①燃料取替機	筐体、筐体取付ボルト	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、塗装の健全性を確認する。	①TBM	①1C	①外観点検	①第17回定検(0M-NS2-H23-KH005、D40-21-K278)	①無	-
機械設備	燃料取替機	①燃料取替機 モータ	固定子コアおよび回転子コア	腐食(全面腐食)	1-⑤	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①1C	①外観点検	①第17回定検(D40-21-K277)	①無	-
機械設備	燃料取替機	①燃料取替機 モータ	フレーム、エンドブラケットおよび端子箱	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、塗装の状態を確認する。	①TBM	①1C	①外観点検	①第17回定検(D40-21-K277)	①無	-
機械設備	燃料取替機	①燃料取替機 モータ	取付ボルト	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、塗装の状態を確認する。	①TBM	①1C	①外観点検	①第17回定検(D40-21-K277)	①無	-
機械設備	原子炉建物天井クレーン	①原子炉建物天井クレーン	ワイヤドラム、シーブ、減速機のギヤ、ブレーキドラム、ブレーキプレート、車輪、レール	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①1Y	①外観点検	①平成28年度(N16M8-00216)	①無	-
機械設備	原子炉建物天井クレーン	①原子炉建物天井クレーン	減速機のケーシング、軸継手、サドル、ガード、トロリ、レール取付ボルト、筐体、筐体取付ボルト、浮き上がり防止ラグ	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、塗装の健全性を確認する。	①TBM	①1Y	①外観点検	①平成28年度(N16M8-00216)	①無	-
機械設備	原子炉建物天井クレーン	①原子炉建物天井クレーン モータ	固定子コアおよび回転子コア	腐食(全面腐食)	1-⑤	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①-	①-	①-	①平成23年度(D40-21-K276)	①無	-
機械設備	原子炉建物天井クレーン	①原子炉建物天井クレーン モータ	フレーム、エンドブラケットおよび端子箱	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、塗装の状態を確認する。	①-	①-	①-	①平成23年度(D40-21-K276)	①無	-

評価書		対象機器	部位	経年劣化事象	保全の方針	劣化傾向 監視	劣化管理の考え方	検査(保全) 方式	検査周期	検査方法 (保全タスク)	実績	部品取替履歴	耐震影響
分類													
機械設備	原子炉建物天井クレーン	①原子炉建物天井クレーン モータ	取付ボルト	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、塗装の状態を確認する。	①-	①-	①-	①平成23年度(D40-21-K276)	①無	-
機械設備	計装用圧縮空気系設備	①計装用圧縮空気系設備 ①-1 空気圧縮機 ①-2 除湿塔	基礎ボルト	腐食(全面腐食)	1-②	可	機器の点検時に目視点検を行い、塗装の健全性を確認する。	①-1 TBM ①-2 TBM	①-1 13M ①-2 26M	①-1 分解点検 ①-2 開放点検	①-1 第17回定検(710E8-MF244) ①-2 第17回定検(710E8-KE702)	①-1 無 ①-2 無	◎
機械設備	計装用圧縮空気系設備	①計装用圧縮空気系設備 ①-1 空気圧縮機 ①-2 アフタークーラ ①-3 除湿塔 ①-4 配管・弁	胴等	腐食(全面腐食)	1-② 1-⑤	可	目視確認を行い、塗装の健全性を確認する。	①-1 TBM ①-2 TBM ①-3 TBM ①-4 TBM	①-1 13M ①-2 13M ①-3 26M ①-4 13M	①-1 分解点検 ①-2 分解点検 ①-3 開放点検 ①-4 分解点検	①-1 第17回定検(710E8-MF244) ①-2 第17回定検(710E8-MF244) ①-3 第17回定検(710E8-KE702) ①-4 第17回定検(710E8-MF244)	①-1 無 ①-2 無 ①-3 無 ①-4 無	■
機械設備	計装用圧縮空気系設備	①計装用圧縮空気系設備 ①-1 アフタークーラ	胴および支持板	腐食(全面腐食)	1-② 1-⑥	可	目視確認を行い、健全性を確認する。外面については、塗装の健全性を確認する。	①-1 TBM	①-1 26M	①-1 開放点検	①-1 第17回定検(710E8-MF244)	①無	-
機械設備	計装用圧縮空気系設備	①計装用圧縮空気系設備 ①-1 アフタークーラ	管板	腐食(全面腐食)	1-⑤ 1-⑥	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM	①-1 26M	①-1 開放点検	①-1 第17回定検(710E8-MF244)	①無	■
機械設備	計装用圧縮空気系設備	①計装用圧縮空気系設備 ①-1 アフタークーラ	伝熱管	腐食(全面腐食)	1-⑤ 1-⑥	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM	①-1 26M	①-1 開放点検	①-1 第17回定検(710E8-MF244)	①無	-
機械設備	計装用圧縮空気系設備	①計装用圧縮空気系設備	配管サポート	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、塗装の健全性を確認する。	①TBM	①13M	①分解点検	①第17回定検(710E8-MF244)	①無	-
機械設備	計装用圧縮空気系設備	①計装用圧縮空気系設備 ①-1 空気圧縮機 ①-2 除湿塔	取付ボルト	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM ①-2 TBM	①-1 13M ①-2 26M	①-1 分解点検 ①-2 開放点検	①-1 第17回定検(710E8-MF244) ①-2 第17回定検(710E8-KE702)	①-1 無 ①-2 無	■
機械設備	計装用圧縮空気系設備	①計装用圧縮空気系設備 ①-1 空気圧縮機 モータ	固定子コアおよび回転子コア	腐食(全面腐食)	1-⑤	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM	①-1 78M	①-1 分解点検	①-1 第15回定検(710E8-ED720)	①-1 第15回定検(710E8-ED720)	-
機械設備	計装用圧縮空気系設備	①計装用圧縮空気系設備 ①-1 空気圧縮機 モータ	フレーム、エンドブラケットおよび端子箱	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、塗装の状態を確認する。	①-1 TBM	①-1 1C	①-1 外観点検	①-1 第15回定検(710E8-ED720)	①-1 第15回定検(710E8-ED720)	-
機械設備	計装用圧縮空気系設備	①計装用圧縮空気系設備 ①-1 空気圧縮機 モータ	取付ボルト	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、塗装の状態を確認する。	①-1 TBM	①-1 1C	①-1 外観点検	①-1 第15回定検(710E8-ED720)	①-1 第15回定検(710E8-ED720)	-
機械設備	気体廃棄物処理系設備	①気体廃棄物処理系設備 ①-1 空気抽出器	管板(胴側)	腐食(全面腐食)	1-⑤	可	漏えい確認を実施し、健全性を確認する。	①-1 TBM	①-1 6C	①-1 漏えい試験	①-1 第16回定検(710E8-MG532)	①-1 無	■
機械設備	気体廃棄物処理系設備	①気体廃棄物処理系設備 ①-1 空気抽出器	支持脚スライド部	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認により健全性を確認する。	①-1 TBM	①-1 6C	①-1 外観点検①	①-1 第17回定検(N15M8-00052)	①-1 無	■
機械設備	気体廃棄物処理系設備	①気体廃棄物処理系設備 ①-1 空気抽出器 ①-2 排ガスブロワ	基礎ボルト	腐食(全面腐食)	1-②	可	機器の点検時に目視点検を行い、塗装の健全性を確認する。	①-1 TBM ①-2 TBM	①-1 6C ①-2 5C	①-1 外観点検① ①-2 外観点検	①-1 外観点検①(N15M8-00052) ①-2 第17回定検(N2117-RK-603-1)	①-1 無 ①-2 第17回定検(N2117-RK-603-1)	◎
機械設備	気体廃棄物処理系設備	①気体廃棄物処理系設備 ①-1 空気抽出器	水室、管板(水室側)	腐食(全面腐食)	1-⑤	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM	①-1 78M	①-1 開放点検-1	①-1 第17回定検(N15M8-00052)	①-1 無	-
機械設備	気体廃棄物処理系設備	①気体廃棄物処理系設備 ①-1 空気抽出器	フランジボルト	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM	①-1 78M	①-1 開放点検-1	①-1 第17回定検(N15M8-00052)	①-1 無	■
機械設備	気体廃棄物処理系設備	①気体廃棄物処理系設備 ①-1 空気抽出器	抽気室、排ガス入口管	腐食(全面腐食)	1-⑤	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM	①-1 78M	①-1 開放点検	①-1 第17回定検(N15M8-00052)	①-1 無	■
機械設備	気体廃棄物処理系設備	①気体廃棄物処理系設備 ①-1 空気抽出器 ①-2 排ガスブロワ	支持脚、ベース	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、塗装の健全性を確認する。	①-1 TBM ①-2 TBM	①-1 6C ①-2 5C	①-1 外観点検① ①-2 外観点検	①-1 第17回定検(N15M8-00052) ①-2 第17回定検(N2117-RK-603-1)	①-1 無 ①-2 第17回定検(N2117-RK-603-1)	-
機械設備	気体廃棄物処理系設備	①気体廃棄物処理系設備 ①-1 排ガスブロワ	ロータ等	腐食(全面腐食)	1-② 1-⑤	可	目視確認を行い、塗装の健全性を確認する。	①-1 TBM	①-1 65M	①-1 分解点検	①-1 第12回定検(710E8-MH895)	①-1 第17回定検(N2117-RK-603-1)	-
機械設備	気体廃棄物処理系設備	①気体廃棄物処理系設備 ①-1 排ガスブロワ後置冷却器	内筒、外筒、水室	腐食(全面腐食)	1-② 1-⑤ 1-⑥	可	目視確認を行い、健全性を確認する。外面については塗装の健全性を確認する。	①-1 TBM	①-1 10C	①-1 外観点検	①-1 第9回定検(410E8-MH228)	①-1 無	-

評価書		対象機器	部位	経年劣化事象	保全の方針	劣化傾向監視	劣化管理の考え方	検査(保全)方式	検査周期	検査方法(保全タスク)	実績	部品取替履歴	耐震影響
分類													
機械設備	液体廃棄物処理系設備	①液体廃棄物処理系設備 ①-1 床ドレン濃縮器 ①-2 床ドレン濃縮器復水器 ①-3 化学廃液濃縮器復水器 ①-4 濃縮廃液ポンプ ①-5 濃縮廃液タンク ①-6 化学廃液循環ポンプ	基礎ボルト	腐食(全面腐食)	1-②	可	機器の点検時に目視点検を行い、塗装の健全性を確認する。	①-1 TBM ①-2 TBM ①-3 TBM ①-4 TBM ①-5 TBM ①-6 TBM	①-1 2Y ①-2 10Y ①-3 10Y ①-4 4Y ①-5 3Y ①-6 1Y	①-1 外観点検 ①-2 外観点検 ①-3 外観点検 ①-4 外観点検 ①-5 外観点検 ①-6 外観点検	①-1 平成29年度(N17M8-00210) ①-2 平成29年度(N17M8-00210) ①-3 平成23年度(710E8-MH084) ①-4 平成26年度(N14M8-00254) ①-5 平成26年度(N16M8-00008) ①-6 平成28年度(N16M8-00136)	①-1 無 ①-2 無 ①-3 無 ①-4 無 ①-5 無 ①-6 無	◎
機械設備	液体廃棄物処理系設備	①液体廃棄物処理系設備 ①-1 床ドレン濃縮器 ①-2 床ドレン濃縮器復水器 ①-3 化学廃液濃縮器復水器 ①-4 濃縮廃液ポンプ	フランジボルト	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM ①-2 TBM ①-3 TBM ①-4 TBM	①-1 2Y ①-2 10Y ①-3 10Y ①-4 4Y	①-1 開放点検 ①-2 開放点検 ①-3 開放点検 ①-4 分解点検	①-1 平成29年度(N17M8-00210) ①-2 平成29年度(N17M8-00210) ①-3 平成23年度(710E8-MH084) ①-4 平成26年度(N14M8-00254)	①-1 無 ①-2 無 ①-3 無 ①-4 無	■
機械設備	液体廃棄物処理系設備	①液体廃棄物処理系設備 ①-1 床ドレン濃縮器復水器 ①-2 化学廃液濃縮器復水器	水室	腐食(全面腐食)	1-⑥	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM ①-2 TBM	①-1 10Y ①-2 10Y	①-1 開放点検 ①-2 開放点検	①-1 平成23年度(710E8-MH084) ①-2 平成23年度(710E8-MH084)	①-1 無 ①-2 無	-
機械設備	液体廃棄物処理系設備	①液体廃棄物処理系設備 ①-1 濃縮廃液タンク	胴	腐食(全面腐食)	1-② 1-⑤	可	目視確認を行い、ライニングの健全性を確認する。外面については塗装の健全性を確認する。	①-1 TBM	①-1 3Y	①-1 開放点検	①-1 平成27年度(N16M8-00008)	①-1 無	-
機械設備	液体廃棄物処理系設備	①液体廃棄物処理系設備 ①-1 床ドレン濃縮器 ①-2 床ドレン濃縮器復水器 ①-3 化学廃液濃縮器 ①-4 化学廃液濃縮器復水器 ①-5 濃縮廃液ポンプ ①-6 濃縮廃液タンク	①-1, 2, 4 支持脚 ①-3 支持脚, 支持鋼材, 取付ボルト, 埋込金物 ①-5 ベース ①-6 スカート	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM ①-2 TBM ①-3 TBM ①-4 TBM ①-5 TBM ①-6 TBM	①-1 2Y ①-2 10Y ①-3 3Y ①-4 10Y ①-5 4Y ①-6 3Y	①-1 外観点検 ①-2 外観点検 ①-3 外観点検 ①-4 外観点検 ①-5 外観点検 ①-6 外観点検	①-1 平成29年度(N17M8-00210) ①-2 平成29年度(N17M8-00210) ①-3 平成28年度(N16M8-00298) ①-4 平成23年度(710E8-MH084) ①-5 平成26年度(N14M8-00254) ①-6 平成26年度(N16M8-00008)	①-1 無 ①-2 無 ①-3 無 ①-4 無 ①-5 無 ①-6 無	■
機械設備	所内ボイラ設備	①所内ボイラ設備 ①-1 蒸気だめ	支持脚スライド部	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認により健全性を確認する。	①-1 TBM	①-1 2Y	①-1 開放点検	①-1 平成27年度(N15M8-00199)	①-1 無	■
機械設備	所内ボイラ設備	①所内ボイラ設備 ①-1 ボイラ本体 ①-2 蒸気だめ ①-3 給水ポンプ	基礎ボルト	腐食(全面腐食)	1-②	可	機器の点検時に目視点検を行い、塗装の健全性を確認する。	①-1 TBM ①-2 TBM ①-3 TBM	①-1 2Y ①-2 2Y ①-3 4Y	①-1 開放点検 ①-2 開放点検 ①-3 外観点検	①-1 平成27年度(N15M8-00199) ①-2 平成27年度(N15M8-00199) ①-3 平成27年度(N15M8-00199)	①-1 無 ①-2 無 ①-3 無	◎
機械設備	所内ボイラ設備	①所内ボイラ設備 ①-1 ボイラ本体	汽水胴等のボイラ燃焼室内部	腐食(全面腐食)	1-⑤	可	目視確認および肉厚測定を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM	①-1 2Y	①-1 開放点検	①-1 平成27年度(N15M8-00199)	①-1 無	-
機械設備	所内ボイラ設備	①所内ボイラ設備 ①-1 ボイラ本体	安全弁(機付)、パーナ	腐食(全面腐食)	1-⑤	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM	①-1 2Y	①-1 分解点検	①-1 平成27年度(N15M8-00199)	①-1 無	-
機械設備	所内ボイラ設備	①所内ボイラ設備 ①-1 給水ポンプ ①-2 給水系配管 ①-3 給水系弁	ケーシング等	腐食(全面腐食)	1-⑥	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM ①-2 TBM ①-3 TBM, BDM	①-1 4Y ①-2 2Y ①-3 -	①-1 外観点検 ①-2 漏えい試験 ①-3 分解点検	①-1 平成27年度(N15M8-00199) ①-2 平成27年度(N15M8-00199) ①-3 -	①-1 無 ①-2 無 ①-3 -	-
機械設備	所内ボイラ設備	①所内ボイラ設備 ①-1 ボイラ本体 ①-2 蒸気だめ ①-3 給水ポンプ	ベース, 支持脚	腐食(全面腐食)	1-②	可	定期的に目視確認を行い、塗装の健全性を確認する。	①-1 TBM ①-2 TBM ①-3 TBM	①-1 2Y ①-2 2Y ①-3 4Y	①-1 開放点検 ①-2 開放点検 ①-3 外観点検	①-1 平成27年度(N15M8-00199) ①-2 平成27年度(N15M8-00199) ①-3 平成27年度(N15M8-00199)	①-1 無 ①-2 無 ①-3 無	-
機械設備	所内ボイラ設備	4号所内ボイラ ①-1 ボイラ本体 ①-2 蒸気だめ ①-3 給水ポンプ ①-4 缶水循環ポンプ ①-5 ブロータンク	ベース, 架台	腐食(全面腐食)	1-②	可	定期的に目視確認を行い、塗装の健全性を確認する。	①-1 TBM ①-2 TBM ①-3 TBM ①-4 TBM ①-5 TBM	①-1 2Y ①-2 2Y ①-3 4Y ①-4 2Y ①-5 10Y	①-1 開放点検 ①-2 開放点検 ①-3 外観点検 ①-4 外観点検 ①-5 開放点検	①-1 平成28年度(N16M8-00145) ①-2 平成28年度(N16M8-00145) ①-3 平成28年度(N16M8-00145) ①-4 平成28年度(N16M8-00145) ①-5 平成28年度(N16M8-00145)	①-1 無 ①-2 無 ①-3 無 ①-4 無 ①-5 無	-
機械設備	固体廃棄物処理系設備	①雑固体廃棄物焼却設備 ①-1 焼却炉 ①-2 1次セラミックフィルタ ①-3 2次セラミックフィルタ ①-4 炭素鋼配管 ①-5 弁	①-1~3 外殻 ①-4 配管 ①-5 弁	腐食(全面腐食)	1-⑤	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM ①-2 TBM ①-3 TBM ①-4 TBM ①-5 TBM	①-1 2Y ①-2 2Y ①-3 2Y ①-4 2Y ①-5 10Y	①-1 開放点検 ①-2 外観点検 ①-3 外観点検 ①-4 開放点検 ①-5 分解点検	①-1 平成27年度(N15M8-00126) ①-2 平成27年度(N15M8-00126) ①-3 平成27年度(N15M8-00126) ①-4 平成27年度(N15M8-00126) ①-5 平成23年度(C-570223R)	①-1 無 ①-2 無 ①-3 無 ①-4 無 ①-5 無	-

評価書		対象機器	部位	経年劣化事象	保全の方針	劣化傾向 監視	劣化管理の考え方	検査(保全) 方式	検査周期	検査方法 (保全タスク)	実績	部品取替履歴	耐震影響
分類													
機械設備	固体廃棄物処理系設備	①雑固体廃棄物焼却設備 ①-1 焼却炉 ①-2 1次セラミックフィルタ ①-3 2次セラミックフィルタ ①-4 排ガスフィルタ	基礎ボルト	腐食(全面腐食)	1-②	可	機器の点検時に目視点検を行い、塗装の健全性を確認する。	①-1 TBM ①-2 TBM ①-3 TBM ①-4 TBM	①-1 2Y ①-2 2Y ①-3 2Y ①-4 4Y	①-1 開放点検 ①-2 外観点検 ①-3 外観点検 ①-4 外観点検	①-1 平成27年度(N15M8-00126) ①-2 平成27年度(N15M8-00126) ①-3 平成27年度(N15M8-00126) ①-4 平成27年度(N15M8-00126)	①-1 無 ①-2 無 ①-3 無 ①-4 無	◎
機械設備	固体廃棄物処理系設備	①雑固体廃棄物焼却設備 ①-1 焼却炉 ①-2 1次セラミックフィルタ ①-3 2次セラミックフィルタ ①-4 排ガスフィルタ	①-1~3 フランジボルト ①-1~3 ラグ ①-1 支持脚 ①-1, ①-4 取付ボルト ①-4 架台	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、塗装の健全性を確認する。	①-1 TBM ①-2 TBM ①-3 TBM ①-4 TBM	①-1 2Y ①-2 2Y ①-3 2Y ①-4 4Y	①-1 開放点検 ①-2 外観点検 ①-3 外観点検 ①-4 外観点検	①-1 平成27年度(N15M8-00126) ①-2 平成27年度(N15M8-00126) ①-3 平成27年度(N15M8-00126) ①-4 平成27年度(N15M8-00126)	①-1 無 ①-2 無 ①-3 無 ①-4 無	-
機械設備	固体廃棄物処理系設備	①雑固体廃棄物処理設備 ①-1 セラミックフィルタ ①-2 炭素鋼配管 ①-3 弁	①-1 外殻 ①-2 配管 ①-2 弁	腐食(全面腐食)	1-⑤	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM ①-2 TBM ①-3 TBM	①-1 2Y ①-2 2Y ①-3 4Y	①-1 開放点検 ①-2 開放点検 ①-3 分解点検	①-1 平成27年度(N15M8-00250) ①-2 平成27年度(N15M8-00250) ①-3 平成24年度(C-580199-R)	①-1 無 ①-2 無 ①-3 無	-
機械設備	固体廃棄物処理系設備	①雑固体廃棄物処理設備 ①-1 溶融炉 ①-2 セラミックフィルタ ①-3 排ガスフィルタ	①-1, 2 フランジボルト ①-1~3 支持脚 ①-1~3取付ボルト	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM ①-2 TBM ①-3 TBM	①-1 2Y ①-2 2Y ①-3 2Y	①-1 開放点検 ①-2 開放点検 ①-3 開放点検	①-1 平成28年度(N16M8-00297) ①-2 平成27年度(N15M8-00250) ①-3 平成27年度(N15M8-00250)	①-1 無 ①-2 無 ①-3 無	-
機械設備	固体廃棄物処理系設備	①雑固体廃棄物処理設備 ①-1 セラミックフィルタ ①-2 排ガスフィルタ	基礎ボルト	腐食(全面腐食)	1-②	可	機器の点検時に目視点検を行い、塗装の健全性を確認する。	①-1 TBM ①-2 TBM	①-1 2Y ①-2 2Y	①-1 開放点検 ①-2 開放点検	①-1 平成27年度(N15M8-00250) ①-2 平成27年度(N15M8-00250)	①-1 無 ①-2 無	◎
機械設備	水素再結合器	①静的触媒式水素処理装置	架台	腐食(全面腐食)	1-②	可	定期的に目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①新設機器	①外観点検	①新設機器	①無	-
機械設備	水素再結合器	①静的触媒式水素処理装置	基礎ボルト	腐食(全面腐食)	1-②	可	機器の点検時に目視点検を行い、塗装の健全性を確認する。	①TBM	①新設機器	①外観点検	①新設機器	①無	◎
機械設備	ガスタービン機関	①ガスタービン機関付属設備 ①-1 軽油タンク	胴等	腐食(全面腐食)	1-② 1-④	可	目視確認を行い、塗装の健全性を確認することとしている。	①-1 TBM	①-1 新設機器	①-1 目視確認	①-1 平成29年度(N17M8-00183)	①-1 無	-
機械設備	ガスタービン機関	①ガスタービン機関付属設備 ①-1 軽油タンク	基礎ボルト	腐食(全面腐食)	1-②	可	機器の点検時に目視点検を行い、塗装の健全性を確認する。	①-1 TBM	①-1 新設機器	①-1 目視確認	①-1 平成29年度(N17M8-00183)	①-1 無	◎
電源設備	高圧閉鎖配電盤	①非常用M/C	主回路導体	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①4C	①外観点検	①第16回定検(710E8-ED688)	①無	-
電源設備	高圧閉鎖配電盤	①非常用M/C	筐体	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、塗装の状態を確認する。	①TBM	①4C	①外観点検	①第16回定検(710E8-ED688)	①無	-
電源設備	高圧閉鎖配電盤	①非常用M/C	取付ボルト	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、塗装等の状態を確認する。	①TBM	①10C	①【定】外観検査	①第15回定検(S2-15-Ⅲ-80-2)	①無	-
電源設備	動力変圧器	①非常用動力変圧器 ②SA動力変圧器	鉄心	腐食(全面腐食)	1-② 1-⑤	可	目視確認を行い、塗装の状態を確認する。	①TBM ②TBM	①4C ②新設機器	①外観点検 ②外観点検	①第17回定検(710E8-ED297) ②新設機器	①無 ②無	-
電源設備	動力変圧器	①非常用動力変圧器 ②SA動力変圧器	接続導体	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、塗装の状態を確認する。	①TBM ②TBM	①4C ②新設機器	①外観点検 ②外観点検	①第17回定検(710E8-ED297) ②新設機器	①無 ②無	-
電源設備	動力変圧器	①非常用動力変圧器	ファンの羽根車	腐食(全面腐食)	1-② 1-⑤	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①4C	①外観点検	①第17回定検(N18E8-00012)	①無	-
電源設備	動力変圧器	①非常用動力変圧器 ②SA動力変圧器	ベース	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、塗装の状態を確認する。	①TBM ②TBM	①10C ②新設機器	①【定】外観検査 ②外観点検	①第16回定検(S2-16-Ⅲ-80-2) ②新設機器	①無 ②無	-
電源設備	動力変圧器	①非常用動力変圧器 ②SA動力変圧器	鉄心締付ボルトおよび取付ボルト	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、塗装の状態を確認する。	①TBM ②TBM	①4C ②新設機器	①外観点検 ②外観点検	①第17回定検(710E8-ED297) ②新設機器	①無 ②無	-

評価書		対象機器	部位	経年劣化事象	保全の方針	劣化傾向 監視	劣化管理の考え方	検査(保全) 方式	検査周期	検査方法 (保全タスク)	実績	部品取替履歴	耐震影響
分類													
電源設備	動力変圧器	①非常用動力変圧器 ②SA動力変圧器	三角ステーおよび締金具	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、塗装等の状態を確認する。	①TBM ②TBM	①4C ②新設機器	①外観点検 ②外観点検	①第17回定検(710E8-ED297) ②新設機器	①無 ②無	-
電源設備	動力変圧器	①非常用動力変圧器	ファンモータの固定子コア、回転子コア	腐食(全面腐食)	1-⑤	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①4C	①外観点検	①第17回定検(N18E8-00012)	①無	-
電源設備	動力変圧器	①非常用動力変圧器	ファンモータのフレーム、エンドブラケット、端子箱	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、塗装の状態を確認する。	①TBM	①4C	①外観点検	①第17回定検(N18E8-00012)	①無	-
電源設備	動力変圧器	①非常用動力変圧器	ファンモータの取付ボルト	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、塗装の状態を確認する。	①TBM	①4C	①外観点検	①第17回定検(N18E8-00012)	①無	-
電源設備	低圧閉鎖配電盤	①非常用L/C	主回路導体	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①4C	①外観点検	①第16回定検(710E8-ED688)	①無	-
電源設備	低圧閉鎖配電盤	①非常用L/C	筐体	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、塗装の状態を確認する。	①TBM	①4C	①外観点検	①第16回定検(710E8-ED688)	①無	-
電源設備	低圧閉鎖配電盤	①非常用L/C	取付ボルト	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、塗装等の状態を確認する。	①TBM	①4C	①外観点検	①第16回定検(710E8-ED688)	①無	-
電源設備	コントロールセンター	①非常用C/C	主回路導体	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①4C	①外観点検	①第16回定検(710E8-ED393)	①無	-
電源設備	コントロールセンター	①非常用C/C	筐体	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、塗装の状態を確認する。	①TBM	①4C	①外観点検	①第16回定検(710E8-ED393)	①無	-
電源設備	コントロールセンター	①非常用C/C	取付ボルト	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、塗装等の状態を確認する。	①TBM	①4C	①外観点検	①第16回定検(710E8-ED393)	①無	-
電源設備	コントロールセンター	①非常用C/C	基礎ボルト	腐食(全面腐食)	1-②	可	機器の点検時に目視点検を行い、塗装の健全性を確認する。	①TBM	①10C	①【定】外観検査	①第17回定検(S2-17-Ⅲ-80-2)	①無	◎
電源設備	ディーゼル発電設備	①非常用ディーゼル発電機	固定子コアおよび回転子コア	腐食(全面腐食)	1-⑤	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①104M	①分解点検	①第17回定検(N16E8-00010)	①無	-
電源設備	ディーゼル発電設備	①非常用ディーゼル発電機	フレーム、端子箱、コイルエンドカバー および軸受台	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、塗装の状態を確認する。	①TBM	①104M	①分解点検	①第17回定検(N16E8-00010)	①無	-
電源設備	ディーゼル発電設備	①非常用ディーゼル発電機	発電機の取付ボルト	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、塗装等の状態を確認する。	①TBM	①104M	①分解点検	①第17回定検(N16E8-00010)	①無	-
電源設備	ディーゼル発電設備	①非常用ディーゼル発電機	基礎ボルト	腐食(全面腐食)	1-②	可	機器の点検時に目視点検を行い、塗装の健全性を確認する。	①TBM	①104M	①分解点検	①第17回定検(N16E8-00010)	①無	◎
電源設備	ディーゼル発電設備	①非常用ディーゼル発電機	筐体	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、塗装の状態を確認する。	①TBM	①104M	①分解点検	①第17回定検(N16E8-00010)	①無	-
電源設備	ディーゼル発電設備	①非常用ディーゼル発電機	制御盤の取付ボルト	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、塗装等の状態を確認する。	①TBM	①10C	①【定】外観検査	①第17回定検(S2-17-Ⅲ-80-2)	①無	-
電源設備	MGセット	①原子炉保護系MGセット	フライホイール(本体)、フライホイールの軸受ブラケットおよびカップリング	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、塗装の状態を確認する。	①TBM	①1C	①外観点検	①第17回定検(710E8-ED567)	①無	-
電源設備	MGセット	①原子炉保護系MGセット	共通架台および制御盤筐体	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、塗装の状態を確認する。	①TBM	①1C	①外観点検	①第17回定検(N2117-RT-200-5)	①無	-

評価書		対象機器	部位	経年劣化事象	保全の方針	劣化傾向 監視	劣化管理の考え方	検査(保全) 方式	検査周期	検査方法 (保全タスク)	実績	部品取替履歴	耐震影響
分類													
電源設備	MGセット	①原子炉保護系MGセット	取付ボルト	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、塗装の状態を確認する。	①TBM	①1C	①外観点検	①第17回定検(N2117-RT-200-5)	①無	-
電源設備	MGセット	①原子炉保護系MGセット	基礎ボルト	腐食(全面腐食)	1-②	可	機器の点検時に目視点検を行い、塗装の健全性を確認する	①TBM	①3C	①外観点検	①第16回定検(N2116-RT-201-1)	①無	◎
電源設備	MGセット	①原子炉保護系MGセット	発電機および励磁機および駆動モータの固定子コアおよび回転子コア	腐食(全面腐食)	1-⑤	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①39M	①分解点検	①第17回定検(710E8-ED567)	①第17回定検(710E8-ED567)	-
電源設備	MGセット	①原子炉保護系MGセット	発電機および駆動モータのフレーム、エンドブラケットおよび端子箱	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、塗装の状態を確認する。	①TBM	①1C	①外観点検	①第17回定検(710E8-ED567)	①無	-
電源設備	バイタル電源用CVCF	①計装用無停電交流電源装置	筐体	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、塗装の状態を確認する。	①TBM	①1C	①外観点検	①第17回定検(N2117-RT-200-2)	①無	-
電源設備	バイタル電源用CVCF	①計装用無停電交流電源装置	取付ボルト	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、塗装の状態を確認する。	①TBM	①1C	①外観点検	①第17回定検(N2117-RT-200-2)	①無	-
電源設備	直流電源	①115 V系蓄電池	極板	腐食(全面腐食)	1-⑤	可	浮動充電電圧測定を行い、健全性を確認する。	①TBM	①新設機器	①外観点検	①新設機器	①B-115V系充電器・蓄電池【B-115V系蓄電池】(N21-TG-062)(N21-TG-086)	-
電源設備	直流電源	①115 V系蓄電池	極板	腐食(全面腐食)	1-⑤	可	浮動充電電圧測定および電解液比重測定を行い、健全性を確認する。	①TBM	①1C	①機能・性能試験	①第17回定検(81NS21203)	①無	-
電源設備	直流電源	①115 V系蓄電池	架台	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、塗装の状態を確認する。	①TBM	①新設機器	①外観点検	①新設機器	①B-115V系充電器・蓄電池【B-115V系蓄電池】(N21-TG-062)(N21-TG-086)	-
電源設備	直流電源	①115 V系蓄電池	取付ボルト	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、塗装の状態を確認する。	①TBM ②TBM	①新設機器 ②新設機器	①外観点検 ②外観点検	①新設機器 ②新設機器	①B-115V系充電器・蓄電池【B-115V系蓄電池】(N21-TG-062)(N21-TG-086) ②230V系充電器・蓄電池【230V系充電器(RCIC)】(N21-TG-065)(N21-TG-0124)	-
電源設備	直流電源	①230 V系充電器	筐体	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、塗装の状態を確認する。	①TBM	①新設機器	①外観点検	①新設機器	①230V系充電器・蓄電池【230V系充電器(RCIC)】(N21-TG-065)(N21-TG-0124)	-
電源設備	計装用変圧器	①計装用変圧器	鉄心	腐食(全面腐食)	1-② 1-⑤	可	目視確認を行い、塗装の状態を確認する。	①TBM	①3C	①外観点検	①第16回定検(710E8-ED393)	①無	-
電源設備	計装用変圧器	①計装用変圧器	接続導体	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①3C	①外観点検	①第16回定検(710E8-ED393)	①無	-
電源設備	計装用変圧器	①計装用変圧器	鉄心締付ボルト、クランプおよび取付ボルト	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、塗装の状態を確認する。	①TBM	①10C	①【定】外観検査	①第15回定検(S2-15-Ⅲ-80-2)	①無	-
電源設備	計装用分電盤	①230 V系直流盤	筐体	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、塗装の状態を確認する。	①TBM	①3C	①外観点検	①第15回定検(710E8-ED725)	①無	-

評価書		対象機器	部位	経年劣化事象	保全の方針	劣化傾向監視	劣化管理の考え方	検査(保全)方式	検査周期	検査方法(保全タスク)	実績	部品取替履歴	耐震影響
分類													
電源設備	計装用分電盤	①230 V系直流盤	取付ボルト	腐食(全面腐食)	1-②	可	目視確認を行い、塗装の状態を確認する。	①TBM	①3C	①外観点検	①第15回定検(710E8-ED725)	①無	-
電源設備	計装用分電盤	①230 V系直流盤	基礎ボルト	腐食(全面腐食)	1-②	可	機器の点検時に目視点検を行い、塗装の健全性を確認する	①TBM	①10C	①【定】外観検査	①第16回定検(S2-15-Ⅲ-80-2)	①無	◎
ポンプ	ターボポンプ	①復水ポンプ	ケーシング、デリベリ、揚水管	腐食(流れ加速型腐食)	1-⑧	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①39M	①分解点検①	①第17回定検(N15M8-00047)	①無	■
熱交換器	直管式熱交換器	①原子炉補機冷却系熱交換器	伝熱管	腐食(流れ加速型腐食)	1-⑧	可	渦流探傷試験による減肉傾向の確認を行う。また、海水入口側へのストレーナ設置および海水取水口への次亜塩素酸ソーダ注入により海生物の付着を抑制する。	①TBM	①26M	①開放点検	①第17回定検(14-40015-NS2-06-R-214)	①無	◎
熱交換器	U字管式熱交換器	①原子炉浄化再生熱交換器	胴	腐食(流れ加速型腐食)	1-⑧	可	定期的に漏えい確認を実施し、健全性を確認する。	①TBM	①91M	①開放点検	①第16回定検(N2116-RT-016-1)	①無	◎
熱交換器	U字管式熱交換器	①給水加熱器	胴、管支持板	腐食(流れ加速型腐食)	1-⑧	可	定期的に目視確認を実施し、健全性を確認する。	①TBM	①52M	①開放点検②	①第16回定検(710E8-MG620)	①無	-
熱交換器	U字管式熱交換器	①排ガス予熱器	胴、管支持板	腐食(流れ加速型腐食)	1-⑧	可	定期的に漏えい確認を実施し、健全性を確認する。	①TBM	①10C	①漏えい試験①	①第12回定検(定事検) (要領書番号:S2-115-1)	①無	◎
熱交換器	U字管式熱交換器	①グラント蒸気発生器	水室	腐食(流れ加速型腐食)	1-⑧	可	定期的に目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①78M	①開放点検-1	①第17回定検(N15M8-00053)	①無	-
熱交換器	U字管式熱交換器	①グラント蒸気復水器	胴、管支持板	腐食(流れ加速型腐食)	1-⑧	可	定期的に目視確認および漏えい確認を実施し、健全性を確認する。	①(a)TBM ①(b)TBM	①(a)78M ①(b)6C	①(a)開放点検-1 ①(b)漏えい試験	①(a)第16回定検(710E8-MG532) ①(b)第16回定検(710E8-MG532)	①(a)無 ①(b)無	-
容器	その他容器	①湿分離器	鏡板、胴、マンホール蓋	腐食(流れ加速型腐食)	1-⑧	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①26M	①開放点検	①第17回点検(N15M8-00053)	①無	-
容器	原子炉圧力容器	①原子炉圧力容器	主蒸気ノズル	腐食(流れ加速型腐食)	1-⑧	可	定期検査時に漏えい検査を行い、健全性を確認する。	①TBM	①1C	①【定】漏えい検査	①第16回定検(S2-16-II-1-2)	①無	■
配管	炭素鋼配管	①主蒸気系配管 ②給水系配管	オリフィス、フローノズル	腐食(流れ加速型腐食)	1-⑦	可	超音波探傷試験または放射線透過試験により、下流配管の点検により減肉傾向を把握する。	①TBM ②TBM	①配管肉厚管理 手引書に基づく ②配管肉厚管理 手引書に基づく	①配管肉厚管理手引書に 基づく ②配管肉厚管理手引書に 基づく	①第16回定検(N2116-RK-502-1) ②第16回定検(N2116-RK-502-1)	①無 ②無	■
配管	低合金鋼配管	共通(代表確認) ①タービンヒータドレン系配管 ②主蒸気系配管	配管	腐食(流れ加速型腐食)	1-⑦	可	超音波探傷試験または放射線透過試験を行い、健全性を確認する。	①TBM ②TBM	①配管肉厚管理 手引書に基づく ②配管肉厚管理 手引書に基づく	①配管肉厚管理手引書に 基づく ②配管肉厚管理手引書に 基づく	①第17回定検(N2117-RK-505-1) ②第16回定検(N2116-RK-502-1)	①無 ②無	-
弁	仕切弁	①蒸気内側隔離弁 ②原子炉給水元弁 ③主蒸気ドレン内側隔離弁	弁箱、弁ふた、弁体、弁座	腐食(流れ加速型腐食)	1-⑧	可	目視確認により、健全性を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM	①78M ②130M ③78M	①分解点検 ②分解点検 ③分解点検	①第14回定検(PVH-S-07-201) ②第15回定検(PVH-S-08-203) ③第13回定検(ENT-NS2-06-MR-018)	①無 ②無 ③無	■



評価書		対象機器	部位	経年劣化事象	保全の方針	劣化傾向監視	劣化管理の考え方	検査(保全)方式	検査周期	検査方法(保全タスク)	実績	部品取替履歴	耐震影響
分類													
弁	玉形弁	①原子炉圧力容器連続ベント弁 ②胴体圧力調節弁バイパス弁 ③蒸気第1ドレン弁	弁箱、弁ふた、弁体、弁座	腐食(流れ加速型腐食)	1-⑧	可	目視確認により、健全性を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM	①78M ②78M ③130M	①分解点検 ②分解点検 ③分解点検	①第15回定検(PVH-S-08-208) ②第14回定検(PVH-S-07-209) ③第16回定検(PVH-S0-206)	①無 ②無 ③第16回定検(PVH-S0-206)	■
弁	逆止弁	①原子炉給水内側隔離逆止弁 ②第4抽水逆止弁	弁箱、弁ふた、弁体、弁座、アーム	腐食(流れ加速型腐食)	1-⑧	可	目視確認により、健全性を確認する。	①TBM ②TBM	①78M ②78M	①分解点検 ②分解点検	①第15回定検(PVH-S-08-201) ②第14回定検(PVH-S-07-210)	①第15回定検(PVH-S-08-201) ②第14回定検(PVH-S-07-210)	■
弁	ハタフライ弁	①原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービン排気弁	弁箱、底ふた、弁体	腐食(流れ加速型腐食)	1-⑧	可	目視確認により、健全性を確認する。	①TBM	①78M	①分解点検	①第16回定検(710E8-MG811)	①無	-
弁	主蒸気隔離弁	①主蒸気隔離弁	弁箱、弁ふた、弁体、弁座、パイロットシート	腐食(流れ加速型腐食)	1-⑧	可	目視確認により、健全性を確認する。	①TBM	①26M	①分解点検	①第17回定検(AUR-15-0011)	①無	■
弁	制御弁	①グラウンド蒸気圧力調節弁 ②グラウンド蒸気発生器胴体圧力調節弁 ③第4ヒータ高水位調節弁	弁箱、弁ふた、弁座	腐食(流れ加速型腐食)	1-⑧	可	目視確認により、健全性を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM	①13M ②13M ③13M	①分解点検② ②分解点検② ③分解点検③	①第16回定検(C-550432-R) ②第16回定検(C-550432-R) ③第16回定検(C-550432-R)	①無 ②無 ③無	■
タービン	高圧タービン	①高圧タービン	車室、バックケーシング、バックヘッド、翼、噴口、隔板および車軸	腐食(流れ加速型腐食)	1-⑧	可	定期的に目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①26M	①開放点検②-1	①第16回定検(710E8-MG610)	①第17回定検(D40-21-K427)	■
タービン	低圧タービン	①低圧タービン	外部車室 内部車室、抽気短管、バックケーシング、翼、噴口、隔板および車軸	腐食(流れ加速型腐食)	1-⑧	可	定期的に目視確認を実施し、健全性を確認する。	①TBM	①26M	①開放点検①-1	①第17回定検(N15M8-00184)	①第17回定検(D40-21-K427)、 第17回定検(D40-21-K422)	■
タービン	原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービン	①原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービン	車室、バックハウジング、翼、噴口、高圧ノズルボックス、隔板および車軸	腐食(流れ加速型腐食)	1-⑧	可	定期的に目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①26M	①分解点検-1	①第16回定検(710E8-MG802)	①無	■
タービン	主要配管(タービン)	①リード管 ②クロスアラウンド管	配管	腐食(流れ加速型腐食)	1-⑧	可	超音波厚さ測定または放射線透過試験等により点検を実施し、減肉傾向を把握する。	①- ②-	①配管肉厚検査計画に基づく ②配管肉厚検査計画に基づく	①第17回定検(S2-17-II-42-3) ②第16回定検(S2-16-II-42-3)	①無 ②無	■	
タービン	主要配管(タービン)	①クロスアラウンド管	マンホール蓋	腐食(流れ加速型腐食)	1-⑧	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①26M ①52M	①開放点検	①第17回定検(N15M8-00053) ①第15回定検(710E8-MG252)	①無	■
タービン	主要弁(タービン)	①主蒸気止め弁 ②蒸気加減弁 ③組合せ中間弁 ④タービンバイパス弁 ⑤原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービン高圧蒸気止め弁 ⑥原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービン高圧蒸気加減弁 ⑦原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービン低圧蒸気止め弁 ⑧原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービン低圧蒸気加減弁	弁箱、弁ふた、弁体(主弁・副弁)、弁座、弁棒、アッシュ、バランスチャレンバ、歯帯筐およびスタンド	腐食(流れ加速型腐食)	1-⑧	可	定期的に目視確認を実施し、健全性を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM ④TBM ⑤TBM ⑥TBM ⑦TBM ⑧TBM	①26M ②26M ③26M ④26M ⑤13M ⑥13M ⑦13M ⑧13M	①開放点検 ②開放点検 ③開放点検 ④分解点検 ⑤分解点検② ⑥分解点検② ⑦分解点検② ⑧分解点検②	①第17回定検(N15M8-00301) ②第17回定検(N15M8-00301) ③第17回定検(N15M8-00301) ④第17回定検(N15M8-00301) ⑤第17回定検(N15M8-00219) ⑥第17回定検(N15M8-00219) ⑦第17回定検(N15M8-00219) ⑧第17回定検(N15M8-00219)	①無 ②無 ③無 ④無 ⑤無 ⑥無 ⑦無 ⑧無	■

評価書		対象機器	部位	経年劣化事象	保全の方針	劣化傾向 監視	劣化管理の考え方	検査(保全) 方式	検査周期	検査方法 (保全タスク)	実績	部品取替履歴	耐震影響
分類													
タービン	主要弁(タービン)	①蒸気加減弁 ②組合せ中間弁 ③タービンバイパス弁 ④原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービン 高圧蒸気加減弁 ⑤原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービン 低圧蒸気加減弁	弁体シート部および 弁座シート部	腐食(流れ加速型腐 食)	1-⑧	可	定期的に目視確認を実施 し、健全性を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM ④TBM ⑤TBM	①26M ②26M ③26M ④13M ⑤13M	①開放点検 ②開放点検 ③分解点検 ④分解点検② ⑤分解点検②	①第17回定検(N15M8-00301) ②第17回定検(N15M8-00301) ③第17回定検(N15M8-00301) ④第17回定検(N15M8-00219) ⑤第17回定検(N15M8-00219)	①無 ②無 ③無 ④無 ⑤無	■
タービン	主要弁(タービン)	①主蒸気止め弁 ②クロスアラウンド管安全弁 ③原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービン 高圧蒸気止め弁 ④原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービン 低圧蒸気止め弁	弁体シート部および弁 座シート部	腐食(流れ加速型腐 食)	1-⑧	可	定期的に目視確認および 浸透探傷試験を行い、健 全性を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM ④TBM	①26M ②78M ③13M ④13M	①開放点検 ②分解点検 ③分解点検② ④分解点検②	①第17回定検(N15M8-00301) ②第13回定検(710E8-MG356) ③第17回定検(N15M8-00219) ④第17回定検(N15M8-00219)	①無 ②無 ③無 ④無	■
タービン	非常用系タービン設備	①原子炉隔離時冷却ポンプ駆動用蒸気 タービンおよび付属装置 ①-1 原子炉隔離時冷却ポンプ駆動用蒸 気タービン	主軸、円板、翼および ケーシング	腐食(流れ加速型腐 食)	1-⑧	可	定期的に目視確認を行 い、健全性を確認する。	①TBM	①78M	①分解点検①	①第12回定検(5HR-21-0045-12)	①無	-
タービン	非常用系タービン設備	①原子炉隔離時冷却ポンプ駆動用蒸気 タービンおよび付属装置 ①-1 主塞止弁 ①-2 蒸気加減弁	弁箱および弁ふた	腐食(流れ加速型腐 食)	1-⑧	可	定期的に目視確認を行 い、健全性を確認する。	①-1 TBM ①-2 TBM	①-1 78M ①-2 78M	①-1 分解点検 ①-2 分解点検	①-1 第12回定検(5HR-21-0045-12) ①-2 第12回定検(5HR-21-0045-12)	①-1 無 ①-2 無	-
タービン	非常用系タービン設備	①原子炉隔離時冷却ポンプ駆動用蒸気 タービンおよび付属装置 ①-1 主塞止弁 ①-2 蒸気加減弁	弁体および弁座シ ート部	腐食(流れ加速型腐 食)	1-⑧	可	定期的に目視確認を行 い、健全性を確認する。	①-1 TBM ①-2 TBM	①-1 78M ①-2 78M	①-1 分解点検 ①-2 分解点検	①-1 第12回定検(5HR-21-0045-12) ①-2 第12回定検(5HR-21-0045-12)	①-1 無 ①-2 無	-
機械設備	気体廃棄物処理系設備	①気体廃棄物処理系設備 ①-1 空気抽出器	管支持板、胴	腐食(流れ加速型腐 食)	1-⑧	可	目視確認および漏えい確 認を行い、健全性を確認 する。	①-1 (a)TBM (b) TBM	①-1 (a)78M (b)6C	①-1 (a)開放点検-1 (b)漏えい試験	①-1 (a)第17回定検(N15M8-00052) (b)第16回定検(710E8-MG532)	①-1 無	-
機械設備	気体廃棄物処理系設備	①気体廃棄物処理系設備 ①-1 空気抽出器	蒸気室、放気管	腐食(流れ加速型腐 食)	1-⑧	可	目視確認を行い、健全性 を確認する。	①-1 TBM	①-1 78M	①-1 開放点検	①-1 第17回定検(N15M8-00052)	①-1 無	-
機械設備	所内ボイラ設備	①所内ボイラ設備 ①-1 ボイラ本体 ①-2 蒸気系配管	汽水胴等	腐食(流れ加速型腐 食)	1-⑧	可	目視確認および肉厚測定 を行い、健全性を確認す る。	①-1 TBM ①-2 無	①-1 2Y ①-2 無	①-1 開放点検 ①-2 肉厚測定	①-1 平成27年度(N15M8-00199) ①-2 平成25年度	①-1 無 ①-2 無	-
機械設備	所内ボイラ設備	①所内ボイラ設備 ①-1 蒸気だめ ①-2 蒸気系弁	蒸気だめ、蒸気系弁	腐食(流れ加速型腐 食)	1-⑧	可	目視確認を行い、健全性 を確認する。	①-1TBM ①-2 TBM, BDM	①-1 2Y ①-2 -	①-1 開放点検 ①-2 分解点検	①-1 平成27年度(N15M8-00199) ①-2 -	①-1 無 ①-2 -	-
配管	炭素鋼配管	①主蒸気系配管 ②給水系配管	配管	腐食(流れ加速型腐 食)	1-⑦	可	超音波探傷試験または放 射線透過試験を行い、健 全性を確認する。	①TBM ②TBM	①配管肉厚管理 手引書に基づく ②配管肉厚管理 手引書に基づく	①配管肉厚管理手引書に 基づく ②配管肉厚管理手引書に 基づく	①第16回定検(N2116-RK-502-1) ②第16回定検(N2116-RK-502-1)	①- ②-	◎
配管	炭素鋼配管	①原子炉隔離時冷却系配管	配管	腐食(液滴衝撃エロ ージョン)	1-⑦	可	超音波探傷試験または放 射線透過試験を行い、健 全性を確認する。	①TBM	①配管肉厚管理 手引書に基づく	①配管肉厚管理手引書に 基づく	①第17回定検(N2117-RK-505-1)	①無	■
配管	低合金鋼配管	①タービンヒータベント系配管	オリフィス	腐食(流れ加速型腐 食、液滴衝撃エロ ージョン)	1-⑦	可	超音波探傷試験または放 射線透過試験により、下 流配管の点検により減肉 傾向を把握する。	①TBM	①配管肉厚管理 手引書に基づく	①配管肉厚管理手引書に 基づく	①第15回定検(AMR-15-0004)	①-	■

評価書		対象機器	部位	経年劣化事象	保全の方針	劣化傾向 監視	劣化管理の考え方	検査(保全) 方式	検査周期	検査方法 (保全タスク)	実績	部品取替履歴	耐震影響
分類													
熱交換器	U字管式熱交換器	①給水加熱器	伝熱管	腐食(液滴衝撃エロージョン)	1-⑧	可	渦流探傷試験および漏えい試験により、健全性を確認する。	①(a)TBM ①(b)TBM	①(a)91M ①(b)1C	①(a)開放点検① ①(b)漏えい試験②	①(a)第16回定検(5KR-21-0008-16) ①(b)第16回定検(710E8-MG620)	①無	-
配管	低合金鋼配管	①タービンヒータドレン系配管	配管	腐食(液滴衝撃エロージョン)	1-⑦	可	超音波探傷試験または放射線透過試験を行い、健全性を確認する。	①TBM	①配管肉厚管理 手引書に基づく	①配管肉厚管理手引書に 基づく	①第15回定検(INR-S2-0001)	①無	■
機械設備	非常用ディーゼル機関	①非常用ディーゼル機関本体	デフレクタ	腐食(エロージョン)	1-⑧	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①104M	①分解点検	①第17回定検(N15M8-00182)	①無	-
ポンプ	ターボポンプ	①原子炉補機海水ポンプ	主軸、中間軸継手、羽根車、ケーシングリング、ケーシング、揚水管、デリベリ、取付ボルト	腐食(孔食、隙間腐食)	1-⑧	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①26M	①分解点検②	①第17回定検(N15M8-00092)	①無	■
容器	その他容器	①原子炉補機海水ストレナ	ボディ、ボンネット、カバー、バスケット	腐食(孔食、隙間腐食)	1-⑧	可	定期的に目視確認を行い、健全性を確認する。また、防食材(亜鉛)を取付け、腐食を防止しており、防食材(亜鉛)については定期的に取替を行っている。	①TBM	①13M	①開放点検	①第17回定検(N15M8-00092)	①無	-
弁	逆止弁	①原子炉補機海水ポンプ出口逆止弁	弁箱、弁ふた、弁体、弁座、アーム、弁棒	腐食(孔食、隙間腐食)	1-⑧	可	目視確認により、健全性を確認する。	①TBM	①13M	①分解点検	①第17回定検(N16M8-00214)	①第17回定検(N16M8-00214)	-
弁	ハタフライ弁	①原子炉補機冷却系熱交換水入口弁	弁体	腐食(孔食、隙間腐食)	1-⑧	可	目視確認により、健全性を確認する。	①TBM	①78M ①-2 6C	①分解点検 ①-2 開放点検	①第16回定検(710E8-MF582)	①無	■
機械設備	液体廃棄物処理系設備	①液体廃棄物処理系設備 ①-1 床ドレン濃縮器 ①-2 床ドレン濃縮器復水器 ①-3 化学廃液濃縮器 ①-4 化学廃液濃縮器復水器 ①-5 濃縮廃液ポンプ	胴およびケーシング等	腐食(孔食)	1-⑧	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM ①-2 TBM ①-3 TBM ①-4 TBM ①-5 TBM	①-1 2Y ①-2 10Y ①-3 3Y ①-4 10Y ①-5 4Y	①-1 開放点検 ①-2 開放点検 ①-3 開放点検 ①-4 開放点検 ①-5 分解点検	①-1 平成29年度(N17M8-00210) ①-2 平成29年度(N17M8-00210) ①-3 平成28年度(N16M8-00298) ①-4 平成23年度(710E8-MH084) ①-5 平成26年度(N14M8-00254)	①-1 無 ①-2 無 ①-3 無 ①-4 無 ①-5 無	-
ポンプ	ターボポンプ	①原子炉補機海水ポンプ	ケーシング、揚水管	腐食(異種金属接触腐食)	1-⑧	可	目視確認を行い、健全性を確認する。また、防食材(亜鉛)を取付け、腐食を防止しており、防食材(亜鉛)については定期的に取替を行っている。	①TBM	①26M	①分解点検②	①第17回定検(N15M8-00092)	①無	-
機械設備	制御棒駆動機構	①制御棒駆動機構	ピストンチューブ、コレットピストン、インデックスチューブ	腐食(隙間腐食)	1-⑧	可	目視確認により健全性を確認する。	①TBM	①91M	①分解点検	①第17回定検(D40-21-K285)	①無	■
ポンプ	ターボポンプ	共通(代表確認) ①原子炉補機海水ポンプ ②復水ポンプ ③高圧炉心スプレイポンプ ④原子炉隔離時冷却ポンプ ⑤原子炉浄化循環ポンプ ⑥タービン駆動原子炉給水ポンプ ⑦原子炉補機冷却水ポンプ ⑧残留熱除去ポンプ ⑨原子炉建物機器ドレンサンポンプ	羽根車	腐食(キャビテーション)	1-⑧	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM ④TBM ⑤TBM ⑥TBM ⑦TBM ⑧TBM ⑨TBM	①26M ②39M ③91M ④78M ⑤26M ⑥26M ⑦52M ⑧91M ⑨78M	①分解点検② ②分解点検① ③分解点検 ④分解点検 ⑤分解点検 ⑥分解点検① ⑦分解点検 ⑧分解点検 ⑨分解点検	①第17回定検(N15M8-00092) ②第17回定検(N15M8-00047) ③第11回定検(710E8-MF731) ④第17回定検(M50-PE-0360) ⑤第16回定検(710E8-MF095) ⑥第16回定検(710E8-MG802) ⑦第17回定検(N14M6-00025) ⑧第17回定検(N13M8-00170) ⑨平成27年度(N16M8-00116)	①無 ②無 ③無 ④無 ⑤無 ⑥無 ⑦無 ⑧無 ⑨無	-
ポンプ	PLRポンプ	①原子炉再循環ポンプ	羽根車	腐食(キャビテーション)	1-⑧	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①78M	①分解点検①-1	①第17回定検(D40-21-K303)	①無	-
タービン	タービン潤滑油装置	①主タービン潤滑油装置 ①-1 主油ポンプ	羽根車	腐食(キャビテーション)	1-⑧	可	定期的に目視確認を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM	①-1 26M	①-1 分解点検-1 ①-1 分解点検-2	①-1 第16回定検(710E8-MG628)	①-1 無	-
タービン	非常用系タービン設備	①原子炉隔離時冷却ポンプ駆動用蒸気タービンおよび付属装置 ①-1 復水ポンプ	ポンプ羽根車	腐食(キャビテーション)	1-⑧	可	定期的に目視確認を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM	①-1 78M	①-1 分解点検	①-1 第14回定検(5KR-21-0026-14)	①-1 無	-

評価書		対象機器	部位	経年劣化事象	保全の方針	劣化傾向 監視	劣化管理の考え方	検査(保全) 方式	検査周期	検査方法 (保全タスク)	実績	部品取替履歴	耐震影響
分類													
空調設備	冷凍機	①中央制御室冷凍機 ①-1 冷水循環ポンプ	羽根車	腐食(キャビテーション)	1-⑧	可	定期的に目視確認を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM	①-1 65M	①-1 分解点検	①-1 第17回定検(710E8-MH135)	①-1 第14回定検	-
機械設備	非常用ディーゼル機関	①非常用ディーゼル機関本体	燃料噴射ポンプケーシング	腐食(キャビテーション)	1-⑧	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①104M	①分解点検	①第17回定検(N15M8-00182)	①無	-
機械設備	非常用ディーゼル機関	①非常用ディーゼル機関付属設備 ①-1 冷却水ポンプ(機付)	羽根車	腐食(キャビテーション)	1-⑧	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM	①-1 78M	①-1 分解点検	①-1 第16回定検(710E8-MR741)	①-1 無	-
機械設備	所内ボイラ設備	①所内ボイラ設備 ①-1 給水ポンプ	羽根車	腐食(キャビテーション)	1-⑧	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM	①-1 4Y	①-1 分解点検	①-1 平成27年度(N15M8-00199)	①-1 平成27年度(N15M8-00199)	-
ポンプ	ターボポンプ	共通(代表確認) ①原子炉補機海水ポンプ ②復水ポンプ ③高圧炉心スプレイポンプ ④原子炉隔離時冷却ポンプ ⑤原子炉浄化循環ポンプ ⑥タービン駆動原子炉給水ポンプ ⑦原子炉補機冷却水ポンプ ⑧残留熱除去ポンプ ⑨原子炉建物機器ドレンサンプポンプ	主軸	摩耗	①②⑤⑥⑦⑧ ⑨: 2-1 ③④: 2-2	可	目視確認および寸法測定を行い、健全性を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM ④TBM ⑤TBM ⑥TBM ⑦TBM ⑧TBM ⑨TBM	①26M ②39M ③91M ④78M ⑤26M ⑥26M ⑦52M ⑧91M ⑨78M	①分解点検② ②分解点検① ③分解点検 ④分解点検 ⑤分解点検 ⑥分解点検① ⑦分解点検 ⑧分解点検 ⑨分解点検	①第17回定検(N15M8-00092) ②第17回定検(N15M8-00047) ③第11回定検(710E8-MF731) ④第17回定検(M50-PE-0360) ⑤第16回定検(710E8-MF095) ⑥第16回定検(710E8-MG802) ⑦第17回定検(N14M6-00025) ⑧第17回定検(N13M8-00170) ⑨平成27年度(N16M8-00116)	①無 ②無 ③無 ④無 ⑤無 ⑥無 ⑦無 ⑧無 ⑨無	■
ポンプ	ターボポンプ	共通(代表確認) ①原子炉補機海水ポンプ ②復水ポンプ ③高圧炉心スプレイポンプ ④原子炉隔離時冷却ポンプ ⑤原子炉浄化循環ポンプ ⑥タービン駆動原子炉給水ポンプ ⑦原子炉補機冷却水ポンプ ⑧残留熱除去ポンプ ⑨原子炉建物機器ドレンサンプポンプ	羽根車、ケーシングリング	摩耗	①②⑤⑥⑦⑧ ⑨: 2-① ③④: 2-2	可	目視確認および寸法測定を行い、健全性を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM ④TBM ⑤TBM ⑥TBM ⑦TBM ⑧TBM ⑨TBM	①26M ②39M ③91M ④78M ⑤26M ⑥26M ⑦52M ⑧91M ⑨78M	①分解点検② ②分解点検① ③分解点検 ④分解点検 ⑤分解点検 ⑥分解点検① ⑦分解点検 ⑧分解点検 ⑨分解点検	①第17回定検(N15M8-00092) ②第17回定検(N15M8-00047) ③第11回定検(710E8-MF731) ④第17回定検(M50-PE-0360) ⑤第16回定検(710E8-MF095) ⑥第16回定検(710E8-MG802) ⑦第17回定検(N14M6-00025) ⑧第17回定検(N13M8-00170) ⑨平成27年度(N16M8-00116)	①無 ②無 ③無 ④無 ⑤無 ⑥無 ⑦無 ⑧無 ⑨無	■
ポンプ	ターボポンプ	①原子炉隔離時冷却ポンプ ②原子炉浄化循環ポンプ ③タービン駆動原子炉給水ポンプ	軸受(すべり)	摩耗	①: 2-② ②③: 2-①	可	目視確認および寸法測定を行い、健全性を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM	①78M ②26M ③26M	①分解点検 ②分解点検 ③分解点検①	①第17回定検(M50-PE-0360) ②第16回定検(710E8-MF095) ③第16回定検(710E8-MG802)	①無 ②無 ③無	-
ポンプ	ターボポンプ	①原子炉隔離時冷却ポンプ ②タービン駆動原子炉給水ポンプ	軸継手	摩耗	①: 2-② ②: 2-①	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM ②TBM	①78M ②26M	①分解点検 ②分解点検①	①第17回定検(M50-PE-0360) ②第16回定検(710E8-MG802)	①無 ②無	-
ポンプ	ターボポンプ	①原子炉補機海水ポンプ ②復水ポンプ ③高圧炉心スプレイポンプ ④残留熱除去ポンプ ⑤原子炉建物機器ドレンサンプポンプ	水中軸受	摩耗	①②④⑤: 2-① ③: 2-2	可	目視確認および寸法測定を行い、健全性を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM ④TBM ⑤TBM	①26M ②39M ③91M ④91M ⑤78M	①分解点検② ②分解点検① ③分解点検 ④分解点検 ⑤分解点検	①第17回定検(N15M8-00092) ②第17回定検(N15M8-00047) ③第11回定検(710E8-MF731) ④第17回定検(N13M8-00170) ⑤平成27年度(N16M8-00116)	①第17回定検(N15M8-00092) ②無 ③無 ④無 ⑤無	-
ポンプ	往復ポンプ	①ほう酸水注入ポンプ	軸継手	摩耗	2-②	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①78M	①分解点検	①第12回定検(710E9-MF594)	①無	-
ポンプ	往復ポンプ	①ほう酸水注入ポンプ	減速機歯車	摩耗	2-②	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①78M	①分解点検	①第12回定検(710E9-MF594)	①無	-
ポンプ	往復ポンプ	①ほう酸水注入ポンプ	ブランジャ	摩耗	2-②	可	目視確認および寸法測定を行い、健全性を確認する。	①TBM	①78M	①分解点検	①第12回定検(710E9-MF594)	①無	-
ポンプ	往復ポンプ	①ほう酸水注入ポンプ 潤滑油ユニット(油ポンプ)	歯車	摩耗	2-②	可	目視確認および寸法測定を行い、健全性を確認する。	①TBM	①78M	①分解点検	①第12回定検(710E9-MF594)	①無	-

評価書		対象機器	部位	経年劣化事象	保全の方針	劣化傾向 監視	劣化管理の考え方	検査(保全) 方式	検査周期	検査方法 (保全タスク)	実績	部品取替履歴	耐震影響
分類													
ポンプ	往復ポンプ	①ほう酸水注入ポンプ 潤滑油ユニット(ポンプモータ)	モータの主軸	摩耗	2-②	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①104M	①分解点検	①第10回定検(410E8-ED416)	①無	■
ポンプ	PLRポンプ	①原子炉再循環ポンプ	羽根車、ケーシングリング	摩耗	2-①	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①78M	①分解点検①-1	①第17回定検(D40-21-K303)	①無	■
ポンプ	PLRポンプ	①原子炉再循環ポンプ	主軸	摩耗	2-①	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①78M	①分解点検①-1	①第17回定検(D40-21-K303)	①無	-
熱交換器	直管式熱交換器	①原子炉補機冷却系熱交換器	伝熱管	摩耗	2-③	可	定期的に目視確認、渦流探傷試験および漏えい確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①26M	①開放点検	①第17回定検(14-40015-NS2-06-R-214)	①無	-
熱交換器	U字管式熱交換器	①原子炉浄化再生熱交換器 ②残留熱除去熱交換器 ③グラド蒸気発生器 ④給水加熱器 ⑤排ガス復水器	伝熱管	摩耗	2-③	可	定期的に渦流探傷試験または漏えい確認を行い、健全性を確認する。	①TBM ②TBM ③(a)TBM ③(b)TBM ④(a)TBM ④(b)TBM ⑤(a)TBM ⑤(b)TBM	①7C ②91M ③(a)78M ③(b)6C ④(a)91M ④(b)1C ⑤(a)130M ⑤(b)10C	①漏えい試験 ②開放点検 ③(a)開放点検-2 ③(b)漏えい試験 ④(a)開放点検① ④(b)漏えい試験② ⑤(a)開放点検 ⑤(b)漏えい試験①	①第16回定検(N2116-RT-016-1) ②第17回定検(N21-TG-0109) ③(a)第17回定検(5KR-21-0009-17) ③(b)第17回定検(N15M8-00053) ④(a)第16回定検(5KR-21-0008-16) ④(b)第16回定検(710E8-MG620) ⑤(a)第12回定検(ENT-NS2-04-MT-202) ⑤(b)第12回定検((ENT-NS2-04-MT-267)	①無 ②無 ③(a)無 ③(b)無 ④(a)無 ④(b)無 ⑤(a)無 ⑤(b)無	-
熱交換器	U字管式熱交換器	①排ガス予熱器	伝熱管	摩耗	2-③	可	定期的に目視確認および渦流探傷試験を実施し、健全性を確認する。	①TBM	①130M	①開放点検	①第12回定検(ENT-NS2-04-MT-267, ENT-NS2-04-MT-202)	①無	◎
ポンプモータ	高圧ポンプモータ	①原子炉補機海水ポンプモータ ②原子炉補機冷却水ポンプモータ	主軸	摩耗	2-①	可	主軸の寸法測定を行い、健全性を確認する。	①TBM ②TBM	①52M ②52M	①分解点検②-1 ②分解点検-1	①第17回定検(N16E8-00010) ②第17回定検(N15E8-00005)	①無 ②無	■
ポンプモータ	高圧ポンプモータ	①高圧炉心スプレイポンプモータ	主軸	摩耗	2-②	可	主軸の寸法測定を行い、健全性を確認する。	①TBM	①91M	①分解点検-1	①第11回定検(710E8-ED216)	①無	■
ポンプモータ	低圧ポンプモータ	①高圧炉心スプレイ補機海水ポンプモータ ②ほう酸水注入ポンプモータ	主軸	摩耗	2-②	可	主軸の寸法測定を行い、健全性を確認する。	①TBM ②TBM	①39M ②104M	①分解点検 ②分解点検	①第15回定検(710E8-ED720) ②第10回定検(410E8-ED416)	①無	■
ポンプモータ	高圧ポンプモータ	①高圧炉心スプレイポンプモータ	上部軸受(すべり)および下部軸受(すべり)	摩耗	2-②	可	目視確認および浸透探傷試験を実施し、健全性を確認する。	①TBM	①91M	①分解点検-1	①第11回定検(710E8-ED216)	①無	■
ポンプモータ	高圧ポンプモータ	①残留熱除去ポンプモータ	上部軸受(すべり)	摩耗	2-①	可	目視確認および浸透探傷試験を実施し、健全性を確認する。	①TBM	①91M	①分解点検-1	①第17回定検(N14E8-00002)	①無	■
容器	原子炉圧力容器	①原子炉圧力容器	スタビライザ摺動部	摩耗	2-②	可	目視確認を行い、有意な欠陥がないことを確認する。	①-	①-	①目視点検	①原子炉圧力容器スタビライザ点検記録	①無	-
容器	原子炉格納容器	①原子炉格納容器本体	スタビライザシャラフ	摩耗	2-②	可	目視確認を行い、有意な摩耗がないことを確認する。	①TBM	①1C	①外観点検②-2	①第17回定検(D40-21-K300)	①無	-
容器	原子炉格納容器	①原子炉格納容器本体	サポート	摩耗	2-②	可	目視確認を行い、有意な腐食がないことを確認する。	①TBM	①1C	①外観点検②-2	①第17回定検(D40-21-K300)	①無	-
配管	配管サポート	①ロッドレストレイント ②Uボルト ③スプリングハンガ ④オイルスナッチャ ⑤メカニカルスナッチャ ⑥ばね式防振器	ブラケット、ピン、スヘリカルアイボルト、Uボルト本体、イーヤ、クレビス、ピン、スヘリカルアイボルト、ユニバーサルボックス、ユニバーサルブラケット、ボールネジ・ボールナット、ボルト・ナット、アイボルト	摩耗	2-③	可	目視確認を行い、健全性を確認している。	①TBM ②TBM ③TBM ④TBM ⑤TBM ⑥TBM	①10C ②10C ③10C ④10C ⑤1C ⑥10C	①外観点検 ②外観点検 ③外観点検 ④外観点検 ⑤外観点検 ⑥外観点検	①第16回定検(710E8-MG443) ②第17回定検(710E8-MT546) ③第15回定検(710E8-MG125) ④第16回定検(N2116-RT-003-1) ⑤第16回定検(710E8-MF839) ⑥第15回定検(710E8-MG125)	①無 ②無 ③無 ④無 ⑤無 ⑥無	-

評価書		対象機器	部位	経年劣化事象	保全の方針	劣化傾向 監視	劣化管理の考え方	検査(保全) 方式	検査周期	検査方法 (保全タスク)	実績	部品取替履歴	耐震影響
分類													
弁	仕切弁	共通(代表確認) ①蒸気内側隔離弁 ②可燃性ガス濃度制御系出口隔離弁 ③原子炉給水元弁 ④原子炉補機冷却系常用補機冷却水入口切替弁 ⑤排ガス再結合物出口弁 ⑥原子炉再循環ポンプ出口弁 ⑦ほう酸水注入ポンプ入口弁 ⑧主蒸気ドレン内側隔離弁	弁体、弁座	摩耗	2-②	可	目視確認により、健全性を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM ④TBM ⑤TBM ⑥TBM ⑦TBM ⑧TBM	①78M ②78M ③130M ④478M ⑤78M ⑥130M ⑦130M ⑧78M	①分解点検 ②分解点検 ③分解点検 ④分解点検 ⑤分解点検 ⑥分解点検 ⑦分解点検 ⑧分解点検	①第14回定検(PVH-S-07-201) ②第15回定検(710E8-MF631) ③第15回定検(PVH-S-08-203) ④第17回定検(N15M8-00086) ⑤第16回定検(PVH-S-10-218) ⑥第16回定検(PVH-S-10-208) ⑦第16回定検(710E8-MF582) ⑧第13回定検(ENT-NS2-06-MR-018)	①無 ②第15回定検(710E8-MF631) ③無 ④無 ⑤無 ⑥無 ⑦第16回定検(710E8-MF582) ⑧無	-
弁	仕切弁	共通(代表確認) ①蒸気内側隔離弁 ②可燃性ガス濃度制御系出口隔離弁 ③原子炉給水元弁 ④原子炉補機冷却系常用補機冷却水入口切替弁 ⑤排ガス再結合物出口弁 ⑥原子炉再循環ポンプ出口弁 ⑦ほう酸水注入ポンプ入口弁 ⑧主蒸気ドレン内側隔離弁	弁棒	摩耗	2-②	可	目視確認により、健全性を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM ④TBM ⑤TBM ⑥TBM ⑦TBM ⑧TBM	①78M ②78M ③130M ④478M ⑤78M ⑥130M ⑦130M ⑧78M	①分解点検 ②分解点検 ③分解点検 ④分解点検 ⑤分解点検 ⑥分解点検 ⑦分解点検 ⑧分解点検	①第14回定検(PVH-S-07-201) ②第15回定検(710E8-MF631) ③第15回定検(PVH-S-08-203) ④第17回定検(N15M8-00086) ⑤第16回定検(PVH-S-10-218) ⑥第16回定検(PVH-S-10-208) ⑦第16回定検(710E8-MF582) ⑧第13回定検(ENT-NS2-06-MR-018)	①無 ②無 ③無 ④無 ⑤無 ⑥無 ⑦無 ⑧無	-
弁	玉形弁	共通(代表確認) ①原子炉圧力容器連続ベント弁 ②N2補給隔離弁 ③残留熱除去ポンプ炉水戻り弁 ④残留熱除去系熱交換冷却水出口弁 ⑤主蒸気系計装元弁 ⑥逃がし弁N2供給弁 ⑦原子炉浄化系入口元弁 ⑧ほう酸水貯蔵タンク出口弁 ⑨胴体圧力調節バイパス弁 ⑩蒸気第1ドレン弁	弁棒	摩耗	2-②	可	目視確認により、健全性を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM ④TBM ⑤TBM ⑥TBM ⑦TBM ⑧TBM ⑨TBM ⑩TBM	①78M ②78M ③78M ④478M ⑤130M ⑥78M ⑦78M ⑧130M ⑨78M ⑩130M	①分解点検 ②分解点検 ③分解点検 ④分解点検 ⑤分解点検 ⑥分解点検 ⑦分解点検 ⑧分解点検 ⑨分解点検 ⑩分解点検	①第15回定検(PVH-S-08-208) ②第13回定検(C-51342-R-本R) ③第15回定検(710E8-MF631) ④第15回定検(710E8-MF631) ⑤第14回定検(710E8-MF320) ⑥第12回定検(ENT-NS1-04-MR99) ⑦第16回定検(PVH-S-10-204) ⑧第14回定検(710E8-MF320) ⑨第14回定検(PVH-S-07-209) ⑩第16回定検(PVH-S0-206)	①無 ②無 ③第15回定検(710E8-MF631) ④無 ⑤無 ⑥無 ⑦第16回定検(PVH-S-10-204) ⑧無 ⑨無 ⑩第16回定検(PVH-S0-206)	-
弁	逆止弁	①原子炉隔離時冷却系タービン排気逆止弁 ②原子炉給水内側隔離逆止弁 ③原子炉補機冷却系常用補機冷却水出口A/B切替逆止弁 ④原子炉隔離時冷却系ポンプCST水入口逆止弁 ⑤原子炉補機海水ポンプ出口逆止弁 ⑥第4抽水逆止弁	アーム、弁体、弁棒	摩耗	2-③	可	目視確認により、健全性を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM ④TBM ⑤TBM ⑥TBM	①78M ②78M ③78M ④478M ⑤13M ⑥78M	①分解点検 ②分解点検 ③分解点検 ④分解点検 ⑤分解点検 ⑥分解点検	①第16回定検(PVH-S-10-221) ②第15回定検(PVH-S-08-201) ③第17回定検(N15M8-00086) ④第11回定検(710E8-MF781) ⑤第17回定検(N16M8-00214) ⑥第14回定検(PVH-S-07-210)	①無 ②第15回定検(PVH-S-08-201) ③無 ④無 ⑤第17回定検(N16M8-00214) ⑥第14回定検(PVH-S-07-210)	■
弁	バタフライ弁	共通(代表確認) ①N2ドライウェル入口隔離弁 ②原子炉補機冷却系熱交換海水入口弁 ③原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービン排気弁	弁棒	摩耗	2-②	可	目視確認により、健全性を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM	①78M ②(a)78M ②(b)6C ③78M	①分解点検 ②(a)分解点検 ②(b)開放点検 ③分解点検	①第14回定検(PVH-S-07-202) ②第16回定検(710E8-MF582) ③第16回定検(710E8-MG811)	①無 ②無 ③無	-
弁	安全弁	共通(代表確認) ①グラウンド蒸気発生器加熱蒸気安全弁 ②可燃性ガス濃度制御系出口安全弁 ③高圧炉心スプレイポンプ入口逃し弁 ④原子炉再循環ポンプメカニカルシールパージ入口逃がし弁 ⑤ほう酸水注入ポンプ出口安全弁	弁棒	摩耗	2-②	可	目視確認および浸透探傷試験により健全性を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM ④TBM ⑤TBM	①78M ②78M ③130M ④130M ⑤130M	①分解点検 ②分解点検 ③分解点検 ④分解点検 ⑤分解点検	①第16回定検(710E8-MG798) ②第17回定検(N15M8-00086) ③第16回定検(710E8-MF582) ④第17回定検(N15M8-00086) ⑤第11回定検(710E8-MF781)	①無 ②無 ③無 ④無 ⑤無	-
弁	ボール弁	共通(代表確認) ①復水フィルタ逆洗空気入口弁 ②復水フィルタブリーコート出口弁 ③移動形出力領域計装ボール弁 ④ろ過脱塩器入口弁	弁体	摩耗	2-②	可	目視確認により、健全性を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM ④TBM	①78M ②78M ③26M ④78M	①分解点検 ②分解点検 ③分解点検 ④分解点検	①第17回定検(C-570329-R) ②第17回定検(C-570329-R) ③第17回定検(D40-21-D102) ④第16回定検(C-550422-R)	①無 ②無 ③第17回定検(D40-21-D102) ④無	■

別添1-54

評価書		対象機器	部位	経年劣化事象	保全の方針	劣化傾向 監視	劣化管理の考え方	検査(保全) 方式	検査周期	検査方法 (保全タスク)	実績	部品取替履歴	耐震影響
分類													
弁	ボール弁	共通(代表確認) ①復水フィルタ逆洗空気入口弁 ②復水フィルタブリーコウト出口弁 ③移動形出力領域計装ボール弁 ④ろ過脱塩器入口弁	弁棒	摩耗	2-②	可	目視確認により、健全性を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM ④TBM	①78M ②78M ③26M ④78M	①分解点検 ②分解点検 ③分解点検 ④分解点検	①第17回定検(C-570329-R) ②第17回定検(C-570329-R) ③第17回定検(D40-21-D102) ④第16回定検(C-550422-R)	①無 ②無 ③無 ④無	-
弁	主蒸気隔離弁	①主蒸気隔離弁	弁棒	摩耗	2-②	可	目視確認により、健全性を確認する。	①TBM	①26M	①分解点検②	①第17回定検(AUR-15-0011)	①無	-
弁	主蒸気隔離弁	①主蒸気隔離弁	ガイドリブ	摩耗	2-③	可	目視確認により、健全性を確認する。	①TBM	①26M	①分解点検②	①第17回定検(AUR-15-0011)	①無	-
弁	主蒸気隔離弁	①主蒸気隔離弁	空気シリンダ	摩耗	2-②	可	目視確認により、健全性を確認する。	①TBM	①52M	①分解点検①	①第17回定検(AUR-15-0011)	①無	-
弁	主蒸気隔離弁	①主蒸気隔離弁	油圧シリンダ	摩耗	2-②	可	目視確認により、健全性、金属粉の発生等を確認する。	①TBM	①52M	①分解点検①	①第17回定検(AUR-15-0011)	①無	-
弁	主蒸気逃がし安全弁	①主蒸気逃がし安全弁	弁棒	摩耗	2-②	可	目視確認および浸透探傷試験により健全性を確認する。	①TBM	①13M	①分解点検②	①第17回定検(AUR-15-0010)	①無	-
弁	主蒸気逃がし安全弁	①主蒸気逃がし安全弁	シリンダ	摩耗	2-②	可	目視確認により健全性を確認する。	①TBM	①52M	①分解点検①	①第16回定検(AUR-15-0005)	①無	-
弁	制御弁	共通(代表確認) ①グランド蒸気圧力調節弁 ②炉頂部冷却水流量調節弁 ③中央制御室冷凍機出口圧力調節弁 ④グランド蒸気発生器胴体圧力調節弁 ⑤第4ヒータ高水位調節弁	弁棒	摩耗	2-②	可	目視確認により、健全性を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM ④TBM ⑤TBM	①13M ②39M ③39M ④13M ⑤13M	①分解点検② ②分解点検② ③分解点検② ④分解点検② ⑤分解点検③	①第16回定検(C-550432-R) ②第14回定検(C-52576-R) ③第16回定検(C-550432-R) ④第16回定検(C-550432-R) ⑤第16回定検(C-550432-R)	①無 ②無 ③無 ④無 ⑤無	-
弁	制御弁	①窒素ガス供給装置出口減圧弁 ②原子炉隔離時冷却系冷却水減圧弁	ピストン	摩耗	2-②	可	目視確認および作動確認を行い、健全性を確認する。	①TBM ②TBM	①130M ②130M	①分解点検 ②分解点検	①第17回定検(N15M8-00086) ②第13回定検(710E8-MF509)	①無 ②無	-

評価書		対象機器	部位	経年劣化事象	保全の方針	劣化傾向 監視	劣化管理の考え方	検査(保全) 方式	検査周期	検査方法 (保全タスク)	実績	部品取替履歴	耐震影響
分類													
弁	電動弁用駆動部	①残留熱除去系炉水入口内側隔離弁用駆動部 ②原子炉補機冷却系熱交換水出口弁用駆動部 ③原子炉隔離時冷却系タービン気隔離弁用駆動部 ④原子炉補機海水ポンプ出口弁用駆動部	モータの主軸	摩耗	2-②	可	点検時に動作試験を行い、健全性を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM ④TBM	①130M ②130M ③130M ④130M	①分解点検① ②分解点検 ③定期取替 ④分解点検	①第11回定検(PVH-S-03-206) ②第12回定検(ENT-NS2-04-EE-R053) ③第14回定検(710E8-ED163) ④第17回定検(710E8-ED627)	①無 ②無 ③第14回定検(710E8-ED163) ④無	-
弁	電動弁用駆動部	①残留熱除去系炉水入口内側隔離弁用駆動部 ②原子炉補機冷却系熱交換水出口弁用駆動部 ③原子炉隔離時冷却系タービン気隔離弁用駆動部 ④原子炉補機海水ポンプ出口弁用駆動部	ステムナットおよびギア	摩耗	2-②	可	目視点検による摩耗の進行程度の確認、グリースの補給および動作試験により健全性を確認する。	<ギア> ①-1 TBM ①-2 TBM ②-1 TBM ②-2 TBM ③-1 TBM ③-2 TBM ④-1 TBM ④-2 TBM	<ギア> ①-1 65M ①-2 78M ②-1 130M ②-2 78M ③-1 65M ③-2 78M ④-1 130M ④-2 78M	<ギア> ①-1 分解点検② ①-2 分解点検 ②-1 分解点検 ②-2 分解点検 ③-1 分解点検 ③-2 分解点検 ④-1 分解点検 ④-2 分解点検	<ギア> ①-1 第16回定検(N2116-RT-007-1) ①-2 平成25年度(AUR5-0039) ②-1 第12回定検(ENT-NS2-04-EE-R053) ②-2 平成26年度(710E8-MF194) ③-1 第14回定検(710E8-ED163) ③-2 第15回定検(710E8-MF631) ④-1 第17回定検(710E8-ED627) ④-2 平成27年度(710E8-MR803)	<ギア> ①-1 無 ①-2 平成25年度(AUR5-0039) ②-1 無 ②-2 平成26年度(710E8-MF194) ③-1 無 ③-2 無 ④-1 無 ④-2 無	■
弁	電動弁用駆動部	①原子炉隔離時冷却系タービン気隔離弁用駆動部	整流子	摩耗	2-②	可	直流モータは定期的に取り替を実施しており、これまで有意な摩耗は認められていない。	①TBM	①130M	①定期取替	③第14回定検(710E8-ED163)	③第14回定検(710E8-ED163)	-
炉内構造物	炉内構造物	①ジェットポンプ	ブラケット	摩耗	2-③	可	水中カメラによる目視点検を行い、有意な欠陥がないことを確認する。	①TBM	①ISI計画に基づく	①VT-3	①第17回定検(S2-17-III-22)	①無	■
タービン	高圧タービン	①高圧タービン	ジャーナル軸受およびスラスト軸受	摩耗	2-①	可	定期的目視点検、主軸と軸受部の寸法測定を行う。	①TBM	①26M	①開放点検②-1	①第16回定検(710E8-MG610)	①無	■
タービン	高圧タービン	①高圧タービン	ラビリンスパッキン	摩耗	2-①	可	定期的に車軸との寸法測定および目視点検を行い、健全性を確認する。	①TBM	①26M	①開放点検②-1	①第16回定検(710E8-MG610)	①第17回定検(D40-21-K427、タービン取替工事)	-
タービン	高圧タービン	①高圧タービン	車軸	摩耗	2-①	可	定期的目視点検および寸法測定を行い、健全性を確認する。	①TBM	①26M	①開放点検②-1	①第16回定検(710E8-MG610)	①第17回定検(D40-21-K427、タービン取替工事)	-
タービン	高圧タービン	①高圧タービン	キー	摩耗	2-①	可	定期的目視点検およびキーの寸法測定を行い、健全性を確認する。	①TBM	①26M	①開放点検②-1	①第16回定検(710E8-MG610)	①無	-
タービン	低圧タービン	①低圧タービン	ジャーナル軸受	摩耗	2-①	可	定期的目視点検、主軸と軸受部の寸法測定を行う。	①TBM	①26M	①開放点検①-1	①第17回定検(N15M8-00184)	①無	■



評価書		対象機器	部位	経年劣化事象	保全の方針	劣化傾向 監視	劣化管理の考え方	検査(保全) 方式	検査周期	検査方法 (保全タスク)	実績	部品取替履歴	耐震影響
分類													
タービン	低圧タービン	①低圧タービン	ラピンスパッキング	摩耗	2-①	可	定期的に車軸との寸法測定および目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①26M	①開放点検①-1	①第17回定検(N15M8-00184)	①第17回定検(D40-21-K427)	-
タービン	低圧タービン	①低圧タービン	車軸	摩耗	2-①	可	定期的に目視確認および寸法測定を行い、健全性を確認する。	①TBM	①26M	①開放点検①-1	①第17回定検(N15M8-00184)	①第17回定検(D40-21-K427)	-
タービン	低圧タービン	①低圧タービン	キー	摩耗	2-①	可	定期的に目視確認およびキーの寸法測定を行い、健全性を確認する。	①TBM	①26M	①開放点検①-1	①第17回定検(N15M8-00184)	①無	-
タービン	原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービン	①原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービン	ジャーナル軸受およびスラスト軸受	摩耗	2-①	可	定期的に目視確認および浸透探傷検査を実施し、健全性を確認する。	①TBM	①26M	①分解点検-1	①第16回定検(710E8-MG802)	①無	■
タービン	原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービン	①原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービン	ラピンスパッキング	摩耗	2-①	可	定期的に車軸との寸法測定を行い、健全性を確認する。	①TBM	①26M	①分解点検-1	①第16回定検(710E8-MG802)	①無	-
タービン	原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービン	①原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービン	車軸	摩耗	2-①	可	定期的に目視確認および寸法測定を行い、健全性を確認する。	①TBM	①26M	①分解点検-1	①第16回定検(710E8-MG802)	①無	-
タービン	原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービン	①原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービン	ギアカップリング	摩耗	2-①	可	定期的に目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①26M	①分解点検-1	①第16回定検(710E8-MG802)	①無	-
タービン	原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービン	①原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービン	キー	摩耗	2-①	可	定期的に目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①1C	①外観点検③-1	①第17回定検(N15M8-00219)	①無	-
タービン	主要弁(タービン)	①主蒸気止め弁 ②蒸気加減弁 ③組合せ中間弁 ④タービンバイパス弁 ⑤原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービン高圧蒸気止め弁 ⑥原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービン高圧蒸気加減弁 ⑦原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービン低圧蒸気止め弁 ⑧原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービン低圧蒸気加減弁	弁棒	摩耗	2-②	可	定期的に目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM ④TBM ⑤TBM ⑥TBM ⑦TBM ⑧TBM	①26M ②26M ③26M ④26M ⑤13M ⑥13M ⑦13M ⑧13M	①開放点検 ②開放点検 ③開放点検 ④分解点検 ⑤分解点検② ⑥分解点検② ⑦分解点検② ⑧分解点検②	①第17回定検(N15M8-00301) ②第17回定検(N15M8-00301) ③第17回定検(N15M8-00301) ④第17回定検(N15M8-00301) ⑤第17回定検(N15M8-00219) ⑥第17回定検(N15M8-00219) ⑦第17回定検(N15M8-00219) ⑧第17回定検(N15M8-00219)	①無 ②無 ③無 ④無 ⑤無 ⑥無 ⑦無 ⑧無	-
タービン	主要弁(タービン)	①主蒸気止め弁 ②蒸気加減弁 ③組合せ中間弁 ④タービンバイパス弁 ⑤原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービン高圧蒸気止め弁 ⑥原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービン高圧蒸気加減弁 ⑦原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービン低圧蒸気止め弁 ⑧原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービン低圧蒸気加減弁	バランスチャンバ、ブッシュ、衛帯筐およびスタンド	摩耗	2-②	可	定期的に弁棒との寸法測定を行い、健全性を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM ④TBM ⑤TBM ⑥TBM ⑦TBM ⑧TBM	①26M ②26M ③26M ④26M ⑤13M ⑥13M ⑦13M ⑧13M	①開放点検 ②開放点検 ③開放点検 ④分解点検 ⑤分解点検② ⑥分解点検② ⑦分解点検② ⑧分解点検②	①第17回定検(N15M8-00301) ②第17回定検(N15M8-00301) ③第17回定検(N15M8-00301) ④第17回定検(N15M8-00301) ⑤第17回定検(N15M8-00219) ⑥第17回定検(N15M8-00219) ⑦第17回定検(N15M8-00219) ⑧第17回定検(N15M8-00219)	①無 ②無 ③無 ④無 ⑤無 ⑥無 ⑦無 ⑧無	■
タービン	主要弁(タービン)	①主蒸気止め弁 ②蒸気加減弁 ③組合せ中間弁 ④タービンバイパス弁 ⑤原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービン高圧蒸気止め弁 ⑥原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービン低圧蒸気止め弁	ピストンおよび油筒シリンダ	摩耗	2-②	可	定期的に目視確認および寸法測定を行い、健全性を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM ④TBM ⑤TBM ⑥TBM	①78M ②78M ③78M ④78M ⑤104M ⑥104M	①分解点検 ②分解点検 ③分解点検 ④分解点検 ⑤分解点検① ⑥分解点検①	①第17回定検(PQK-16-S0505) ②第17回定検(PQK-16-S0505) ③第15回定検(QK-08-S1773) ④第17回定検(PQK-16-S0505) ⑤第14回定検(5KR-21-0035-14) ⑥第11回定検(5KR-21-0042)	①無 ②無 ③無 ④無 ⑤無 ⑥無	-

評価書		対象機器	部位	経年劣化事象	保全の方針	劣化傾向 監視	劣化管理の考え方	検査(保全) 方式	検査周期	検査方法 (保全タスク)	実績	部品取替履歴	耐震影響
分類													
タービン	タービン制御装置	①主タービンEHC装置 ①-1 制御油ポンプ	主軸	摩耗	2-①	可	点検時の主軸の寸法管理により、健全性を確認する。	①-1 TBM	①-1 26M	①-1 分解点検	①-1 第17回定検(QK-12-S863)	①-1 無	-
タービン	タービン制御装置	①主タービンEHC装置 ①-1 制御油ポンプ	ピストン、シリンダ	摩耗	2-①	可	油環境下にあることから、摩耗進行の可能性は小さく、これまでの点検結果からも有意な摩耗は認められていない。	①-1 TBM	①-1 26M	①-1 分解点検	①-1 第17回定検(QK-12-S863)	①-1 無	-
タービン	タービン制御装置	①主タービンEHC装置 ①-1 機械式トリップ弁 ①-2 リレートリップ弁	弁	摩耗	2-②	可	分解点検により、健全性を確認している。	①-1 TBM ①-2 TBM	①-1 52M ①-2 52M	①-1 分解点検② ①-2 分解点検	①-1 第11回定検(QK-03-S790) ①-2 第15回定検(QK-08-S1914)	①-1 第15回定検(5KR-21-0033-15) ①-2 無	-
タービン	タービン制御装置	①主タービンEHC装置 ①-1 ポンプモータ(低圧、交流、全閉)	主軸	摩耗	2-①	可	主軸の寸法測定を行い、健全性を確認する。	①TBM	①52M	①分解点検	①第14回定検(710E8-ED059)	①無	■
タービン	タービン潤滑油装置	①主タービン潤滑油装置 ①-1 主油ポンプ	すべり軸受	摩耗	2-①	可	定期的に目視確認、浸透探傷試験および超音波探傷試験を実施し、健全性を確認する。	①-1 TBM	①-1 26M	①-1 分解点検-1 ①-1 分解点検-2	①-1 第16回定検(710E8-MG628) ①-1 第16回定検(5KR-21-0021-16)	①-1 無	■
タービン	タービン潤滑油装置	①主タービン潤滑油装置 ①-1 主油ポンプ	主軸	摩耗	2-①	可	定期的に目視確認および寸法測定を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM	①-1 26M	①-1 分解点検-1	①-1 第16回定検(710E8-MG628)	①-1 無	-
タービン	タービン潤滑油装置	①主タービン潤滑油装置 ①-1 主油ポンプ	羽根車・シールリング	摩耗	2-①	可	定期的に羽根車とシールリングとの寸法測定を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM	①-1 26M	①-1 分解点検-1	①-1 第16回定検(710E8-MG628)	①-1 無	-
タービン	タービン潤滑油装置	①主タービン潤滑油装置 ①-1 主油ポンプ	歯車	摩耗	2-①	可	定期的に目視確認を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM	①-1 26M	①-1 分解点検-1	①-1 第16回定検(710E8-MG628)	①-1 無	-
タービン	非常用系タービン設備	①原子炉隔離時冷却ポンプ駆動用蒸気タービンおよび付属装置 ①-1 原子炉隔離時冷却ポンプ駆動用蒸気タービン	ジャーナル軸受	摩耗	2-②	可	定期的に目視確認または浸透探傷試験を実施し、健全性を確認する。	①TBM	①78M	①分解点検①	①第12回定検(5HR-21-0045-12)	①無	■
タービン	非常用系タービン設備	①原子炉隔離時冷却ポンプ駆動用蒸気タービンおよび付属装置 ①-1 主塞止弁	電動弁用駆動部の主軸およびシステムナット・ギア	摩耗	2-②	可	目視点検による摩耗の進行程度の確認、グリースの補給および動作試験により健全性を確認する。	<主軸> ①-1-1 TBM <ギア> ①-1-2 TBM ①-1-3 TBM	<主軸> ①-1-1 130M <ギア> ①-1-2 分解点検 ①-1-3 78M,1C	<主軸> ①-1-1 定期取替 <ギア> ①-1-2 分解点検 ①-1-3 分解点検 機能・性能試験	<主軸> ①-1-1 第11回定検(710E8-ED136) <ギア> ①-1-2 第10回定検(410E8-ED326) ①-1-3 第16回定検(5KR-21-0052-3)	<主軸> ①-1-1 第11回定検(710E8-ED136) <ギア> ①-1-2 無 ①-1-3 無	■
タービン	非常用系タービン設備	①原子炉隔離時冷却ポンプ駆動用蒸気タービンおよび付属装置 ①-1 真空ポンプモータ ①-2 復水ポンプモータ	ポンプモータの主軸	摩耗	2-②	可	主軸の寸法測定を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM ①-2 TBM	①-1 104M ①-2 104M	①-1 分解点検 ①-2 分解点検	①-1 第15回定検(710E8-ED720) ①-2 第15回定検(710E8-ED720)	①-1 無 ①-2 無	■
タービン	非常用系タービン設備	①原子炉隔離時冷却ポンプ駆動用蒸気タービンおよび付属装置 ①-1 原子炉隔離時冷却ポンプ駆動用蒸気タービン ①-2 真空ポンプ ①-3 復水ポンプ ①-4 制御油ポンプ ①-5 油ポンプ	主軸	摩耗	2-②	可	定期的な目視確認または寸法測定を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM ①-2 TBM ①-3 TBM ①-4 TBM ①-5 TBM	①-1 78M ①-2 78M ①-3 78M ①-4 13M ①-5 78M	①-1 分解点検① ①-2 分解点検 ①-3 分解点検 ①-4 分解点検② ①-5 分解点検	①-1 第12回定検(5HR-21-0045-12) ①-2 第14回定検(5KR-21-0026-14) ①-3 第14回定検(5KR-21-0026-14) ①-4 第17回定検(N21-TG-22) ①-5 第12回定検(5HR-21-0045-12)	①-1 無 ①-2 無 ①-3 無 ①-4 無 ①-5 無	-
タービン	非常用系タービン設備	①原子炉隔離時冷却ポンプ駆動用蒸気タービンおよび付属装置 ①-1 原子炉隔離時冷却ポンプ駆動用蒸気タービン	軸継手	摩耗	2-②	可	定期的な目視確認を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM	①-1 78M	①-1 分解点検①	①-1 第17回定検(M50-PE-0360)	①無	-
タービン	非常用系タービン設備	①原子炉隔離時冷却ポンプ駆動用蒸気タービンおよび付属装置 ①-1 主塞止弁 ①-2 蒸気加減弁	弁棒およびブッシュ	摩耗	2-②	可	定期的な目視確認および寸法測定を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM ①-2 TBM	①-1 78M ①-2 78M	①-1 分解点検 ①-2 分解点検	①-1 第12回定検(5HR-21-0045-12) ①-2 第12回定検(5HR-21-0045-12)	①-1 無 ①-2 無	-
タービン	非常用系タービン設備	①原子炉隔離時冷却ポンプ駆動用蒸気タービンおよび付属装置 ①-1 主塞止弁 ①-2 蒸気加減弁	レバー	摩耗	2-②	可	定期的な目視確認を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM ①-2 TBM	①-1 78M ①-2 78M	①-1 分解点検 ①-2 分解点検	①-1 第12回定検(5HR-21-0045-12) ①-2 第12回定検(5HR-21-0045-12)	①-1 無 ①-2 無	■

評価書		対象機器	部位	経年劣化事象	保全の方針	劣化傾向 監視	劣化管理の考え方	検査(保全) 方式	検査周期	検査方法 (保全タスク)	実績	部品取替履歴	耐震影響
分類													
タービン	非常用系タービン設備	①原子炉隔離時冷却ポンプ駆動用蒸気タービンおよび付属装置 ①-1 调速・制御装置	ガバナ	摩耗	2-②	可	定期的に目視確認を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM	①-1 13M	①-1 分解点検②	①-1 第17回定検(N21-TG-22)	①-1 無	-
タービン	非常用系タービン設備	①原子炉隔離時冷却ポンプ駆動用蒸気タービンおよび付属装置 ①-1 制御油ポンプ ①-2 调速・制御装置	主軸、従軸および歯車の噛み合い部	摩耗	2-②	可	定期的に目視確認を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM ①-2 TBM	①-1 13M ①-2 13M	①-1 分解点検② ①-2 分解点検②	①-1 第17回定検(N21-TG-22) ①-2 第17回定検(N21-TG-22)	①-1 無 ①-2 無	-
タービン	非常用系タービン設備	①原子炉隔離時冷却ポンプ駆動用蒸気タービンおよび付属装置 ①-1 復水ポンプ	羽根車とライナーリング間	摩耗	2-②	可	定期的に目視確認および寸法測定を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM	①-1 78M	①-1 分解点検	①-1 第14回定検(5KR-21-0026-14)	①-1 無	■
タービン	非常用系タービン設備	①原子炉隔離時冷却ポンプ駆動用蒸気タービンおよび付属装置 ①-1 油冷却器	伝熱管	摩耗	2-③	可	定期的に目視確認を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM	①-1 78M	①-1 開放点検	①-1 第16回定検(N2116-RT-012-9)	①-1 無	-
タービン	非常用系タービン設備	①原子炉隔離時冷却ポンプ駆動用蒸気タービンおよび付属装置 ①-1 真空ポンプモータ ①-2 復水ポンプモータ	ポンプモータ(低圧、直流、全閉)の整流子	摩耗	2-②	可	点検時に目視確認、ブラシ摩耗量測定および動作試験を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM ①-2 TBM	①-1 104M ①-2 104M	①-1 分解点検 ①-2 分解点検	①-1 第15回定検(710E8-ED720) ①-2 第15回定検(710E8-ED720)	①-1 無 ①-2 無	-
タービン	非常用系タービン設備	①原子炉隔離時冷却ポンプ駆動用蒸気タービンおよび付属装置 ①-1 主塞止弁	電動弁用駆動部の整流子	摩耗	2-②	可	直流モータは定期的に取り替を実施しており、これまで有意な摩耗は認められていない。	①TBM	①130M	①定期取替	①第11回定検(710E8-ED136)	①第11回定検(710E8-ED136)	-
空調設備	ファン	①中央制御室送風機	ファン主軸	摩耗	2-①	可	定期的に目視確認および寸法測定を行い、健全性を確認する。	①TBM	①78M	①分解点検	①第16回定検(710E8-MH330)	①無	■
空調設備	ファン	①中央制御室送風機	ファンモータの主軸	摩耗	2-①	可	定期的に主軸の寸法測定を行い、健全性を確認する。	①TBM	①78M	①分解点検	①第17回定検(N16E8-0005)	①第17回定検(N16E8-0005)	■
空調設備	ファン	①非常用ガス処理系排風機	ファンモータの主軸	摩耗	2-②	可	主軸の寸法測定を行い、健全性を確認する。	①TBM	①104M	①分解点検	①第16回定検(710E8-ED597)	①第16回定検(710E8-ED597)	■
空調設備	空調機	①原子炉補機冷却水ポンプ熱交換器室冷却機	ファンモータの主軸	摩耗	2-①	可	主軸の寸法測定を行い、健全性を確認する。	①TBM	①52M	①分解点検	①第17回定検(710E8-MH083)	①無	■
空調設備	冷凍機	①中央制御室冷凍機 ①-1 中央制御室冷凍機	圧縮機従軸	摩耗	2-①	可	定期的に目視確認および寸法測定を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM	①-1 52M	①-1 分解点検	①-1 第17回定検(N15M8-00104)	①-1 無	-
空調設備	冷凍機	①中央制御室冷凍機 ①-1 中央制御室冷凍機	軸受(すべり)	摩耗	2-①	可	定期的に目視確認および寸法測定を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM	①-1 52M	①-1 分解点検	①-1 第17回定検(N15M8-00104)	①-1 無	-
空調設備	冷凍機	①中央制御室冷凍機 ①-1 中央制御室冷凍機	インペラおよびインペラピリス	摩耗	2-①	可	定期的に目視確認および寸法測定を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM	①-1 52M	①-1 分解点検	①-1 第17回定検(N15M8-00104)	①-1 無	■
空調設備	冷凍機	①中央制御室冷凍機 ①-1 冷水循環ポンプ	羽根車およびケーシングリング	摩耗	2-①	可	定期的に目視確認および寸法測定を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM	①-1 65M	①-1 分解点検	①-1 第17回定検(710E8-MH135)	①-1 無	■
空調設備	冷凍機	①中央制御室冷凍機 ①-1 冷水循環ポンプ	主軸	摩耗	2-①	可	定期的に目視確認および寸法測定を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM	①-1 65M	①-1 分解点検	①-1 第17回定検(710E8-MH135)	①-1 無	-

評価書		対象機器	部位	経年劣化事象	保全の方針	劣化傾向 監視	劣化管理の考え方	検査(保全) 方式	検査周期	検査方法 (保全タスク)	実績	部品取替履歴	耐震影響
分類													
空調設備	冷凍機	①中央制御室冷凍機 ①-1 圧縮機	高圧モータ主軸	摩耗	2-①	可	主軸の寸法測定を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM	①-1 52M	①-1 分解点検	①-1 第17回定検(N15M8-00104)	①-1 第16回定検	-
空調設備	冷凍機	①中央制御室冷凍機 ①-1 冷水循環ポンプ	モータ主軸	摩耗	2-①	可	主軸の寸法測定を行い、健全性を確認する。	①TBM	①65M	①分解点検	①第14回定検(710E8-ED059)	①第14回定検(710E8-ED059)	-
空調設備	ダンパおよび弁	①制御室再循環風量調整ダンパ ②中央制御室送風機出口逆流防止ダンパ ③中央制御室空調と装置入口ダンパ	軸受(転がり)	摩耗	2-①	可	目視確認、動作確認を行い、健全性を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM	①3C ②3C ③3C	①外観点検 ②外観点検 ③外観点検	①第17回定検(N16M8-00188) ②第17回定検(N16M8-00188) ③第17回定検(N16M8-00188)	①無 ②無 ③無	-
空調設備	ダンパおよび弁	①原子炉建物給気隔離弁	弁棒	摩耗	2-②	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①78M	①分解点検	①第17回定検(710E8-MH189)	①無	-
機械設備	制御棒	①ボロンカーバイド型制御棒 ②ハフニウム棒型制御棒	ローラ、ピン	摩耗	2-②	可	制御棒外観点検および制御棒駆動機構の機能確認を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM ①-2 TBM ②-1 TBM ②-2 TBM	①-1 2C ①-2 1C ②-1 2C ②-2 1C	①-1 外観点検 ①-2 機能・性能検査 ②-1 外観点検 ②-2 機能・性能検査	①-1 第16回定検 ①-2 第16回定検(S2-16-I-3, S2-16-III-16) ②-1 第16回定検 ②-2 第16回定検(S2-16-I-3, S2-16-III-16)	中性子照射量に応じた制御棒の取替計画に基づき実施	-
機械設備	制御棒駆動機構	①制御棒駆動機構	ドライブピストン、ピストンチューブ、シリンダチューブ、コレットピストン、コレットリチーナチューブ、インデックスチューブ、コレットフィンガ、カップリングスパッド	摩耗	2-②	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①91M	①分解点検	①第17回定検(D40-21-K285)	①無	-
機械設備	非常用ディーゼル機関	①非常用ディーゼル機関本体	燃料噴射ポンプ	摩耗	2-②	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①104M	①分解点検	①第17回定検(N15M8-00182)	①無	-
機械設備	非常用ディーゼル機関	①非常用ディーゼル機関本体	燃料噴射弁	摩耗	2-②	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①104M	①分解点検	①第17回定検(N15M8-00182)	①無	-
機械設備	非常用ディーゼル機関	①非常用ディーゼル機関本体	ピストン	摩耗	2-②	可	分解点検時に目視確認、寸法測定を行い、健全性を確認する。	①TBM	①104M	①分解点検	①第17回定検(N15M8-00182)	①無	-
機械設備	非常用ディーゼル機関	①非常用ディーゼル機関本体	連接棒球頭、シリンダライナ	摩耗	2-②	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①104M	①分解点検	①第17回定検(N15M8-00182)	①無	-
機械設備	非常用ディーゼル機関	①非常用ディーゼル機関本体	始動弁、空気分配弁	摩耗	2-②	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①26M,78M	①分解点検	①第17回定検(N15M8-00182)	①無	-
機械設備	非常用ディーゼル機関	①非常用ディーゼル機関本体	クランク軸	摩耗	2-②	可	目視確認および寸法測定を行い、健全性を確認する。	①TBM	①104M	①分解点検	①第17回定検(N15M8-00182)	①無	-
機械設備	非常用ディーゼル機関	①非常用ディーゼル機関本体	クランクピンメタル、主軸受メタル	摩耗	2-②	可	目視確認および寸法測定を行い、健全性を確認する。	①TBM	①104M	①分解点検	①第17回定検(N15M8-00182)	①無	-
機械設備	非常用ディーゼル機関	①非常用ディーゼル機関本体	歯車各種、動弁装置	摩耗	2-②	可	定期的に目視確認を行い健全性を確認する。	①TBM	①104M	①分解点検	①第17回定検(N15M8-00182)	①無	-
機械設備	非常用ディーゼル機関	①非常用ディーゼル機関本体	給・排気弁(弁棒、シート部、案内)、シリンダヘッド(シート部)	摩耗	2-②	可	目視確認または寸法測定を行い、健全性を確認する。	①TBM	①104M	①分解点検	①第17回定検(N15M8-00182)	①無	-
機械設備	非常用ディーゼル機関	①非常用ディーゼル機関本体	過給機ロータ、ノズル	摩耗	2-②	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①104M	①分解点検	①第17回定検(N15M8-00182)	①無	-
機械設備	非常用ディーゼル機関	①非常用ディーゼル機関本体	カム、カム軸、ローラ	摩耗	2-②	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①26M	①開放点検	①第17回定検(N15M8-00182)	①無	-

評価書		対象機器	部位	経年劣化事象	保全の方針	劣化傾向 監視	劣化管理の考え方	検査(保全) 方式	検査周期	検査方法 (保全タスク)	実績	部品取替履歴	耐震影響
分類													
機械設備	非常用ディーゼル機関	①非常用ディーゼル機関付属設備 ①-1 潤滑油ポンプ(機付) ①-2 冷却水ポンプ(機付) ①-3 燃料移送ポンプ ①-4 燃料供給ポンプ(機付)	主軸, 従軸	摩耗	2-②	可	目視確認および寸法測定 を行い, 健全性を確認す る。	①-1 TBM ①-2 TBM ①-3 TBM ①-4 TBM	①-1 78M ①-2 78M ①-3 78M ①-4 78M	①-1 分解点検 ①-2 分解点検 ①-3 分解点検 ①-4 分解点検	①-1 第16回定検(710E8-MR741) ①-2 第16回定検(710E8-MR741) ①-3 第15回定検(710E8-MR773) ①-4 第16回定検(710E8-MR741)	①-1 無 ①-2 無 ①-3 無 ①-4 無	■
機械設備	非常用ディーゼル機関	①非常用ディーゼル機関付属設備 ①-1 冷却水ポンプ(機付)	羽根車, ケーシング リング	摩耗	2-②	可	目視確認および寸法測定 を行い, 健全性を確認す る。	①-1 TBM	①-1 78M	①-1 分解点検	①-1 第16回定検(710E8-MR741)	①-1 無	■
機械設備	非常用ディーゼル機関	①非常用ディーゼル機関付属設備 ①-1 空気圧縮機	ピストン, シリンダ	摩耗	2-②	可	目視確認および寸法測定 を行い, 健全性を確認す る。	①-1 TBM	①-1 65M	①-1 分解点検	①-1 第15回定検(710E8-MR773)	①-1 無	-
機械設備	非常用ディーゼル機関	①非常用ディーゼル機関付属設備 ①-1 潤滑油ポンプ(機付) ①-2 冷却水ポンプ(機付) ①-3 燃料供給ポンプ(機付)	ギア	摩耗	2-②	可	目視確認および寸法測定 を行い, 健全性を確認す る。	①-1 TBM ①-2 TBM ①-3 TBM	①-1 78M ①-2 78M ①-3 78M	①-1 分解点検 ①-2 分解点検 ①-3 分解点検	①-1 第16回定検(710E8-MR741) ①-2 第16回定検(710E8-MR741) ①-3 第16回定検(710E8-MR741)	①-1 無 ①-2 無 ①-3 無	-
機械設備	非常用ディーゼル機関	①非常用ディーゼル機関付属設備 ①-1 燃料移送ポンプ モータ	主軸	摩耗	2-②	可	主軸の寸法測定を行い, 健全性を確認する。	①TBM	①104M	①分解点検	①第17回定検(710E8-ED567)	①無	■
機械設備	可燃性ガス濃度制御系設備	①可燃性ガス濃度制御系設備 プロウ用 電動機	モータの主軸	摩耗	2-②	可	主軸の寸法測定を行い, 健全性を確認する。	①TBM	①65M	①分解点検	①第15回定検(710E8-ED720)	①無	■
機械設備	可燃性ガス濃度制御系設備	①可燃性ガス濃度制御系設備 電動弁駆 動部	弁(電動弁駆動部)の ステムナットおよびギ ア	摩耗	2-②	可	目視点検による摩耗の進 行程度の確認, グリース の補給および動作試験に より健全性を確認する。	①TBM	①130M	①分解点検	①13回定検(710E8-ED532)	①無	■
機械設備	可燃性ガス濃度制御系設備	①可燃性ガス濃度制御系設備 電動弁駆 動部	モータの主軸	摩耗	2-②	可	主軸の寸法測定を行い, 健全性を確認する。	①TBM	①130M	①分解点検	①13回定検(710E8-ED532)	①無	-
機械設備	燃料取替機	①燃料取替機	フック(燃料つかみ具)	摩耗	2-①	可	目視確認を行い, 健全性 を確認する。	①TBM	①1C	①外観点検	①第17回定検(D40-21-K273)	①無	■
機械設備	燃料取替機	①燃料取替機	ブレーキプレート	摩耗	2-①	可	目視確認を行い, 健全性 を確認する。	①TBM	①1C	①外観点検	①第17回定検(D40-21-K277)	①無	-
機械設備	燃料取替機	①燃料取替機	車輪(ブリッジ走行用, トロリ横行用), レール (ブリッジ走行用, トロ リ横行用)	摩耗	2-①	可	目視確認を行い, 健全性 を確認する。	①TBM	①1C	①外観点検	①第17回定検(D40-21-K273)	①無	■
機械設備	燃料取替機	①燃料取替機	車輪(ブリッジ走行用, トロリ横行用)	摩耗	2-①	可	目視確認を行い, 健全性 を確認する。	①TBM	①1C	①外観点検	①第17回定検(D40-21-K273)	①無	■
機械設備	燃料取替機	①燃料取替機	ピストン(燃料つかみ 具)	摩耗	2-①	可	目視確認を行い, 健全性 を確認する。	①TBM	①1C	①分解点検②	①第17回定検(D40-21-K273)	①無	-
機械設備	燃料取替機	①燃料取替機	マストチューブ, ガイド ローラ	摩耗	2-①	可	目視確認, 寸法測定およ び動作試験を実施し, 健全 性を確認する。	①TBM	①26M 1C	①分解点検① 機能・性能試験	①第16回定検(D40-21-K206)	①第16回定検(D40-21-K206)	■
機械設備	燃料取替機	①燃料取替機	ワイヤドラム, シープ	摩耗	2-①	可	目視確認を行い, 健全性 を確認する。	①TBM	①1C	①外観点検	①第17回定検(D40-21-K273)	①無	-
機械設備	燃料取替機	①燃料取替機	減速機ギヤ	摩耗	2-①	可	目視確認を行い, 健全性 を確認する。	①TBM	①1C	①外観点検	①第17回定検(D40-21-K273)	①無	-
機械設備	燃料取替機	①燃料取替機	軸受(転がり)	摩耗	2-①	可	目視確認および動作確認 を行い, 健全性を確認す る。	①TBM	①1C	①機能・性能試験	①第17回定検(D40-21-K273)	①無	■
機械設備	燃料取替機	①燃料取替機 モータ	主軸	摩耗	2-①	可	主軸の寸法測定を行い, 健全性を確認する。	①TBM	①78M	①分解点検	①第16回定検(D40-21-K207)	①無	■

評価書		対象機器	部位	経年劣化事象	保全の方針	劣化傾向 監視	劣化管理の考え方	検査(保全) 方式	検査周期	検査方法 (保全タスク)	実績	部品取替履歴	耐震影響
分類													
機械設備	原子炉建物天井クレーン	①原子炉建物天井クレーン	車輪、レール	摩耗	2-①	可	目視確認および寸法測定を行い、健全性を確認する。	①TBM	①1Y	①外観点検	①平成28年度(N16M8-00216)	①無	■
機械設備	原子炉建物天井クレーン	①原子炉建物天井クレーン	ワイヤドラム、シーブ	摩耗	2-①	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①1Y	①外観点検	①平成28年度(N16M8-00216)	①無	-
機械設備	原子炉建物天井クレーン	①原子炉建物天井クレーン	減速機のギヤ	摩耗	2-①	可	目視確認および隙間測定を行い、健全性を確認する。	①TBM	①1Y	①外観点検	①平成28年度(N16M8-00216)	①無	-
機械設備	原子炉建物天井クレーン	①原子炉建物天井クレーン	プレーキドラム(補巻上用、走行用、横行用)、プレーキプレート	摩耗	2-①	可	寸法測定を行い、健全性を確認する。	①TBM	①1Y	①外観点検	①平成28年度(N16M8-00216)	①無	-
機械設備	原子炉建物天井クレーン	①原子炉建物天井クレーン	軸受(転がり)	摩耗	2-①	可	動作試験を行い、健全性を確認する。	①TBM	①1Y	①外観点検	①平成28年度(N16M8-00216)	①無	■
機械設備	原子炉建物天井クレーン	①原子炉建物天井クレーン モータ	主軸	摩耗	2-①	可	主軸の寸法測定を行い、健全性を確認する。	①-	①-	①-	①平成23年度(D40-21-K276)	①無	■
機械設備	計装用圧縮空気系設備	①計装用圧縮空気系設備 ①-1 空気圧縮機	ピストン、シリンダ	摩耗	2-①	可	目視確認および寸法測定を行い、健全性を確認する。	①TBM	①13M	①分解点検	①第17回定検(710E8-MF244)	①無	-
機械設備	計装用圧縮空気系設備	①計装用圧縮空気系設備 ①-1 空気圧縮機	クランク軸	摩耗	2-①	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①13M	①分解点検	①第17回定検(710E8-MF244)	①無	-
機械設備	計装用圧縮空気系設備	①計装用圧縮空気系設備 ①-1 空気圧縮機	ブーリ	摩耗	2-①	可	目視確認および寸法測定を行い、健全性を確認する。	①TBM	①13M	①分解点検	①第17回定検(710E8-MF244)	①無	-
機械設備	計装用圧縮空気系設備	①計装用圧縮空気系設備 ①-1 空気圧縮機	クロスヘッド、クロスガイド、クロスピン	摩耗	2-①	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①13M	①分解点検	①第17回定検(710E8-MF244)	①無	-
機械設備	計装用圧縮空気系設備	①計装用圧縮空気系設備 ①-1 空気圧縮機	油ポンプギア	摩耗	2-①	可	目視確認および浸透探傷試験を行い、健全性を確認する。	①TBM	①13M	①分解点検	①第17回定検(710E8-MF244)	①無	-
機械設備	計装用圧縮空気系設備	①計装用圧縮空気系設備 ①-1 空気圧縮機 モータ	主軸	摩耗	2-①	可	主軸の寸法測定を行い、健全性を確認する。	①TBM	①78M	①分解点検	①第15回定検(710E8-ED720)	①第15回定検(710E8-ED720)	■
機械設備	気体廃棄物処理系設備	①気体廃棄物処理系設備 ①-1 排ガスブロフ	主軸	摩耗	2-①	可	目視確認および寸法測定を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM	①-1 65M	①-1 分解点検	①-1 第12回定検(710E8-MH895)	①-1 無	■
機械設備	気体廃棄物処理系設備	①気体廃棄物処理系設備 ①-1 空気抽出器 ①-2 排ガスブロフ	歯車	摩耗	2-①	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM	①-1 65M	①-1 分解点検	①-1 第12回定検(710E8-MH895)	①-1 無	-
機械設備	気体廃棄物処理系設備	①気体廃棄物処理系設備 ①-1 排ガスブロフ	ブーリ	摩耗	2-①	可	目視確認を行い健全性を確認する。	①-1 TBM	①-1 65M	①-1 分解点検	①-1 第12回定検(710E8-MH895)	①-1 無	-
機械設備	液体廃棄物処理系設備	①液体廃棄物処理系設備 ①-1 濃縮廃液ポンプ	主軸	摩耗	2-①	可	目視確認および寸法測定を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM	①-1 4Y	①-1 分解点検	①-1 平成26年度(N14M8-00254)	①-1 無	■
機械設備	所内ボイラ設備	①所内ボイラ設備 ①-1 給水ポンプ	主軸	摩耗	2-①	可	目視確認および寸法測定を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM	①-1 4Y	①-1 分解点検	①-1 平成27年度(N15M8-00199)	①-1 無	■
機械設備	所内ボイラ設備	①所内ボイラ設備 ①-1 給水ポンプ	羽根車、ケーシングリング	摩耗	2-①	可	目視確認および寸法測定を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM	①-1 4Y	①-1 分解点検	①-1 平成27年度(N15M8-00199)	①-1 無	■
電源設備	高圧閉鎖配電盤	①非常用M/C	接触子	摩耗	2-②	可	目視確認および摩耗量確認により、健全性を確認する。	①TBM	①13M	①分解点検②	①第17回定検(710E8-ED297)	①無	■
電源設備	高圧閉鎖配電盤	①非常用M/C	断路器部	摩耗	2-②	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①13M	①分解点検②	①第17回定検(710E8-ED297)	①無	-

評価書		対象機器	部位	経年劣化事象	保全の方針	劣化傾向 監視	劣化管理の考え方	検査(保全) 方式	検査周期	検査方法 (保全タスク)	実績	部品取替履歴	耐震影響
分類													
電源設備	動力変圧器	①非常用動力変圧器	主軸	摩耗	2-②	可	主軸の寸法測定を行い、健全性を確認する。	①TBM	①4C	①外観点検	①第17回定検(N18E8-00012)	①無	■
電源設備	低圧閉鎖配電盤	①非常用L/C	接触子	摩耗	2-②	可	目視確認で健全性を確認する。	①TBM	①13M	①分解点検②	①第17回定検(N16E8-00017)	①無	-
電源設備	低圧閉鎖配電盤	①非常用L/C	断路部	摩耗	2-②	可	目視確認で健全性を確認する。	①TBM	①13M	①分解点検②	①第17回定検(N16E8-00017)	①無	-
電源設備	コントロールセンター	①非常用C/C	断路部	摩耗	2-②	可	点検時に目視点検を行い、健全性を確認する。	①TBM	①4C	①外観点検	①第16回定検(710E8-ED393)	①無	-
電源設備	ディーゼル発電設備	①非常用ディーゼル発電機	回転子軸	摩耗	2-②	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①104M	①分解点検	①第17回定検(N16E8-00010)	①無	-
電源設備	ディーゼル発電設備	①非常用ディーゼル発電機	コレクタリング	摩耗	2-②	可	目視確認およびブラシ摩耗量測定を行い、健全性を確認する。	①TBM	①104M	①分解点検	①第17回定検(N16E8-00010)	①無	-
電源設備	ディーゼル発電設備	①非常用ディーゼル発電機	軸受(すべり)	摩耗	2-②	可	目視確認および浸透探傷試験を実施し、健全性を確認する。	①TBM	①104M	①分解点検	①第17回定検(N16E8-00010)	①無	■
電源設備	MGセット	①原子炉保護系MGセット	フライホイールの主軸	摩耗	2-①	可	寸法測定を行い、健全性を確認する。	①TBM	①39M	①分解点検	①第17回定検(710E8-ED567)	①無	■
電源設備	MGセット	①原子炉保護系MGセット	発電機および駆動モータの主軸	摩耗	2-①	可	主軸の寸法測定を行い、健全性を確認する。	①TBM	①39M	①分解点検	①第17回定検(710E8-ED567)	①第17回定検(710E8-ED567)	-
機械設備	非常用ディーゼル機関	①非常用ディーゼル機関付属設備 ①-1 潤滑油冷却器 ①-2 二次水冷却器	伝熱管	摩耗	2-③	可	目視確認および渦流探傷試験を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM ①-2 TBM	①-1 78M ①-2 78M	①-1 開放点検 ①-2 開放点検	①-1 第17回定検(710E8-MR912), (11-40252-Ns2-06-T-280) ①-2 第17回定検(710E8-MR912), (11-40252-Ns2-06-T-280)	①-1 無 ①-2 無	-
機械設備	計装用圧縮空気系設備	①計装用圧縮空気系設備 ①-1 アフタークーラ	伝熱管	摩耗	2-③	可	目視確認および漏えい確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①26M	①開放点検	①第17回定検(710E8-MF244)	①無	-
機械設備	気体廃棄物処理系設備	①気体廃棄物処理系設備 ①-1 空気抽出器	伝熱管	摩耗	2-③	可	目視確認および渦流探傷試験を行い、健全性を確認する。	①-1 (a)TBM (b)TBM	①-1 (a)78M (b)78M	①-1 (a)開放点検-1 (b)開放点検-2	①-1 (a)第17回定検(N15M8-00052) (b)第17回定検(5KR-21-0010-17)	①-1 無	-
機械設備	液体廃棄物処理系設備	①液体廃棄物処理系設備 ①-1 床トレン濃縮器復水器 ①-2 化学廃液濃縮器復水器	伝熱管	摩耗	2-③	可	目視確認および漏えい確認を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM ①-2 TBM	①-1 10Y ①-2 10Y	①-1 開放点検 ①-2 開放点検	①-1 平成23年度(710E8-MH084) ①-2 平成23年度(710E8-MH084)	①-1 無 ①-2 無	-
機械設備	原子炉建物天井クレーン	①原子炉建物天井クレーン	補巻フック	摩耗、き裂	2-①	可	目視確認および浸透探傷試験を行い、健全性を確認する。	①TBM	①1Y	①非破壊試験	①平成28年度(N16M8-00216)	①無	■
機械設備	原子炉建物天井クレーン	①原子炉建物天井クレーン	シャフト	摩耗、き裂	2-①	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①1Y	①外観点検	①平成28年度(N16M8-00216)	①無	■
機械設備	燃料取替機	①燃料取替機	主ホイスト、補助ホイストワイヤロープ	摩耗、素線切れ等	2-①	可	ワイヤロープ径の寸法測定および目視点検を実施し健全性を確認する。	①TBM	①1C	①外観点検	①第17回定検(D40-21-K273)	①無	■
機械設備	原子炉建物天井クレーン	①原子炉建物天井クレーン	ワイヤロープ	摩耗、素線切れ等	2-①	可	目視確認およびワイヤロープ径の寸法測定を実施し健全性を確認する。	①TBM	①1Y	①外観点検	①平成28年度(N16M8-00216)	①無	■

評価書		対象機器	部位	経年劣化事象	保全の方針	劣化傾向 監視	劣化管理の考え方	検査(保全) 方式	検査周期	検査方法 (保全タスク)	実績	部品取替履歴	耐震影響
分類													
ポンプ	ターボポンプ	共通(代表確認) ①原子炉補機海水ポンプ ②復水ポンプ ③高圧炉心スプレイポンプ ④原子炉隔離時冷却ポンプ ⑤原子炉浄化循環ポンプ ⑥タービン駆動原子炉給水ポンプ ⑦原子炉補機冷却水ポンプ ⑧残留熱除去ポンプ ⑨原子炉建物機器ドレンサンプポンプ	主軸	高サイクル疲労割れ	3-②	可	目視確認および浸透探傷試験を行い、健全性を確認する。	①TBM ②39M ③TBM ④78M ⑤TBM ⑥26M ⑦72M ⑧91M ⑨TBM	①26M ②39M ③91M ④78M ⑤26M ⑥26M ⑦52M ⑧91M ⑨78M	①分解点検② ②分解点検① ③分解点検 ④分解点検 ⑤分解点検 ⑥分解点検① ⑦分解点検 ⑧分解点検 ⑨分解点検	①第17回定検(N15M8-00092) ②第17回定検(N15M8-00047) ③第11回定検(710E8-MF731) ④第17回定検(M50-PE-0360) ⑤第16回定検(710E8-MF095) ⑥第16回定検(710E8-MG802) ⑦第17回定検(N14M6-00025) ⑧第17回定検(N13M8-00170) ⑨平成27年度(N16M8-00116)	①無 ②無 ③無 ④無 ⑤無 ⑥無 ⑦無 ⑧無 ⑨無	-
ポンプ	往復ポンプ	①ほう酸水注入ポンプ	クランク軸	高サイクル疲労割れ	3-②	可	目視確認および浸透探傷試験を行い、健全性を確認する。	①TBM	①78M	①分解点検	①第12回定検(710E9-MF594)	①無	-
ポンプ	往復ポンプ	①ほう酸水注入ポンプ 潤滑油ユニット(油配管)	潤滑油ユニット(油配管)	高サイクル疲労割れ	3-①	可	機能確認時に配管外面に異常のないことを確認する。	①TBM	①1C	①機能・性能試験	①第16回定検(710E8-MF095)	①無	-
ポンプ	往復ポンプ	①ほう酸水注入ポンプ	ケーシング、ケーシングカバー	高サイクル疲労割れ	3-①	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①78M	①分解点検	①第12回定検(710E9-MF594)	①無	-
ポンプ	往復ポンプ	①ほう酸水注入ポンプ 潤滑油ユニット(ポンプモータ)	モータの主軸	高サイクル疲労割れ	3-②	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①104M	①分解点検	①第10回定検(410E8-ED416)	①無	-
ポンプ	PLRポンプ	①原子炉再循環ポンプ	主軸	高サイクル疲労割れ	3-②	可	目視確認および浸透探傷試験を行い、健全性を確認する。	①TBM	①78M	①分解点検①-1	①第17回定検(D40-21-K303)	①無	-
熱交換器	直管式熱交換器	①原子炉補機冷却系熱交換器	伝熱管	高サイクル疲労割れ	3-①	可	定期的に目視確認、渦流探傷試験および漏えい確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①26M	①開放点検	①第17回定検(14-40015-NS2-06-R-214)	①無	-
熱交換器	U字管式熱交換器	①原子炉浄化再生熱交換器 ②残留熱除去熱交換器 ③グラント蒸気発生器 ④給水加熱器 ⑤排ガス復水器	伝熱管	高サイクル疲労割れ	3-①	可	定期的に渦流探傷試験または漏えい確認を行い、健全性を確認する。	①TBM ②TBM ③(a)TBM ③(b)TBM ④(a)TBM ④(b)TBM ⑤(a)TBM ⑤(b)TBM	①7C ②(a)91M ②(b)7C ③(a)78M ③(b)6C ④(a)91M ④(b)1C ⑤(a)130M ⑤(b)10C	①漏えい試験 ②(a)開放点検 ②(b)漏えい試験 ③(a)開放点検-2 ③(b)漏えい試験 ④(a)開放点検① ④(b)漏えい試験② ⑤(a)開放点検 ⑤(b)漏えい試験①	①第16回定検(N2116-RT-016-1) ②第17回定検(N21-TG-0109) ③(a)第17回定検(5KR-21-0009-17) ③(b)第17回定検(N15M8-00053) ④(a)第16回定検(5KR-21-0008-16) ④(b)第16回定検(710E8-MG620) ⑤第12回定検(ENT-NS2-04-MT-202)	①無 ②無 ③無 ④無 ⑤無	■
熱交換器	U字管式熱交換器	①排ガス予熱器	伝熱管	高サイクル疲労割れ	3-①	可	定期的に目視確認および渦流探傷試験を実施し、健全性を確認する。	①(a)TBM ①(b)TBM	①(a)130M ①(b)130M	①(a)開放点検 ①(b)開放点検	①(a)第12回定検(ENT-NS2-04-MT-267) ①(b)第12回定検(ENT-NS2-04-MT-202)	①(a)無 ①(b)無	-
ポンプモータ	高圧ポンプモータ	①原子炉補機海水ポンプモータ ②原子炉補機冷却水ポンプモータ	主軸	高サイクル疲労割れ	3-②	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM ②TBM	①52M ②52M	①分解点検②-1 ②分解点検-1	①第17回定検(N16E8-00010) ②第17回定検(N15E8-00005)	①無 ②無	-
ポンプモータ	低圧ポンプモータ	①高圧炉心スプレイ補機海水ポンプモータ ②ほう酸水注入ポンプモータ	主軸	高サイクル疲労割れ	3-②	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM ②TBM	①39M ②104M	①分解点検 ②分解点検	①第15回定検(710E8-ED720) ②第10回定検(410E8-ED416)	①無 ②無	-



評価書		対象機器	部位	経年劣化事象	保全の方針	劣化傾向 監視	劣化管理の考え方	検査(保全) 方式	検査周期	検査方法 (保全タスク)	実績	部品取替履歴	耐震影響
分類													
配管	ステンレス鋼配管	①原子炉再循環系配管 ②主蒸気系配管 ③ほう酸水注入系配管	配管	高サイクル疲労割れ	3-①	可	漏えい試験または目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM	①ISI点検計画に基づく ②ISI点検計画に基づく ③ISI点検計画に基づく	①VT-2 ②VT-2 ③VT-2	①第16回定検(S2-16-II-1-2) ②第16回定検(S2-16-II-1-2) ③第16回定検(710E8-MF893)	①無 ②無 ③無	-
配管	ステンレス鋼配管	①原子炉再循環系配管	原子炉ウエル、サンプリングノズル	高サイクル疲労割れ	3-①	可	漏えい試験を行い、健全性を確認する。	①TBM	①IC	①VT-2(漏えい)	①第16回定検(S2-16-II-1-2)	①無	-
配管	炭素鋼配管	①主蒸気系配管 ②給水系配管 ③原子炉補機冷却系配管 ④原子炉補機海水系配管	配管	高サイクル疲労割れ	3-①	可	漏えい試験または目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM ④TBM	①ISI点検計画に基づく ②ISI点検計画に基づく ③ISI点検計画に基づく ④ISI点検計画に基づく	①VT-2(漏えい) ②VT-2(漏えい) ③VT-2(漏えい) ④VT-2(漏えい)	①第16回定検(S2-16-II-1-2) ②第16回定検(S2-16-II-1-2) ③第14回定検(710E8-MF507) ④第14回定検(710E8-MF507)	①無 ②無 ③無 ④無	-
配管	炭素鋼配管	①主蒸気系配管 ②給水系配管	温度計ウエル、サンプリングノズル	高サイクル疲労割れ	3-①	可	漏えい試験または目視確認を行い、健全性を確認する。	【漏えい検査】 ①、②TBM 【外観検査】 ①、②TBM	【漏えい検査】 ①、②ISI計画に基づく 【外観検査】 3C	【漏えい検査】 ①、②VT-2(漏えい) 【外観検査】 外観点検	【漏えい検査】 ①第16回定検(K-TQ-1124) ②第16回定検(K-TQ-1124) 【外観検査】 ①第13回定検(D40-21-K30) ②第14回定検(D40-21-K093)	【漏えい検査】 ①無 ②無 【外観検査】 ①第13回定検(D40-21-K30) ②第14回定検(D40-21-K093)	-
配管	低合金鋼配管	①主蒸気系配管	配管	高サイクル疲労割れ	3-①	可	目視確認または漏えい確認により健全性を確認する。	①TBM	①IC	①VT-2(漏えい)	①第16回定検(S2-16-II-1-2)	①無	-
弁	電動弁用駆動部	①残留熱除去系炉水入口内側隔離弁用駆動部 ②原子炉補機冷却系熱海水出口弁用駆動部 ③原子炉隔離時冷却系タービン気隔離弁用駆動部 ④原子炉補機海水ポンプ出口弁用駆動部	モータの主軸	高サイクル疲労割れ	3-②	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM ④TBM	①130M ②130M ③130M ④130M	①分解点検① ②分解点検 ③定期取替 ④分解点検	①第11回定検(PVH-S-03-206) ②第12回定検(ENT-NS2-04-EE-R053) ③第14回定検(710E8-ED163) ④第17回定検(710E8-ED627)	①無 ②無 ③第14回定検(710E8-ED163) ④無	-
炉内構造物	炉内構造物	①制御棒案内管	ボディ	高サイクル疲労割れ	3-①	可	水中カメラによる目視点検を行い、有意な欠陥がないことを確認する。	①TBM	①ISI計画に基づく	①VT-3	①第17回定検(S2-17-III-22)	①無	-
炉内構造物	炉内構造物	①ジェットポンプ	ライザブレース計測配管	高サイクル疲労割れ	3-①	可	水中カメラによる目視点検を行い、有意な欠陥がないことを確認する。	①TBM	①ISI計画に基づく	①VT-3	①第17回定検(S2-17-III-22)	①無	-
炉内構造物	炉内構造物	①中性子計装案内管	パイプスタビライザ	高サイクル疲労割れ	3-①	可	水中カメラによる目視点検を行い、有意な欠陥がないことを確認する。	①TBM	①ISI計画に基づく	①VT-3	①第17回定検(S2-17-III-22)	①無	-

評価書		対象機器	部位	経年劣化事象	保全の方針	劣化傾向 監視	劣化管理の考え方	検査(保全) 方式	検査周期	検査方法 (保全タスク)	実績	部品取替履歴	耐震影響
分類													
タービン	高圧タービン	①高圧タービン	翼	高サイクル疲労割れ	3-②	可	定期的に目視確認および浸透探傷試験を行い、健全性を確認する。	①TBM	①26M	①開放点検②-1	①第16回定検(710E8-MG610)	①第17回定検(D40-21-K427_タービン取替工事)	-
タービン	高圧タービン	①高圧タービン	噴口	高サイクル疲労割れ	3-②	可	目視確認および浸透探傷試験を実施し、健全性を確認する。	①TBM	①26M	①開放点検②-1	①第16回定検(710E8-MG610)	①第17回定検(D40-21-K427_タービン取替工事)	-
タービン	高圧タービン	①高圧タービン	車軸	高サイクル疲労割れ	3-②	可	定期的に目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①26M	①開放点検②-1	①第16回定検(710E8-MG610)	①第17回定検(D40-21-K427_タービン取替工事)	-
タービン	低圧タービン	①低圧タービン	翼	高サイクル疲労割れ	3-②	可	定期的に目視確認および浸透探傷試験を行い、健全性を確認する。	①TBM	①26M	①開放点検①-1	①第17回定検(N15M8-00184)	①第17回定検(D40-21-K427)	-
タービン	低圧タービン	①低圧タービン	噴口	高サイクル疲労割れ	3-②	可	目視確認および浸透探傷試験を実施し、健全性を確認する。	①TBM	①26M	①開放点検①-1	①第17回定検(N15M8-00184)	①第17回定検(D40-21-K427)	-
タービン	低圧タービン	①低圧タービン	車軸	高サイクル疲労割れ	3-②	可	定期的に目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①26M	①開放点検①-1	①第17回定検(N15M8-00184)	①第17回定検(D40-21-K427)	-
タービン	原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービン	①原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービン	翼	高サイクル疲労割れ	3-②	可	定期的に目視確認および浸透探傷検査を実施し、健全性を確認する。	①TBM	①26M	①分解点検-1	①第16回定検(710E8-MG802)	①第17回定検(N21-TG-0219)	-
タービン	原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービン	①原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービン	噴口	高サイクル疲労割れ	3-②	可	定期的に目視確認および浸透探傷検査を実施し、健全性を確認する。	①TBM	①26M	①分解点検-1	①第16回定検(710E8-MG802)	①無	-
タービン	原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービン	①原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービン	車軸	高サイクル疲労割れ	3-②	可	定期的に目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①26M	①分解点検-1	①第16回定検(710E8-MG802)	①無	-
タービン	タービン制御装置	①主タービンEHC装置 ①-1 制御油ポンプ	主軸 (制御油ポンプ)	高サイクル疲労割れ	3-②	可	目視および浸透探傷試験を行い、健全性を確認している。	①-1 TBM	①-1 26M	①-1 分解点検	①-1 第17回定検(QK-12-S863)	①-1 無	-
タービン	タービン制御装置	①主タービンEHC装置 ①-1 油配管	配管	高サイクル疲労割れ	3-①	可	定期的に目視確認を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM	①-1 1C	①-1 外観点検	①-1 第17回定検(5KR-21-0058-17)	①-1 無	-
タービン	タービン制御装置	①主タービンEHC装置 ①-1 ポンプモータ(低圧、交流、全閉)	主軸	高サイクル疲労割れ	3-②	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①52M	①分解点検	①第14回定検(710E8-ED059)	①無	-
タービン	タービン潤滑油装置	①主タービン潤滑油装置 ①-1 主油ポンプ	主軸	高サイクル疲労割れ	3-②	可	定期的に目視確認を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM	①-1 26M	①-1 分解点検-1	①-1 第16回定検(710E8-MG628)	①-1 無	-
タービン	非常用系タービン設備	①原子炉隔離時冷却ポンプ駆動用蒸気タービンおよび付属装置 ①-1 原子炉隔離時冷却ポンプ駆動用蒸気タービン ①-2 真空ポンプ ①-3 復水ポンプ ①-4 制御油ポンプ ①-5 油ポンプ	主軸	高サイクル疲労割れ	3-②	可	定期的に目視確認および浸透探傷試験を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM ①-2 TBM ①-3 TBM ①-4 TBM ①-5 TBM	①-1 78M ①-2 78M ①-3 78M ①-4 13M ①-5 78M	①-1 分解点検① ①-2 分解点検 ①-3 分解点検 ①-4 分解点検② ①-5 分解点検	①-1 第12回定検(5HR-21-0045-12) ①-2 第14回定検(5KR-21-0026-14) ①-3 第14回定検(5KR-21-0026-14) ①-4 第17回定検(5KR-21-0030-17) ①-5 第12回定検(5HR-21-0045-12)	①-1 無 ①-2 無 ①-3 無 ①-4 無 ①-5 無	-
タービン	非常用系タービン設備	①原子炉隔離時冷却ポンプ駆動用蒸気タービンおよび付属装置 ①-1 油冷却器	伝熱管	高サイクル疲労割れ	3-①	可	定期的に目視確認を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM	①-1 78M	①-1 開放点検	①-1 第16回定検(N2116-RT-012-9)	①-1 無	-
タービン	非常用系タービン設備	①原子炉隔離時冷却ポンプ駆動用蒸気タービンおよび付属装置 ①-1 主塞止弁	電動弁用駆動部の主軸	高サイクル疲労割れ	3-②	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①130M	①定期取替	①第11回定検(710E8-ED136)	①第11回定検(710E8-ED136)	-
タービン	非常用系タービン設備	①原子炉隔離時冷却ポンプ駆動用蒸気タービンおよび付属装置 ①-1 真空ポンプモータ ①-2 復水ポンプモータ	ポンプモータ(低圧、直流、全閉)の主軸	高サイクル疲労割れ	3-②	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM ①-2 TBM	①-1 104M ①-2 104M	①-1 分解点検 ①-2 分解点検	①-1 第15回定検(710E8-ED720) ①-2 第15回定検(710E8-ED720)	①-1 無 ①-2 無	-

評価書		対象機器	部位	経年劣化事象	保全の方針	劣化傾向 監視	劣化管理の考え方	検査(保全) 方式	検査周期	検査方法 (保全タスク)	実績	部品取替履歴	耐震影響
分類													
空調設備	ファン	①中央制御室送風機	ファンモータの主軸	高サイクル疲労割れ	3-②	可	定期的に目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①78M	①分解点検	①第17回定検(N16E8-0005)	①第17回定検(N16E8-0005)	■
空調設備	ファン	①中央制御室送風機	ファン主軸	高サイクル疲労割れ	3-②	可	定期的に目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①78M	①分解点検	①第16回定検(710E8-MH330)	①無	■
空調設備	ファン	①非常用ガス処理系排風機	ファンモータの主軸	高サイクル疲労割れ	3-②	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①104M	①分解点検	①第16回定検(710E8-ED597)	①第16回定検(710E8-ED597)	■
空調設備	空調機	①原子炉補機冷却水ポンプ熱交換器室冷却機	ファンモータの主軸	高サイクル疲労割れ	3-②	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①52M	①分解点検	①第17回定検(710E8-MH083)	①無	-
空調設備	冷凍機	①中央制御室冷凍機 ①-1 冷水循環ポンプ	主軸	高サイクル疲労割れ	3-②	可	定期的に目視確認および浸透探傷試験を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM	①-1 65M	①-1 分解点検	①-1 第17回定検(710E8-MH135)	①-1 無	■
空調設備	冷凍機	①中央制御室冷凍機 ①-1 圧縮機	高圧モータの主軸	高サイクル疲労割れ	3-②	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM	①-1 52M	①-1 分解点検	①-1 第17回定検(N15M8-00104)	①-1 無	-
空調設備	冷凍機	①中央制御室冷凍機 ①-1 冷水循環ポンプ	モータの主軸	高サイクル疲労割れ	3-②	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①65M	①分解点検	①第14回定検(710E8-ED059)	①第14回定検(710E8-ED059)	-
機械設備	非常用ディーゼル機関	①非常用ディーゼル機関本体	燃料噴射弁、燃料噴射弁スプリング、給・排気弁、給・排気弁スプリング、過給機ロータ、シリンダヘッド、シリンダライナ、クランクケース	高サイクル疲労割れ	3-① 3-②	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①104M	①分解点検 外観点検	①第17回定検(N15M8-00182)	①無	-
機械設備	非常用ディーゼル機関	①非常用ディーゼル機関本体	ピストン	高サイクル疲労割れ	3-②	可	目視確認および浸透探傷試験を行い、健全性を確認する。	①TBM	①104M	①分解点検①-1	①第17回定検(N15M8-00182)	①無	-
機械設備	非常用ディーゼル機関	①非常用ディーゼル機関本体	連接棒球頭	高サイクル疲労割れ	3-②	可	目視確認および浸透探傷試験を行い、健全性を確認する。	①TBM	①104M	①分解点検①-1	①第17回定検(N15M8-00182)	①無	-
機械設備	非常用ディーゼル機関	①非常用ディーゼル機関本体	クランク軸	高サイクル疲労割れ	3-②	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①104M	①分解点検	①第17回定検(N15M8-00182)	①無	-
機械設備	非常用ディーゼル機関	①非常用ディーゼル機関本体	連接棒、クランクピンボルト	高サイクル疲労割れ	3-②	可	目視確認および浸透探傷試験を行い、健全性を確認する。	①TBM	①104M	①分解点検	①第17回定検(N15M8-00182)	①無	-
機械設備	非常用ディーゼル機関	①非常用ディーゼル機関本体	シリンダヘッドボルト	高サイクル疲労割れ	3-②	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①104M	①外観点検	①第17回定検(N15M8-00182)	①無	-

評価書		対象機器	部位	経年劣化事象	保全の方針	劣化傾向 監視	劣化管理の考え方	検査(保全) 方式	検査周期	検査方法 (保全タスク)	実績	部品取替履歴	耐震影響
分類													
機械設備	非常用ディーゼル機関	①非常用ディーゼル機関付属設備 ①-1 空気圧縮機	ピストン、クランク軸、コネクティングロッド	高サイクル疲労割れ	3-②	可	目視確認および浸透探傷試験を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM	①-1 65M	①-1 分解点検	①-1 第15回定検(710E8-MR773)	①無	-
機械設備	非常用ディーゼル機関	①非常用ディーゼル機関付属設備 ①-1 潤滑油冷却器 ①-2 一次水冷却器	伝熱管	高サイクル疲労割れ	3-①	可	目視確認および渦流探傷試験を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM ①-2 TBM	①-1 78M ①-2 78M	①-1 開放点検 ①-2 開放点検	①-1 第17回定検(710E8-MR912), (11-40252-Ns2-06-T-280) ①-2 第17回定検(710E8-MR912), (11-40252-Ns2-06-T-280)	①-1 無 ①-2 無	-
機械設備	非常用ディーゼル機関	①非常用ディーゼル機関付属設備 ①-1 始動空気系配管 ①-2 潤滑油系配管 ①-3 冷却水系配管 ①-4 燃料油系配管	小口径配管	高サイクル疲労割れ	3-①	可	目視確認により健全性の確認を行うとともに、定期試験において目視確認等により異常振動・漏えいが発生していないことを確認する。	①-1 無 ①-2 無 ①-3 無 ①-4 無	①-1 無 ①-2 無 ①-3 無 ①-4 無	①-1 無 ①-2 無 ①-3 無 ①-4 無	①-1 第15回定検(710E8-MR773) ①-2 第15回定検(710E8-MR773) ①-3 第15回定検(710E8-MR773) ①-4 第15回定検(710E8-MR773)	①-1 無 ①-2 無 ①-3 無 ①-4 無	-
機械設備	非常用ディーゼル機関	①非常用ディーゼル機関付属設備 ①-1 潤滑油ポンプ(機付) ①-2 冷却水ポンプ(機付) ①-3 燃料移送ポンプ ①-4 燃料供給ポンプ(機付)	主軸、従軸	高サイクル疲労割れ	3-②	可	目視確認および浸透探傷試験を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM ①-2 TBM ①-3 TBM ①-4 TBM	①-1 78M ①-2 78M ①-3 78M ①-4 78M	①-1 分解点検 ①-2 分解点検 ①-3 分解点検 ①-4 分解点検	①-1 第16回定検(710E8-MR741) ①-2 第16回定検(710E8-MR741) ①-3 第15回定検(710E8-MR773) ①-4 第16回定検(710E8-MR741)	①-1 無 ①-2 無 ①-3 無 ①-4 無	-
機械設備	非常用ディーゼル機関	①非常用ディーゼル機関付属設備 ①-1 燃料移送ポンプ モータ	主軸	高サイクル疲労割れ	3-②	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①104M	①分解点検	①第17回定検(710E8-ED567)	①無	-
機械設備	可燃性ガス濃度制御系設備	①可燃性ガス濃度制御系設備 プロウ用電動機	主軸	高サイクル疲労割れ	3-②	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①65M	①分解点検	①第15回定検(710E8-ED720)	①無	-
機械設備	燃料取替機	①燃料取替機	車軸(走行用、横行用)	高サイクル疲労割れ	3-②	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①1C	①外観点検	①第17回定検(D40-21-K273)	①無	-
機械設備	燃料取替機	①燃料取替機 モータ	主軸	高サイクル疲労割れ	3-②	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①1C	①外観点検	①平成28年度(D40-21-K419)	①無	-
機械設備	原子炉建物天井クレーン	①原子炉建物天井クレーン モータ	主軸	高サイクル疲労割れ	3-②	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①-	①-	①-	①平成23年度(D40-21-K276)	①無	-
機械設備	計装用圧縮空気系設備	①計装用圧縮空気系設備 ①-1 空気圧縮機	ピストン、コネクティングロッド、クランク軸	高サイクル疲労割れ	3-②	可	目視確認および浸透探傷試験を行い、健全性を確認する。	①TBM	①13M	①分解点検	①第17回定検(710E8-MF244)	①無	-
機械設備	計装用圧縮空気系設備	①計装用圧縮空気系設備 ①-1 アフタークーラ	伝熱管	高サイクル疲労割れ	3-①	可	目視確認および漏えい確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①26M	①開放点検	①第17回定検(710E8-MF244)	①無	-
機械設備	計装用圧縮空気系設備	①計装用圧縮空気系設備 ①-1 空気圧縮機 モータ	主軸	高サイクル疲労割れ	3-②	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①78M	①分解点検	①第15回定検(710E8-ED720)	①第15回定検(710E8-ED720)	-
機械設備	気体廃棄物処理系設備	①気体廃棄物処理系設備 ①-1 空気抽出器	伝熱管	高サイクル疲労割れ	3-①	可	目視確認および渦流探傷試験を行い、健全性を確認する。	①-1 (a)TBM (b)TBM	①-1 (a)78M (b)78M	①-1 (a)開放点検-1 (b)開放点検-2	①-1 (a)第17回定検(N15M8-00052) (b)第17回定検(5KR-21-0010-17)	①-1 無	-
機械設備	気体廃棄物処理系設備	①気体廃棄物処理系設備 ①-1 排ガスブロウ	主軸	高サイクル疲労割れ	3-②	可	目視確認および浸透探傷試験を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM	①-1 65M	①-1 分解点検	①-1 第12回定検(710E8-MH895)	①-1 第17回定検	-
機械設備	液体廃棄物処理系設備	①液体廃棄物処理系設備 ①-1 床トレン濃縮器復水器 ①-2 化学廃液濃縮器復水器	伝熱管	高サイクル疲労割れ	3-①	可	目視確認および漏えい確認を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM ①-2 TBM	①-1 10Y ①-2 10Y	①-1 開放点検 ①-2 開放点検	①-1 平成23年度(710E8-MH084) ①-2 平成23年度(710E8-MH084)	①-1 無 ①-2 無	-
機械設備	液体廃棄物処理系設備	①液体廃棄物処理系設備 ①-1 濃縮廃液ポンプ	主軸	高サイクル疲労割れ	3-②	可	目視確認および浸透探傷試験を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM	①-1 4Y	①-1 分解点検	①-1 平成26年度(N14M8-00254)	①-1 無	-
機械設備	所内ボイラ設備	①所内ボイラ設備 ①-1 ボイラ本体	蒸発管	高サイクル疲労割れ	3-①	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM	①-1 2Y	①-1 開放点検	①-1 平成27年度(N15M8-00199)	①-1 無	-

評価書		対象機器	部位	経年劣化事象	保全の方針	劣化傾向 監視	劣化管理の考え方	検査(保全) 方式	検査周期	検査方法 (保全タスク)	実績	部品取替履歴	耐震影響
分類													
機械設備	所内ボイラ設備	①所内ボイラ設備 ①-1 蒸気系配管 ①-2 給水系配管	小口径配管	高サイクル疲労割れ	3-①	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM ①-2 TBM	①-1 2Y ①-2 2Y	①-1 漏えい試験 ①-2 漏えい試験	①-1 平成27年度(N15M8-00199) ①-2 平成27年度(N15M8-00199)	①-1 無 ①-2 無	-
機械設備	所内ボイラ設備	①所内ボイラ設備 ①-1 給水ポンプ	主軸	高サイクル疲労割れ	3-②	可	定期的に目視確認および浸透探傷試験を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM	①-1 4Y	①-1 分解点検	①-1 平成27年度(N15M8-00199)	①-1 平成27年度	-
電源設備	動力変圧器	①非常用動力変圧器	主軸	高サイクル疲労割れ	3-②	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①4C	①外観点検	①第17回定検(N18E8-00012)	①無	-
電源設備	ディーゼル発電設備	①非常用ディーゼル発電機	回転子軸および回転子コア	高サイクル疲労割れ	3-②	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①104M	①分解点検	①第17回定検(N16E8-00010)	①無	-
電源設備	MGセット	①原子炉保護系MGセット	発電機および励磁機の回転子コア	高サイクル疲労割れ	3-②	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①39M	①分解点検	①第17回定検(710E8-ED567)	①無	-
電源設備	MGセット	①原子炉保護系MGセット	発電機および駆動モータの主軸	高サイクル疲労割れ	3-②	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①39M	①分解点検	①第17回定検(710E8-ED567)	①第17回定検(710E8-ED567)	-
タービン	高圧タービン	①高圧タービン	翼・車軸	腐食疲労割れ	3-④	可	定期的に目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①26M	①開放点検②-1	①第16回定検(710E8-MG610)	①第17回定検(D40-21-K427)	-
タービン	低圧タービン	①低圧タービン	翼・車軸	腐食疲労割れ	3-④	可	定期的に目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①26M	①開放点検①-1	①第17回定検(N15M8-00184)	①第17回定検(D40-21-K427)	-
タービン	原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービン	①原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービン	翼・車軸	腐食疲労割れ	3-④	可	定期的に目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①26M	①分解点検-1	①第16回定検(710E8-MG802)	①無	-
ポンプ	ターボポンプ	①原子炉浄化補助ポンプ	ケーシング	粒界型応力腐食割れ	3-⑥	可	目視確認および漏えい確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①26M	①分解点検	①第16回定検(710E8-MF095)	①無	-
ポンプ	PLRポンプ	①原子炉再循環ポンプ	主軸	粒界型応力腐食割れ	3-⑥	可	目視確認および浸透探傷試験を行い、健全性を確認する。	①TBM	①78M	①分解点検①-1	①第17回定検(D40-21-K303)	①無	-
熱交換器	U字管式熱交換器	①原子炉浄化再生熱交換器	伝熱管、管板	粒界型応力腐食割れ	3-⑥	可	定期的に系統の運転パラメータ確認により異常の無いことを確認する。	①TBM	①7C	①漏えい試験	①第16回定検(N2116-RT-016-1)	①無	-
熱交換器	U字管式熱交換器	①残留熱除去熱交換器 ②グラウンド蒸気発生器 ③給水加熱器 ④排ガス予熱器 ⑤排ガス復水器	伝熱管、管板	粒界型応力腐食割れ	3-⑥	可	目視確認または浸透探傷試験を行い、健全性を確認する。	①TBM ②(a) TBM ②(b) TBM ③(a) TBM ③(b) TBM ④TBM ⑤TBM	①91M ②(a) 78M ②(b) 78M ③(a) 26M ③(b) 26M ④130M ⑤130M	①開放点検 ②(a) 開放点検-1 ②(b) 開放点検-1 ③(a) 開放点検③ ③(b) 開放点検③ ④開放点検 ⑤開放点検	①第17回定検(N21-TG-0109) ②(a) 第17回定検(N15M8-00053) ②(b) 第17回定検(N15M8-00053) ③(a) 第17回定検(N15M8-00048) ③(b) 第17回定検(N15M8-00048) ④第12回定検(ENT-NS2-04-MT-267) ⑤第12回定検(ENT-NS2-04-MT-267)	①無 ②無 ③無 ④無 ⑤無	-
熱交換器	U字管式熱交換器	①原子炉浄化非再生熱交換器	伝熱管、管板	粒界型応力腐食割れ	3-⑥	可	定期的に漏えい確認または系統の運転パラメータ確認により異常の無いことを確認する。	①TBM	①7C	①漏えい試験	①第17回定検(N2117-RT-016-1)	①無	-
熱交換器	U字管式熱交換器	①原子炉浄化再生熱交換器	水室、ダイヤフラム	粒界型応力腐食割れ	3-⑥	可	定期的に目視確認および系統運転圧による漏えい確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①91M	①開放点検	①第16回定検(N2116-RT-016-1)	①無	■
熱交換器	U字管式熱交換器	①原子炉浄化非再生熱交換器	水室、ダイヤフラム	粒界型応力腐食割れ	3-⑥	可	定期的に目視確認および系統運転圧による漏えい確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①91M	①開放点検	①第17回定検(N2117-RT-016-1)	①無	■
熱交換器	U字管式熱交換器	①排ガス予熱器	水室	粒界型応力腐食割れ	3-⑥	可	定期的に目視確認および漏えい確認を実施し、健全性を確認する。	①TBM	①130M	①開放点検	①第12回定検(ENT-NS2-04-MT-267)	①無	■

評価書		対象機器	部位	経年劣化事象	保全の方針	劣化傾向 監視	劣化管理の考え方	検査(保全) 方式	検査周期	検査方法 (保全タスク)	実績	部品取替履歴	耐震影響
分類													
熱交換器	U字管式熱交換器	①排ガス復水器	胴	粒界型応力腐食割れ	3-⑥	可	定期的に超音波探傷試験および漏えい確認を行い、健全性を確認する。	①(a)TBM ①(b)TBM	①(a)130M ①(b)10C	①(a)非破壊試験 ①(b)漏えい試験①	①(a)平成28年度(G-CTZ-04061) ①(b)第12回定検(S2-115-1)	①無	■
容器	その他容器	①排ガス再結合器	鏡板、胴、蓋	粒界型応力腐食割れ	3-⑥	可	目視確認および溶接部の超音波探傷試験を行い、健全性を確認する。	①(a)TBM ①(b)TBM	①(a)130M ①(b)130M	①(a)開放点検-2 ①(b)非破壊試験	①(a)第16回点検(D40-21-K221) ①(b)平成28年度(G-CTZ-04061)	①無	■
容器	その他容器	①原子炉建物機器ドレンサンプタンク	鏡板、胴	粒界型応力腐食割れ	3-⑥	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①130M	①開放点検	①第16回定検(710E8-MF862)	①無	-
容器	原子炉圧力容器	①原子炉圧力容器	制御棒駆動機構ハウジング 炉内計装ハウジング	粒界型応力腐食割れ	3-⑥	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①ISI計画に基づ く	①目視点検	①平成28年度(G-CTZ-04097)	①無	-
容器	原子炉圧力容器	①原子炉圧力容器	ほう酸水および炉心差 圧計測ノズル 計測ノズル 制御棒駆動機構スタブ チューブ	粒界型応力腐食割れ	3-⑥	可	定期検査時に漏えい検査 を行い、健全性を確認す る。	①TBM	①1C	①【定】漏えい検査	①第16回定検(S2-16-II-1-2)	①無	-
容器	原子炉圧力容器	①原子炉圧力容器	ガイドロッドブラケット ドライバ支持ブラケット 給水スパーシャブ ケット 炉心スプレブラケット 監視試験片支持 ブラケット	粒界型応力腐食割れ	3-⑥	可	目視確認を行い、有意な 欠陥がないことを確認す る。	①TBM	①ISI計画に基づ く	①VT-3	①第12回定検(S2-1-1)	①無	■
容器	原子炉圧力容器	①原子炉圧力容器	再循環水出口ノズル セーフエンド 再循環水入口ノズル セーフエンド ジェットポンプ計装 ノズル貫通部シール	粒界型応力腐食割れ	3-⑥	可	超音波探傷試験および浸 透探傷試験を行い、有意 な欠陥がないことを確認 する。	①TBM	①ISI計画に基づ く	①UT,PT	①第17回定検(S2-17-II-1-1)	①無	-
配管	ステンレス鋼配管	①原子炉再循環系配管 ②主蒸気系配管	配管	粒界型応力腐食割れ	3-⑥	可	超音波探傷試験、漏えい 試験または外観点検によ り健全性を確認する。	【UT】 ①TBM 【漏えい検査】 ①TBM ②TBM	【UT】 ①ISI計画に基づ く 【漏えい検査】 ①1C ②1C	【UT】 ①UT ①VT-2 ②VT-2	【UT】 ①第17回定検(K-TQ-1520) ②無 【漏えい検査】 ①第16回定検(S2-16-II-1-2) ②第16回定検(S2-16-II-1-2)	①無 ②無	-
弁	玉形弁	①原子炉圧力容器連続ベント弁 ②主蒸気系計装元弁 ③蒸気第1ドレン弁	ベローズ	粒界型応力腐食割れ	3-⑥	可	目視確認および漏えい確 認により健全性を確認す る。	①TBM ②TBM ③TBM	①78M ②130M ③130M	①分解点検 ②分解点検 ③分解点検	①第15回定検(PVH-S-08-208) ②第14回定検(710E8-MF320) ③第16回定検(PVH-S0-206)	①無 ②無 ③第16回定検(PVH-S0-206)	■
弁	安全弁	①グラント蒸気発生器加熱蒸気安全弁	ベローズ	粒界型応力腐食割れ	3-⑥	可	目視確認および漏えい確 認により健全性を確認す る。	①TBM	①78M	①分解点検	①第16回定検(710E8-MG798)	①無	■
弁	ラプチャーディスク	①タービンラプチャーディスク	ベース、ホルドダ ウン	粒界型応力腐食割れ	3-⑥	可	目視確認を行い、健全性 を確認する。	①TBM	①39M	①開放点検	①第15回定検(D40-21-K162)	①無	-
弁	ドレントラップ弁	共通(代表確認) ①原子炉隔離時冷却系入口管ドレンポ ット 出口ドレントラップ	フロート	粒界型応力腐食割れ	3-⑥	可	目視確認を行い、健全性 を確認する。	①TBM	①52M	①分解点検	①第17回定検(N15M8-00176)	①無	■
炉内構造物	炉内構造物	①炉心シュラウド	上部胴 中間胴 下部胴 リング	粒界型応力腐食割れ	3-⑥	可	水中カメラによる目視点 検を行い、有意な欠陥が ないことを確認する。	①TBM	①ISI計画に基づ く	①MVT-1	①第17回定検(S2-17-III-22)	①無	-
炉内構造物	炉内構造物	①シュラウドサポート	シリンダ プレート レグ	粒界型応力腐食割れ	3-⑥	可	水中カメラによる目視点 検を行い、有意な欠陥が ないことを確認する。	①TBM	①ISI計画に基づ く	①MVT-1	①第17回定検(S2-17-III-22)	①無	-

評価書		対象機器	部位	経年劣化事象	保全の方針	劣化傾向 監視	劣化管理の考え方	検査(保全) 方式	検査周期	検査方法 (保全タスク)	実績	部品取替履歴	耐震影響
分類													
炉内構造物	炉内構造物	①上部格子板	上部フランジ グリッドプレート リム胴 下部フランジ クサビ	粒界型応力腐食割れ	3-⑥	可	水中カメラによる目視点検 を行い、有意な欠陥がな いことを確認する。	①TBM	①ISI計画に基づ く	①VT-3	①第17回定検(S2-17-III-22)	①無	-
炉内構造物	炉内構造物	①炉心支持板	支持板 リム胴 補強ビーム	粒界型応力腐食割れ	3-⑥	可	水中カメラによる目視点検 を行い、有意な欠陥がな いことを確認する。	①TBM	①ISI計画に基づ く	①VT-3	①平成28年度(G-CTZ-04097)	①無	-
炉内構造物	炉内構造物	①燃料支持金具	周辺燃料支持金具	粒界型応力腐食割れ	3-⑥	可	水中カメラによる目視点検 を行い、有意な欠陥がな いことを確認する。	①TBM	①ISI計画に基づ く	①VT-3	①第17回定検(S2-17-III-22)	①無	-
炉内構造物	炉内構造物	①制御棒案内管	スリーブ ボディ	粒界型応力腐食割れ	3-⑥	可	水中カメラによる目視点検 を行い、有意な欠陥がな いことを確認する。	①TBM	①ISI計画に基づ く	①VT-3	①第17回定検(S2-17-III-22)	①無	-
炉内構造物	炉内構造物	①炉心スプレイ配管(原子炉圧力容器内 部)・スパージャ	パイプ ティ(配管) ティ(スパージャ) ヘッド ノズル スパージャブラケット	粒界型応力腐食割れ	3-⑥	可	水中カメラによる目視点検 を行い、有意な欠陥がな いことを確認する。	①TBM	①ISI計画に基づ く	①VT-3	①第17回定検(S2-17-III-22)	①無	-
炉内構造物	炉内構造物	①給水スパージャ	ティ ヘッド ノズル エンドブラケット ピン	粒界型応力腐食割れ	3-⑥	可	水中カメラによる目視点検 を行い、有意な欠陥がな いことを確認する。	①TBM	①ISI計画に基づ く	①VT-3	①第17回定検(S2-17-III-22)	①無	-
炉内構造物	炉内構造物	①差圧検出・ほう酸水注入系配管(原子炉 圧力容器内部)	パイプ サポート	粒界型応力腐食割れ	3-⑥	可	水中カメラによる目視点検 を行い、有意な欠陥がな いことを確認する。	①TBM	①ISI計画に基づ く	①VT-3	①第15回定検(S2-15-II-1-1)	①無	-
炉内構造物	炉内構造物	①ジェットポンプ	ライザ管 ディフューザ ビーム ライザブレース 計測配管	粒界型応力腐食割れ	3-⑥	可	水中カメラによる目視点検 を行い、有意な欠陥がな いことを確認する。	①TBM	①ISI計画に基づ く	①VT-3	①第17回定検(S2-17-III-22)	①無	-
炉内構造物	炉内構造物	①中性子計装案内管	パイプ スタビライザ	粒界型応力腐食割れ	3-⑥	可	水中カメラによる目視点検 を行い、有意な欠陥がな いことを確認する。	①TBM	①ISI計画に基づ く	①VT-3	①第17回定検(S2-17-III-22)	①無	-
炉内構造物	炉内構造物	①残留熱除去系(低圧注水系)配管(原子 炉圧力容器内部)	フランジネック クランプ ペローズ	粒界型応力腐食割れ	3-⑥	可	水中カメラによる目視点検 を行い、有意な欠陥がな いことを確認する。	①TBM	①ISI計画に基づ く	①VT-3	①第17回定検(S2-17-III-22)	①無	-
機械設備	制御棒	①ボロンカーバイド型制御棒 ②ハフニウム棒型制御棒	①制御棒被覆管、シー ス、タイロッド、ソケット、 上部ハンドル ②シース、タイロッド、 ソケット、上部ハンド ル、落下速度リミッタ	粒界型応力腐食割れ	3-⑥	可	熱中性子の累積照射量に より定めた運用基準に従 い、計画的に制御棒の取 替を実施するとともに、粒 界型応力腐食割れにより 制御棒の制御能力および 動作性に問題が生じてい ないことを、定期検査毎に それぞれ停止余裕検査お よび制御棒駆動機構の機 能確認により健全性を確 認する。	①-1 TBM ①-2 TBM ①-3 CBM ②-1 TBM ②-2 TBM ②-3 CBM	①-1 1C ①-2 1C ①-3 ー ②-1 1C ②-2 1C ②-3 ー	①-1 特性検査 ①-2 機能・性能検査 ①-3 定期取替 ②-1 特性検査 ②-2 機能・性能検査 ②-3 定期取替	①-1 第16回定検(S2-16-II-4) ①-2 第16回定検(S2-16-I-3, S2- 16-III-16) ①-3 第17回定検(D40-21-K292) ②-1 第16回定検(S2-16-II-4) ②-2 第16回定検(S2-16-I-3, S2- 16-III-16) ②-3 第17回定検(D40-21-K292)	中性子照射量に応じた制御棒 の取替計画に基づき実施	■
機械設備	制御棒駆動機構	①制御棒駆動機構	ピストンチューブ、アウ ターチューブ、インデッ クスチューブ、コレット フィンガ	粒界型応力腐食割れ	3-⑥	可	分解点検時の目視確認に より健全性を確認する。	①TBM	①91M	①分解点検	①第17回定検(D40-21-K285)	①無	■
機械設備	制御棒駆動機構	①制御棒駆動機構	ドライブピストン、シリ ンダチューブ、フランジ	粒界型応力腐食割れ	3-⑥	可	分解点検時の目視確認に より健全性を確認する。	①TBM	①91M	①分解点検	①第17回定検(D40-21-K285)	①無	-
機械設備	液体廃棄物処理系設備	①液体廃棄物処理系設備 ①-1 床ドレン濃縮器 ①-2 床ドレン濃縮器復水器 ①-3 化学廃液濃縮器 ①-4 化学廃液濃縮器復水器	胴等	粒界型応力腐食割れ	3-⑥	可	目視確認および各溶接部 の浸透探傷試験を実施 し、健全性を確認する。	①-1 TBM ①-2 TBM ①-3 TBM ①-4 TBM	①-1 2Y ①-2 10Y ①-3 3Y ①-4 10Y	①-1 開放点検 ①-2 開放点検 ①-3 開放点検 ①-4 開放点検	①-1 平成29年度(N17M8-00210) ①-2 平成29年度(N17M8-00210) ①-3 平成28年度(N16M8-00298) ①-4 平成23年度(710E8-MH084)	①-1 無 ①-2 無 ①-3 無 ①-4 無	-

評価書		対象機器	部位	経年劣化事象	保全の方針	劣化傾向 監視	劣化管理の考え方	検査(保全) 方式	検査周期	検査方法 (保全タスク)	実績	部品取替履歴	耐震影響
分類													
機械設備	液体廃棄物処理系設備	①液体廃棄物処理系設備 ①-1 床ドレン濃縮器復水器 ①-2 化学廃液濃縮器復水器	伝熱管、管板	粒界型応力腐食割れ	3-⑥	可	目視確認および伝熱管と管板の溶接部の浸透探傷試験を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM ①-2 TBM	①-1 10Y ①-2 10Y	①-1 開放点検 ①-2 開放点検	①-1 平成23年度(710E8-MH084) ①-2 平成23年度(710E8-MH084)	①-1 無 ①-2 無	-
機械設備	固体廃棄物処理系設備	①雑固体廃棄物処理系設備 ①-1 排ガスフィルタ ①-2 ステンレス鋼配管	本体、側板、配管	粒界型応力腐食割れ	3-⑥	可	定期的に目視確認を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM ①-2 TBM	①-1 2Y ①-2 2Y	①-1 開放点検 ①-2 開放点検	①-1 平成27年度(N15M8-00250) ①-2 平成27年度(N15M8-00250)	①-1 無 ①-2 無	-
配管	ステンレス鋼配管	共通(代表確認) ①原子炉再循環系配管 ②逃がし安全弁N2ガス供給系配管 ③主蒸気系配管 ④ほう酸水注入系配管	配管	貫粒型応力腐食割れ	3-⑦	可	目視確認または漏えい試験を行い、健全性を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM ④TBM	①ISI計画に基づく②10C ③ISI計画に基づく④ISI計画に基づく	①VT-2 ②外観点検 ③VT-2 ④VT-2	①第16回定検(S2-16-II-1-2) ②無 ③第16回定検(S2-16-II-1-2) ④第16回定検(710E8-MF893)	①無 ②無 ③無 ④無	-
弁	仕切弁	①排ガス再結合物出口弁 ②原子炉再循環ポンプ出口弁 ③ほう酸水注入ポンプ入口弁	弁箱、弁ふた	貫粒型応力腐食割れ	3-⑦	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM	①78M ②130M ③130M	①分解点検 ②分解点検 ③分解点検	①第16回定検(PVH-S-10-218) ②第16回定検(PVH-S-10-208) ③第16回定検(710E8-MF582)	①無 ②無 ③無	-
弁	玉形弁	①主蒸気系計装元弁 ②逃がし弁N2供給弁 ③原子炉浄化系入口弁 ④ほう酸水貯蔵タンク出口弁	弁箱、弁ふた	貫粒型応力腐食割れ	3-⑦	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM ④TBM	①130M ②78M ③78M ④130M	①分解点検 ②分解点検 ③分解点検 ④分解点検	①第14回定検(710E8-MF320) ②第12回定検(ENT-NS1-04-MR99) ③第16回定検(PVH-S-10-204) ④第14回定検(710E8-MF320)	①無 ②無 ③無 ④無	-
弁	逆止弁	①内側主蒸気隔離弁アキュムレータ逆止弁 ②原子炉隔離時冷却ポンプCST水入口逆止弁 ③ほう酸水注入ポンプ出口逆止弁	弁箱、弁ふた	貫粒型応力腐食割れ	3-⑦	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM	①78M ②78M ③130M	①分解点検 ②分解点検 ③分解点検	①第13回定検(ENT-NS2-06-MR-018) ②第11回定検(710E8-MF781) ③第11回定検(710E8-MF781)	①無 ②無 ③無	-
弁	逆止弁	①原子炉補機海水ポンプ出口逆止弁	弁箱、弁ふた	貫粒型応力腐食割れ	3-⑦	可	目視確認を行い、塗装の健全性を確認する。	①TBM	①13M	①分解点検	①第17回定検(N16M8-00214)	①無	-
弁	安全弁	①原子炉再循環ポンプメカニカルシールパージ入口逃がし弁 ②ほう酸水注入ポンプ出口安全弁	弁箱	貫粒型応力腐食割れ	3-⑦	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM ②TBM	①130M ②130M	①分解点検 ②分解点検	①第17回定検(N15M8-00086) ②第11回定検(710E8-MF781)	①無 ②無	-
弁	ボール弁	①移動形出力領域計装ボール弁 ②ろ過脱塩器入口弁	弁箱、弁ふた、ヨーク、キャップ	貫粒型応力腐食割れ	3-⑦	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM ②TBM	①26M ②78M	①分解点検 ②分解点検	①第17回定検(D40-21-D102) ②第16回定検(C-550422-R)	①無 ②無	-
弁	制御弁	①窒素ガス供給装置出口減圧弁 ②原子炉隔離時冷却系冷却水減圧弁	弁箱、弁ふた	貫粒型応力腐食割れ	3-⑦	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM ②TBM	①130M ②130M	①分解点検 ②分解点検	①第17回定検(N15M8-00086) ②第13回定検(710E8-MF509)	①無 ②無	-
弁	ラプチャーディスク	①タービンラプチャーディスク	ベース、ホルドダウン	貫粒型応力腐食割れ	3-⑦	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①39M	①開放点検	①第15回定検(D40-21-K162)	①無	-
計測制御	計測装置	①原子炉圧力計測装置 ②主蒸気流量計測装置 ③原子炉水位計測装置	過流量阻止弁	貫粒型応力腐食割れ	3-⑦	可	定期的に目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM	①1C ②1C ③1C	①外観点検 ②外観点検 ③外観点検	①第16回定検(710E8-KE244) ②第16回定検(710E8-KE244) ③第16回定検(710E8-KE244)	①無 ②無 ③無	-
計測制御	計測装置	①原子炉圧力計測装置 ②ほう酸水注入ポンプ潤滑油圧力計測装置 ③蒸気加減弁急速閉用油圧計測装置 ④主蒸気流量計測装置 ⑤原子炉水位計測装置 ⑥スクラム排出水容器水位計測装置 ⑦換気系放射線計測装置 ⑧水素濃度計測装置 ⑨酸素濃度計測装置	計装配管、継手および計装弁	貫粒型応力腐食割れ	3-⑦	可	定期的に目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM ④TBM ⑤TBM ⑥TBM ⑦TBM ⑧TBM ⑨TBM	①1C ②1C ③1C ④1C ⑤1C ⑥1C ⑦1C ⑧1C ⑨1C	①外観点検 ②外観点検 ③外観点検 ④外観点検 ⑤外観点検 ⑥外観点検 ⑦漏えい試験 ⑧外観点検 ⑨外観点検	①第16回定検(710E8-KE244) ②第16回定検(710E8-KE446) ③第16回定検(710E8-KE383) ④第16回定検(710E8-KE383) ⑤第16回定検(710E8-KE383) ⑥第16回定検(710E8-KE383) ⑦第17回定検(RNM40287Y) ⑧第17回定検(OM-NS2-17-TH024) ⑨第17回定検(OM-NS2-17-TH024)	①無 ②無 ③無 ④無 ⑤無 ⑥無 ⑦無 ⑧無 ⑨無	-



評価書		対象機器	部位	経年劣化事象	保全の方針	劣化傾向 監視	劣化管理の考え方	検査(保全) 方式	検査周期	検査方法 (保全タスク)	実績	部品取替履歴	耐震影響
分類													
タービン	高圧タービン	①高圧タービン	翼および車軸	応力腐食割れ	3-⑤	可	定期的な細密点検において超音波探傷試験を実施し、健全性を確認する。	①TBM	①130M	①開放点検①	①第17回定検(5KR-21-0063-17)	①第17回定検(D40-21-K427)	■
タービン	高圧タービン	①高圧タービン	隔板締付ボルト	応力腐食割れ	3-⑤	可	定期的に目視確認および浸透探傷試験を実施し、健全性を確認する。	①TBM	①26M	①開放点検②-1	①第16回定検(710E8-MG610)	①第17回定検(D40-21-K427)	■
タービン	低圧タービン	①低圧タービン	翼および車軸	応力腐食割れ	3-⑤	可	定期的な細密点検において超音波探傷試験を実施し、健全性を確認する。	①TBM	①130M	開放点検③	①第17回定検(5KR-21-0063-17)	①第17回定検(D40-21-K427)	■
タービン	低圧タービン	①低圧タービン	隔板締付ボルト	応力腐食割れ	3-⑤	可	定期的に目視確認および浸透探傷試験を実施し、健全性を確認する。	①TBM	①26M	①開放点検①-1	①第17回定検(N15M8-00184)	①第17回定検(D40-21-K427)	■
タービン	低圧タービン	①低圧タービン	エキスパンションジョイント(クロスアラウンド管、抽気管)	応力腐食割れ	3-⑥	可	目視確認を実施し、健全性を確認している。	①-	①-	①目視点検	①クロスアラウンド管:第17回定検(TQK-16-S611) ①抽気管:第17回定検(G-CTZ-03992)	①クロスアラウンド管:第17回定検(3P-H-9494) ①抽気管:第17回定検(D40-21-K422)	-
タービン	原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービン	①原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービン	翼および車軸	応力腐食割れ	3-⑤	可	定期的超音波探傷試験を実施し、健全性を確認する。	①-	①-	①UT	①第17回定検(5KR-21-0071-17)	①第17回定検(N21-TG-0219)	■
タービン	非常用系タービン設備	①原子炉隔離時冷却ポンプ駆動用蒸気タービンおよび付属装置 ①-1 主塞止弁 ①-2 蒸気加減弁	弁棒	応力腐食割れ	3-⑥	可	定期的に目視確認および浸透探傷試験を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM ①-2 TBM	①-1 78M ①-2 78M	①-1 分解点検 ①-2 分解点検	①-1 第12回定検(5HR-21-0045-12) ①-2 第12回定検(5HR-21-0045-12)	①-1 無 ①-2 無	-
ポンプ	往復ポンプ	①ほう酸水注入ポンプ 潤滑油ユニット(ポンプモータ)	回転子棒および回転子エンドリング	疲労割れ	3-②	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①104M	①分解点検	①第10回定検(410E8-ED416)	①無	-
ポンプ	PLRポンプ	①原子炉再循環ポンプ	水中軸受	疲労割れ	3-②	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①78M 1C	①分解点検①-1	①第17回定検(D40-21-K303)	①無	-
ポンプモータ	高圧ポンプモータ	①原子炉補機海水ポンプモータ ②原子炉補機冷却水ポンプモータ	回転子棒および回転子エンドリング	疲労割れ	3-②	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM ②TBM	①52M ②52M	①分解点検②-1 ②分解点検-1	①第17回定検(N16E8-00010) ②第17回定検(N15E8-00005)	①無 ②無	-
ポンプモータ	低圧ポンプモータ	①高圧炉心スプレイ補機海水ポンプモータ ②ほう酸水注入ポンプモータ	回転子棒および回転子エンドリング	疲労割れ	3-②	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM ②TBM	①39M ②104M	①分解点検 ②分解点検	①第15回定検(710E8-ED720) ②第10回定検(410E8-ED416)	①無 ②無	-
容器	原子炉圧力容器	①原子炉圧力容器	スタビライザ スタビライザブラケット	疲労割れ	3-②	可	目視確認を行い、有意な欠陥がないことを確認する。	①-	①-	①目視点検	①原子炉圧力容器スタビライザ点検記録	①無	-
容器	機械ベネ	①配管貫通部	管台	疲労割れ	3-①	可	原子炉格納容器漏えい率検査において健全性を確認する。	①TBM	①1C	①【定】漏えい検査	①第16回定検(S2-16-1-4)	①無	-
配管	配管サポート	①アンカ ②レストレイント	ラグ、ブラケット	疲労割れ	3-②	可	目視確認により健全性を確認する。	①TBM ②TBM	①10C ②10C	①外観検査 ②外観検査	①第16回定検(710E8-MG443) ②第16回定検(710E8-MG443)	①無 ②無	-
弁	仕切弁	共通(代表確認) ①蒸気内側隔離弁 ②可燃性ガス濃度制御系出口隔離弁 ③原子炉給水元弁 ④原子炉補機冷却系常用補機冷却水入口切替弁 ⑤排ガス再結合器出口弁 ⑥原子炉再循環ポンプ出口弁 ⑦ほう酸水注入ポンプ入口弁 ⑧主蒸気ドレン内側隔離弁	弁棒	疲労割れ	3-②	可	目視確認および浸透探傷試験により健全性を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM ④TBM ⑤TBM ⑥TBM ⑦TBM ⑧TBM	①78M ②78M ③130M ④78M ⑤78M ⑥130M ⑦130M ⑧78M	①分解点検 ②分解点検 ③分解点検 ④分解点検 ⑤分解点検 ⑥分解点検 ⑦分解点検 ⑧分解点検	①第14回定検(PVH-S-07-201) ②第15回定検(710E8-MF631) ③第15回定検(PVH-S-08-203) ④第17回定検(N15M8-00086) ⑤第16回定検(PVH-S-10-218) ⑥第16回定検(PVH-S-10-208) ⑦第16回定検(710E8-MF582) ⑧第13回定検(ENT-NS2-06-MR-018)	①無 ②無 ③無 ④無 ⑤無 ⑥無 ⑦無 ⑧無	-

評価書		対象機器	部位	経年劣化事象	保全の方針	劣化傾向 監視	劣化管理の考え方	検査(保全) 方式	検査周期	検査方法 (保全タスク)	実績	部品取替履歴	耐震影響
分類													
弁	玉形弁	①原子炉圧力容器連続ベント弁 ②主蒸気系計装元弁 ③蒸気第1ドレン弁	ベローズ	疲労割れ	3-①	可	目視確認および漏えい確認により健全性を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM	①78M ②130M ③130M	①分解点検 ②分解点検 ③分解点検	①第15回定検(PVH-S-08-208) ②第14回定検(710E8-MF320) ③第16回定検(PVH-S0-206)	①無 ②無 ③第16回定検(PVH-S0-206)	-
弁	玉形弁	共通(代表確認) ①原子炉圧力容器連続ベント弁 ②N2補給隔離弁 ③残留熱除去ポンプ炉水戻り弁 ④残留熱除去系熱交換冷却水出口弁 ⑤主蒸気系計装元弁 ⑥逃がし弁N2供給弁 ⑦原子炉浄化系入口元弁 ⑧ほう酸水貯蔵タンク出口弁 ⑨胴体圧力調節弁バイパス弁 ⑩蒸気第1ドレン弁	弁棒	疲労割れ	3-②	可	目視確認および浸透探傷試験により健全性を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM ④TBM ⑤TBM ⑥TBM ⑦TBM ⑧TBM ⑨TBM ⑩TBM	①78M ②78M ③78M ④78M ⑤130M ⑥78M ⑦78M ⑧130M ⑨8M ⑩130M	①分解点検 ②分解点検 ③分解点検 ④分解点検 ⑤分解点検 ⑥分解点検 ⑦分解点検 ⑧分解点検 ⑨分解点検 ⑩分解点検	①第15回定検(PVH-S-08-208) ②第13回定検(C-51342-R-本R) ③第15回定検(710E8-MF631) ④第15回定検(710E8-MF631) ⑤第14回定検(710E8-MF320) ⑥第12回定検(ENT-NS1-04-MR99) ⑦第16回定検(PVH-S-10-204) ⑧第14回定検(710E8-MF320) ⑨第14回定検(PVH-S-07-209) ⑩第16回定検(PVH-S0-206)	①無 ②無 ③第15回定検(710E8-MF631) ④無 ⑤無 ⑥無 ⑦第16回定検(PVH-S-10-204) ⑧無 ⑨無 ⑩第16回定検(PVH-S0-206)	-
弁	安全弁	①グランド蒸気発生器加熱蒸気安全弁 ②可燃性ガス濃度制御系出口安全弁	ベローズ	疲労割れ	3-①	可	目視確認および漏えい確認により健全性を確認する。	①TBM ②TBM	①78M ②78M	①分解点検 ②分解点検	①第16回定検(710E8-MG798) ②第17回定検(N15M8-00086)	①無 ②無	-
弁	主蒸気隔離弁	①主蒸気隔離弁	弁棒	疲労割れ	3-②	可	目視確認および浸透探傷試験により健全性を確認する。	①TBM	①26M	①分解点検②	①第17回定検(AUR-15-0011)	①無	-
弁	主蒸気逃がし安全弁	①主蒸気逃がし安全弁	ベローズ	疲労割れ	3-①	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①13M	①分解点検②	①第17回定検(AUR-15-0010)	①無	-
弁	電動弁用駆動部	①残留熱除去系炉水入口内側隔離弁用駆動部 ②原子炉補機冷却系熱交換海水出口弁用駆動部 ③原子炉補機海水ポンプ出口弁用駆動部	モータの回転子棒および回転子エンドリング	疲労割れ	3-②	可	点検時に動作試験を行い、健全性を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM	①130M ②130M ③130M	①分解点検① ②分解点検 ③分解点検	①第11回定検(PVH-S-03-206) ②第12回定検(ENT-NS2-04-EE-R053) ③第17回定検(710E8-ED627)	①無 ②無 ③無	-
炉内構造物	炉内構造物	①給水スパージャ	ヘッダ	疲労割れ	3-①	可	水中カメラによる目視点検を行い、有意な欠陥がないことを確認する。	①TBM	①ISI計画に基づく	①VT-3	①第17回定検(S2-17-III-22)	①無	-
炉内構造物	炉内構造物	①残留熱除去系(低圧注水系)配管(原子炉圧力容器内部)	ベローズ	疲労割れ	3-①	可	水中カメラによる目視点検を行い、有意な欠陥がないことを確認する。	①TBM	①ISI計画に基づく	①VT-3	①第17回定検(S2-17-III-22)	①無	-

評価書		対象機器	部位	経年劣化事象	保全の方針	劣化傾向 監視	劣化管理の考え方	検査(保全) 方式	検査周期	検査方法 (保全タスク)	実績	部品取替履歴	耐震影響
分類													
タービン	高圧タービン	①高圧タービン	車室	疲労割れ	3-①	可	定期的に目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①26M	①開放点検②-1	①第16回定検(710E8-MG610)	①無	-
タービン	低圧タービン	①低圧タービン	内部車室	疲労割れ	3-①	可	定期的に目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①26M	①開放点検①-1	①第17回定検(N15M8-00184)	①第17回定検(D40-21-K427)	-
タービン	低圧タービン	①低圧タービン	エキスパンションジョイント(クロスアラウンド管、抽気管)	疲労割れ	3-①	可	目視確認を実施し、健全性を確認している。	①-	①-	①目視点検	①クロスアラウンド管:第17回定検(TQK-16-S611) ①抽気管:第17回定検(G-CTZ-03992)	①クロスアラウンド管:第17回定検(3P-H-9494) ①抽気管:第17回定検(D40-21-K422)	-
タービン	主要配管(タービン)	①リード管 ②クロスアラウンド管 ③クロスアラウンド管安全弁出口管	配管	疲労割れ	3-①	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM ②TBM ②TBM ③TBM	①26M ②26M ②52M ③78M	①開放点検 ②開放点検 ③分解点検	①第16回定検(710E8-MG610) ①第16回定検(710E8-MG582) ②第17回定検(N15M8-00053) ②第15回定検(710E8-MG252) ③第13回定検(710E8-MG356)	①無 ②無 ③無	-
タービン	主要弁(タービン)	①主蒸気止め弁 ②蒸気加減弁 ③組合せ中間弁 ④タービンバイパス弁 ⑤クロスアラウンド管安全弁 ⑥原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービン高圧蒸気止め弁 ⑦原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービン高圧蒸気加減弁 ⑧原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービン低圧蒸気止め弁 ⑨原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービン低圧蒸気加減弁	弁棒	疲労割れ	3-②	可	浸透探傷試験を行い、健全性を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM ④TBM ⑤TBM ⑥TBM ⑦TBM ⑧TBM ⑨TBM	①26M ②26M ③26M ④26M ⑤78M ⑥13M ⑦13M ⑧13M ⑨13M	①開放点検 ②開放点検 ③開放点検 ④分解点検 ⑤分解点検 ⑥分解点検② ⑦分解点検② ⑧分解点検② ⑨分解点検②	①第17回定検(N15M8-00301) ②第17回定検(N15M8-00301) ③第17回定検(N15M8-00301) ④第17回定検(N15M8-00301) ⑤第13回定検(710E8-MG356) ⑥第17回定検(N15M8-00219) ⑦第17回定検(N15M8-00219) ⑧第17回定検(N15M8-00219) ⑨第17回定検(N15M8-00219)	①無 ②無 ③無 ④無 ⑤無 ⑥無 ⑦無 ⑧無 ⑨無	-
タービン	タービン制御装置	①主タービンEHC装置 ①-1 ポンプモータ(低圧、交流、全閉)	回転子棒および回転子エンドリング	疲労割れ	3-②	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①52M	①分解点検	①第14回定検(710E8-ED059)	①無	-
タービン	非常用系タービン設備	①原子炉隔離時冷却ポンプ駆動用蒸気タービンおよび付属装置 ①-1 主塞止弁 ①-2 蒸気加減弁	弁棒	疲労割れ	3-②	可	浸透探傷試験を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM ①-2 TBM	①-1 78M ①-2 78M	①-1 分解点検 ①-2 分解点検	①-1 第12回定検(5HR-21-0045-12) ①-2 第12回定検(5HR-21-0045-12)	①-1 無 ①-2 無	-
空調設備	ファン	①中央制御室送風機	ファンモータの回転子棒および回転子エンドリング	疲労割れ	3-②	可	定期的に目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①78M	①分解点検	①第17回定検(N16E8-0005)	①第17回定検(N16E8-0005)	-
空調設備	ファン	①非常用ガス処理系排風機	ファンモータの回転子棒、回転子エンドリング	疲労割れ	3-②	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①104M	①分解点検	①第16回定検(710E8-ED597)	①第16回定検(710E8-ED597)	-
空調設備	空調機	①原子炉補機冷却水ポンプ熱交換器室冷却機	ファンモータの回転子棒、回転子エンドリング	疲労割れ	3-②	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①78M	①分解点検	①第17回定検(710E8-ED541)	①第17回定検(710E8-ED541)	-
空調設備	冷凍機	①中央制御室冷凍機 ①-1 圧縮機	高圧モータの回転子棒、回転子エンドリング	疲労割れ	3-②	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM	①-1 52M	①-1 分解点検	①-1 第17回定検(N15M8-00104)	①-1 第16回定検	-
空調設備	冷凍機	①中央制御室冷凍機 ①-1 冷水循環ポンプ	モータの回転子棒、回転子エンドリング	疲労割れ	3-②	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①65M	①分解点検	①第14回定検(710E8-ED059)	①第14回定検(710E8-ED059)	-
機械設備	非常用ディーゼル機関	①非常用ディーゼル機関本体	カップリングボルト	疲労割れ	3-②	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①104M	①外観点検	①第17回定検(N15M8-00182)	①無	-
機械設備	非常用ディーゼル機関	①非常用ディーゼル機関本体	伸縮継手	疲労割れ	3-②	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①1C	①外観点検	①第17回定検(N15M8-00182)	①無	-

評価書		対象機器	部位	経年劣化事象	保全の方針	劣化傾向 監視	劣化管理の考え方	検査(保全) 方式	検査周期	検査方法 (保全タスク)	実績	部品取替履歴	耐震影響
分類													
機械設備	非常用ディーゼル機関	①非常用ディーゼル機関付属設備 ①-1 始動空気系弁 ①-2 潤滑油系弁 ①-3 燃料油系弁	弁棒	疲労割れ	3-②	可	目視確認および浸透探傷試験を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM ①-2 TBM ①-3 TBM	①-1 無 ①-2 無 ①-3 無	①-1 分解点検 ①-2 分解点検 ①-3 分解点検	①-1 - ①-2 - ①-3 -	①-1 無 ①-2 無 ①-3 無	-
機械設備	非常用ディーゼル機関	①非常用ディーゼル機関付属設備 ①-1 燃料移送ポンプ モータ	回転子棒および回転子エンドリング	疲労割れ	3-②	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①104M	①分解点検	①第17回定検(710E8-ED567)	①無	-
機械設備	可燃性ガス濃度制御系設備	①可燃性ガス濃度制御系設備	加熱器、再結合器、冷却器、配管	疲労割れ	3-①	可	機能試験、漏えい試験を行い、健全性を確認する。	①TBM	①1C	①機能・性能試験	①第17回定検(N2117-RT-015-1)	①無	-
機械設備	可燃性ガス濃度制御系設備	①可燃性ガス濃度制御系設備	弁棒	疲労割れ	3-②	可	目視確認および浸透探傷試験を行い、健全性を確認する。	①TBM	①130M	①分解点検	①無	①無	-
機械設備	可燃性ガス濃度制御系設備	①可燃性ガス濃度制御系設備 プロウ用電動機	回転子棒および回転子エンドリング	疲労割れ	3-②	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①65M	①分解点検	①第15回定検(710E8-ED720)	①無	-
機械設備	可燃性ガス濃度制御系設備	①可燃性ガス濃度制御系設備 電動弁駆動部	モータの回転子棒および回転子エンドリング	疲労割れ	3-②	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①130M	①分解点検	①13回定検(710E8-ED532)	①無	-
機械設備	燃料取替機	①燃料取替機	トロリフレーム、ブリッジフレーム、レール(ブリッジ走行用、トロリ横行用)	疲労割れ	3-②	可	目視確認および作動試験を実施し、健全性を確認する。	①TBM	①1C	①外観点検 機能・性能試験	①第17回定検(D40-21-K273)	①無	-
機械設備	燃料取替機	①燃料取替機	モータの回転子棒および回転子エンドリング	疲労割れ	3-②	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①1C	①外観点検	①第17回定検(D40-21-K277)	①無	-
機械設備	原子炉建物天井クレーン	①原子炉建物天井クレーン	サドル、ガード、トロリ、レール	疲労割れ	3-②	可	目視確認および真直度(湾曲)測定を行い、健全性を確認する。	①TBM	①1Y	①外観点検	①平成28年度(N16M8-00216)	①無	-
機械設備	計装用圧縮空気系設備	①計装用圧縮空気系設備 ①-1 空気圧縮機 モータ	回転子棒および回転子エンドリング	疲労割れ	3-②	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①78M	①分解点検	①第15回定検(710E8-ED720)	①第15回定検(710E8-ED720)	-
機械設備	液体廃棄物処理系設備	①液体廃棄物処理系設備 ①-1 床ドレン濃縮器 ①-2 床ドレン濃縮器復水器 ①-3 化学廃液濃縮器 ①-4 化学廃液濃縮器復水器 ①-5 濃縮廃液ポンプ	胴およびケーシング等	疲労割れ	3-①	可	目視点検、浸透探傷試験および漏えい確認を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM ①-2 TBM ①-3 TBM ①-4 TBM ①-5 TBM	①-1 2Y ①-2 10Y ①-3 3Y ①-4 10Y ①-5 4Y	①-1 開放点検 ①-2 開放点検 ①-3 開放点検 ①-4 開放点検 ①-5 分解点検	①-1 平成29年度(N17M8-00210) ①-2 平成29年度(N17M8-00210) ①-3 平成28年度(N16M8-00298) ①-4 平成23年度(710E8-MH084) ①-5 平成26年度(N14M8-00254)	①-1 無 ①-2 無 ①-3 無 ①-4 無 ①-5 無	-
機械設備	所内ボイラ設備	①所内ボイラ設備 ①-1 ボイラ本体	汽水胴、水胴、管寄せ、連絡管	疲労割れ	3-①	可	目視確認および浸透探傷試験を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM	①-1 2Y	①-1 開放点検	①-1 平成27年度(N15M8-00199)	①-1 無	-
機械設備	所内ボイラ設備	①所内ボイラ設備 ①-1 ボイラ本体 ①-2 蒸気だめ ①-3 蒸気系配管 ①-4 蒸気系弁	蒸発管、下降管、バーナ、蒸気だめ、蒸気系配管、蒸気系弁	疲労割れ	3-①	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM ①-2 TBM ①-3 TBM ①-4 TBM, BDM	①-1 2Y ①-2 2Y ①-3 2Y ①-4 -	①-1 開放点検 ①-2 開放点検 ①-3 漏えい試験 ①-4 分解点検	①-1 平成27年度(N15M8-00199) ①-2 平成27年度(N15M8-00199) ①-3 平成27年度(N15M8-00199) ①-4 -	①-1 無 ①-2 無 ①-3 無 ①-4 -	-
機械設備	所内ボイラ設備	①所内ボイラ設備 ①-1 蒸気系弁 ①-2 給水系弁	弁棒	疲労割れ	3-②	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM ①-2 TBM	①-1 無 ①-2 無	①-1 分解点検 ①-2 分解点検	①-1 - ①-2 -	①-1 無 ①-2 無	-
電源設備	動力変圧器	①非常用動力変圧器	回転子棒、回転子エンドリング	疲労割れ	3-②	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①4C	①外観点検	①第17回定検(N18E8-00012)	①無	-
電源設備	MGセット	①原子炉保護系MGセット	フライホイールの主軸	疲労割れ	3-②	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①39M	①分解点検	①第17回定検(710E8-ED567)	①無	-

評価書		対象機器	部位	経年劣化事象	保全の方針	劣化傾向 監視	劣化管理の考え方	検査(保全) 方式	検査周期	検査方法 (保全タスク)	実績	部品取替履歴	耐震影響
分類													
電源設備	MGセット	①原子炉保護系MGセット	駆動モータの回転子 棒・回転子エンドリング	疲労割れ	3-②	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①39M	①分解点検	①第17回定検(710E8-ED567)	①第17回定検(710E8-ED567)	-
機械設備	非常用ディーゼル機関	①非常用ディーゼル機関本体	ピストン、シリンダヘッド	低サイクル疲労割れ	3-②	可	目視確認および浸透探傷試験を行い、健全性を確認する。	①TBM	①104M	①分解点検	①第17回定検(N15M8-00182)	①無	-
機械設備	非常用ディーゼル機関	①非常用ディーゼル機関本体	シリンダライナ	低サイクル疲労割れ	3-②	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①104M	①分解点検	①第17回定検(N15M8-00182)	①無	-
ポンプ	PLRポンプ	①原子炉再循環ポンプ	主軸、ケーシングカバー	熱疲労割れ	3-③	可	目視確認および浸透探傷試験を行い、健全性を確認する。	①TBM	①78M	①分解点検①-1	①第17回定検(D40-21-K303)	①無	-
配管	ステンレス鋼配管	①原子炉再循環系配管	配管	高サイクル熱疲労割れ	3-③	可	漏えい試験を行い、健全性を確認する。	①TBM	①1C	①VT-2(漏えい)	①第16回定検(2-16-II-1-2)	①無	-
ポンプ	PLRポンプ	①原子炉再循環ポンプ	羽根車、ケーシングリング	熱時効	4-①	可	目視確認および浸透探傷試験を行い、健全性を確認する。	①TBM	①78M	①分解点検①-1	①第17回定検(D40-21-K303)	①無	-
ポンプ	PLRポンプ	①原子炉再循環ポンプ	水中軸受	熱時効	4-①	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①78M	①分解点検①-1	①第17回定検(D40-21-K303)	①無	-
弁	仕切弁	①排ガス再結合器出口弁 ②原子炉再循環ポンプ出口弁	弁体	熱時効	4-①	可	目視確認および浸透探傷試験により健全性を確認する。	①TBM ②TBM	①78M ②130M	①分解点検 ②分解点検	①第16回定検(PVH-S-10-218) ②第16回定検(PVH-S-10-208)	①無 ②無	-
炉内構造物	炉内構造物	①燃料支持金具	中央燃料支持金具	熱時効	4-①	可	水中カメラによる目視点検を行い、有意な欠陥がないことを確認する。	①TBM	①ISI計画に基づく	①VT-3	①第17回定検(S2-17-III-22)	①無	-
炉内構造物	炉内構造物	①制御棒案内管	ベース	熱時効	4-①	可	水中カメラによる目視点検を行い、有意な欠陥がないことを確認する。	①TBM	①ISI計画に基づく	①VT-3	①第17回定検(S2-17-III-22)	①無	-
炉内構造物	炉内構造物	①炉心スプレイスバージャ	ノズル	熱時効	4-①	可	水中カメラによる目視点検を行い、有意な欠陥がないことを確認する。	①TBM	①ISI計画に基づく	①VT-3	①第17回定検(S2-17-III-22)	①無	-
炉内構造物	炉内構造物	①ジェットポンプ	ライザ管 インレットミキサ ディフューザ ブラケット	熱時効	4-①	可	水中カメラによる目視点検を行い、有意な欠陥がないことを確認する。	①TBM	①ISI計画に基づく	①VT-3	①第17回定検(S2-17-III-22)	①無	-
機械設備	制御棒	①ボロンカーバイド型制御棒	落下速度リミッタ	熱時効	4-①	可	制御棒外観点検時に、落下速度リミッタに異常がないことを確認する。	①TBM	①2C	①外観点検	①第16回定検	①無	-
炉内構造物	炉内構造物	①炉心シュラウド	中間胴	靱性低下	5-①	可	水中カメラによる目視点検を行い、有意な欠陥がないことを確認する。	①TBM	①ISI計画に基づく	①MVT-1	①第17回定検(S2-17-III-22)	①無	◎
炉内構造物	炉内構造物	①上部格子板	グリッドプレート	靱性低下	5-①	可	水中カメラによる目視点検を行い、有意な欠陥がないことを確認する。	①TBM	①ISI計画に基づく	①VT-3	①第17回定検(S2-17-III-22)	①無	◎
炉内構造物	炉内構造物	①炉心支持板	支持板	靱性低下	5-①	可	水中カメラによる目視点検を行い、有意な欠陥がないことを確認する。	①TBM	①ISI計画に基づく	①VT-3	①平成28年度(G-CTZ-04097)	①無	◎
炉内構造物	炉内構造物	①燃料支持金具	中央燃料支持金具 周辺燃料支持金具	靱性低下	5-①	可	水中カメラによる目視点検を行い、有意な欠陥がないことを確認する。	①TBM	①ISI計画に基づく	①VT-3	①第17回定検(S2-17-III-22)	①無	◎
炉内構造物	炉内構造物	①制御棒案内管	スリーブ	靱性低下	5-①	可	水中カメラによる目視点検を行い、有意な欠陥がないことを確認する。	①TBM	①ISI計画に基づく	①VT-3	①第17回定検(S2-17-III-22)	①無	◎

評価書		対象機器	部位	経年劣化事象	保全の方針	劣化傾向 監視	劣化管理の考え方	検査(保全) 方式	検査周期	検査方法 (保全タスク)	実績	部品取替履歴	耐震影響
分類													
機械設備	制御棒	①制御棒	制御材被覆管(ボロン・カーバイド粉末型制御棒のみ)、シース、タイロッド、ピンおよび上部ハンドル	韌性低下	5-①	可	熱中性子の累積照射量により定めた運用基準に従い、計画的に制御棒の取替を実施するとともに、粒界型応力腐食割れにより制御棒の制御能力および動作性に問題が生じていないことを、定期検査毎にそれぞれ停止余裕検査および制御棒駆動機構の機能確認により健全性を確認する。	①-1 TBM ①-2 TBM ①-3 CBM ②-1 TBM ②-2 TBM ②-3 CBM	①-1 1C ①-2 1C ①-3 - ②-1 1C ②-2 1C ②-3 -	①-1 特性検査 ①-2 機能・性能検査 ①-3 定期取替 ②-1 特性検査 ②-2 機能・性能検査 ②-3 定期取替	①-1 第16回定検(S2-16-II-4) ①-2 第16回定検(S2-16-I-3, S2-16-III-16) ①-3 第17回定検(D40-21-K292) ②-1 第16回定検(S2-16-II-4) ②-2 第16回定検(S2-16-I-3, S2-16-III-16) ②-3 第17回定検(D40-21-K292)	中性子照射量に応じた制御棒の取替計画に基づき実施	■
容器	電気ベネ	①モジュール型核計装用電気ベネトレーション ②モジュール型高圧動力用電気ベネトレーション	電線、導体、接続子、接続スリーブ等	導通不良	6-①	可	系統機器の動作特性試験を行い、健全性を確認する。	①TBM ②TBM	①1C ②1C	①機能・性能試験 ②機能・性能試験	①第16回定検(OM-NS2-16-TH019) ②第16回定検(GDE-2010-0058)	①無 ②無	-
計測制御	計測装置	①ほう酸水注入ポンプ潤滑油圧力計測装置 ②中央制御室冷凍機潤滑油ポンプ差圧計測装置 ③蒸気加減弁急速閉用油圧計測装置 ④スクラム排出水容器水位計測装置	圧力検出器および水位検出器	導通不良	6-①	可	定期的に動作試験で健全性を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM ④TBM	①13M ②13M ③13M ④13M	①特性試験(校正・調整) ②特性試験(校正・調整) ③特性試験(校正・調整) ④特性試験(校正・調整)	①第16回定検(710E8-KE466) ②第16回定検(C-550430-R) ③第16回定検(710E8-KE383) ④第16回定検(710E8-KE383)	①無 ②第16回定検(7R-21-9022) ③無 ④無	-
計測制御	計測装置	①原子炉圧力計測装置 ②ほう酸水注入ポンプ潤滑油圧力計測装置 ③中央制御室冷凍機潤滑油ポンプ差圧計測装置 ④蒸気加減弁急速閉用油圧計測装置 ⑤主蒸気管周囲温度計測装置 ⑥中央制御室冷凍機蒸発器出口冷水温度計測装置 ⑦主蒸気流量計測装置 ⑧原子炉水位計測装置 ⑨スクラム排出水容器水位計測装置 ⑩平均出力領域計測装置 ⑪主蒸気管放射線計測装置 ⑫原子炉排液高レンジ放射線計測装置 ⑬換気系放射線計測装置 ⑭主蒸気隔離弁位置計測装置 ⑮原子炉隔離時冷却タービン回転速度計測装置 ⑯地震加速度計測装置	補助継電器	導通不良	6-①	可	定期的な動作試験で健全性を確認する。	①TBM ②TBM ③定期補機切替 ④TBM ⑤TBM ⑥定期補機切替 ⑦TBM ⑧TBM ⑨TBM ⑩TBM ⑪TBM ⑫TBM ⑬TBM ⑭TBM ⑮TBM	①1C ②4C ③1M ④1C ⑤1C ⑥1M ⑦1C ⑧1C ⑨1C ⑩1C ⑪1C ⑫1C ⑬1C ⑭1C ⑮1C	①【定】機能・性能検査 ②機能・性能試験 ③無 ④【定】機能・性能検査 ⑤【定】機能・性能検査 ⑥無 ⑦【定】機能・性能検査 ⑧【定】機能・性能検査 ⑨【定】機能・性能検査 ⑩【定】機能・性能検査 ⑪機能・性能試験 ⑫機能・性能試験 ⑬機能・性能試験 ⑭特性試験(導通試験) ⑮機能・性能試験 ⑯【定】機能・性能検査	①第16回定検(S2-16-II-24-1) ②第13回定検(710E8-ED565) ③無 ④第16回定検(S2-16-II-24-1) ⑤第16回定検(S2-16-II-24-6) ⑥無 ⑦第16回定検(S2-16-II-24-6) ⑧第16回定検(S2-16-II-24-1) ⑨第16回定検(S2-16-II-24-1) ⑩第16回定検(S2-16-II-24-1) ⑪第17回定検(OM-NS2-17-TH026) ⑫第17回定検(OM-NS2-H27-KH005) ⑬第17回定検(OM-NS2-H27-KH005) ⑭第17回定検(AUR-15-0011) ⑮第17回定検(OM-NS2-17-TH028) ⑯第16回定検(S2-16-II-24-1)	①無 ②無 ③無 ④無 ⑤無 ⑥無 ⑦無 ⑧無 ⑨無 ⑩有 ⑪無 ⑫無 ⑬無 ⑭有 ⑮無 ⑯無	-
計測制御	補助継電器盤	①原子炉保護継電器盤	電磁接触器	導通不良	6-①	可	定期的な動作確認で健全性を確認する。	①TBM ②TBM	①1C ②1C	①インターロック試験 ②【定】機能・性能検査	①S2-15 インターロック試験(710E8-ED815) ②第16回定検(定事検成績書_S2-16-II-24-1)	①無 ②無	-
計測制御	操作制御盤	①原子炉制御盤	操作スイッチおよび押釦スイッチ	導通不良	6-①	可	定期的な動作試験で健全性を確認する。	①TBM	①1C	①【定】機能・性能検査	①第16回定検(S2-16-II-24-1)	①無	-
機械設備	燃料取替機	①燃料取替機	電磁接触器、補助継電器、タイマ、操作スイッチ、押釦スイッチ、リミットスイッチ	導通不良	6-①	可	定期的な機能試験で健全性を確認する。	①TBM	①1C	①機能・性能試験	①第17回定検(OM-NS2-H23-KH005, D40-21-K278)	①無	-
機械設備	原子炉建物天井クレーン	①原子炉建物天井クレーン	電磁接触器、補助継電器、操作スイッチ、押釦スイッチ、リミットスイッチ	導通不良	6-①	可	定期的な動作確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①1Y	①機能・性能試験	①平成28年度(N16M8-00216)	①無	-
電源設備	高圧閉鎖配電盤	①非常用M/C	補助継電器および操作スイッチ	導通不良	6-①	可	機能試験で健全性を確認する。	①TBM	①1C	①機能・性能試験②	①第14回定検(710E8-ED200)	①無	-

評価書		対象機器	部位	経年劣化事象	保全の方針	劣化傾向 監視	劣化管理の考え方	検査(保全) 方式	検査周期	検査方法 (保全タスク)	実績	部品取替履歴	耐震影響
分類													
電源設備	低圧閉鎖配電盤	①非常用L/C	補助継電器および操作スイッチ	導通不良	6-①	可	機能試験で健全性を確認する。	①TBM	①1C	①機能・性能試験	①第16回定検(710E8-ED786)	①無	-
電源設備	コントロールセンター	①非常用C/C	電磁接触器、サーマルリレーおよび補助継電器	導通不良	6-①	可	機能試験で健全性を確認する。	①TBM	①4C	①機能・性能試験	①第16回定検(710E8-ED393)	①無	-
電源設備	ディーゼル発電設備	①非常用ディーゼル発電機	補助継電器	導通不良	6-①	可	機能試験で健全性を確認する。	①TBM	①1C	①インターロック試験	①第15回定検(710E8-ED815)	①無	-
電源設備	ディーゼル発電設備	①非常用ディーゼル発電機	ロックアウト継電器	導通不良	6-①	可	動作試験で健全性の確認する。	①TBM	①1C	①インターロック試験	①第15回定検(710E8-ED815)	①無	-
電源設備	ディーゼル発電設備	①非常用ディーゼル発電機	電磁接触器、操作スイッチおよび押釦スイッチ	導通不良	6-①	可	目視確認で健全性を確認する。	①TBM	①1C	①インターロック試験	①第15回定検(710E8-ED815)	①無	-
電源設備	MGセット	①原子炉保護系MGセット	操作スイッチ、押釦スイッチ、電磁接触器および補助継電器	導通不良	6-①	可	機能試験で健全性を確認する。	①TBM	①3C	①機能・性能試験	①第17回定検(N2117-RT-200-5)	①無	-
電源設備	バイタル電源用CVCF	①計装用無停電交流電源装置	補助継電器、電磁接触器、操作スイッチおよび押釦スイッチ	導通不良	6-①	可	機能試験で健全性を確認する。	①TBM	①1C	①機能・性能試験	①第17回定検(N2117-RT-200-2)	①無	-
電源設備	直流電源	①230V系充電器	電磁接触器、操作スイッチおよび補助継電器	導通不良	6-①	可	機能試験で健全性を確認する。	①TBM	①新設機器	①機能・性能試験	①新設機器	①230V系充電器・蓄電池【230V系充電器(RCIG)】(N21-TG-065)(N21-TG-0124)	-
容器	その他容器	①ほう酸水貯蔵タンク	電気ヒータ	断線	6-②	可	目視確認および端子間の抵抗測定を行い、健全性を確認する。	①TBM	①1C	①特性試験	①第17回定検(N15M8-00176)	①無	■
空調設備	フィルタ・ユニット	①非常用ガス処理系前置ガス処理装置	加熱用ヒータ、活性炭フィルタ用ヒータ	断線	6-②	可	導通確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①1C	①特性試験(抵抗測定)	①第17回定検(710E8-NH266)	①無	-
機械設備	可燃性ガス濃度制御系設備	①可燃性ガス濃度制御系設備	加熱器エレメント	断線	6-②	可	目視確認および端子間の抵抗測定を行い、健全性を確認する。	①TBM	①2C	①特性試験(絶縁抵抗測定)	①第16回定検(N2116-RK-205-1)	①無	-
電源設備	バイタル電源用CVCF	①計装用無停電交流電源装置	切替器	切替不良	6-①	可	特性試験で健全性を確認する。	①TBM	①26M	①特性試験(校正・調整)	①第17回定検(710E8-ED556)	①無	■

評価書		対象機器	部位	経年劣化事象	保全の方針	劣化傾向 監視	劣化管理の考え方	検査(保全) 方式	検査周期	検査方法 (保全タスク)	実績	部品取替履歴	耐震影響
分類													
計測制御	計測装置	①主蒸気圧力計測装置 ②5号酸水注入ポンプ潤滑油圧力計測装置 ③中央制御室冷凍機潤滑油ポンプ差圧計測装置 ④蒸気加減弁急速閉用油圧計測装置 ⑤原子炉再循環ポンプ入口流量 ⑥高圧炉心スプレイ系サージタンク水位 ⑦スクラム排出水容器水位計測装置 ⑧主蒸気管放射線計測装置 ⑨原子炉棟排気高レンジ放射線計測装置 ⑩換気系放射線計測装置 ⑪水素濃度計測装置 ⑫酸素濃度計測装置 ⑬非常用ディーゼル発電機速度計測装置 ⑭地震加速度計測装置 ⑮低圧原子炉代替注水流量計測装置	圧力伝送器(ダイヤフラム式)、圧力検出器(フルドン管式)、圧力検出器(ペローズ式)、圧力検出器(シールドピストン式)、差圧伝送器(ダイヤフラム式)、水位検出器(フロート式)、放射線検出器(イオンチェンバ式)、放射線検出器(半導体式)、放射線検出器(シンチレーション式)、放射線検出器(熱伝導式)、酸素濃度検出器(磁気風式)、回転数検出器(電磁ピックアップ式)、地震加速度検出器(倒立振り子式)および流量検出器(クランプ式)	特性変化	7-①	可	定期的に特性試験で健全性を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM ④TBM ⑤TBM ⑥TBM ⑦TBM ⑧TBM ⑨TBM ⑩TBM ⑪TBM ⑫TBM ⑬TBM ⑭TBM ⑮TBM	①13M ②13M ③13M ④13M ⑤13M ⑥13M ⑦13M ⑧13M ⑨13M ⑩13M ⑪13M ⑫13M ⑬13M ⑭13M ⑮13M	①特性試験(校正・調整) ②特性試験(校正・調整) ③特性試験(校正・調整) ④特性試験(校正・調整) ⑤特性試験(校正・調整) ⑥特性試験(校正・調整) ⑦特性試験(校正・調整) ⑧特性試験(校正・調整) ⑨特性試験(校正・調整) ⑩特性試験(校正・調整) ⑪特性試験(校正・調整) ⑫特性試験(校正・調整) ⑬特性試験(校正・調整) ⑭特性試験(校正・調整) ⑮特性試験(校正・調整)	①第16回定検(710E8-KE383) ②第16回定検(710E8-KE466) ③第16回定検(C-550430-R) ④第16回定検(710E8-KE383) ⑤第16回定検(N2116-RT-301-6) ⑥第16回定検(710E8-KE314) ⑦第16回定検(710E8-KE383) ⑧第17回定検 ⑨第17回定検 ⑩第17回定検 ⑪第16回定検(N2116-RT-304-2) ⑫第16回定検(N2116-RT-304-2) ⑬第17回定検(N10E8-00009) ⑭第16回定検(710E8-KE383) ⑮新設機器	①無 ②無 ③第16回定検(7R-21-9022) ④無 ⑤無 ⑥無 ⑦無 ⑧無 ⑨無 ⑩無 ⑪無 ⑫無 ⑬無 ⑭無 ⑮無	-
計測制御	計測装置	①平均出力領域計測装置	中性子検出器	特性変化	7-①	可	定期的に特性試験で健全性を確認する。	①TBM	①1C	①特性試験(絶縁抵抗測定)	①第16回定検	①無	-
計測制御	計測装置	①原子炉圧力計測装置 ②主蒸気管周囲温度計測装置 ③中央制御室冷凍機蒸発器出口冷水温度計測装置 ④主蒸気流量計測装置 ⑤原子炉水位計測装置 ⑥平均出力領域計測装置 ⑦主蒸気管放射線計測装置 ⑧原子炉棟排気高レンジ放射線計測装置 ⑨換気系放射線計測装置 ⑩水素濃度計測装置 ⑪酸素濃度計測装置 ⑫原子炉隔離時冷却系蒸気加減弁開度計測装置 ⑬低圧原子炉代替注水流量計測装置 ⑭燃料プール水位計測装置 ⑮ドライウェル水位計測装置 ⑯原子炉建物水素濃度計測装置	信号変換処理部、指示調節計および前置増幅器	特性変化	7-①	可	定期的に特性試験で健全性を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM ④TBM ⑤TBM ⑥TBM ⑦TBM ⑧TBM ⑨TBM ⑩TBM ⑪TBM ⑫TBM ⑬TBM ⑭TBM ⑮TBM ⑯TBM	①13M ②13M ③信号変換処理部:13M、指示調節計:26M ④13M ⑤13M ⑥13M ⑦13M ⑧13M ⑨13M ⑩13M ⑪13M ⑫13M ⑬13M ⑭13M ⑮13M ⑯13M	①特性試験(校正・調整) ②特性試験(校正・調整) ③特性試験(校正・調整) ④特性試験(校正・調整) ⑤特性試験(校正・調整) ⑥特性試験(校正・調整) ⑦特性試験(校正・調整) ⑧特性試験(校正・調整) ⑨特性試験(校正・調整) ⑩特性試験(校正・調整) ⑪特性試験(校正・調整) ⑫特性試験(校正・調整) ⑬特性試験(校正・調整) ⑭特性試験(校正・調整) ⑮特性試験(校正・調整)	①第16回定検(710E8-KE383) ②第16回定検(710E8-KE314) ③第16回定検(710E8-KE383) ④第16回定検(C-550430-R) ⑤第16回定検(710E8-KE383) ⑥第16回定検(710E8-KE383) ⑦第16回定検(OM-NS2-16-TH018) ⑧第17回定検(OM-NS2-17-TH026) ⑨第17回定検(OM-NS2-H27-KH005) ⑩第17回定検(OM-NS2-H27-KH005) ⑪第17回定検(OM-NS2-17-TH023) ⑫第17回定検(OM-NS2-17-TH023) ⑬第17回定検(OM-NS2-17-TH028) ⑭第16回定検(710E8-KE383) ⑮新設機器 ⑯新設機器	①無 ②無 ③無 ④無 ⑤無 ⑥無 ⑦無 ⑧無 ⑨無 ⑩無 ⑪無 ⑫無 ⑬無 ⑭無 ⑮無	-



評価書		対象機器	部位	経年劣化事象	保全の方針	劣化傾向 監視	劣化管理の考え方	検査(保全) 方式	検査周期	検査方法 (保全タスク)	実績	部品取替履歴	耐震影響
分類													
計測制御	計測装置	①原子炉圧力計測装置 ②主蒸気管周囲温度計測装置 ③トラス水温度計測装置 ④原子炉隔離時冷却ポンプ出口流量計測装置 ⑤原子炉水位計測装置 ⑥平均出力領域計測装置 ⑦水素濃度計測装置 ⑧酸素濃度計測装置 ⑨原子炉隔離時冷却タービン回転速度計測装置	指示計および記録計	特性変化	7-①	可	定期的に特性試験で健全性を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM ④TBM ⑤TBM ⑥TBM ⑦TBM ⑧TBM ⑨TBM	①13M ②13M ③13M ④13M ⑤13M ⑥13M ⑦13M ⑧13M ⑨13M	①特性試験(校正・調整) ②特性試験(校正・調整) ③特性試験(校正・調整) ④特性試験(校正・調整) ⑤特性試験(校正・調整) ⑥特性試験(校正・調整) ⑦特性試験(校正・調整) ⑧特性試験(校正・調整) ⑨特性試験(校正・調整)	①第16回定検(710E8-KE314) ②第16回定検(710E8-KE383) ③第16回定検(710E8-KE383) ④第16回定検(710E8-KE314) ⑤第16回定検(710E8-KE314) ⑥第16回定検(OM-NS2-16-TH018) ⑦第16回定検(710E8-KE314) ⑧第16回定検(710E8-KE314) ⑨第17回定検(OM-NS2-17-TH028)	①無 ②無 ③無 ④無 ⑤第16回定検(710E8-KE314) ⑥無 ⑦無 ⑧無 ⑨無	-
機械設備	可燃性ガス濃度制御系設備	①可燃性ガス濃度制御系設備	サイリスタスイッチ盤の信号変換処理部	特性変化	7-①	可	定期的に特性試験で健全性を確認する。	①TBM	①2C	①機能・性能試験	①第16回定検(N2116-RK-205-1)	①第16回定検(N2116-RK-205-1)	-
機械設備	燃料取替機	①燃料取替機	信号変換処理部およびインバータ/コンバータ	特性変化	7-①	可	定期的に特性試験で健全性を確認する。	①TBM	①1C	①機能・性能試験	①第17回定検(OM-NS2-H23-KH005)	①無	-
機械設備	燃料取替機	①燃料取替機	ロードセル	特性変化	7-①	可	試験用標準ウェイトを用いたループ校正試験により特性が精度内であることを確認する。	①TBM	①13M	①特性試験(校正・調整)	①第17回定検(OM-NS2-H23-KH005)	①無	-
機械設備	燃料取替機	①燃料取替機	速度検出器	特性変化	7-①	可	定期的に特性試験で健全性を確認する。	①TBM	①1C	①機能・性能試験	①第17回定検(OM-NS2-H23-KH004)	①無	-
機械設備	原子炉建物天井クレーン	①原子炉建物天井クレーン	信号変換処理部	特性変化	7-①	可	定期的に特性試験で健全性を確認する。	①TBM	①1Y	①特性試験	①平成28年度(N16M8-00216)	①無	-
電源設備	高圧閉鎖配電盤	①非常用M/C	保護継電器(機械式)	特性変化	7-①	可	動作特性試験で健全性を確認する。	①TBM	①13M	①特性試験(校正・調整)	①第17回定検(N16E8-00009)	①無	-
電源設備	高圧閉鎖配電盤	①非常用M/C	保護継電器(静止形)	特性変化	7-①	可	特性試験で健全性を確認する。	①TBM	①13M	①特性試験(校正・調整)	①第17回定検(N16E8-00009)	①無	-
電源設備	高圧閉鎖配電盤	①非常用M/C	指示計	特性変化	7-①	可	特性試験で健全性を確認する。	①TBM	①13M	①特性試験(校正・調整)	①第17回定検(N16E8-00009)	①無	-
電源設備	低圧閉鎖配電盤	①非常用L/C	過電流引外し装置	特性変化	7-①	可	特性試験で健全性を確認する。	①TBM	①4C	①機能・性能試験①-1	①第17回定検(N16E8-00017)	①無	-
電源設備	低圧閉鎖配電盤	①非常用L/C	保護継電器(静止形)	特性変化	7-①	可	特性試験で健全性を確認する。	①TBM	①13M	①特性試験(校正・調整)	①第17回定検(N16E8-00009)	①無	-
電源設備	低圧閉鎖配電盤	①非常用L/C	保護継電器(機械式)	特性変化	7-①	可	動作特性試験で健全性を確認する。	①TBM	①13M	①特性試験(校正・調整)	①第17回定検(N16E8-00009)	①無	-
電源設備	低圧閉鎖配電盤	①非常用L/C	指示計	特性変化	7-①	可	特性試験で健全性を確認する。	①TBM	①13M	①特性試験(校正・調整)	①第17回定検(N16E8-00009)	①無	-
電源設備	コントロールセンター	①高圧炉心スプレイ系C/C	保護継電器(静止形)	特性変化	7-①	可	特性試験で健全性を確認する。	①TBM	①52M	①特性試験(校正・調整)	①第17回定検(710E8-ED556)	①無	-
電源設備	ディーゼル発電設備	①非常用ディーゼル発電機	信号変換処理部、シリコン整流器および電力変換装置	特性変化	7-①	可	特性試験で健全性を確認する。	①TBM	①1C	①インターロック試験	①第15回定検(710E8-ED815)	①無	-
電源設備	ディーゼル発電設備	①非常用ディーゼル発電機	速度変換器および保護継電器(静止形)	特性変化	7-①	可	特性試験で健全性を確認する。	①TBM	①1C	①計器校正試験	①第17回定検(N16E8-00009)	①無	-

評価書		対象機器	部位	経年劣化事象	保全の方針	劣化傾向 監視	劣化管理の考え方	検査(保全) 方式	検査周期	検査方法 (保全タスク)	実績	部品取替履歴	耐震影響
分類													
電源設備	ディーゼル発電設備	①非常用ディーゼル発電機	保護継電器(機械式)	特性変化	7-①	可	動作特性試験で健全性を確認する。	①TBM	①1C	①計器校正試験	①第17回定検(N16E8-00009)	①無	-
電源設備	ディーゼル発電設備	①非常用ディーゼル発電機	指示計	特性変化	7-①	可	特性試験で健全性を確認する。	①TBM	①1C	①計器校正試験	①第17回定検(N16E8-00009)	①無	-
電源設備	MGセット	①原子炉保護系MGセット	回転整流器	特性変化	7-①	可	特性試験で健全性を確認する。	①TBM	①1C	①特性試験	①第17回定検(710E8-ED567)	①無	-
電源設備	MGセット	①原子炉保護系MGセット	保護継電器(静止形)	特性変化	7-①	可	特性試験で健全性を確認する。	①TBM	①1C	①計器校正試験	①第17回定検(N16E8-00009)	①無	-
電源設備	MGセット	①原子炉保護系MGセット	信号変換処理部	特性変化	7-①	可	特性試験で健全性を確認する。	①TBM	①3C	①機能・性能試験	①第17回定検(N2117-RT-200-5)	①無	-
電源設備	MGセット	①原子炉保護系MGセット	サイリスタ整流器	特性変化	7-①	可	特性試験で健全性を確認する。	①TBM	①3C	①機能・性能試験	①第17回定検(N2117-RT-200-5)	①無	-
電源設備	バイタル電源用CVCF	①計装用無停電交流電源装置	信号変換処理部	特性変化	7-①	可	特性試験で健全性を確認する。	①TBM	①1C	①機能・性能試験	①第17回定検(N2117-RT-200-2)	①無	-
電源設備	バイタル電源用CVCF	①計装用無停電交流電源装置	保護継電器(静止形)	特性変化	7-①	可	特性試験で健全性を確認する。	①TBM	①26M	①特性試験(校正・調整)	①第17回定検(710E8-ED556)	①無	-
電源設備	バイタル電源用CVCF	①計装用無停電交流電源装置	電圧リレー	特性変化	7-①	可	特性試験で健全性を確認する。	①TBM	①26M	①特性試験(校正・調整)	①第17回定検(710E8-ED556)	①無	-
電源設備	バイタル電源用CVCF	①計装用無停電交流電源装置	指示計	特性変化	7-①	可	特性試験で健全性を確認する。	①TBM	①26M	①特性試験(校正・調整)	①第17回定検(710E8-ED556)	①無	-
電源設備	直流電源	①230 V系充電器	サイリスタ整流回路	特性変化	7-①	可	出力電圧特性で健全性を確認する。	①TBM	①新設機器	①機能・性能試験	①新設機器	①230V系充電器・蓄電池【230V系充電器(RCIC)】(N21-TG-065) (N21-TG-0124)	-
電源設備	直流電源	①230 V系充電器	信号変換処理部	特性変化	7-①	可	特性試験で健全性を確認する。	①TBM	①新設機器	①機能・性能試験	①新設機器	①230V系充電器・蓄電池【230V系充電器(RCIC)】(N21-TG-065) (N21-TG-0124)	-
電源設備	直流電源	①230 V系充電器	指示計	特性変化	7-①	可	特性試験で健全性を確認する。	①TBM	①新設機器	①機能・性能試験	①新設機器	①230V系充電器・蓄電池【230V系充電器(RCIC)】(N21-TG-065) (N21-TG-0124)	-
計測制御	計測装置	①原子炉圧力計測装置 ②主蒸気管周囲温度計測装置 ③主蒸気流量計測装置 ④原子炉水位計測装置 ⑤平均出力領域計測装置 ⑥原子炉隔離時冷却系蒸気加減弁開度計測装置 ⑦原子炉隔離時冷却タービン回転速度計測装置	電源装置	出力不良	7-①	可	定期的に出力電圧測定で健全性を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM ④TBM ⑤TBM ⑥TBM ⑦TBM	①13M ②13M ③13M ④13M ⑤13M ⑥13M ⑦13M	①特性試験(校正・調整) ②特性試験(校正・調整) ③特性試験(校正・調整) ④特性試験(校正・調整) ⑤特性試験(校正・調整) ⑥特性試験(校正・調整) ⑦特性試験(校正・調整)	①第16回定検(710E8-KE314) ②第16回定検(710E8-KE383) ③第16回定検(710E8-KE383) ④第16回定検(710E8-KE314) ⑤第16回定検(OM-NS2-16-TH018) ⑥第17回定検(OM-NS2-17-TH028) ⑦第17回定検(OM-NS2-17-TH028)	①無 ②無 ③無 ④無 ⑤無 ⑥無 ⑦無	-
機械設備	燃料取替機	①燃料取替機	電源装置	出力不良	7-①	可	出力電圧測定を行い、健全性を確認する。	①TBM ②TBM	①1C ②13M	①電圧測定 ②特性試験(校正・調整)	①平成28年度(D40-21-K419) ②第17回定検(OM-NS2-H23-KH005)	①無 ②無	-
電源設備	ディーゼル発電設備	①非常用ディーゼル発電機	電源装置	出力不良	7-①	可	出力電圧測定で健全性を確認する。	①TBM	①1C	①出力電圧測定	①第17回定検(N16E8-00009)	①無	-

評価書		対象機器	部位	経年劣化事象	保全の方針	劣化傾向 監視	劣化管理の考え方	検査(保全) 方式	検査周期	検査方法 (保全タスク)	実績	部品取替履歴	耐震影響
分類													
電源設備	バイタル電源用CVCF	①計装用無停電交流電源装置	電源装置	出力不良	7-①	可	出力電圧測定で健全性を確認する。	①TBM	①1C	①機能・性能試験	①第17回定検(N2117-RT-200-2)	①無	-
電源設備	バイタル電源用CVCF	①計装用無停電交流電源装置	コンバータ、IGBTインバータおよびチョッパ	変成不良	7-①	可	特性試験で健全性を確認する。	①TBM	①26M	①特性試験(校正・調整)	①第17回定検(710E8-ED556)	①無	-
容器	その他容器	①ほう酸水貯蔵タンク	電気ヒータ	絶縁特性低下	8-①	可	目視確認および端子間の抵抗測定を行い健全性を確認する。	①TBM	①1C	①特性試験	①第17回定検(N15M8-00176)	①無	-
タービン	タービン制御装置	①主タービンEHC装置	サーボ弁	絶縁特性低下	8-①	可	点検時に性能検査を実施し、サーボ弁の性能に異常のないことを確認する。	①TBM	①1C	①機能・性能試験	①第17回定検(QK-12-S538)	①無	-
空調設備	フィルタ・ユニット	①非常用ガス処理系前置ガス処理装置	加熱用ヒータ、活性炭フィルタ用ヒータ	絶縁特性低下	8-①	可	絶縁抵抗測定を行い、健全性を確認している。	①TBM	①1C	①特性試験(絶縁抵抗測定)	①第17回定検(710E8-NH266)	①無	-
機械設備	可燃性ガス濃度制御系設備	①可燃性ガス濃度制御系設備	加熱器エレメント	絶縁特性低下	8-①	可	絶縁抵抗測定を行い、健全性の確認する。	①TBM	①2C	①特性試験(絶縁抵抗測定)	①第16回定検(N2116-RK-205-1)	①無	-
コンクリート	コンクリートおよび鉄骨構造物	①原子炉建物 ②タービン建物 ③制御室建物 ④取水構造物	コンクリート	強度低下(アルカリ反応)	9-①	可	定期的な目視点検を実施する。	①TBM ②TBM ③TBM ④TBM	①1Y ②1Y ③1Y ④1Y	①外観点検 ②外観点検 ③外観点検 ④外観点検	①平成29年度 ②平成29年度 ③平成29年度 ④平成29年度	①無 ②無 ③無 ④無	-
コンクリート	コンクリートおよび鉄骨構造物	①排気筒(制震装置付) ②補助ボイラ室	鉄骨	強度低下(腐食)	9-②	可	定期的な目視点検を行い、健全性を確認する。	①TBM ②TBM	①1Y ②1Y	①外観点検 ②外観点検	①平成29年度 ②平成29年度	①無 ②無	■
コンクリート	コンクリートおよび鉄骨構造物	①制震装置(粘性ダンパ)	制震装置(粘性ダンパ)	強度低下(腐食)	9-②	可	定期的な目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①1Y	①外観点検	①平成29年度	①無	■
コンクリート	コンクリートおよび鉄骨構造物	①制震装置(粘性ダンパ)	制震装置(粘性ダンパ)	強度低下(摩耗)	9-③	可	定期的な目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①1Y	①外観点検	①平成29年度	①無	■
機械設備	固体廃棄物処理系設備	①雑固体廃棄物焼却設備 ①-1 焼却炉 ①-2 1次セラミックフィルタ ①-3 2次セラミックフィルタ ①-4 配管 ①-5 弁	耐火物	減肉	10-①	可	目視確認を行い、耐火物の健全性を確認する。	①-1 TBM ①-2 TBM ①-3 TBM ①-4 TBM ①-5 TBM	①-1 2Y ①-2 2Y ①-3 2Y ①-4 2Y ①-5 10Y	①-1 開放点検 ①-2 開放点検 ①-3 開放点検 ①-4 開放点検 ①-5 分解点検	①-1 平成27年度(N15M8-00126) ①-2 平成27年度(N15M8-00126) ①-3 平成27年度(N15M8-00126) ①-4 平成27年度(N15M8-00126) ①-5 平成23年度(C-570223R)	①-1 平成27年度(N15M8-00126) ①-2 平成21年度 ①-3 無 ①-4 無 ①-5 無	■
機械設備	固体廃棄物処理系設備	①雑固体廃棄物処理設備 ①-1 溶融炉 ①-2 セラミックフィルタ ①-3 炭素鋼配管 ①-4 弁	耐火物	減肉	10-①	可	目視確認を行い、耐火物の健全性を確認する。	①-1 TBM ①-2 TBM ①-3 TBM ①-4 TBM	①-1 1Y ①-2 2Y ①-3 2Y ①-4 4Y	①-1 開放点検 ①-2 開放点検 ①-3 開放点検 ①-4 分解点検	①-1 平成28年度(N16M8-00297) ①-2 平成27年度(N15M8-00250) ①-3 平成27年度(N15M8-00250) ①-4 平成24年度(C-580199-R)	①-1 平成28年度(N16M8-00297) ①-2 無 ①-3 無 ①-4 無	■
機械設備	固体廃棄物処理系設備	①雑固体廃棄物焼却設備 ①-1 焼却炉 ①-2 1次セラミックフィルタ ①-3 2次セラミックフィルタ ①-4 炭素鋼配管 ①-5 弁	耐火物	割れ	10-①	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM ①-2 TBM ①-3 TBM ①-4 TBM ①-5 TBM	①-1 2Y ①-2 2Y ①-3 2Y ①-4 2Y ①-5 10Y	①-1 開放点検 ①-2 開放点検 ①-3 開放点検 ①-4 開放点検 ①-5 分解点検	①-1 平成27年度(N15M8-00126) ①-2 平成27年度(N15M8-00126) ①-3 平成27年度(N15M8-00126) ①-4 平成27年度(N15M8-00126) ①-5 平成23年度(C-570223R)	①-1 無 ①-2 無 ①-3 無 ①-4 無 ①-5 無	■
機械設備	固体廃棄物処理系設備	①雑固体廃棄物処理設備 ①-1 溶融炉 ①-2 セラミックフィルタ ①-3 炭素鋼配管 ①-4 弁	耐火物	割れ	10-①	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM ①-2 TBM ①-3 TBM ①-4 TBM	①-1 1Y ①-2 2Y ①-3 2Y ①-4 4Y	①-1 開放点検 ①-2 開放点検 ①-3 開放点検 ①-4 分解点検	①-1 平成28年度(N16M8-00297) ①-2 平成27年度(N15M8-00250) ①-3 平成27年度(N15M8-00250) ①-4 平成24年度(C-580199-R)	①-1 無 ①-2 無 ①-3 無 ①-4 無	■
熱交換器	直管式熱交換器	①原子炉補機冷却系熱交換器	伝熱管	異物付着	11-④	可	定期的な伝熱管内部の清掃により異物除去を図るとともに、目視確認および渦流探傷試験を行い、健全性を確認する。	①TBM	①26M	①開放点検	①第17回定検(N14M8-00087)	①無	■

評価書		対象機器	部位	経年劣化事象	保全の方針	劣化傾向監視	劣化管理の考え方	検査(保全)方式	検査周期	検査方法(保全タスク)	実績	部品取替履歴	耐震影響
分類													
熱交換器	U字管式熱交換器	共通(代表確認) ①原子炉浄化再生熱交換器 ②残留熱除去熱交換器 ③グラント蒸気発生器 ④給水加熱器 ⑤排ガス予熱器 ⑥排ガス復水器	伝熱管	異物付着	11-⑤	可	定期的に目視確認または系統の運転パラメータ確認により異常の無いことを確認する。	①TBM ②TBM ③TBM ④TBM ⑤TBM ⑥TBM	①1C ②91M ③78M ④439M ⑤130M ⑥130M	①機能・性能試験 ②開放点検 ③開放点検-1 ④開放点検③ ⑤開放点検 ⑥開放点検	①第16回定検(N2116-RT-016-1) ②第17回定検(N21-TG-0109) ③第17回定検(N15M8-00053) ④第17回定検(N15M8-00048) ⑤第12回定検(ENT-NS2-04-MT-267) ⑥第12回定検(ENT-NS2-04-MT-267)	①無 ②無 ③無 ④無 ⑤無 ⑥無	-
配管	炭素鋼配管	①主蒸気系配管、給水系配管	オリフィス、フローノズル	異物付着	11-⑤	可	超音波探傷試験または放射線透過試験により、下流配管の点検により減肉傾向を把握する。	①TBM	①配管肉厚管理手順書に基づく	①配管肉厚管理手順書に基づく	①第16回定検(INR-S2-005)	①無	-
配管	低合金鋼配管	①タービンヒータント系配管	オリフィス	異物付着	11-⑤	可	超音波探傷試験または放射線透過試験により、下流配管の点検により減肉傾向を把握する。	①TBM	①配管肉厚管理手順書に基づく	①配管肉厚管理手順書に基づく	①第15回定検(AMR-15-0004)	①無	-
機械設備	非常用ディーゼル機関	①非常用ディーゼル機関本体	空気冷却器伝熱管	異物付着	11-⑤	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①78M	①開放点検	①第17回定検(N13K8-00049)	①無	-
機械設備	非常用ディーゼル機関	①非常用ディーゼル機関付属設備 ①-1 潤滑油冷却器 ①-2 一次水冷却器	伝熱管	異物付着	11-⑤	可	管内の清掃および目視確認を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM ①-2 TBM	①-1 78M ①-2 78M	①-1 開放点検 ①-2 開放点検	①-1 第17回定検(710E8-MR912) ①-2 第17回定検(710E8-MR912)	①-1 無 ①-2 無	-
機械設備	計装用圧縮空気系設備	①計装用圧縮空気系設備 ①-1 アフタークーラ	伝熱管	異物付着	11-⑤	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①26M	①開放点検	①第17回定検(710E8-MF244)	①無	-
機械設備	気体廃棄物処理系設備	①気体廃棄物処理系設備 ①-1 空気抽出器	伝熱管	異物付着	11-⑤	可	目視確認および管内の清掃を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM	①-1 78M	①-1 開放点検-1	①-1 第17回定検(N15M8-00052)	①-1 無	-
容器	その他容器	①排ガス再結合器	鏡板、胴、蓋	クリーブ	11-⑭	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①1C	①外観点検②	①第17回定検(N15M8-00055)	①無	-
機械設備	非常用ディーゼル機関	①非常用ディーゼル機関本体	過給機ケーシング、排気管	クリーブ	11-⑭	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①(a)TBM ①(b)TBM ①(c)-	①(a)104M ①(b)1C ①(c)-	①(a)分解点検 ①(b)外観点検 ①(c)-	①(a),(b)第17回定検(N15M8-00182) ①(c)排気管点検(N16M8-00044)	①無	-
機械設備	非常用ディーゼル機関	①非常用ディーゼル機関本体	ロータ、ノズル	クリーブ	11-⑭	可	目視確認および浸透探傷試験を行い、健全性を確認する。	①TBM	①104M	①分解点検	①第17回定検(N15M8-00182)	①無	-
機械設備	非常用ディーゼル機関	①非常用ディーゼル機関本体	伸縮継手	クリーブ	11-⑭	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①(a)TBM ①(b)-	①(a)1C ①(b)-	①(a)外観点検 ①(b)-	①(a)第17回定検(N15M8-00182) ①(b)排気管点検(N16M8-00044)	①無	-
機械設備	所内ボイラ設備	①所内ボイラ設備 ①-1 ボイラ本体	汽水胴、水胴、管寄せ、連絡管	クリーブ	11-⑭	可	目視確認および浸透探傷試験を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM	①-1 2Y	①-1 開放点検	①-1 平成27年度(N15M8-00199)	①-1 無	-
機械設備	所内ボイラ設備	①所内ボイラ設備 ①-1 ボイラ本体	蒸発管、下降管、パーナ	クリーブ	11-⑭	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM	①-1 2Y	①-1 開放点検	①-1 平成27年度(N15M8-00199)	①-1 無	-
容器	原子炉格納容器	①原子炉格納容器本体	ストレーナ	閉塞	11-⑩	可	清掃および目視確認を行い、また定期検査により非常用炉心冷却機能の健全性を確認する。	①TBM	①1C	①外観点検②-1	①第16回定検(30-SB-505-2)	①無	■
配管	配管サポート	①粘性ダンパ	粘性体	粘性体の劣化	11-⑩	可	目視により、汚れ、変色および液面高さの確認を行うことで健全性を確認する。	①TBM	①新設機器	①10C	①新設機器	①無	-
配管	配管サポート	①スプリングハンガ ②ばね式防振器	スプリング	へたり	11-③	可	目視確認またはインジケータ指示位置の確認により健全性を確認する。	①TBM ②TBM	①10C ②10C	①外観検査 ②外観検査	①第15回定検(710E8-MG125) ②第15回定検(710E8-MG125)	①無 ②無	-

評価書		対象機器	部位	経年劣化事象	保全の方針	劣化傾向 監視	劣化管理の考え方	検査(保全) 方式	検査周期	検査方法 (保全タスク)	実績	部品取替履歴	耐震影響
分類													
弁	安全弁	共通(代表確認) ①グランド蒸気発生器加熱蒸気安全弁 ②可燃性ガス濃度制御系出口安全弁 ③高圧炉心スプレイポンプ入口遮し弁 ④原子炉再循環ポンプメカニカルシール パージ入口遮し弁 ⑤ほう酸水注入ポンプ出口安全弁	スプリング	へたり	11-③	可	目視確認および作動確認 により健全性を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM ④TBM ⑤TBM	①78M ②78M ③130M ④130M ⑤130M	①分解点検 ②分解点検 ③分解点検 ④分解点検 ⑤分解点検	①第16回定検(710E8-MG798) ②第17回定検(N15M8-00086) ③第16回定検(710E8-MF582) ④第17回定検(N15M8-00086) ⑤第11回定検(710E8-MF781)	①無 ②無 ③無 ④無 ⑤無	-
弁	主蒸気隔離弁	①主蒸気隔離弁	スプリング	へたり	11-③	可	目視確認および作動確認 により健全性を確認する。	①TBM	①26M	①分解点検②	①第17回定検(AUR-15-0011)	①無	-
弁	主蒸気逃がし安全弁	①主蒸気逃がし安全弁	スプリング	へたり	11-③	可	目視確認および作動試験 を行い、健全性を確認する。	①TBM	①13M	①分解点検②	①第17回定検(AUR-15-0010)	①無	-
弁	制御弁	①窒素ガス供給装置出口減圧弁 ②原子炉隔離時冷却系冷却水減圧弁 ③水素ガス制御装置置力調整弁	スプリング	へたり	11-③	可	目視確認および作動確認 を行い、健全性を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM	①130M ②130M ③26M	①分解点検 ②分解点検 ③分解点検	①第17回定検(N15M8-00086) ②第13回定検(710E8-MF509) ③第17回定検(CH1120056)	①無 ②無 ③無	-
弁	空気作動弁用駆動部	共通(代表確認) ①中央制御室冷凍機出口圧力調節弁用駆 動部 ②炉水戻り試験可能逆止弁用駆動部 ③原子炉給水外側隔離逆止弁用駆動部	スプリング	へたり	11-③	可	目視確認および作動試験 を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM ①-2 TBM ②TBM ③TBM	①-1 52M ①-2 1C ②78M ③78M	①-1 分解点検① ①-2 機能・性能試験 ②分解点検 ③分解点検	①-1 第17回定検(C-610180-R) ①-2 第17回定検(C-610180-R) ②第15回定検(PVH-S-08-202) ③第12回定検(ENT-NS2-04-MR- 252)	①-1 無 ①-2 無 ②無 ③無	-
タービン	主要弁(タービン)	①主蒸気止め弁 ②蒸気加減弁 ③組合せ中間弁 ④タービンバイパス弁 ⑤クロスアラウンド管安全弁 ⑥原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービン 高圧蒸気止め弁 ⑦原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービン 低圧蒸気止め弁	スプリング	へたり	11-③	可	定期的に目視確認および 作動確認を行い、健全性 を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM ④TBM ⑤TBM ⑥TBM ⑦TBM	①78M ①1C ②(a)78M ②(b)1C ③(a)78M ③(b)1C ④(a)78M ④(b)1C ⑤(a)78M ⑤(b)6C ⑥(a)104M ⑥(b)1C ⑦(a)104M ⑦(b)1C	①(a)分解点検 ①(b)機能・性能試験-1 ②(a)分解点検 ②(b)機能・性能試験-1 ③(a)分解点検 ③(b)機能・性能試験-1 ④(a)分解点検 ④(b)機能・性能試験-1 ⑤(a)分解点検 ⑤(b)機能・性能試験 ⑥(a)分解点検① ⑥(b)機能・性能試験 ⑦(a)分解点検① ⑦(b)機能・性能試験	①(a)第13回定検(5HR-21-0029-13) ①(b)第16回定検(5KR-21-0057-16) ②(a)第16回定検(5KR-21-0036-16) ②(b)第16回定検(5KR-21-0057-16) ③(a)第15回定検(5KR-21-0038-15) ③(b)第16回定検(5KR-21-0057-16) ④(a)第17回定検(5KR-21-0055-17) ④(b)第16回定検(5KR-21-0057-16) ⑤(a)第13回定検(710E8-MG356) ⑤(b)第14回定検(5KR-21-0035-14) ⑥(a)第16回定検(5KR-21-0058-16) ⑥(b)第11回定検(5KR-21-0042) ⑦(b)第16回定検(5KR-21-0058-16)	①無 ②無 ③無 ④無 ⑤無 ⑥無 ⑦無	-
タービン	タービン制御装置	①主タービンEHC装置 ①-1 サーボ弁・シャットオフ弁 ①-2 機械式トリップ弁 ①-3 リレートリップ弁	スプリング	へたり	11-③	可	分解点検時に目視確認お よび作動確認を実施す る。	①-1 TBM ①-2 TBM ①-3 TBM	①-1 1C(サーボ弁) 52M(シャットオフ弁) ①-2 52M ①-3 52M	①-1 機能・性能試験(サーボ弁) 分解点検(シャットオフ弁) ①-2 分解点検② ①-3 分解点検	①-1 サーボ弁 第17回定検(QK-12-S538) シャットオフ弁 第16回定検(QK-10- S1175) ①-2 第11回定検(QK-03-S790) ①-3 第15回定検(QK-08-S1914)	①-1 無 ①-2 第15回定検(5KR-21- 0033-15) ①-3 無	-
タービン	非常用系タービン設備	①原子炉隔離時冷却ポンプ駆動用蒸気 タービンおよび付属装置 ①-1 主塞止弁 ①-2 蒸気加減弁 ①-3 非常调速装置	スプリング	へたり	11-③	可	定期的に寸法測定、作動 確認またはパネ力測定を 行い、健全性を確認する。	①-1 TBM ①-2 TBM ①-3 TBM	①-1 1C ①-2 78M ①-3 78M	①-1 機能・性能試験 ①-2 分解点検 ①-3 分解点検①	①-1 第17回定検(N2116-RT-012-3) ①-2 第12回定検(5HR-21-0045-12) ①-3 第17回定検(N2116-RT-012-2)	①無 ②無 ③無	-
空調設備	ダンパおよび弁	①制御室再循環風量調整ダンパ ②原子炉建物給気隔離弁	スプリング	へたり	11-③	可	動作確認を行い、健全性 を確認する。	①TBM ②TBM	①3C ②1C	①外観点検 ②機能・性能試験	①第17回定検(N16M8-00188) ②第17回定検(710E8-MH189)	①無 ②無	-
機械設備	制御棒駆動機構	①制御棒駆動機構	コレットスプリング	へたり	11-③	可	目視確認および動作確認 を行い、健全性を確認す る。	①TBM	①1C	①機能・性能試験②	①第16回定検(N2116-RT-011-3)	①無	-
機械設備	非常用ディーゼル機関	①非常用ディーゼル機関本体	燃料噴射弁のスプリ ング	へたり	11-③	可	動作確認を行い、健全性 を確認する。	①TBM	①104M	①分解点検	①第17回定検(N15M8-00182)	①無	-

評価書		対象機器	部位	経年劣化事象	保全の方針	劣化傾向 監視	劣化管理の考え方	検査(保全) 方式	検査周期	検査方法 (保全タスク)	実績	部品取替履歴	耐震影響
分類													
機械設備	非常用ディーゼル機関	①非常用ディーゼル機関本体	給・排気弁のスプリング	へたり	11-③	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①104M	①分解点検	①第17回定検(N15M8-00182)	①無	-
機械設備	非常用ディーゼル機関	①非常用ディーゼル機関付属設備 ①-1空気ため安全弁	スプリング	へたり	11-③	可	定期的に動作確認を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM	①-1 1C	①-1 機能・性能試験	①-1 第17回定検(N15M8-00182)	①-1 無	-
機械設備	燃料取替機	①燃料取替機	スプリング	へたり	11-③	可	動作確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①1C	①機能・性能試験	①第17回定検(D40-21-K273)	①無	-
機械設備	原子炉建物天井クレーン	①原子炉建物天井クレーン	ブレーキ(補巻上用、走行用、横行用)のスプリング	へたり	11-③	可	寸法測定および動作確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①1Y	①機能・性能試験	①平成28年度(N16M8-00216)	①無	-
機械設備	所内ボイラ設備	①所内ボイラ設備 ①-1 ボイラ本体	安全弁(機付)のスプリング	へたり	11-③	可	動作確認を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM	①-1 2Y	①-1 分解点検	①-1 平成27年度(N16M8-00128)	①-1 無	-
電源設備	高圧閉鎖配電盤	①非常用M/C	遮断ばねおよび支えリンクばね	へたり	11-③	可	目視確認および動作試験を行い、健全性を確認する。	①TBM	①13M	①分解点検②	①第17回定検(710E8-ED297)	①無	-
電源設備	高圧閉鎖配電盤	①非常用M/C	フックばねおよびワイプばね	へたり	11-③	可	目視確認および動作試験を行い、健全性を確認する。	①TBM	①13M	①分解点検②	①第17回定検(710E8-ED297)	①無	-
電源設備	低圧閉鎖配電盤	①非常用L/C	遮断ばね、支えリンクばねおよびフックばね	へたり	11-③	可	動作試験を行い、健全性を確認する。	①TBM	①1C	①機能・性能試験②	①第17回定検(N16E8-00017)	①無	-
電源設備	低圧閉鎖配電盤	①SAL/C	投入ばね、遮断ばね、支えリンクばねおよびリセットばね	へたり	11-③	可	動作試験を行い、健全性を確認する。	①TBM	①新設機器	①機能・性能試験②	①新設機器	①無	-
タービン	高圧タービン	①高圧タービン	車室	合わせ面の不均一	11-①	可	定期的に目視確認により合わせ面を確認しており、復旧時には水平面の手入を、復旧時には軸方向・左右方向のレベル計測および合わせ面寸法測定を実施するとともに、車室合わせ面当たり確認を実施し、健全性を確認する。	①TBM	①26M	①開放点検②-1	①第16回定検(710E8-MG610)	①無	■
空調設備	フィルタ・ユニット	①非常用ガス処理系前置ガス処理装置	活性炭フィルタ	劣化	11-⑩	可	よう素除去性能検査を行い、健全性を確認している。	①TBM	①1C	①機能・性能試験	①第17回定検(710E8-NH266)	①第13回定検	■
空調設備	ダクト	共通(代表確認) ①原子炉棟空調換気系ダクト(丸ダクト 炭素鋼) ②中央制御室空調換気系ダクト(丸ダクト 炭素鋼) ③中央制御室空調換気系ダクト(角ダクト 炭素鋼) ④中央制御室空調換気系ダクト(角ダクト 炭素鋼)	ガスケット	劣化	11-⑩	可	ダクトの点検時に漏えいがないことを確認し、健全性を確認している。	①TBM ②TBM ③TBM ④TBM	①10C ②6C ③6C ④6C	①外観点検 ②外観点検 ③外観点検 ④外観点検	①第17回定検(710E8-MH121) ②なし(新規設定のため) ③なし(新規設定のため) ④なし(新規設定のため)	①無 ②第17回定検 ③第17回定検 ④第17回定検	■
空調設備	ダンパおよび弁	①原子炉建物給気隔離弁	弁体シート	劣化	11-⑩	可	目視確認、漏えい確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①78M	①分解点検	①第17回定検(710E8-MH189)	①無	■
弁	逆止弁	①原子炉隔離時冷却系真空ポンプ出口逆止弁 ②内側主蒸気隔離弁アキュムレータ逆止弁 ③ほう酸水注入ポンプ出口逆止弁	弁体	固着	11-⑦	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM	①130M ②78M ③130M	①分解点検 ②分解点検 ③分解点検	①第9回定検(410E9-MF234) ②第13回定検(ENT-NS2-06-MR-018) ③第11回定検(710E8-MF781)	①無 ②無 ③無	-
空調設備	ダンパおよび弁	①制御室再循環風量調整ダンパ ②中央制御室送風機出口逆流防止ダンパ ③中央制御室空調和装置入口ダンパ	軸	固着	11-⑦	可	目視確認、動作確認を行い、健全性を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM	①3C ②3C ③3C	①外観点検 ②外観点検 ③外観点検	①第17回定検(N16M8-00188) ②第17回定検(N16M8-00188) ③第17回定検(N16M8-00188)	①無 ②無 ③無	■

評価書		対象機器	部位	経年劣化事象	保全の方針	劣化傾向 監視	劣化管理の考え方	検査(保全) 方式	検査周期	検査方法 (保全タスク)	実績	部品取替履歴	耐震影響	
分類														
電源設備	高圧閉鎖配電盤	①非常用M/C	操作機構	固着	11-⑦	可	目視確認、清掃、グリースの塗布および開閉試験により健全性を確認する。	①TBM	①13M	①分解点検②	①第17回定検(710E8-ED297)	①無	-	
電源設備	低圧閉鎖配電盤	①非常用L/C	操作機構	固着	11-⑦	可	目視点検、清掃、グリースの塗布および開閉試験を実施し、健全性を確認する。	①TBM	①13M	①分解点検②	①第17回定検(N16E8-00017)	①無	-	
機械設備	制御棒	①ボロンカーバイド型制御棒 ②ハフニウム棒型制御棒	制御材	制御能力低下	11-⑩	可	保守的に定めた運用基準に基づき取替を実施している。また、定期検査時に停止余裕検査を実施し健全性を確認する。	①-1 TBM ①-2 CBM ②-1 TBM ②-2 CBM	①-1 1C ①-2 - ②-1 1C ②-2 -	①-1 特性検査 ①-2 定期取替 ②-1 特性検査 ②-2 定期取替	①-1 第16回定検(S2-16-II-4) ①-2 第17回定検(D40-21-K292) ②-1 第16回定検(S2-16-II-4) ②-2 第17回定検(D40-21-K292)	中性子照射量に応じた制御棒の取替計画に基づき実施	■	
機械設備	非常用ディーゼル機関	①非常用ディーゼル機関本体	ピストン、シリンダヘッド、シリンダライナ	カーボン堆積	11-⑥	可	目視確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①104M	①外観点検	①第17回定検(N15M8-00182)	①無	-	
タービン	タービン制御装置	①主タービンEHC装置	サーボ弁	性能低下	11-⑩	可	点検時に性能検査を実施し、サーボ弁の性能に異常のないことを確認する。	①TBM	①1C	①機能・性能試験	①第17回定検(QK-12-S538)	①無	■	
機械設備	非常用ディーゼル機関	①非常用ディーゼル機関本体	調速装置	性能低下	11-⑩	可	作動確認を行い、調速装置の性能低下に対する健全性を確認する。	①無	①明記なし	①機能・性能試験	①第17回定検(N15M8-00182)	①無	-	
機械設備	液体廃棄物処理系設備	①液体廃棄物処理系設備 ①-1 濃縮廃液ポンプ	メカニカルシール	性能低下	11-⑩	可	目視確認および寸法測定を実施し、健全性を確認する。	①-1 TBM	①-1 4Y	①-1 分解点検	①-1 平成26年度(N14M8-00254)	①-1 平成26年度	■	
機械設備	燃料取替機	①燃料取替機	配線用遮断器	固渋	11-⑧	可	動作確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①1C	①機能・性能試験②	①平成28年度(D40-21-K419)	①無	-	
機械設備	原子炉建物天井クレーン	①原子炉建物天井クレーン	配線用遮断器	固渋	11-⑧	可	動作確認を行い、健全性を確認する。	①TBM	①1Y	①機能・性能試験	①平成28年度(N16M8-00216)	①無	-	
電源設備	コントロールセンター	①非常用C/C	配線用遮断器	固渋	11-⑧	可	動作確認で健全性を確認する。	①TBM	①4C	①機能・性能試験	①第16回定検(710E8-ED393)	①無	-	
電源設備	ディーゼル発電設備	①非常用ディーゼル発電機	配線用遮断器	固渋	11-⑧	可	動作確認で健全性を確認する。	①TBM	①1C	①動作確認 (点検計画ないが、要領書の中で実施)	①第16回定検(N2116-RT-201-4)	①無	-	
電源設備	MGセット	①原子炉保護系MGセット	配線用遮断器	固渋	11-⑧	可	動作確認で健全性を確認する。	①TBM	①3C	①機能・性能試験	①第17回定検(N2117-RT-200-5)	①無	-	
電源設備	バイタル電源用CVCF	①計装用無停電交流電源装置	配線用遮断器	固渋	11-⑧	可	動作確認で健全性を確認する。	①TBM	①1C	①機能・性能試験	①第17回定検(N2117-RT-200-2)	①無	-	
電源設備	直流電源	①230V系充電器	配線用遮断器	固渋	11-⑧	可	動作確認で健全性を確認する。	①TBM	①新設機器	①外観点検	①新設機器	①230V系充電器・蓄電池 【230V系充電器(RCIC)】 (N21-TG-065) (N21-TG-0124)	-	-
機械設備	水素再結合器	①静的触媒式水素処理装置	触媒カートリッジ(触媒)	水素反応機能低下	11-⑩	可	定期的目視確認および機能確認を行い、健全性を確認することとしている。	①TBM	①新設機器	①外観点検 機能・性能試験	①新設機器	①無	■	
電源設備	高圧閉鎖配電盤	①非常用M/C	真空バルブ	真空度低下	11-⑨	可	真空度確認で健全性を確認する。	①TBM	①4C	①機能・性能試験①	①第17回定検 (H31.3竣工のため報告書未受領)	①無	-	
電源設備	低圧閉鎖配電盤	①非常用L/C	消弧室	汚損	11-⑫	可	目視確認で健全性を確認する。	①TBM	①13M	①分解点検②	①第17回定検(N16E8-00017)	①無	-	

評価書		対象機器	部位	経年劣化事象	保全の方針	劣化傾向 監視	劣化管理の考え方	検査(保全) 方式	検査周期	検査方法 (保全タスク)	実績	部品取替履歴	耐震影響
分類													
電源設備	直流電源	①115 V系蓄電池	電槽	割れ, 変形	11-②	可	目視確認を行い, 健全性を確認する。	①TBM	①新設機器	①外観点検	①新設機器	①B-115V系充電器・蓄電池 【B-115V系蓄電池】 (N21-TG-062) (N21-TG-086)	-
電源設備	直流電源	①115 V系蓄電池	電槽	割れ, 変形	11-②	可	目視確認を行い, 健全性を確認する。	①TBM	①1C	①外観点検	①第17回定検(81NS21203)	①無	-
ポンプ	ターボポンプ	①原子炉隔離時冷却ポンプ ②原子炉浄化循環ポンプ ③タービン駆動原子炉給水ポンプ	軸受(すべり)	はく離	11-⑬	可	目視確認および浸透探傷試験を行い, 健全性を確認する。	①TBM ②TBM ③TBM	①78M ②26M ③26M	①分解点検 ②分解点検 ③分解点検①	①第17回定検(M50-PE-0360) ②第16回定検(710E8-MF095) ③第16回定検(710E8-MG802)	①無 ②無 ③無	■
ポンプモータ	高圧ポンプモータ	①高圧炉心スプレイポンプモータ	上部軸受(すべり)および下部軸受(すべり)	はく離	11-⑬	可	目視確認および浸透探傷試験を実施し, 健全性を確認する。	①TBM	①91M	①分解点検-1	①第11回定検(710E8-ED216)	①無	■
ポンプモータ	高圧ポンプモータ	①残留熱除去ポンプモータ	上部軸受(すべり)	はく離	11-⑬	可	目視確認および浸透探傷試験を実施し, 健全性を確認する。	①TBM	①91M	①分解点検-1	①第17回定検(N14E8-00002)	①無	■
弁	電動弁用駆動部	①残留熱除去系炉水入口内側隔離弁用駆動部	電磁ブレーキのライニング	はく離	11-⑬	可	目視確認を行い, 健全性を確認する。	①TBM	①130M	①分解点検①	①第11回定検(PVH-S-03-206)	①無	-
タービン	高圧タービン	①高圧タービン	ジャーナル軸受およびスラスト軸受	はく離	11-⑬	可	定期的に目視確認および浸透探傷試験を実施し, 健全性を確認する。	①TBM	①26M	①開放点検②-1	①第16回定検(710E8-MG610)	①無	■
タービン	低圧タービン	①低圧タービン	ジャーナル軸受	はく離	11-⑬	可	定期的に目視確認および浸透探傷試験を実施し, 健全性を確認する。	①TBM	①26M	①開放点検①-1	①第17回定検(N15M8-00184)	①無	■
タービン	原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービン	①原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービン	ジャーナル軸受およびスラスト軸受	はく離	11-⑬	可	定期的な目視確認, 主軸と軸受部の寸法測定を行う。	①TBM	①26M	①分解点検-1	①第16回定検(710E8-MG802)	①無	■
タービン	タービン潤滑油装置	①主タービン潤滑油装置 ①-1 主油ポンプ	すべり軸受	はく離	11-⑬	可	定期的な目視確認, 浸透探傷試験および超音波探傷試験を実施し, 健全性を確認する。	①-1 TBM	①-1 26M	①-1 分解点検-1 ①-1 分解点検-2	①-1 第16回定検(710E8-MG628) ①-1 第16回定検(5KR-21-0021-16)	①-1 無	■
タービン	非常用系タービン設備	①原子炉隔離時冷却ポンプ駆動用蒸気タービンおよび付属装置 ①-1 原子炉隔離時冷却ポンプ駆動用蒸気タービン	ジャーナル軸受	はく離	11-⑬	可	定期的な目視確認または浸透探傷試験を実施し, 健全性を確認する。	①TBM	①78M	①分解点検①	①第12回定検(5HR-21-0045-12)	①無	■



評価書		対象機器	部位	経年劣化事象	保全の方針	劣化傾向監視	劣化管理の考え方	検査(保全)方式	検査周期	検査方法(保全タスク)	実績	部品取替履歴	耐震影響
分類													
空調設備	冷凍機	①中央制御室冷凍機 ①-1 中央制御室冷凍機	軸受(すべり)	はく離	11-⑬	可	定期的に目視確認および浸透探傷試験を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM	①-1 52M	①-1 分解点検	①-1 第17回定検(N15M8-00104)	①-1 無	■
電源設備	ディーゼル発電設備	①非常用ディーゼル発電機	軸受(すべり)	はく離	11-⑬	可	目視確認および浸透探傷試験を実施し、健全性を確認する。	①TBM	①104M	①分解点検	①第17回定検(N16E8-00010)	①無	■
電源設備	直流電源	①115 V系蓄電池	電解液	蒸発、比重低下	11-⑩	可	電解液の液位測定および比重測定により設備の健全性を確認する。	①TBM	①1C	①機能・性能試験	①第17回定検(81NS21203)	①無	■
機械設備	制御棒	①ボロン-カーバイド粉末型制御棒 ②ハフニウム棒型制御棒	制御材被覆管(ボロン-カーバイド粉末型制御棒のみ)、シース、タイロッド、ピンおよび上部ハンドル	照射スウェリング	11-⑮	可	制御棒外観点検および制御棒駆動機構の機能確認を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM ①-2 TBM ②-1 TBM ②-2 TBM	①-1 2C ①-2 1C ②-1 2C ②-2 1C	①-1 外観点検 ①-2 機能・性能検査 ②-1 外観点検 ②-2 機能・性能検査	①-1 第16回定検 ①-2 第16回定検(S2-16-I-3, S2-16-III-16) ②-1 第16回定検 ②-2 第16回定検(S2-16-I-3, S2-16-III-16)	中性子照射量に応じた制御棒の取替計画に基づき実施	-
機械設備	制御棒	①ボロン-カーバイド粉末型制御棒 ②ハフニウム棒型制御棒	制御材被覆管(ボロン-カーバイド粉末型制御棒のみ)、シース、タイロッド、ピンおよび上部ハンドル	照射下クリープ	11-⑯	可	制御棒外観点検および制御棒駆動機構の機能確認を行い、健全性を確認する。	①-1 TBM ①-2 TBM ②-1 TBM ②-2 TBM	①-1 2C ①-2 1C ②-1 2C ②-2 1C	①-1 外観点検 ①-2 機能・性能検査 ②-1 外観点検 ②-2 機能・性能検査	①-1 第16回定検 ①-2 第16回定検(S2-16-I-3, S2-16-III-16) ②-1 第16回定検 ②-2 第16回定検(S2-16-I-3, S2-16-III-16)	中性子照射量に応じた制御棒の取替計画に基づき実施	-
炉内構造物	炉内構造物	①炉心シュラウド	中間胴	照射スウェリング	11-⑮	可	水中カメラによる目視点検を行い、有意な欠陥がないことを確認する。	①TBM	①ISI計画に基づく	①MVT-1	①第17回定検(S2-17-III-22)	①無	-
炉内構造物	炉内構造物	①上部格子板	グリッドプレート	照射スウェリング	11-⑮	可	水中カメラによる目視点検を行い、有意な欠陥がないことを確認する。	①TBM	①ISI計画に基づく	①VT-3	①第17回定検(S2-17-III-22)	①無	-
炉内構造物	炉内構造物	①炉心支持板	支持板	照射スウェリング	11-⑮	可	水中カメラによる目視点検を行い、有意な欠陥がないことを確認する。	①TBM	①ISI計画に基づく	①VT-3	①平成28年度(G-CTZ-04097)	①無	-
炉内構造物	炉内構造物	①燃料支持金具	中央燃料支持金具 周辺燃料支持金具	照射スウェリング	11-⑮	可	水中カメラによる目視点検を行い、有意な欠陥がないことを確認する。	①TBM	①ISI計画に基づく	①VT-3	①第17回定検(S2-17-III-22)	①無	-
炉内構造物	炉内構造物	①制御棒案内管	スリーブ	照射スウェリング	11-⑮	可	水中カメラによる目視点検を行い、有意な欠陥がないことを確認する。	①TBM	①ISI計画に基づく	①VT-3	①第17回定検(S2-17-III-22)	①無	-
炉内構造物	炉内構造物	①炉心シュラウド	中間胴	照射下クリープ	11-⑯	可	水中カメラによる目視点検を行い、有意な欠陥がないことを確認する。	①TBM	①ISI計画に基づく	①VT-3	①第17回定検(S2-17-III-22)	①無	-
炉内構造物	炉内構造物	①上部格子板	グリッドプレート	照射下クリープ	11-⑯	可	水中カメラによる目視点検を行い、有意な欠陥がないことを確認する。	①TBM	①ISI計画に基づく	①VT-3	①第17回定検(S2-17-III-22)	①無	-
炉内構造物	炉内構造物	①炉心支持板	支持板	照射下クリープ	11-⑯	可	水中カメラによる目視点検を行い、有意な欠陥がないことを確認する。	①TBM	①ISI計画に基づく	①VT-3	①第17回定検(S2-17-III-22)	①無	-
炉内構造物	炉内構造物	①燃料支持金具	中央燃料支持金具 周辺燃料支持金具	照射下クリープ	11-⑯	可	水中カメラによる目視点検を行い、有意な欠陥がないことを確認する。	①TBM	①ISI計画に基づく	①VT-3	①第17回定検(S2-17-III-22)	①無	-
炉内構造物	炉内構造物	①制御棒案内管	スリーブ	照射下クリープ	11-⑯	可	水中カメラによる目視点検を行い、有意な欠陥がないことを確認する。	①TBM	①ISI計画に基づく	①VT-3	①第17回定検(S2-17-III-22)	①無	-

タイトル	日常劣化管理事象以外の事象（▲）のすべての対象機器を事象毎に分類し、すべての機器についてこれまでの運転経験，使用条件，材料試験データおよび進展傾向が極めて小さいと判断した理由
説 明	<p>日常劣化管理事象以外の事象（▲）のすべての対象機器を事象毎に分類し、すべての機器についてこれまでの運転経験，使用条件，材料試験データおよび進展傾向が極めて小さいと判断した理由について，添付表 2-1 のとおり整理した。</p> <p>添付 2-1 島根原子力発電所 2 号炉 日常劣化管理事象以外の事象 一覧表</p>

No.	評価書		部位	経年劣化事象	運転経験	使用条件	材料試験データ等	進展傾向が極めて小さいと判断した理由	
	分類	評価機器							
1	熱交換器	直管式熱交換器	共通	管支持板, 胴	腐食(全面腐食)	なし	材質:炭素鋼 内部流体:防錆剤入純水	—	内部流体は防錆剤入り純水であり、今後も使用条件が変わらないため、腐食(全面腐食)の発生する可能性は小さく、問題とならない。
2		U字管式熱交換器	残留熱除去熱交換器 (原子炉浄化非再生熱交換器, 原子炉浄化補助熱交換器)	管支持板, 胴	腐食(全面腐食)	なし	材質:炭素鋼 内部流体:防錆剤入純水	—	内部流体は防錆剤入り純水であり、今後も使用条件が変わらないため、腐食(全面腐食)の発生する可能性は小さく、問題とならない。
3	容器	原子炉格納容器 (原子炉格納容器)	原子炉格納容器	コンクリート埋設部	腐食(全面腐食)	なし	材質:炭素鋼 使用環境:コンクリート埋設	—	コンクリート埋設部であり、コンクリートの中性化により腐食が想定されるが、実機コンクリートの中性化深さを評価した結果、問題ないことを確認している。
4	容器	原子炉格納容器 (電気ベネトレーション)	共通	スリーブ	腐食(全面腐食)	なし	材質:炭素鋼(塗装有) 使用環境:窒素(気中) またはコンクリート埋設(埋設部)	—	気中部分は、窒素環境であるため腐食が発生する可能性は小さく、問題とならない。 埋設部は、コンクリートの中性化により腐食が想定されるが、実機コンクリートの中性化深さを評価した結果、問題ないことを確認している。
5	ケーブル	ケーブルトレイ, 電線管	共通	内面およびコンクリート埋設部	腐食(全面腐食)	なし	材質:炭素鋼(亜鉛メッキ処理有) 使用場所:屋内/屋外 使用環境:空気(内面) またはコンクリート埋設(埋設部)	—	内面は、亜鉛メッキ処理が施されており、メッキに作用する外力が無いため、腐食が発生する可能性は小さく、問題とならない。 埋設部は、コンクリートの中性化により腐食が想定されるが、実機コンクリートの中性化深さを評価した結果、問題ないことを確認している。
6		ケーブル接続部	直ジョイント接続	スプライス	腐食(全面腐食)	なし	材質:銅 使用環境:チューブによる密閉状態	—	熱収縮チューブにて全体を密閉していることから、腐食が発生する可能性はない。
7	機械設備	基礎ボルト	機器付基礎ボルト 後打ちメカニカルアンカ	塗装部およびコンクリート埋設部	腐食(全面腐食)	なし	材質:炭素鋼(塗装有) 使用環境:空気(塗装部)およびコンクリート埋設(埋設部)	基礎ボルト劣化調査:	塗装部は塗装が施されており、塗装の状態が保たれれば腐食しない。 埋設部は、コンクリートの中性化により腐食が想定されるが、実機コンクリートの中性化深さを評価した結果、問題ないことを確認している。
8	機械設備	基礎ボルト	後打ちケミカルアンカ	コンクリート埋設部	腐食(全面腐食)	なし	材質:炭素鋼 使用環境:樹脂埋設	—	後打ちケミカルアンカのコンクリート埋設部は、樹脂材により覆われており、密着しているため腐食環境とならない。
9	電源設備	高圧閉鎖配電盤	共通	埋込金物	腐食(全面腐食)	なし	材質:炭素鋼 使用環境:コンクリート埋設	—	コンクリート埋設部であり、コンクリートの中性化により腐食が想定されるが、実機コンクリートの中性化深さを評価した結果、問題ないことを確認している。
10		低圧閉鎖配電盤	共通	埋込金物	腐食(全面腐食)	なし	材質:炭素鋼 使用環境:コンクリート埋設	—	コンクリート埋設部であり、コンクリートの中性化により腐食が想定されるが、実機コンクリートの中性化深さを評価した結果、問題ないことを確認している。

No.	評価書		部位	経年劣化事象	運転経験	使用条件	材料試験データ等	進展傾向が極めて小さいと判断した理由	
	分類	評価機器							
11	電源設備	コントロールセンタ	共通	埋込金物	腐食(全面腐食)	なし	材質:炭素鋼 使用環境:コンクリート埋設	-	コンクリート埋設部であり、コンクリートの中性化により腐食が想定されるが、実機コンクリートの中性化深さを評価した結果、問題ないことを確認している。
12		非常用ディーゼル発電設備	共通	埋込金物	腐食(全面腐食)	なし	材質:炭素鋼 使用環境:コンクリート埋設	-	コンクリート埋設部であり、コンクリートの中性化により腐食が想定されるが、実機コンクリートの中性化深さを評価した結果、問題ないことを確認している。
13		MGセット	MGセット	埋込金物	腐食(全面腐食)	なし	材質:炭素鋼 使用環境:コンクリート埋設	-	コンクリート埋設部であり、コンクリートの中性化により腐食が想定されるが、実機コンクリートの中性化深さを評価した結果、問題ないことを確認している。
14		CVCF	計装用無停電交流電源装置	埋込金物	腐食(全面腐食)	なし	材質:炭素鋼 使用環境:コンクリート埋設	-	コンクリート埋設部であり、コンクリートの中性化により腐食が想定されるが、実機コンクリートの中性化深さを評価した結果、問題ないことを確認している。
15		計装用分電盤	計装分電盤 A-115 V系直流盤 高圧炉心スプレイ系直流盤 中央分電盤	埋込金物	腐食(全面腐食)	なし	材質:炭素鋼 使用環境:コンクリート埋設	-	コンクリート埋設部であり、コンクリートの中性化により腐食が想定されるが、実機コンクリートの中性化深さを評価した結果、問題ないことを確認している。
16	炉内構造物	炉内構造物	残留熱除去系(低圧注水系)配管(原子炉圧力容器内部)	スリーブおよびフランジネック	摩耗	なし	材質:ステンレス鋼 使用場所:原子炉圧力容器内	-	起動・停止時の温度変動によって生じる相対変位による摺動回数が少なく、摺動箇所表面を硬化処理していることから、摩耗が生じる可能性は小さく、問題とならない。
17	計測制御設備	計測装置	ステンレス鋼製の過流量阻止弁、計装配管、継手および計装弁を有する計測装置共通	過流量阻止弁、計装配管、継手、計装弁	応力腐食割れ	なし	材質:ステンレス鋼 内部流体:純水 使用温度:100℃未満	-	材料がステンレス鋼であり、条件によっては応力腐食割れが想定されるが、使用温度が100℃以上とならないため、応力腐食割れが生じる可能性はない。
18	機械設備	可燃性ガス濃度制御設備	-	加熱器、再結合器、冷却器、気水分離器、配管	応力腐食割れ	なし	材質:ステンレス鋼 内部流体:格納容器内雰囲気ガス 使用温度:100℃未満	-	材料がステンレス鋼であり、条件によっては応力腐食割れが想定されるが、運転時は接液せず、使用温度は100℃以上とならない。また、定検時に接液環境となるが、使用温度は100℃以上とならないため、応力腐食割れが生じる可能性は小さく、問題とならない。
19	容器	その他容器	燃料プール	本体およびゲート	貫流型応力腐食割れ	なし	材質:ステンレス鋼 内部流体:純水 使用温度:40℃以下	-	材料がステンレス鋼であり、塩化物イオンに曝されると貫流型応力腐食割れが想定されるが、施工時に塩分管理を行っており、水質管理された純水に接液していることから、貫流型応力腐食割れが生じる可能性は小さく、問題とならない。
20	容器	その他容器	原子炉ウェル	ステンレス鋼ライニング	貫流型応力腐食割れ	なし	材質:ステンレス鋼 内部流体:純水 使用温度:40℃以下	-	材料がステンレス鋼であり、塩化物イオンに曝されると貫流型応力腐食割れが想定されるが、施工時に塩分管理を行っており、水質管理された純水に接液していることから、貫流型応力腐食割れが生じる可能性は小さく、問題とならない。

No.	評価書		部位	経年劣化事象	運転経験	使用条件	材料試験データ等	進展傾向が極めて小さいと判断した理由	
	分類	評価機器							
21	機械設備	可燃性ガス濃度制御設備	—	加熱器, 再結合器, 冷却器, 配管	クリープ	なし	材質: ステンレス鋼 使用温度: 約718°C	研究報告: クリープ破断に至る時間は100,000時間以上	使用条件の類似したクリープ破断データから, 当該材質の当該温度でのクリープ破断に至る時間は100,000時間以上であり, 機器の運転時間はこれに対して極めて短いため, クリープ破断が生じる可能性は極めて小さく, 問題とならない。
22	電源設備	高圧閉鎖配電盤	共通	配線用遮断器	固渋	なし	使用場所: 屋内	—	耐熱, 耐揮発性の優れたグリースを使用しており, 屋内空調環境に設置していることから, 固渋が発生する可能性は小さく, 問題とならない。
23		低圧閉鎖配電盤	共通	配線用遮断器	固渋	なし	使用場所: 屋内	—	耐熱, 耐揮発性の優れたグリースを使用しており, 屋内空調環境に設置していることから, 固渋が発生する可能性は小さく, 問題とならない。
24		計装用分電盤	共通	配線用遮断器	固渋	なし	使用場所: 屋内	—	耐熱, 耐揮発性の優れたグリースを使用しており, 屋内空調環境に設置していることから, 固渋が発生する可能性は小さく, 問題とならない。
25	機械設備	基礎ボルト	機器付基礎ボルト 後打ちメカニカルアンカ	—	付着力低下	なし	使用場所: 屋内/屋外	引抜試験: 付着力低下は見られない	ひび割れ, 腐食といった付着力低下を起こす要因が認められず, 引抜試験で十分な付着力を確認しているため, 付着力低下を起こす可能性は小さく, 問題とならない。
26	機械設備	基礎ボルト	後打ちケミカルアンカ	樹脂	その他劣化	なし	使用場所: 屋内/屋外	性能試験: 機能喪失するような樹脂の劣化は見られない	使用環境による樹脂(付着力)低下が想定されるが, 樹脂部はコンクリートに埋設された状態であることから, 温度・紫外線の影響は受けにくい。 また, 放射線および水分付着の影響を確認する試験により, 支持機能を喪失するような樹脂の劣化がないことを確認している。
27	容器	その他容器	燃料プール	使用済燃料貯蔵ラック	中性子吸収能力低下	なし	—	評価結果: 40年使用後のボロン劣化量10 <sup>-5</sup> 未満	燃料ラックの未臨界性については, 設計時に確認されており, 40年使用後のボロン劣化量を評価した結果10 <sup>-5</sup> 未満と極めて小さいことが確認されていることから, 核的な減損は無視できるほど小さく, 中性子吸収能力に変化はない。
28	コンクリート および鉄骨 構造物	鉄骨構造物	排気筒	排気筒	強度低下 (金属疲労)	なし	使用場所: 屋外	疲労評価: 60年時点で疲労破壊は生じない。	風による繰返荷重に対する疲労評価の結果, 60年間の繰り返し荷重を仮定しても疲労破壊しないことを確認した。
29	計測制御設備	計測装置	中性子計測装置共通	中性子検出器	機械的損傷	なし	使用場所: 屋内(PCV内)	—	機械的損傷が生じないことを確認した照射量より低い管理値で取替を行うため, 機械的損傷が生じる可能性は小さく, 問題とならない。

No.	評価書		部位	経年劣化事象	運転経験	使用条件	材料試験データ等	進展傾向が極めて小さいと判断した理由	
	分類	評価機器							
30	ケーブル	高圧ケーブル	共通	シース	絶縁特性低下	なし	使用場所:屋内/屋外	-	布設時の外的な力から絶縁材を守るものであり、ケーブルに要求される絶縁性能の確保に対する影響は極めて小さい。 また、ケーブルは静止機器であるため、布設後にケーブルの絶縁を低下させる可能性はない。
31		低圧ケーブル	共通	シース	絶縁特性低下	なし	使用場所:屋内/屋外	-	布設時の外的な力から絶縁材を守るものであり、ケーブルに要求される絶縁性能の確保に対する影響は極めて小さい。 また、ケーブルは静止機器であるため、布設後にケーブルの絶縁を低下させる可能性はない。
32		同軸ケーブル	共通	シース	絶縁特性低下	なし	使用場所:屋内	-	布設時の外的な力から絶縁材を守るものであり、ケーブルに要求される絶縁性能の確保に対する影響は極めて小さい。 また、ケーブルは静止機器であるため、布設後にケーブルの絶縁を低下させる可能性はない。

タイトル	中央制御室空調換気系ダクトで発生した腐食について
説明	<p>平成 28 年 12 月に確認された島根 2 号機中央制御室空調換気系ダクトの腐食に関する原因、対策および高経年化技術評価への反映について、以下に示す。</p> <p>1. 原因</p> <p>(1) 設計・施工</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ airflow を安定させるためのガイドベーンを設置していた。 (水分付着量が多くなり湿潤環境が長く維持された。)</li> <li>・ 外気取入ラインの一部にステンレス鋼板を用いていた。 (多数の腐食孔等が発生した。)</li> </ul> <p>(2) 環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外気とともに水分および海塩粒子を取り込んでいた。 (ダクト内面を起点とした腐食が発生した。)</li> </ul> <p>(3) 保守管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ダクト内面の外観点検を定期的に計画・実施していなかった。</li> <li>・ 可能な範囲でダクト内面の外観確認を実施していた。 (網羅的な点検となっていなかった。)</li> </ul> <p>(4) 運転管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外気処理装置の使用が荒天時のみであった。 (通常時に水分および海塩粒子を多く取り込んだ。)</li> </ul> <p>2. 再発防止策</p> <p>(1) 保守点検の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 点検口を追設し、外気取入ライン全体のダクト内面の外観点検の実施頻度を 1 回/サイクルに見直す。</li> </ul> <p>(2) ダクト仕様の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 腐食の早期把握の観点から、ステンレス鋼板ダクトを炭素鋼 (塗装あり)、亜鉛メッキ鋼へ見直す。</li> </ul> <p>(3) 運用の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水分や海塩粒子の取り込みを低減するため、外気処理装置を常時使用とする。</li> </ul> <p>(4) ダクト形状・構造の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ダクト内面への水分付着量低減のため、角エルボから丸エルボに変更するとともに、ガイドベーンを設けない構造とする。</li> </ul> <p>(5) 当該事象と同様の事象が想定される外気と接触するステンレス鋼製ダクト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 対象：高圧炉心スプレイ電気室空調換気系ダクト</li> <li>・ 対策：亜鉛メッキ鋼への改造する (次回原子炉起動時までに完了予定)。 定期的にダクトの目視点検を実施する (合わせて点検口から可能な範囲で内面点検を実施)。</li> </ul> <p>3. 高経年化技術評価への反映</p> <p>次回原子炉起動時までに実施する 2. 再発防止策により、今後の健全性は維持できると考えられる。したがって、中央制御室空調換気系ダクトの腐食は高経年化対策上着目すべき経年劣化事象ではなく、新たに評価に反映すべき事項はない。</p>

タイトル

トラブル情報等の最新知見の反映プロセスについて

説明

高経年化技術評価の実施にあたっては、最新の劣化メカニズムまとめ表の使用、これまで実施した至近の技術評価を参考にするとともに、2011年4月～2016年3月（島根原子力発電所1号炉の40年目の高経年化技術評価実施以降）の国内外の運転経験、最新知見について、高経年化技術評価への影響を整理し、反映要否を判断している。また、2016年4月以降の知見についても、適時反映要否の判断を行っている。

(1) 知見の収集

日常的に実施している最新知見、運転経験に対する活動を踏まえ、以下に示す情報の収集を行う。

①運転経験

国内運転経験として、原子力安全推進協会が運営している原子力発電情報公開ライブラリー（以下、「NUCIA 情報」という。）において公開されている「トラブル情報」「保全品質情報」「その他情報」を、海外運転経験として、NRC(米国原子力規制委員会; Nuclear Regulatory Commission)の Bulletin, Generic Letter, Information Notice および Regulatory Issue Summary を対象として収集する。

②最新知見

対象期間中に発行された原子力規制委員会文書および日本機械学会、日本電気協会、日本原子力学会の規格・基準類ならびに原子力規制委員会のホームページに公開されている試験研究の情報等を収集する。

(2) 知見抽出・要否検討

収集した情報から経年劣化関連の知見を抽出してリスト化する。

経年劣化関連として抽出した知見について、新たに評価内容へ反映する必要があるかを検討し、下表に示す観点で反映済または反映不要となるものを判断する。

表 経年劣化関連の知見整理

分類	
反映済	定量評価等の実施時に考慮している
	予防処置、不適合管理および是正処置により対応している
	劣化メカニズムまとめ表を用いて経年劣化事象を抽出している
反映不要	規格基準等の改正内容を反映した QMS 手順書を使用している
	規格基準に取り込まれていない経年劣化事象の研究成果等 評価対象設備に生じるおそれのない経年劣化事象

これらの検討の結果、2016年4月以降の知見整理により新たに反映が必要な知見を1件抽出した。

(3) 評価書への反映

検討の結果、新たに反映が必要として抽出された知見について、評価書に反映した。

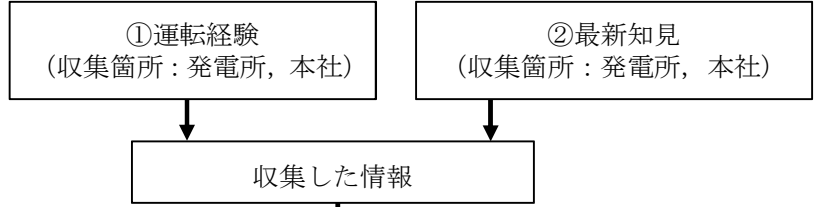
(1)～(3)のスクリーニング作業について、その他の知見反映を含めたフローを下図に示す。



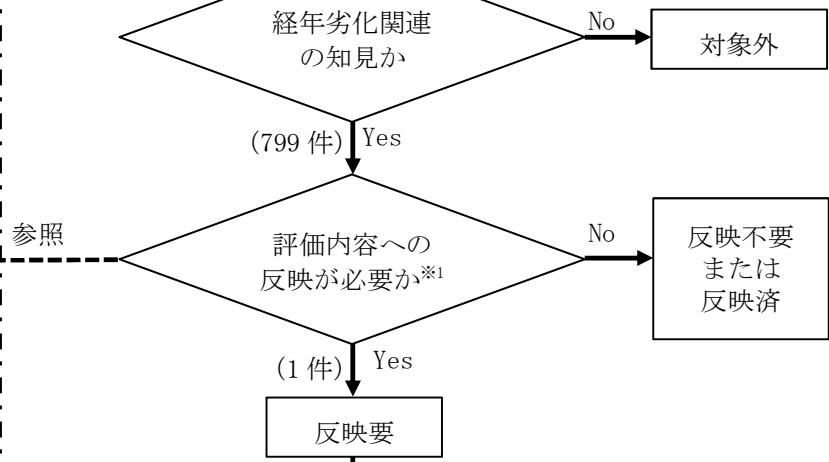
＜高経年化技術評価にあたってのスクリーニング作業＞

- ・劣化メカニズム  
まとめ表の改訂
- ・社内 QMS に基づく  
活動（手順書の改正、  
不適合管理等）
- ・至近の高経年化  
技術評価

(1) 知見の収集



(2) 知見抽出  
・要否検討



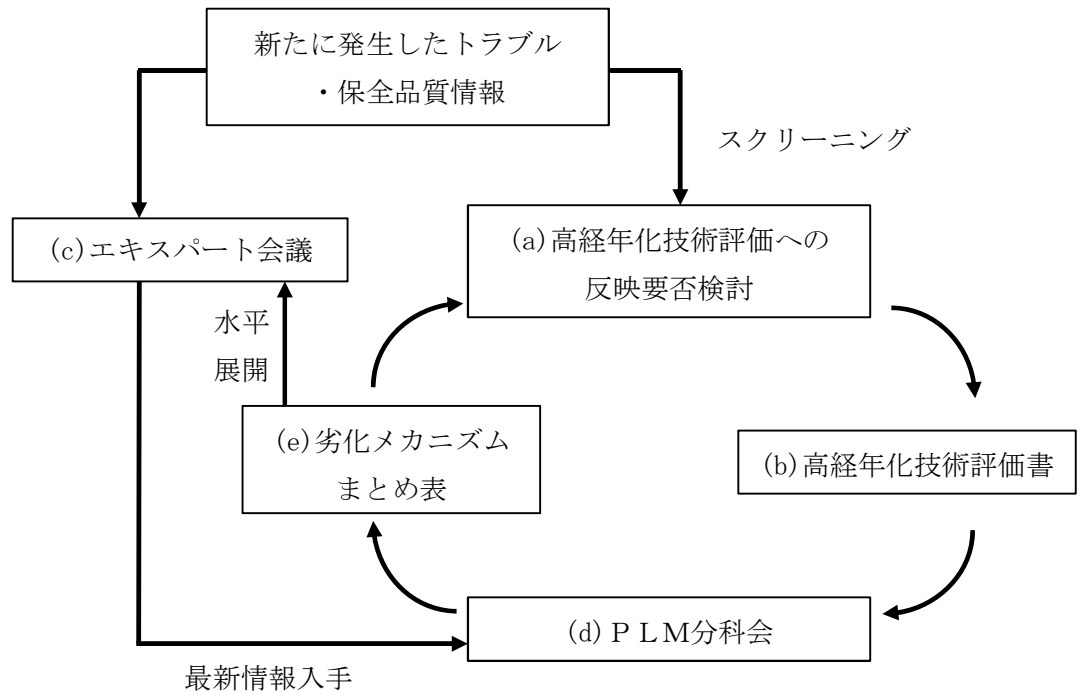
(3) 評価書への反映

高経年化技術評価書

説 明

※1：既に評価書に反映している知見を参照し、表に示す観点で反映要否を判断する。

また、新たに発生したトラブル・保全品質情報について、高経年化技術評価に反映される流れを下図に示す。



説 明

(a) 高経年化技術評価書への反映可否検討

実施主体：当社（各原子力事業者）

概要：高経年化技術評価実施主体が、トラブル・保全品質情報（NUCIA 等による）に係る最新知見を集め、劣化メカニズムまとめ表の知見に加えて高経年化対策上考慮すべき経年劣化事象を抽出する。

(b) 高経年化技術評価書

実施主体：当社（各原子力事業者）

概要：高経年化技術評価実施主体が、上記で検討した結果を踏まえ、また現場の最新保全情報を集めて、評価対象プラントの高経年化技術評価書を作成する。

(c) エキスパート会議

実施主体：原子力安全推進協会（JANSI）、全原子力事業者

概要：電力各社の現場技術者（原子炉、タービン、電気、計装、土建の5分野の保全のエキスパート）が、国内外のトラブル情報や各社の保全実績などを基にした不具合経験の共有、劣化事象を整理する。

(d) P L M分科会

実施主体：原子力学会

概要：新たに審査の終了した高経年化技術評価書の知見とエキスパート会議からの情報を基に P L M基準（劣化メカニズムまとめ表）の改訂を実施する。

(e) 劣化メカニズムまとめ表

実施主体：原子力学会

概要：これまでの高経年化技術評価書等の知見を包括的に取り纏めたもの。